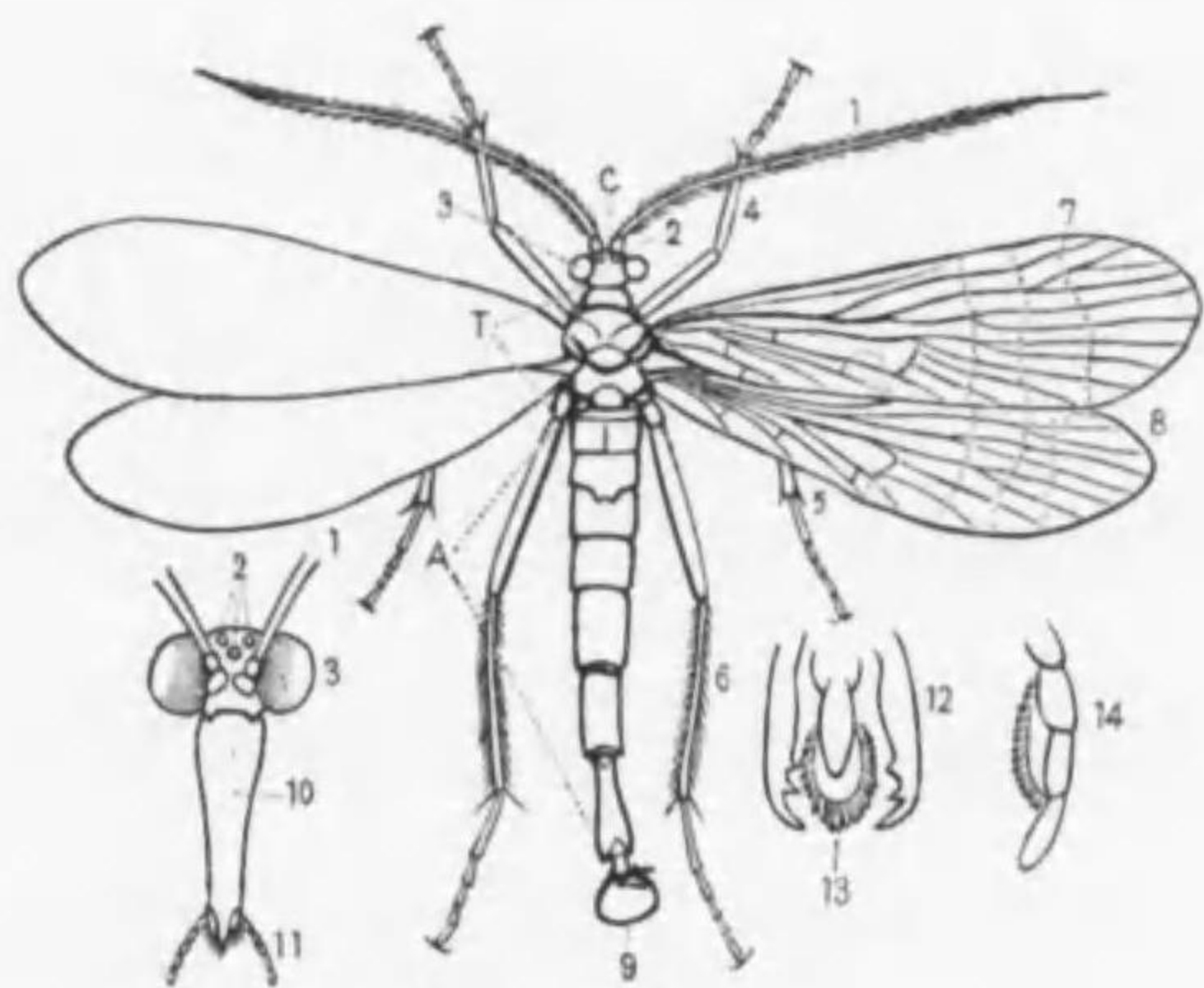


第八 長翅目 (蠅蟲目)  
Meoptera (Panorpidae)

二双の翅は膜質同形、横脈少なく、静止の時はこれを水平に半開す、稀に翅を缺くものあり。頭は小、口部は垂直、甚だしく延長して口吻狀を呈し、小腮と下唇は相癒着して咀嚼に適す。食肉性にして、農家に有益なり。本邦に産するもの二科あり。



Panorpa klugi M'L.

- |      |      |      |      |      |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------|------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (14) | (13) | (12) | (11) | (10) | (9)   | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | (A) | (T) | (C) |
| 下唇鬚  | 下唇   | 大腮   | 小腮鬚  | 口吻   | 尾端の鉗子 | 後翅  | 前翅  | 後肢  | 中肢  | 前肢  | 複眼  | 單眼  | 觸角  | 腹部  | 胸部  | 頭部  |

一 舉尾蟲科 Panorpidae

二双の翅を有す。雄は尾端に蠟蟻様の鉗子を具へ、これを上方に舉ぐるを以てこの名あり。雌にてはこれを缺き、其代りに長き鞘狀の産卵管を装ひ、その末端に二絲狀突起あり。爪は一双にして、捕獲を有す、捕獲用にならず。食肉性なれども多くは死せる昆蟲を食ひ、生ける昆蟲を捕食すること稀なり。幼蟲は蜚蠊に酷似し、十節の環節より成り、頭の兩側には二十乃至二十八個の眼を具へ、體の初めの三節は四節ある胸脚を具へ、他節には環節なき一双の肉狀突起を装ひ、各節の背上に幾丁質の板狀物を有し、九双の氣門あり。倒木下、石下等に住す。本邦學名を有するもの約五十種あり。



は蠟蟻形を呈し、その中間の前縁及び中帶と外縁帶との中間及び後縁に各一紋を具ふ。後翅にありては内側紋は小にして、後縁に位す。脚は黄色。開張一寸。これは朝鮮に少なからず。  
分布 朝鮮、アムール。

アムールシリアゲ (ムシ)..... (一)

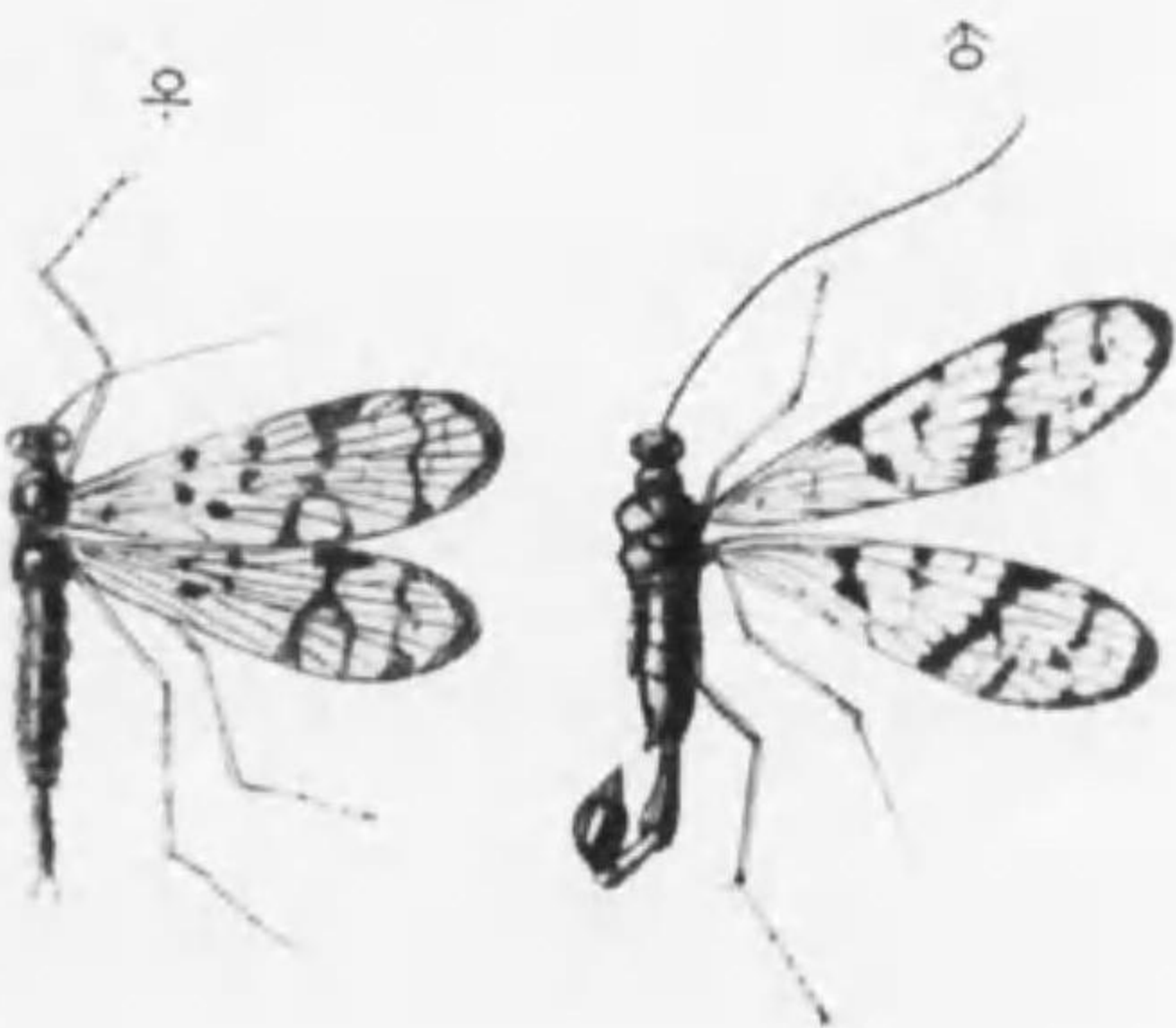
Panorpa amurensis M'L.

體は暗黄。觸角は初めの二節を除き黒褐色。頭頂は黒色。第二腹節の後縁の突起は匙狀をなし第六、七節の後縁は細く黒色。生殖節の兩側に暗褐色を具へ、下附器の末端は二分す、鉗子は生殖節よりも長く、各基部に三角形の一突起を装ふ。翅は黄色、三黒帶ありて、第一、第二帶

アラカハシリアゲ..... (二)

Panorpa arakawa Miyake

雄、體は黒褐。口吻は光澤を有し、その兩側は褐色、小腮鬚及び下唇鬚の基部は黄色。腹關節及び腹側の接合膜は淡灰黄、尾端附屬器の基部は黄色。翅は少しく黄色を帯び、紋條は黒褐、外方三分の二の處に二本の帶ありて、内方にあるものは後半にて分支し圓紋を包圍す、内側帶と翅底との間に五紋、翅底に近く一小紋を装ふ。脚



は黄色、基節及び轉節は黒色。開張一寸。これは信州上高地に稀ならず。  
分布 本州。

モグロシリアゲ..... (三)

Panorpa bicornuta M'L.

體は光澤ある黒褐。接合膜は暗黄色、第三、四腹節の後縁は細く黄色、第六節の後縁に二突起を装ふ。翅は透明、少しく灰黄を帯び、脈、中





各脚節は黒褐色。開張一寸内外。日光地方に少なからず。  
分布 本州。

マダラシリアゲ *Pantoperia communis* L. (四)



雌は黒色。口吻黄色。雌は兩側に二個の暗色縦條を走らす。口吻端褐色。觸角黒色。基節黄色。胸背に黄條を有するものと然らざるものとあり。  
翅は白色半透明、少しく黄色を帯び、黒紋を散在す。翅脈黒褐色、翅端は黒色。

尖の斜條、翅底の半部にある二紋及び外縁の二三紋は暗色。後翅にも前翅同様の斑紋あり。脚は黄色、基節、轉節及び附節の

其上に三個乃至六個の白色紋を裝ふ。雄にては腹部黄色、雌は其兩側のみ黄色。脚黄色、雌にては時に暗褐色を呈することあり。體長四分五厘内外。開張一寸一分内外。十和田にて發見せられたるも稀なり。  
分布 本州。

コアシリアゲ *Pantoperia coralligera* Mtl. (五)



雄、體は黒色。第五腹節の後縁に黄褐色の一突起を具へ、第六、七及び生殖節は黄褐色。生殖節の下附節は黒色、短く、末端は圓し、銚子は短く、各基部に椀狀の附屬物あり。翅は透明、脈及び斑紋は暗色、前縁紋は黒色。脚は黄色、基節及び轉節は黒色。開張一寸内外。これは朝鮮には普通なり。  
分布 本州、朝鮮。

タイワンシリアゲ (六)



體は淡黄褐色。頭頂は黒褐色、後頭の瘤狀突起は黄褐色。觸角は暗褐色、基節は黄褐色。胸背の兩側に黒褐色の一縱條あり。初めの四腹背節は暗褐色、第六節は棍棒狀、生殖節の下附節は葉狀の細き二片に分る、銚子の各基部に半圓形の突起ありて、その上面に一横隆あり。翅は少しく黄色を帯び、末端は廣く黒色、その内側帯は後縁にて分支し、その内側に六紋ありて、後縁にあるもの最も大。後翅の斑紋も同様なれども、唯だ内方に二紋あるのみ。脚は灰黄、附節端は少しく暗色を帯ぶ。開張九分。これは九月下旬臺灣にて捕獲せらる。  
分布 臺灣。

ガロシリアゲ *Pantoperia galloisi* Miyake (七)

體は黒褐色。中胸兩側に灰黄紋あり。第五腹節の後縁に一齒狀突起ありて、後方に向く、第六、七

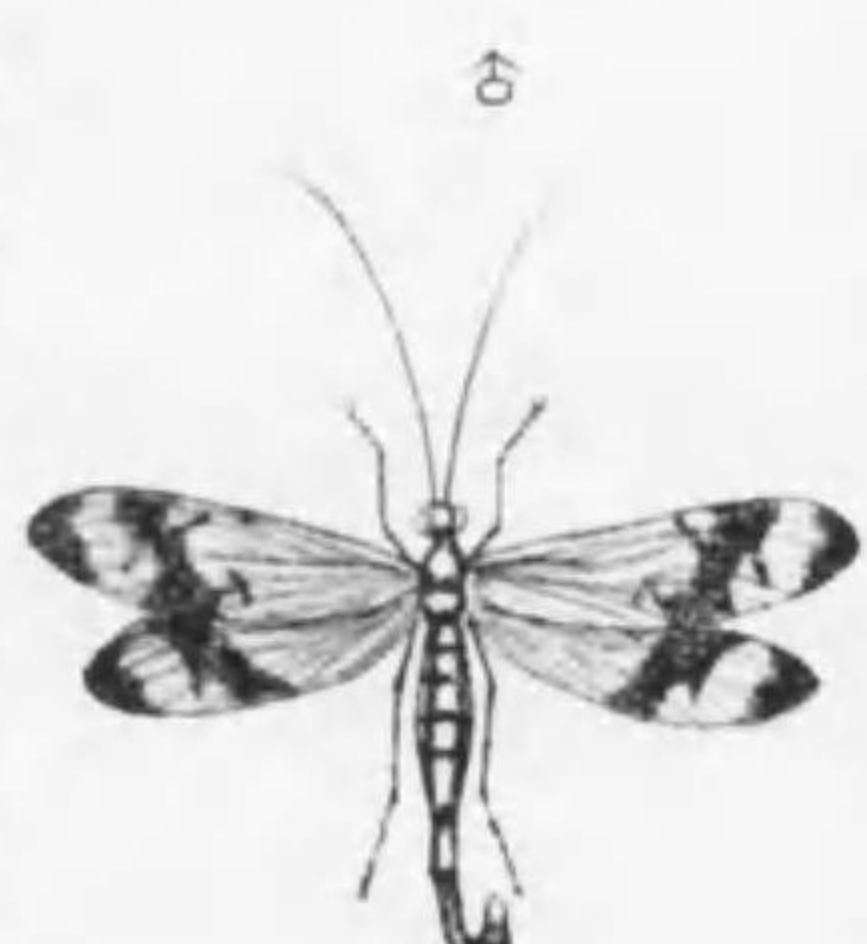


兩節は棍棒狀を呈し、生殖節は灰黄、二葉に分支し、上向す、銚子は黒褐色、末端は赤褐色、各基部に大なる一齒狀突起ありて、黄褐色を呈す。翅は透明、中央に切断せる一黒帶ありて、斜走し、前縁にて太し、翅端に近き前縁に三角形の三黒紋を具へ、末端は細く黒色。基節及び轉節は黒色。これは日光に少なからず。  
分布 本州。

ハクサンシリアゲ *Pantoperia hakusensis* Miyake (八)



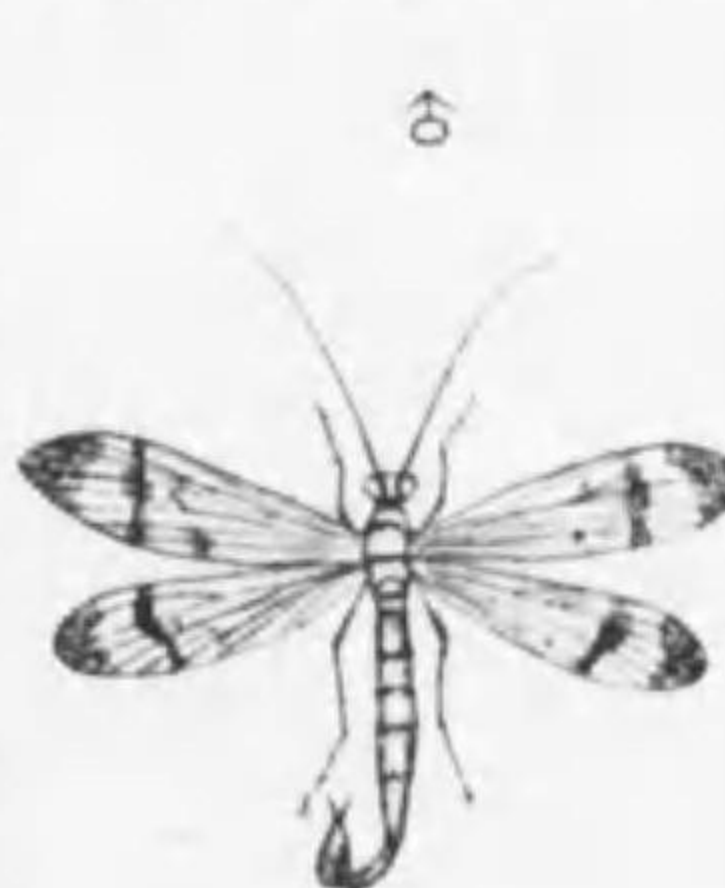
體は黒色。兩翼各節の基部は細く赤褐色。各脚節、各腹節の後縁及び接合膜は黄褐色。翅は灰白、半透明、紋條は暗色、縁紋よ



リ後縁に斜走する一帯は兩端に太く、その斜帶の内方に三紋を具へ、前縁は暗色、翅端紋、その内方の一短帶並にその後縁にある二紋は少しく淡色。脚は黄褐色、基節、轉節及び附節の基部は暗褐色。開張一寸一分。これは白山及び日光にて捕獲せられたり。  
分布 本州。

ヤマトシリアゲ *Pantoperia japonica* Thunb. (九)

體光澤ある黒色。翅白色、少しく黄色を帯ぶ、中央近くの太き斜帶黒褐色、其兩側に更に一二個同色の小枝を出す。後翅は其斜帶の外側に一枝あり、翅端も廣く黒褐色、此二



の兩側に黄色の粗毛を裝ふ。體長六分内外。開張一寸三分内外。普通なり。  
分布 本州、九州。

ベツカフシリアゲ *Pantoperia kinji* Mtl. (一〇)

體は鼈甲様の黄褐色。頭黒褐色、光澤あり。口吻黄褐色、末端に至るに従ひ淡色。觸角黄褐色、短毛を密生す。中胸背の前方に弓狀の黒横條あり。翅は鼈甲色にして、時々透明、中央に近き横條及び其内側の點紋は黒褐色。後翅には一黒褐點紋あり、末端黒褐色、翅脈黒色。脚及び刺は黒色。開張一寸内外。何れの地方にも普通なり。  
分布 本州、九州。

コンゴウシリアゲ *Pantoperia kongosana* Okum. (一一)



體は黄色。頭頂は黒色、口吻に暗色の二縱條あり。觸角黒褐。中胸背の兩側、前後兩胸背及び初めの五腹背節は栗色。生殖節は鉄子と稍々同長、下附器は絲狀の二突起となり、鉄子の各基部に一突起ありて、その下方は刻らる。各附節の末端は暗色。開張八分。これは朝鮮金剛山に稀ならず。

るも少なし。  
分布 本州。  
附言 これは從來ブライヤシリアゲと誤定せられたるものなり。

雄、體は光澤ある黒色。鉄子の末端は赤褐、基部に瘤狀の一突起を具へ、褐色の短毛を疎生す。翅は透明、少しく淡黄を帯び、

分布 朝鮮。

イツホシシリアゲ

*Panorpa leucoptera* Uhl.

雌、體は黄色。頭頂及び觸角は黒褐。翅は半透明、少しく灰色を帯び、前縁の三紋、後縁中央の一紋及び翅端の

黄色を帯び、縁紋及び翅端は黒褐、脈は栗色。脚は黄色、基節及び轉節は黒褐。開張一寸四分内外。これは八月下旬日光地方に稀ならず。

中帯及び末端は黒色、後者は外縁に灰色紋を列ぬ。脚は黄色、基節、轉節及び附節端は黒褐。開張一寸一分内外。これは六月下旬東京地方に少なからず。

一紋は黒色、第三脈の處にも一紋を有するも前縁紋と相連続す、但し後翅にては連續せず。開張九分。これは九月中旬中禪寺に捕獲せられた

オホシリアゲ  
*Panorpa macroptera* Mtl.

雄、體は黒色。口吻の基部、兩側及び小腮鬚は黄色、後者の末端は黒色。腹部は黄色、第一乃至五節の腹背上及び第六、七節の後縁は(細く)黒褐、生殖節の下附器は暗色、二葉に分れ、各稍々卵形を呈す。鉄子は短、末端は黄褐、内縁は黒褐、各基部に瘤狀の一突起あり。翅は半透明、

斑紋及び脈は暗色、縁紋、中脈及び第二肘脈の一節は淡黄、前翅後縁の中央に環狀紋あれども

接合膜は黄褐。翅は半透明、灰白を帯び、脈、斜條及び前翅三分の一の處にある一紋は黒色、横脈の大部は暗黄、斜條は前縁にて大紋となり、脛脈の基分叉にある黒紋は三角形、その下方の一紋は小。脚は黄褐、基節及び轉節は黒色、附節は褐色。開張一寸二分内外。これは中禪寺及び金剛山にて六月下旬捕獲せられたるが少なきが如し。

大なる突起ありて、更にその兩側端に齒狀突起を裝ふ。翅は黄色を帯び、末端に近く二黒帶ありて、翅端のものは廣し。脚は黄色。開張一寸一分。これは八月中旬中禪寺地方に稀ならず。

後翅にはこれを缺く。脚は淡黄褐。開張九分。これは岐阜地方に少なからず。

分布 本州、朝鮮。

ナヴァスシリアゲ

*Panorpa navasi* Isaki

雌、體は黒褐。口吻の兩側に赤褐の一縱條あり。兩鬚各節の基部は黄色。各腹節の後縁及び

ニツボンシリアゲ  
*Panorpa nipponensis* Nav.

ありて上反す、生殖節の鉄子は長大にして、生殖節よりも長く、赤褐、各基部に大なる一突起あり。前翅は少しく黄色を帯び、中帯の兩側に細き一紋を出し、その内側の下方にも又狀の一紋を分出す、翅端紋は中帯と約同幅。後翅の前翅と異なる所は中帯の内側に分枝を缺くにあ



り。脚は黄色、基部は黒色。開張一寸二分。これは八月上旬東京地方に稀ならず。  
分布—本州。

トウヤウシリアゲ.....(一九)

*Panorpa orientalis* M.L.

雄、體は光澤ある黒色。胸關節及び腹部の接合膜は黄色。第三腹節に匙状の一突起ありて、第四節の棘状突起は相喰ひ合ふの觀あり。翅は少しく黄色を帯び、斑紋は黒色、中帯の中央は少しく縮れ、その内方に三紋、外方に一紋ありて、翅端は廣く黒色。後翅の内半には一黒紋あり。脚は黄色、基節及び跗節端は暗褐。開張一寸二分。これは樺太に稀ならず。  
分布—樺太。



ブライヤシリアゲ(フタスデシリアゲ).....(二〇)

分布—樺太。

トリアシリアゲ.....(二一)

*Panorpa pulchra* Miyake

道、本州、九州。



體光澤ある黒色。口吻の兩側黄色。前胸背の後縁、中後の兩胸背を縱走せる一條及び横紋黄色。翅は白色、半透明。紋條は黒色。雄の鉗子は黄褐、其爪鈎の末端黒色。脚暗黄。跗節は稍々暗色。體長五分内外。開張一寸一分内外。これは東京地方に稀ならず種類なり。  
分布—北海

雄、體は黒色。口吻の兩側に赤褐縱條あり。第二腹節の後縁に四角形の一突起あり、各節の後縁は双物狀に隆起す、生殖節の下跗節には粗大



の點刻多く、細き二葉に分離す、鉗子は赤褐、同色毛多く、各基部に瘤狀の大突起あり。翅は少しく黄色を帯び、紋條は黒色、外縁紋とその内側紋との間に鳥脚狀の透明紋を現はす。脚は暗黄、基節及び轉節は暗褐。開張一寸三分内外。これは四月上旬伊豫地方に普通なり。  
分布—四國。

オビシリアゲ.....(二二)

*Panorpa rectifasciata* Miyake

體は黒色。觸角は黒褐。鉗子は赤褐、各基部に棘狀の一大齒あり。翅は少しく黄色を帯び、翅



端は黒色にして、翅底半部の脈は栗色。脚は黄色、基節及び轉節は黒褐。開張一寸内外。

これは中國地方に稀ならず。  
分布—本州。

シベリアシリアゲ.....(二三)

*Panorpa sibirica* Peters.

雌、體は黒色。口吻は頗る光澤を帯ぶるも、頭頂、胸腹には光澤を缺き、淡褐の短毛多し。兩



體各節の基部は赤褐。各腹節及び兩側の接合膜

は黄色。翅は透明、少しく黄色を帯び、黒色の二帶ありて、中帯は後縁にて廣く、これに地色の太紋を包擁す、尙、翅端帯にも同様の小紋あり、前翅にては更に三色の一の處に一黒紋を裝ふ。脚は黄色、基節及び轉節は黒色。開張一寸内外。これは朝鮮金剛山に稀ならず。  
分布—朝鮮。

タケノウチシリアゲ.....(二四)

*Panorpa takemuchii* Miyake

雄、體は黄色。頭頂及び前胸背は黒褐。觸角は暗褐。第六、七腹節は後方にて肥大し、生殖節は卵形、下面は卵形に刻られ、その兩側に絲狀の一附器あり、鉗子は短、末端は褐色、各基節に圓形の一突起ありて、その



下方は深く刻れる。翅は透明、其六紋及び一帯は黒色、中央に四紋、三分の二の處に一帯、その外側の後縁に一小紋及び外縁に一紋あり。各跗節の末端は細く黒褐。開張八分。これは熊本地方に少なからず。

ミスデシリアゲ.....(二五)

*Panorpa trizonata* Miyake

體は黒色。第二腹節の後縁には長方形の突起を具へ、各節の後縁は上反するも、横突起を有せ



ず、生殖節下附器の末端には一縱溝を具へ、鉗子の基部に圓錐形の大齒ありて、末端にて相近接す。翅は黄分を帯び、中央の二帶及び末端は黒色、中帯は前縁にて廣く、後翅の中帯外側は其下方にて刻れる。脚は黄色、基部は黒色。開張一寸二分。これは八月中旬大和地方に少なからず。  
分布—本州。



キアシシリアゲ.....(二六)

*Panorpa wormuli* M.L.

雄、體は黒褐。口吻、脚及び生殖節(下面の中央は暗色)は黄色、翅は半透明、前縁及び斑紋は暗色、前翅後縁の中央には半楕圓形の大紋あるも、後翅にはこれを缺く。鍬子は短かく、その基部に圓形の大突起あり、生殖節は卵形、下附器は黒色、末端尖る。雌にては翅の斑紋一層顯著なり。開張八分。これは東京附近に産するも少なし。



分布 本州。

オホスカシシリアゲ.....(二七)

*Panorpa decorata* M.L.

體は灰黄、胸背の兩側及び腹部は暗褐、尾端の二節は黄褐、雄にては黄色、腹部の兩側は暗褐。翅は半透明、少しく黄色を帯び、斑紋は黒褐、中央帯は前縁にて分叉し、その間に圓形紋あり、外縁は廣く黒褐。脚は黄色、短黒毛多

♀

分布 本州。



し。開張一寸内外。これは少なく、著者は和歌山及び巖手の雌標本を有するに過ぎず。

スカシシリアゲ.....(二八)

*Panorpa paruloxa* M.L.

體は黄褐。生殖節の兩側は暗褐、下附器は太く、末端に暗色の爪狀突起あり、鍬子は短、各基部に一瘤狀突起を裝ふ。翅は半透明、暗黄を帯び、縁紋及び脈は褐色。脚は暗黄。開張一寸一分。これは日光地方に稀ならず。



分布 本州。

♀



異なる所は、前翅第二叉及び第四叉の基部にあ

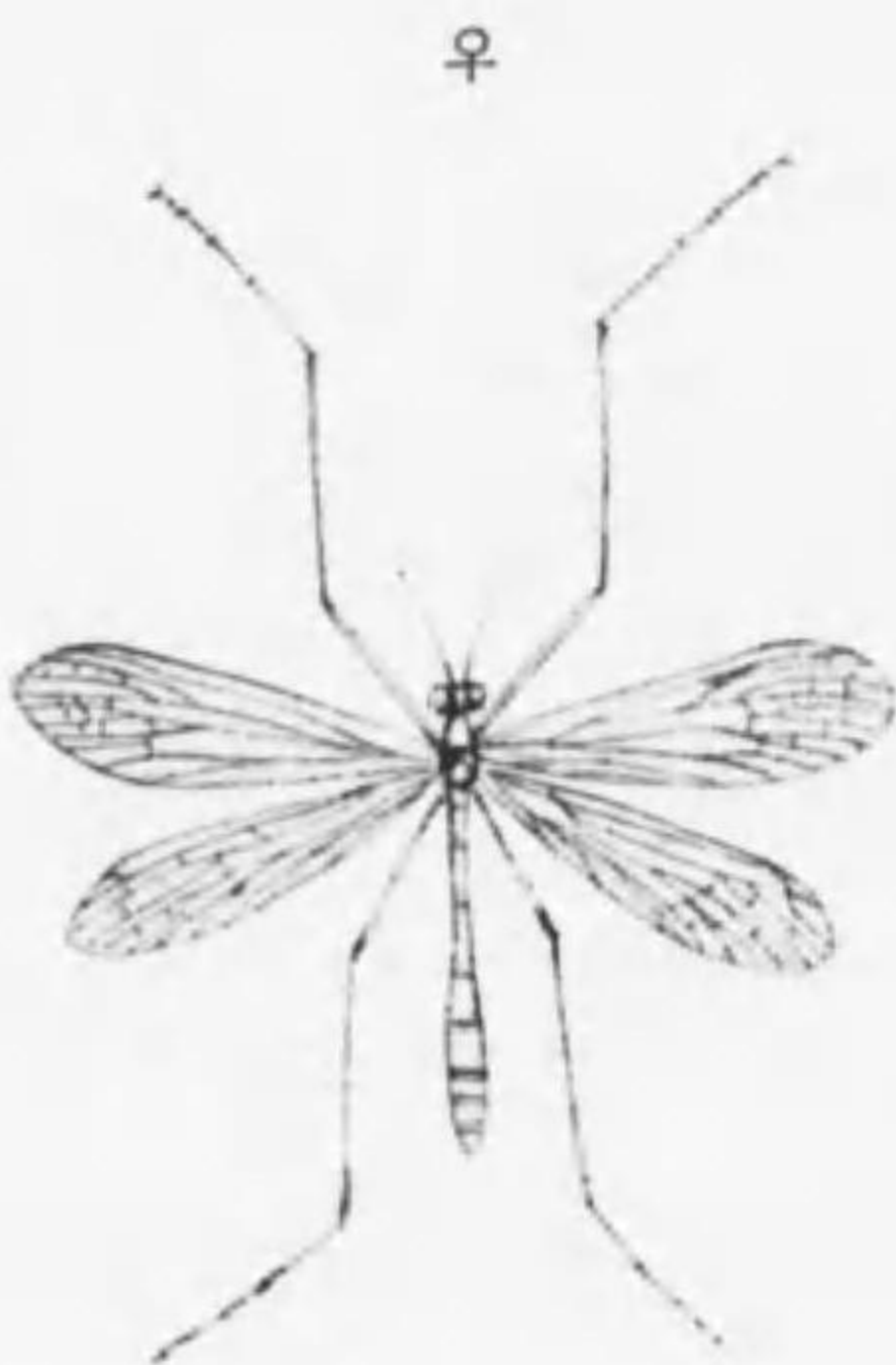
及び腹背は淡褐。翅は龍甲様の黄色にして、稍々透明、翅脈黄褐、前縁は黄色。腿節及び脛節の末端は栗色。開張一寸三分内外。東京地方に普通にして、其飛翔の狀、其長脚を有すること等は大蚊に似たり、故にこの和名あり。

分布 本州、支那。

ニッポンナガシリアゲ.....(二九)

*Bitacus nipponicus* Nav.

雌、體黄褐、灰白の短毛多し。頭頂栗色。胸背の横脈は一直線上にありて褐色を呈し、爲めに翅の中央に横帯を有するが如し、尙、翅端にある横脈も多く一直線上にあるを以て三帯を有するが如し、第二肘脈の後縁に開口する部分は稍々直角をなす、頭頂、觸角、中胸背の三紋、第二、三、四腹節の後縁(細く)等は黒褐。開張一寸五分半内外。これは紀伊地方に稀ならず。



シナナガシリアゲ.....(三一)

*Bitacus sinensis* Wk.

雌、前種と異なる所は、形大にして、翅底に近き横脈及び分脈の基部は栗色、縁紋は大、その下方にある小胞は五角形を呈し、第二、三徑脈は分支し、第三徑脈と第四徑脈の間に二横脈あ



二 長舉尾科 *Bitacidae*

二双の翅を有す。脚は太く、跗節端には一本の爪ありて、捕獲に適す。翅は長大、脚頗る長きを以て大蚊に似たり。雄は尾端に鍬子様の附屬物を有せず。口部は長く、これを他蟲の體內に挿入してその液汁を吸収す。本邦學名を有するもの七種あり。

エグリナガシリアゲ.....(三九)

*Bitacus laevipes* Nav.

雌、ニッポンナガシリアゲに酷似すれども、その



第九 脈翅目 NEUROPTERA

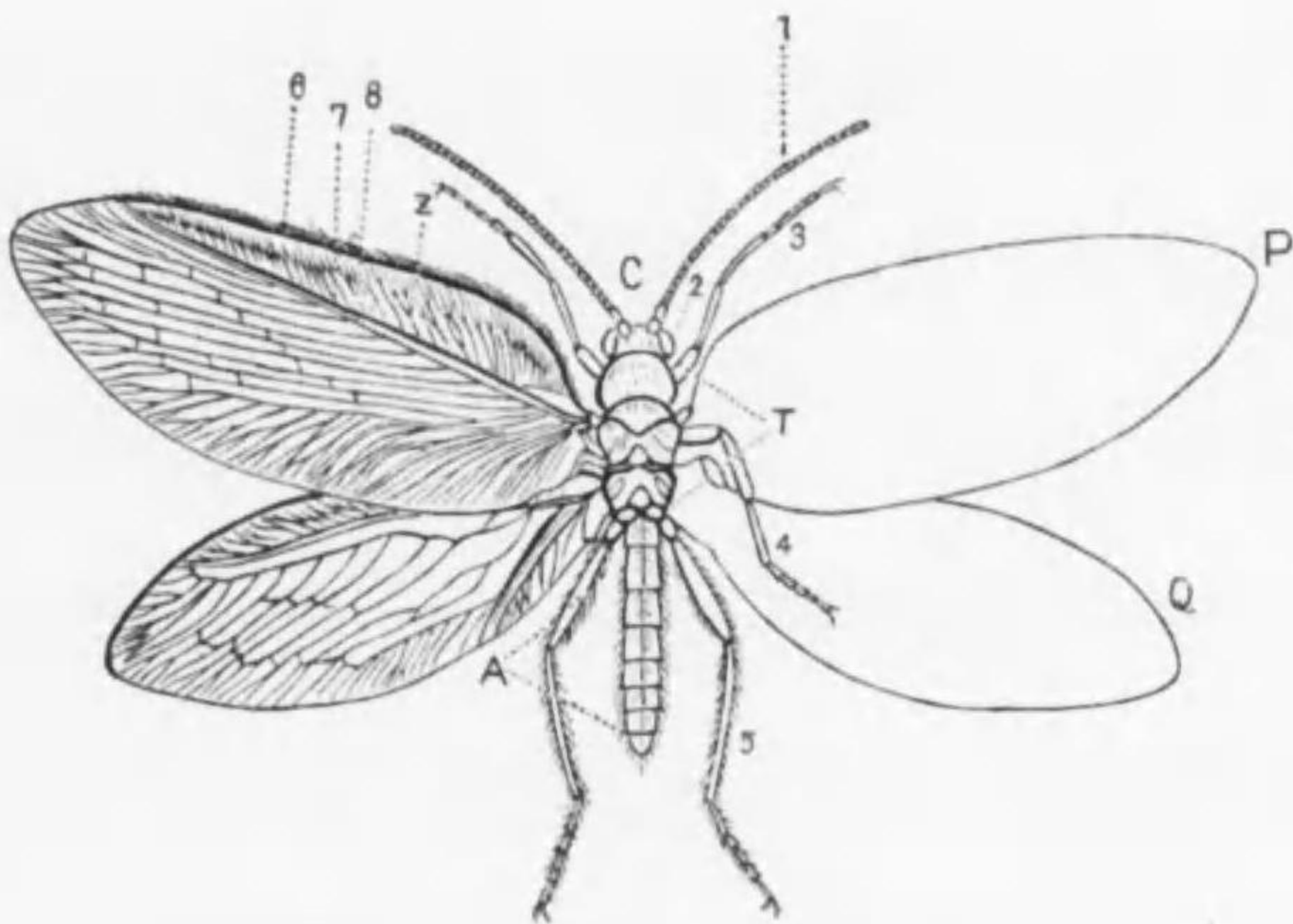


第九 脈翅目

Neuroptera

前胸は自在に動く。二双の翅は膜質同形にして、網狀を呈し、静止の時は屋斜狀に疊む。口部は咀嚼に適す。腹端に尾狀突起を缺く。幼蟲には陸棲と水棲とあり、後者にては普通腹鰓を裝ひ、口部は咀嚼と吸収に適す。變態は完全。本邦に産するもの十二科あり。何れも食肉性にして、農林業に有益なり。

クビカクシヒメカゲロウ



Drepanopteryx punctata Mats.

(Z)	(8)	(7)	(6)	(Q)	(P)	(A)	(T)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(C)
前	徑	副	前	後	前	腹	胸	後	中	前	複	觸	頭
緣	室	前緣脈	前緣脈	翅	翅	部	部	肢	肢	肢	眼	角	部

粉蜻蛉科

Conioperlydidae

觸角は絲狀、長く、連鎖狀を呈す。單眼を缺く。前胸は短く、二双の翅は略同大、縁紋を缺き、脈少なし。體翅に白粉を密布す。この科に屬するものは、脈翅目中微小の種類にして、一見介殼蟲の雄に似たり。幼蟲は介殼蟲その他の小蟲を捕食す。本邦に産するもの七種あり。

マダラコナカゲロフ

Coniocoryps japonica Enderl.

(一)



體暗黃褐。觸角は黃褐、短し。翅は長く、半透明、前翅の基部及び中央に淡き黑褐の帶狀紋を具へ、外方には約十個の黑褐斑あり、脈は暗褐、翅

の周圍には縁毛を疎生す。體翅上に灰白粉を密布す。開張二分五厘内外。本邦に産するも稀なり。  
〔分布〕本州。

キハラコナカゲロフ

Conioperlyx pulverulenta Enderl.

(二)

頭胸は黃褐なるも、腹部は美麗なる黄橙色。觸角褐色。翅は半透明、灰褐色を帶び、脈は黄



白。體翅一面に灰白粉を裝ふ。開張一分。これは札幌附近に普通なり。  
〔分布〕北海道、本州、九州。

シロコナカゲロフ

Semialia alba Enderl.

(三)



體翅一面に白粉を密布す。開張一分五厘内外。東京附近に普通なり。  
〔分布〕本州、九州。

體は淡褐乃至黃褐。觸角暗黃。中胸は大。脚は褐色を呈す。翅は稍々透明、灰白色、翅脈淡褐。



二 擬蠟蛾科 Mantispidae

單眼を缺く。觸角は絲狀、連鎖狀を呈す。前胸は延長す。前肢の基節は甚だしく延長し、腿節は肥大し、鎌狀の捕獲肢に變ず。翅は透明、翅脈は少なく、多くは五角形乃至六角形を呈し、縁紋は長大。異形變態をなす。幼蟲は蜘蛛の卵子を以て食とす。本邦學名を有するもの十數種あり。

クロクヒカマキリモドキ……………(四)

*Chimacilla latitarsula* Okam.

體は淡橙黄。觸角は黄褐、前頭の二帶、後頭の一帯、前胸背、前縁に近き一帯を除ける部分、中後胸の兩側紋、腹部の接合膜、各節の後縁等は黒褐。



脚基節は暗褐。開張九分。これは初め沖繩にて發見せられたる

も、その後、臺灣にても捕獲せられたり。

分布 本州。

ヒメカマキリモドキ……………(六)

*Mantissa japonica* M'.

體は暗黄。觸角は褐色、基節黄色。頭の中央に



紋、第二節の後縁、第三節の八字形紋、兩側の六帶等は黒褐。翅は透明、縁紋は赤褐、周圍は黄色、脈は栗色。前腿節の内側は淡褐。開張(雄)一寸三分、(雌)一寸七分。これは八月中旬伯耆大山に少なからず。

分布 本州。

黒褐の一條を縦走す。各腹節の後縁、中央の三縱條並に基部は栗色。翅は透明、縁紋は長く、赤褐、脈は黒褐、前腿節室は黄色、不透明。前腿節の内側に三角形の二褐色紋を装ふ。開張七分。一寸。これは中國地方に普通なるも、東京地方には少し。



分布 本州、四國。

三 蛟蜻蛉科 Myrmeleonidae

*Myrmeleonidae*

觸角は短かく、棍棒狀を呈す。複眼は小、横溝によりて分離せられず。顔には長毛なし。翅は大形にして、長く、前翅には長き縁紋を有す。幼蟲は陸棲にして、砂中に漏斗狀の穴を穿ち、その底にありてこれに陥落する昆蟲を捕食す。本邦に産するもの十八種あり。

オホウスバカゲロフ……………(七)

*Acanthinebis japonica* M'.

體暗灰色。觸角黒褐、基部黄色、黄褐の輪環あり。顔黄色、觸角の基部に長白毛あり。前胸背の横溝は兩側に横紋を具へ、中胸背の三縱條は灰色。翅透明、翅脈は黄色と黒色の斑をなし、不定なる白紋及び黒紋を散在す。前翅の縁紋黄色、内側に黒紋あり。胸下及び後胸背に長白毛を密生す。腹部の第五、六節下面に黄紋を装ひ、基部の下方に長白毛を有す。雄の第四腹背節上に銀色の軟毛を密生す。脚黒褐、基節及び腿節の基部は褐色、脛節に黄紋を具へ、基節に長白毛を密生す。開張三寸九分内外。これは燈火に飛來する普通種なり。



分布 北海道、本州、四國。

ゴマダラウスバカゲロフ……………(八)

*Dendroleon japoensis* Okam.

體は淡黄。頭頂(複眼の間)は光澤ある黒褐。觸角は黄褐、基部及び末端の肥大部は黒褐。胸背の中央に黒紋を列ね、中胸及び後胸背の後縁紋



肘脈下の五紋、後縁及び外縁の各一大紋、縁紋の内外紋等は顯著なり、後翅の外半に三大紋ありて、翅端にあるものは末端に透明紋を有す。脚は黄色、黒褐紋あり。開張一寸九分内外。これは札幌地方に少なからず。

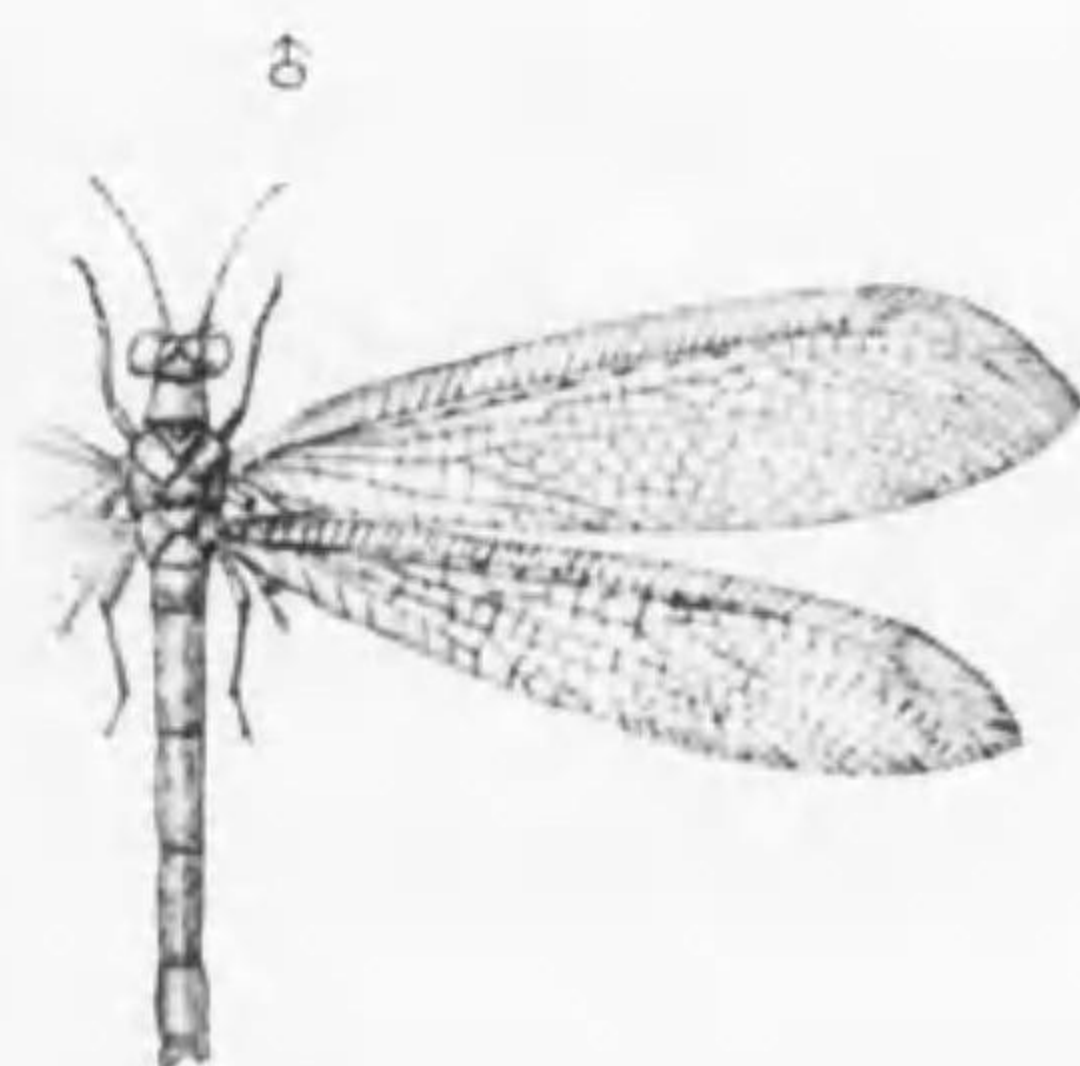
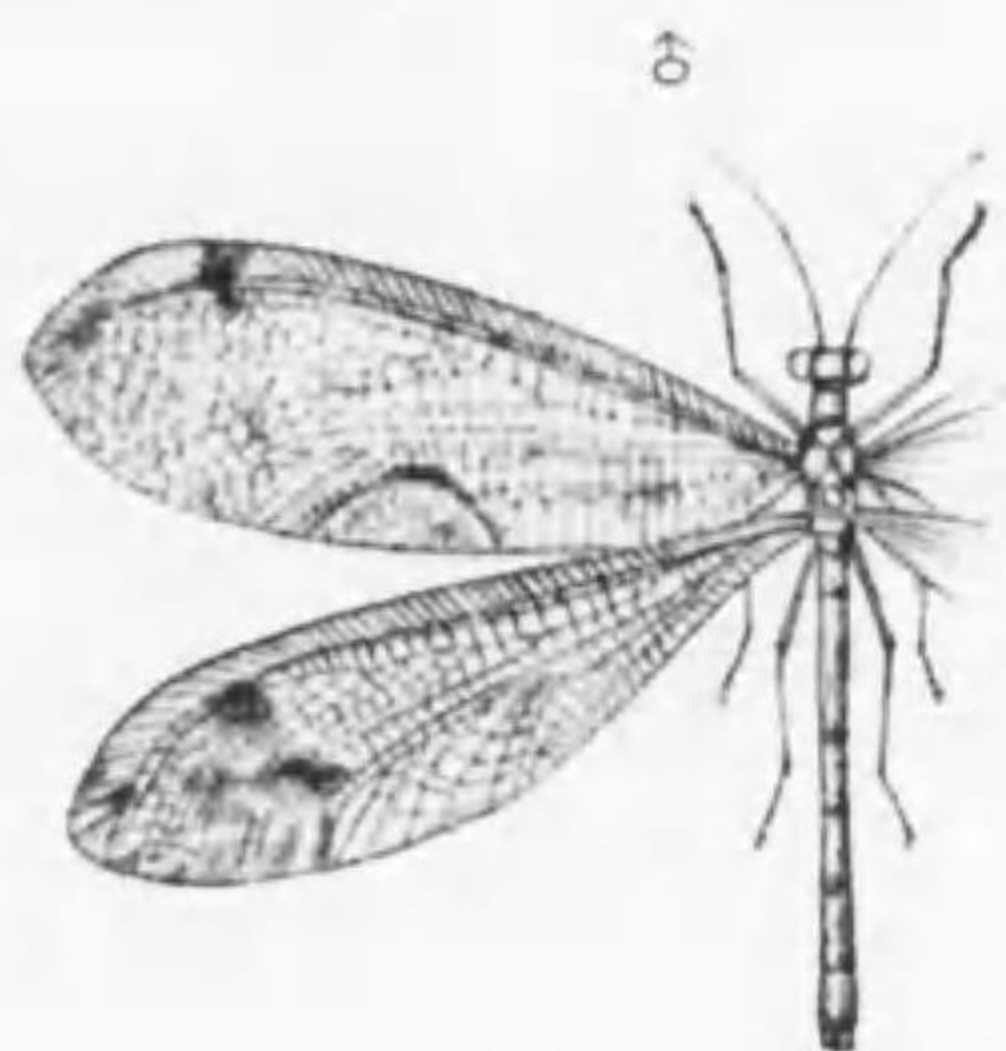
分布 北海道、本州。

マダラウスバカゲロフ……………(九)

*Dendroleon pupillaris* Geest.

體黄色。胸部の兩側黒褐。觸角の基部及び中間は黒色。前翅透明、翅脈の大部黄色、これに黒褐紋を有するものあり、翅底及び外縁に黒褐紋ありて、縁紋の處に黒褐の大紋を装ひ、後縁の中央に半圓形の黒褐條あり。後翅にも黒褐紋あり。脚は黄色、脛節及び脛節の外側並に跗節端は黒褐。開張二寸四分内外。これは餘り多から





ず。

分布 本州。

コカスリウスバカゲロフ

*Distoleon contuberculis* M.L.

雄 體黒黄。觸角赤褐、黒、黄の輪環あり。顔及び兩  
 體は黄色。頭頂に黄紋を装ふ。翅透明、翅脈は  
 黄色と黒色の斑となり、外縁に近く黒褐紋あり、  
 前縁の横脈黄色。腹部黒色、各節の後縁及び  
 背線は黄色、兩側に黄紋を装ふ。脚黄色、黒  
 紋を散在し、長白毛を装ひ、前中脛節の外側に

各二個の黒紋あり、跗節端は黒色、爪黄褐。開  
 張二寸六分内外。これは本州には少なし。

分布 本州、九州。

モイハウスバカゲロフ

*Euthaclis muiwasanus* Okam.

雄 體は暗色、暗黄紋多し。觸角は暗褐、各節  
 の末端は黄褐。顔黄色。腹部に灰色と黒色の長  
 毛を混生す。翅は透明、脈の大部は黒褐、少し  
 く白色及び黄白色を呈する部分あり、縁紋は白  
 色、尙、その内方には一列をなして五白紋を縱

列するも、後翅にては判然せず、縁紋の下方に  
 當り外縁に近く棒状の一黒紋を具へ、後縁の中  
 央に近く各一黒紋あり、脈上に短黒毛を装ふ。  
 脚は黄色、脛節及び跗節に黒褐の輪狀紋あり  
 て、斑をなす。開張二寸八分内外。これは札幌  
 及び京都にて捕獲せられたるも少なし。

分布 北海道、本州。

ヤハマウスバカゲロフ

*Fornicatio yuyeyamensis* Mats.

雄 體は暗黄。觸角の各節に暗褐輪あり。頭頂の二

紋列及び複眼間は黒色。胸背の兩側及び各腹節

の楕圓形環

は暗色。翅

は透明、脈

は黄褐、縱

脈に暗褐紋

を列ね、脈

上の短毛は

褐色。前翅

の後縁に近

き二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

く二點及び

の縁に近

♂



雄 體は暗黄。頭頂は光澤ある黄色、前頭黄色、觸角  
 間黒色、顔黄色。觸角の末端黒褐。翅透明、少  
 しく黄色を帯び、縁紋白色、翅脈黄色、黒斑を  
 有す、後縁中央に短き黒斜紋を具へ、後縁に近  
 く縁紋の下方に一黒點、後縁の外縁に近き處に

分布 本州。

ホシウスバカゲロフ

*Glenuroides japonicus* M.L.

雄 體は暗黄。頭頂は光澤ある黄色、前頭黄色、觸角  
 間黒色、顔黄色。觸角の末端黒褐。翅透明、少  
 しく黄色を帯び、縁紋白色、翅脈黄色、黒斑を  
 有す、後縁中央に短き黒斜紋を具へ、後縁に近  
 く縁紋の下方に一黒點、後縁の外縁に近き處に

♀



長白色を装ふ。後翅の末端に近く黒色の大紋あ  
 り、外縁暗色。各腹節の後縁黄色。胸下及び脚  
 は黄白。脛節、脛節及び跗節端は暗色、脛節及  
 び脛節の外側に黒點を散在し、黒毛を密生す。  
 開張二寸四分内外。これは何れの地方にも少な  
 からず。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

リウキウスバカゲロフ

*Glenuroides okinawensis* Okam.

雄 體は暗黄。頭頂の二紋及び觸角間上の一紋は暗  
 褐、各節に褐色の一輪紋あり。胸側の一縦條、  
 中後胸背の兩側縁は暗褐、前胸背に斑紋を缺

♀



り、前翅の後縁に暗色の短斜紋を具へ、脛脈末  
 端に近き二小紋及び肘脈の末端に近き一紋は暗  
 色、縁紋は白色。後翅の末端に近き後縁に暗色  
 の長紋を縱走す。脚は黄色、脛節及び脛節の末  
 端は暗色。開張一寸五分内外。沖縄に少なから  
 ず。

分布 沖縄。

アサクラウスバカゲロフ

*Hagenomyia asakurae* Okam.

雄 體上は暗色、體下は黄色。頭は黒色。上唇及び  
 口部は黄色。觸角は黒褐。胸腹背に斑紋を缺  
 く。翅は透明、少しく黄褐を帯び、副前縁脈及  
 び脛脈に暗色紋を列ね、三角形の縁紋は白色、  
 大、その兩側は暗色を帯び、その内側の縦脈端  
 は暗褐。脚は黄色、後脛節の中央紋及び後脛節



の一縦條は褐色。開張二寸六分。これは臺灣に



少なからず。

分布—臺灣。

ナミウスバカゲロフ (ウスバカゲロフ) (一六)

*Hagenomyia mians N.Y.*

體黒褐色。頭頂より中胸背に互りて黄色の一線を縦走す。口部黄色。觸角黒色。前翅は透明、翅脈黒褐色、前縁にある太き三縦脈は黄色、縁紋は白色。胸下及び脚は黄色。跗節及び爪は黒色。開張三寸二分内外。本邦何れの地方にも普通の種類にして、東京地方にては七月上旬に最も多く現はる。

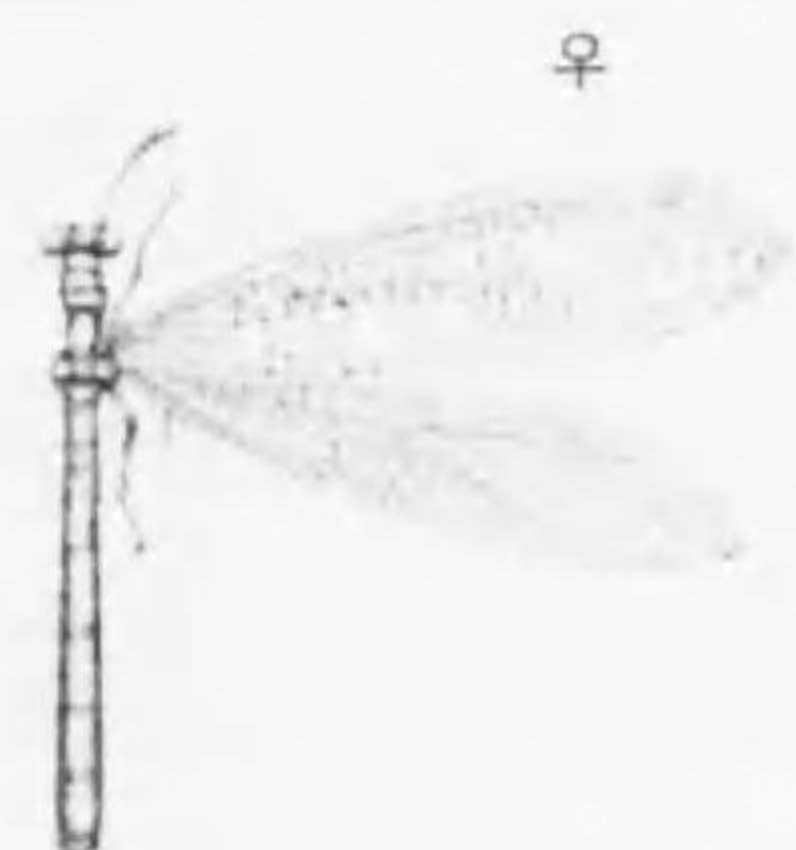
♀



分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣。

コウスバカゲロフ (一七)

*Myrmeleon formicarius L.*



體灰褐色、黄白の短毛を密生す。頭及び觸角は黒色、後者の基部及び複眼の周圍黄白。口部黄色。前胸背の前方兩側は黄

色。翅透明、翅脈は黄色と黒色の斑をなす、前縁の横脈は翅底にあるものを除き黒色、翅脈に黒色の剛毛あり、縁紋黄色、其内側に暗色を装ふ。第五節より尾節に至る迄各腹節の從縁は黄色。脚は黒色、轉節、腿節の基部並に其外側は黄色、脛節の外方は淡黄、爪黄色。開張二寸三分内外。何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州、沖縄、臺灣。

四 角蜻蛉科 Ascalaphidae

觸角は甚だ長く、末端は太く、杓子形を呈す。複眼は大、横溝によりて二分せらる。顔には長毛を装ふ。翅は蜻蛉のそれに酷似すれども、三角室を缺き、前縁に結節を有せざるを以て容易に區別し得べし。雄の尾端には鉤子様の附屬物あり。幼蟲は砂中に漏斗狀の穴を穿ち、其底にありて蟻その他小蟲の陥落を待ち伏せ捕食す。成蟲は食肉性にして、一種異様の飛び方をなす。本邦學名を有するもの十數種あり。

ハラナガツノトンボ (一八)



第九 脈翅目

*Acheron trux Wk.*

體は褐色。觸角肥大部の關節は判然し、約十七節より成る、雄にては基部に鋸齒狀の突起を列ぬ。胸背の縦條及び胸側の一斜帶は黄白。腹部は灰黄、兩側に黒條を縦走す、雄にては腹部長し。翅は透明、雌にては赤褐色を帯び、前縁にて濃色、縁紋は暗褐色。脚は黄褐色、黒褐色の剛毛多し。開張(雄)二寸六分、(雌)二寸九分内外。これは七月臺灣に普通なり。

分布—臺灣、支那。

キバネツノトンボ (一九)



*Ascalaphus ramburi M.*

體黒色、前頭及び顔には黒褐色の長毛を密生す、顔の兩側黄色。前胸の兩側に各一個の黄紋を具へ、中胸背に八黄紋を装ふ。前翅透明、少しく暗黄を帯び、翅底黄色、翅脈及び縁紋は黒色。後翅は黒色と黄色と相半し、前縁の翅底に近き部分及び中央に二又せる縦條は黄色、翅脈の大部分及びこれに沿へる周縁も黄色。中胸下の兩側に黄紋を装ふ。腹部及び脚黒色。腿節及び脛節の大部黄色、後肢の腿節は末端のみ黄色。開張一寸七分—二寸二分。これは中國地方には稀ならざるも、北地には産せず。

分布—本州、九州。

ナミツノトンボ (ツノトンボ) (二〇)



一一五九



*Hyalis anhuensis* Wt.

體黒褐。觸角黒褐、基部及び末端黄色、胸背黄色、周圍黒褐。中胸背中央の二紋黒褐、下面に太き一黄帯あり。翅透明、翅脈黒褐、副前縁脈及び脛脈黄色、縁紋黒色。脚は光澤ある褐色、黒褐の長毛を被ふ。腹部褐色、背條は黄色。開張二寸四分内外。これは東京地方に普通なり。  
〔分布〕本州、九州、臺灣、支那。

オキナハツノトンボ

*Ogozaster okinawensis* Okam.

體は黒褐。顔の兩側及び下方は黄褐。胸背の紋列及び胸背紋は黄色。各腹節の後縁並に第一腹



面節は黄褐。翅透明、少しく暗色を帯び、脈及

び縁紋は黒色。翅底及び後翅の後縁は暗褐。脚は黒色。開張二寸二、三分。これは沖縄に稀ならず。  
〔分布〕沖縄。

オホツノトンボ

*Protoludens (Idriensis) japonicus* M.L.

體黒色。頭に長黒毛、顔に黄褐毛を密生す。觸角黒褐、末端黒色。額片、上唇及び複眼の下方は黄色。複眼は黄褐。翅透明、翅脈及び縁紋は黒色。腹背及び脚黒色。種類により前者の各節



五 姫蜻蛉科 Hemerobiidae

比較的小形の種類にして、體は淡褐乃至淡緑褐を呈す。觸角は連鎖状。單眼を缺く。兩翅共に二本又は夫れ以上の徑分脈を具へ、徑脈と亞前縁脈とを相結合することなし。前翅の前縁横脈は分支するもの多く、又内縁基部に翅垂様の膜質部を有するものあり。幼蟲は介殼蟲、蚜蟲、その他の小蟲を捕食して有益なり。本邦に産するもの二十餘種あり。

エグリヒメカゲロフ

*Drepanopteryx phalaenoides* L.

體は暗黄褐、腹端は褐色を帯ぶ。觸角及び脚は淡黄褐。翅は暗黄褐、半透明。前翅外縁の刻られたる部分及び後縁の中央にある棒狀紋は白色、肛角に近き膜質部は灰黄白、脈は栗



第九 脈翅目

色、前縁室の横帯、外半の二斜帯及び前角下の一縱條は栗色。後翅は透明、脈及び周縁は淡褐。開張九分内外。これは札幌地方に少なからず。  
〔分布〕北海道、本州。

クヒカクシヒメカゲロフ

*Drepanopteryx punctata* Mats.

前種に似れども、體は暗黄褐、前翅は黄褐、暗色の三紋列ありて、二紋列の外半に透明紋を列ね、第三紋列の外方にも透明紋あれども、その數少なし、尙内方に第一紋列と第二紋列とを連續する紋列を具へ、後縁には暗色紋を並列す、後翅は前翅よりも淡色、半透明、周圍は前翅と同色、腹面及び脚は淡黄褐、開張九分。これは膽振地方にて捕獲せられたるが稀なり。  
〔分布〕北海道。



チヤハネヒメカゲロフ

*Embletonus humerosus* Nav.

頭及び前胸は黄褐、其他は褐色。顔面に二黒褐紋あり。兩翼は黒褐。觸角は褐色。前翅は透明なるも、多少黄褐を帯び、これに灰褐の條紋を十



數列をなして不明瞭に横列す、縱脈は黄褐、段横脈は黒色。後翅は無色透明、縁紋及び脈は黄色、外段横脈は黒色。開張五分五厘。これは本州に稀ならず。  
〔分布〕本州、四國、九州。

ミヤマヒメカゲロフ

*Hemerobius humuli* L.

頭胸は黄色、その兩側は赤褐。腹部褐色。觸角



灰黄。兩翼黑褐。前翅は透明、淡褐色、翅脈は

♀



灰黄なるも、縦脈上には褐色點を點在す、横脈は概ね黒色。後翅無色透明、周縁は少しく

淡褐を帯び、縦脈は淡色、横脈は黒色。開張五分内外。北海道及び本州の山地に産するも多からず。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲、北米。

♀



ホソバヒメカゲロフ  
Micromus novitius Nav.  
頭胸は淡黄、頭部には數個

の黒褐點を具ふ。觸角は黒褐、基部は帶黄。胸背の兩側は黒褐。兩翅は細長、無色透明、脈は粗にして、淡黄なるも、多くの脈上には黒褐點を散在し、横脈は概ね黒色なり。腹部は黄褐。脚は淡黄。開張五分。本邦の各地に比較的普通なり。

分布 樺太、北海道、本州、九州。

マルバネヒメカゲロフ  
Zingia deltoidea Nav.

體は暗黄褐。前胸の兩側に切斷せる黒條を縱走し、中後胸に黒紋を散在す。翅は半透明、淡褐を帯び、脈は黄色、暗色紋を散在す。前翅の外縁中央に多數の黒紋を散在し、外半に暗色の二斜帶を裝ひ、内帯の末端にある三角形紋は白色、その周圍は暗色。開張八分内外。これは中國地方に普通なり。

♀



外縁中央に多數の黒紋を散在し、外半に暗色の二斜帶を裝ひ、内帯の末端にある三角形紋は白色、その周圍は暗色。開張八分内外。これは中國地方に普通なり。

♀



頭胸及び觸角は黄綠色。前翅は無色透明、後翅に比して大、翅脈は淡綠色、縁紋は大にして、灰色、徑室の横脈は黒褐線にて縁取らる。後翅も亦無色透明、脈は淡綠、縁紋は淡灰色。腹部は淡黄褐。脚は淡黄。開張五分。近畿地方に多産す。

分布 本州。

## 六 櫛蜻蛉科 Diluvius

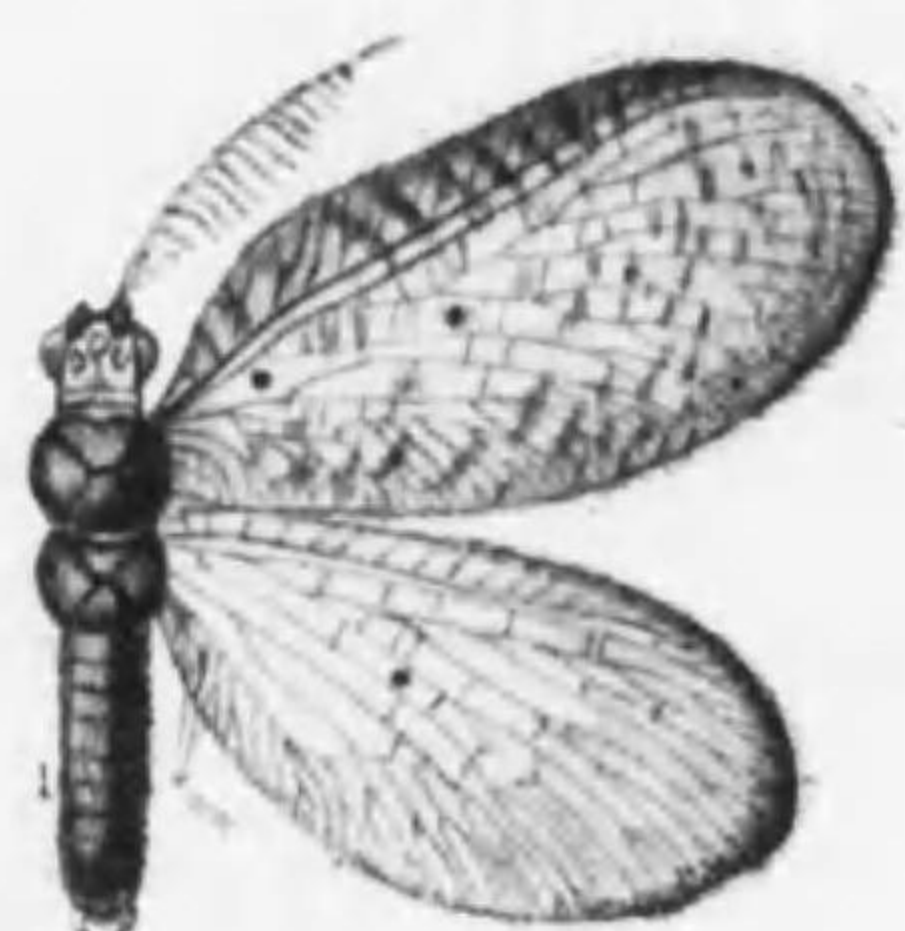
雄にては觸角は櫛齒狀を呈し、雌にては絲狀。雌は長き針狀の産卵管を有す。頭部と頭頂に三瘤起を裝ふ。翅端圓く、縦脈は稍々密なるも、横脈は少なし。前後翅共に一個若くは二個の眼點を有す。本邦に産するもの三種あり。

ナミクシカゲロフ (クシヒゲカゲロフ) (三〇)

Rexavins (Diluvius) japonicus M.T.

體黄褐色。頭部に三個の瘤起を具へ、その周圍黒褐。觸角は雄にては櫛齒狀、約二十五節より成る、雌にては絲狀。翅は稍々圓く、透明、少し

♂



## 七 草蜻蛉科 Chrysopidae

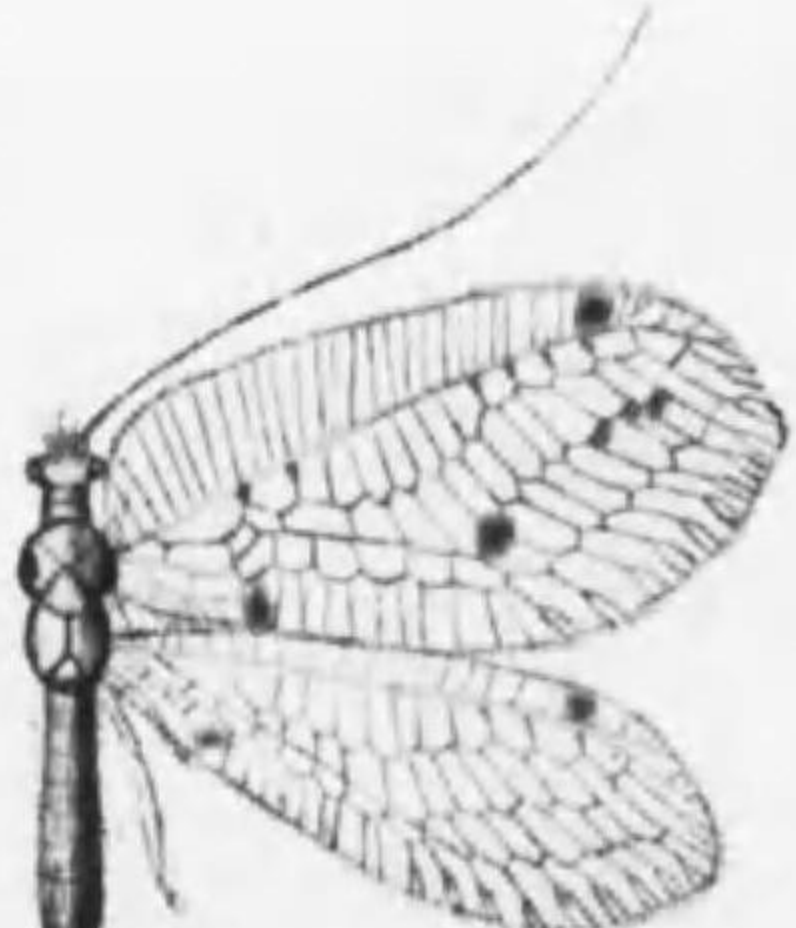
觸角は鞭狀。複眼は眞珠様の光澤を有す。單眼を缺く。翅は透明。體並に翅脈は概ね綠色を呈す。徑分脈は一本にして、徑脈に殆ど平行して縱走し、亞前緣脈と徑脈とは相結合することなし、多くは二段横脈を有す。幼蟲は好蟲若くは他の小蟲を捕食す。其卵子を俗に優曇華と云ふ。本邦に産するもの約三十五種あり。

ヒロバクサカゲロフ (三一)

Ancylopteryx octopunctata F.

體黄綠色。顔は黄色、兩側に一小黑點を具へ、

♀



上唇の兩側及び頬は黑色。觸角黄色、基節の外側



黒褐。前中兩胸に二黒褐紋あり。翅透明、翅脈概ね緑色なるも、一部分は黒褐。前翅の幅廣く、縁紋上、内縁に添へる肘脈上、翅の中央に近く黒褐紋あり。後翅の縁紋上に黒褐紋を装ふ。脚黄緑色、跗節端黒色。開張八分。これは亞熱帶地方に分布するも餘り多からず。  
分布 沖縄、臺灣、交趾支那、比律賓、印度、瓜哇。

ナミクサカゲロフ (クサカゲロフ) (三三)

*Chrysopa intima* M.L.

體綠色。頭黄色、觸角間にX字形の黒紋を装ひ、後頭の四紋も亦黒色。顔に四黒紋あり。觸角黄色、末端に至りて少しく黄褐を帯ぶ。胸背に十二の黒紋を具ふ。翅は透明、眞珠様の光澤を有す。縦脈は緑



色、横脈の大部は黒色。脚綠色、跗節赤褐。腹面の黒色を呈することあり。開張一寸内外。これは何れの地方にも普通にして、好蟲を捕食して有益なり。

分布 樺太、北海道、本州。

クモンクサカゲロフ (三三)

*Chrysopa japonica* Okamoto

體綠色。頭黄、觸角間、觸角直前、兩頬、額片

の兩側に合計九個の黒紋を有す。兩頬黒色。觸角黄褐。胸部にも前、中、後各胸に四黒紋あり。翅透明、翅脈は緑色なるも、兩翅前縁の横脈、徑室横脈の基部にあるものは黒色、縁紋綠色、脚綠色、跗節褐色。開張八分。これは本邦



に普通なる種類にして、好蟲その他の小蟲を捕食すること少なからず。

分布 北海道、本州、四國、朝鮮。

ツボシクサカゲロフ (三四)

*Chrysopa cognata* M.L.

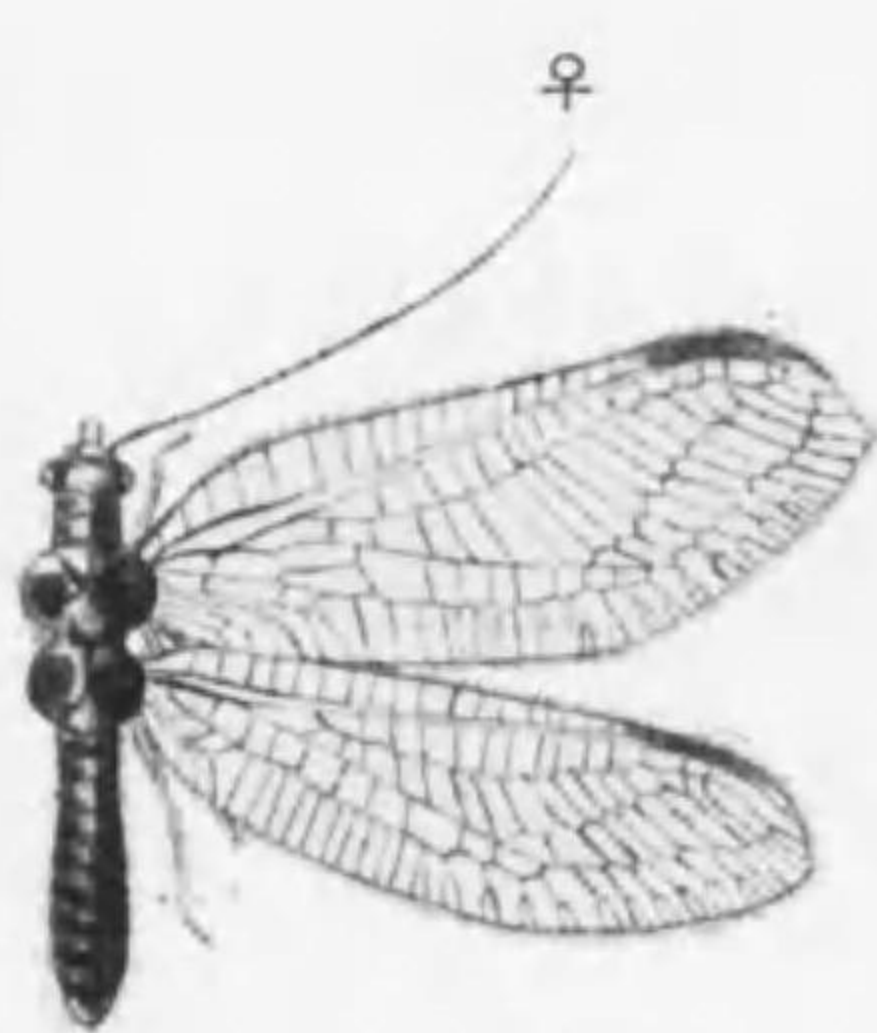
體は綠色(標本黄緑)。胸背の中央に黄色の一縦條を具ふ。

觸角は黄色、末端少しく灰色を帯ぶ。顔に四黒紋ありて、二個は觸角の直下、他は額片の兩側にあり。翅は透明、縁紋は淡緑褐、脈は綠色、翅底及び前縁の横脈に黒色なるもの多し、脈上に黒褐毛あり。脚は黄緑、跗節は淡黄褐。開張一寸四分内外。これは何れの地方にも普通なり。  
分布 北海道、本州、九州、臺灣。



*Nothochrysa japonica* M.L.

頭黄褐。觸角太く、黒色、基部の二節は黄褐。前胸背赤色、中央に太き黄白の一條を具へ、中



概ね黄色、縁紋は不透明。腹部黒褐、各節の兩縁は黄白、腹端は黄色。脚暗黄、跗節端に黒紋あり。開張一寸二分。本州中部以西に産するも多からず。  
分布 本州、四國、九州、臺灣。

タイワンセアカカサカゲロフ (三六)

*Nothochrysa n. hilde Kuway.*

體は淡赤褐。觸角は黄色、外側の下半部は黒色。胸背の中央は黄色。腹面は黒褐、生殖節は

黄色。翅は透明、縦脈は綠色、横脈は黒色、但し後翅の横脈は綠色、縁紋は赤褐、前翅底にある横脈兩側の黒褐なるもの多し。脚は黄色、前中兩節の外側に一黒條を装ふ。開張一寸七分内外。これは七月中旬バイバラにて捕獲せられたり。  
分布 臺灣。



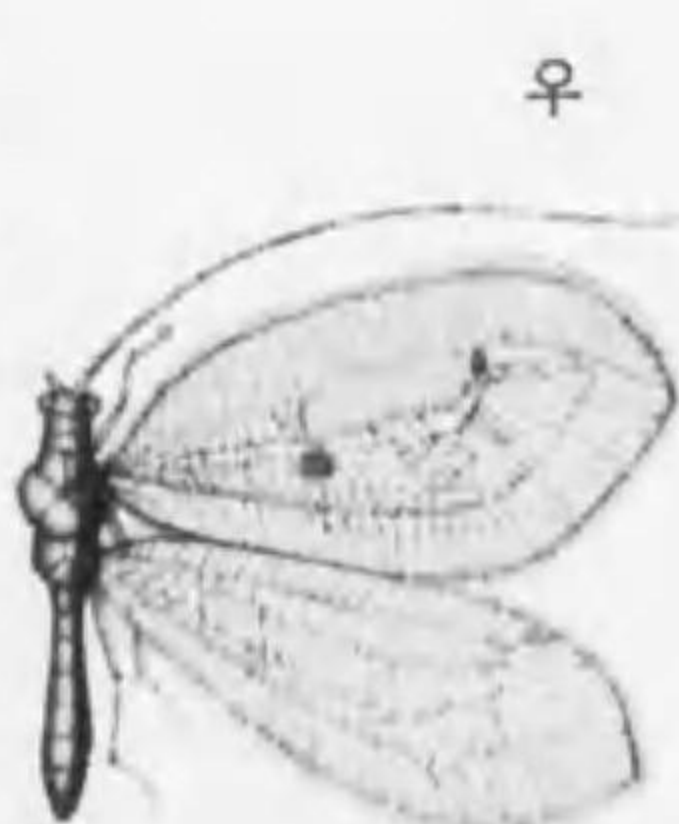
ハ 網蜻蛉科 *Apocheilichneumonidae*

體は纖細、淡黄。觸角は鞭狀、前翅より長し。單眼を缺く。翅は比較的大きく、亞前縁脈と徑脈並に中脈と中分脈とはその距離狭く、長く平行す、翅の中央には横脈多く、龜甲様の網目狀をなす、翅脈は多く淡黄。本邦に産するもの一種あり。

アミカゲロフ (三七)

*Nucania matsumurae* Okamoto

體淡黄緑、細長。觸角黄褐、長大なる基節の外側は紫褐。兩頬に紫褐點あり。前胸の兩側に腹側は赤紫色。翅透明、翅脈は淡黄緑、中央部に網目脈あり、前翅中央並に縁紋直下に黒褐紋を具ふ。開張一寸四分内外。鹿兒島及び箕面地方に産するも稀なり。  
分布 本州、九州。



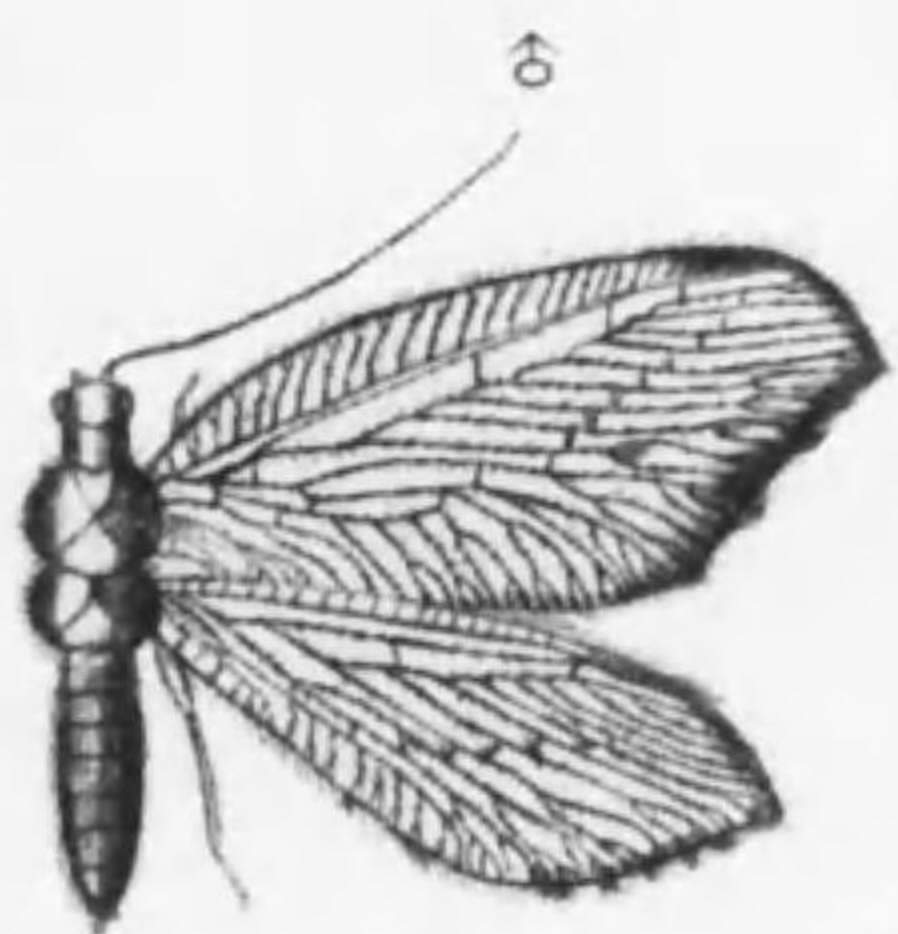


九 毛蜻蛉科 *Berothidae*

體翅共に細毛多く、特に翅縁並に脈上にあるものは長し、往々種子様の鱗毛を具へ、普通、兩翅共に亞前縁脈と徑脈(第一徑脈)とは先方に於て相合せり、若し合せざる場合には亞前縁脈の先方消失す。本邦に産するもの二種あり。

ヲカモトケカゲロフ *Acroberotha okamotoi* Nak. (三八)

頭は暗色。胸及び腹は暗褐。胸背の中央に暗黄色の一縱條あり、體には暗黄色の短毛を密生す。觸角黄色。兩翅共その翅端尖り、外縁斜れたる



の觀を呈す。翅は透明にして、翅脈黄色なるもこれに暗褐點を點在す、縁紋暗赤色、外縁

少しく褐色を帯び、縁毛黄色。全面に短毛多し。開張八分。これは稀なり。

分布 本州、九州。

一〇 絹蜻蛉科 *Psychopsideae*

觸角短かく、稍々連鎖狀を呈す。前翅の前縁は頗る廣く、副前縁脈、徑脈及び徑分脈は稍々平行し、太き縱脈となり、長き長方形を現はす、周圍に並列する平行脈の多くは分支す。濠洲にありてはこの屬の幼蟲は樹皮下に住し、長き鎌狀の大腮を具へ、齒を缺き、前胸は頸狀に延長し、食肉性なりと云ふ。本邦に産するもの唯だ一種あり。

タイワンキヌハカゲロフ *Psychopsis (Orientalopsis) formosana* Kuway. (三九)

雄、體は灰黄。觸角は淡色。後胸背の兩側紋及び腹側條は黑色。翅は稍々透明、灰白を帯び、前翅の斑紋は暗色、尤も中央の分叉せる部分は黒褐にして、光澤あり。後翅には斑紋を缺く、



脚は淡黄。開張一寸四分。これは八月上旬臺灣にて捕獲せられたるが稀なり。

分布 臺灣。

一一 廣蜻蛉科 *Onychidae*

觸角連鎖狀。三個の單眼あり。前胸は細長。翅は大、横脈多く、中央にて網狀を呈するもの多し、亞前縁脈と徑脈とは先端にて相結合す。幼蟲は水邊に近き石下又は蘚苔間に住し、小蟲を捕食す。本邦に産するもの十三種あり。

ナミヒロカゲロフ *Eosomyia harnandinus* Nav. (四〇)

體淡黄、黒紋を裝ふ。頭頂の中央黑色、其周圍及び三個の單眼は黄色。顔にも黒紋あり。觸角



黄色。前胸中央の紋條は黑色。中胸に十個内外

ヤマトヒロカゲロフ *Onomyia japonicus* Okum. (四一)

雌





體は黃色乃至淡黃褐色、紋條は黒色。頭に紋斑を  
缺き、額片及び上唇は暗褐色。觸角の基部は暗  
褐色。前胸背に四黒點を具へ、中胸背に細き一黒  
帶あり、長黄毛を被ひ、これに黒毛を混す。翅  
は透明、縦脈は黄色、白點多し、前縁脈及び徑  
脈に五六個の黒線あり、横脈は黒色。前翅の外  
半に二黒點を具へ、翅底三分の一の後縁に黒紋  
ありて、その中に二横脈あり。開張一寸二分  
半。これは多からず。

分布 本州、九州。

カスリヒロカゲロフ

(四二)



*Osmylus nipponensis* Okam.

翅は透明、緑色若くは赤色を現はす、縦脈は主  
として黄色、黒斑を被ふ、縁紋は白色、不透  
明、亞前縁脈及び徑脈に四、五個の短線を被ひ  
横脈は黒色、但し前縁脈に黄紋を具へ、前翅の  
亞前縁室には約十個の黒紋あり。頭頂にはW  
字形、觸角間にはY字形の黒紋を具へ、兩者相  
絡連す。前頭には卵形の黒紋あり。觸角は黄  
色、黒紋を被ふ。胸は黒色と黄色相半す。脚は  
淡黄色。開張一寸二分。これは九州地方に産す  
るも少なし。

分布 九州。

ウンモンヒロカゲロフ

(四三)

*Osmylus tessellatus* Mtl.

頭は黄色、黒紋を具へ、觸角間に二縦條あり。  
觸角は暗褐色、基部は黄色。胸部は  
黄褐色、前胸の兩側に暗褐色條あり。腹部は暗  
褐色、生殖節の末端は黄色。翅は  
透明、前翅の全面に暗褐色紋を散在し、縁紋及び



脈の一部は灰白、後翅の縁紋は灰白、二暗色紋  
あり。脚は灰黄。開張一寸六分一寸八分。こ  
れは何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、九州。

ツマモンヒロカゲロフ

(四四)

*Plethosmylus (Osmylus) decoratus*

Nak.

體は黄色乃至暗黄褐色。觸角暗色。前胸背の兩側  
に黒條あり、中後胸背は栗毛、暗黄の部分あ  
り。腹部は暗  
黄、毛端は淡  
色。翅は透明、  
脈は暗色、灰白  
部あり、縁紋は  
灰白、前翅端の  
一紋、後半の  
五、六紋並に後  
翅に沿へる紋列は暗色。後翅に暗色紋を缺き、  
縁紋の處に暗色の二紋あり。脚は淡黄。開張一  
寸七分。これは何れの地方にも稀ならず。

分布 北海道、本州、九州。

スカシヒロカゲロフ

(四五)



## 二 水蜻蛉科 Zygoptera

分布 本州、九州。

*Plethosmylus (Osmylus) hyalinatus*  
Mtl.

頭は黄色、胸腹は黒褐色。腹端は黄色。

♀



色は脚  
淡黄色  
これに  
同色毛  
を密生  
す。翅  
は透  
明、少  
しく灰  
褐色を  
帯び、

翅端は尖る、脈の大部は黒褐色、亞前縁脈並に徑  
脈は黄色、前翅端の斜帯及び前翅外縁に點在す  
る小紋は淡褐色、縁紋は灰黄。開張一寸五分。  
これは比較的普通の種類なり。

分布 北海道、本州、四國。

ニツクワウミツカゲロフ

(四六)

*Sisyra nigrivittata* Nav.

脈翅目中小形の種類にして、兩翅、亞前縁脈と  
第一經脈とは先方に於て合するか又は横脈によ  
りて相結合し、殆ど横脈を缺き、前翅の徑分脈  
は三乃至四分脈を有す。幼蟲は概ね水棲なり。  
本邦に産するもの三種あり。

♀



頭部黒  
褐色。胸  
腹は黄  
褐色。觸  
角は黒  
色。體  
には黄  
褐色を  
密生  
す。翅  
は透明

淡褐色を帯び、脈及び縁紋は淡褐色、後者は不透  
明、横脈少なし。脚淡黄色。開張三分。本科の  
中にては小形種なり。本邦にては水邊に稀なら



### 一三 駱駝蟲科 Rhaphidiidae

頭は長く、恰も駱駝の如く、これを上方に舉ぐ。複眼間に三個の單眼を裝ふ。大鰓は前方に向く。翅脈は少なく、縁紋を裝ふ。雌は尾端に長形の産卵管を有す。幼蟲は細形、三双の脚を具へ、頭及び胸部は堅牢、他は軟弱にして、後方に至るに従ひ更に細まる、多くは枯木の皮下に住し、自在に前後に歩行す。蛹は同じく皮下にありて、自在に歩行す。成蟲も食肉性なり。本邦に産するもの二種あり。

附言—目下この科を獨立せる目となし、駱駝蟲目 (Rhaphidiina) として取扱ふ學者あり。

ナミラクダ (ムシ) (ラクダムシ)……………(四七)

*Inocellia crassicornis* Schum.

體黑色。觸角、上唇及び大鰓は褐色、翅は透明、粗なる網脈狀を具へ、縁紋は褐色。腹部黑色、各節の後縁は黄色、産卵管は黄褐色。脚黄色。開張九分内外。本邦には稀なり。



らざる種類なり。多く樹斗科植物の葉上若くは樹幹に捕へ得べし。  
分布—樺太、本州、四國、九州、朝鮮、西比利亞、歐洲。

### 一四 泥蜻蛉科 Stenobothridae

單眼を缺く。前胸は頭部より幅廣く、長さは短かし。觸角は絲狀、前翅の三分の二長。第四跗節は二葉に分る。幼蟲は水中に住し、初めの七腹節に關節ある絲狀突起ありて、これにて空氣を呼吸す、尾端に突起ありて、其基部の背上に肛門を開口す。食肉性にして、暗んで搖蚊の幼蟲を捕食す。本邦學名を有するもの四種あり。

附言—目下泥蜻蛉科と蛇蜻蛉科とを合して巨翅目 (Megaloptera) を獨立せしむる學者あり。

エゾセンブリ (センブリ)……………(四八)

*Stenobothrus sibiricus* M.L.



體黑色。頭に褐色紋を裝ふ。觸角は太く、黒毛を密生す。翅は半透明、暗色、翅脈暗褐色。腹部及び脚は黑色。開張一寸一分内外。この種は札幌近傍の池沼に多く五月中旬翅を屋斜狀に疊み、草、莎草の葉上又は木柵に靜止するものを見る。

分布—樺太、千島、北海道、朝鮮、西比利亞。

### 一五 蛇蜻蛉科 Corydalidae

單眼は三個あり。觸角は鋸齒狀若くは櫛齒狀、翅の半ばに達せず。頭は大にして、單眼を具へ、幅は胸部よりも遙に廣く、長さは約同長なり。第四跗節は二葉に分離せず。幼蟲は初めの八節に絲狀突起を具へ、これによりて空氣を呼吸す。尾端には有節の二尾狀突起ありて、その間に二双の鈎狀附屬器あり。本邦學名を有するもの十種あり。幼蟲は食肉性なり。

テウセンヘビトンボ……………(四九)

*Neochauliodes koreanus* Weale

雄、體は灰黄褐色。觸角は黒褐色、櫛齒狀。單眼は灰白、半部は黑色。腹部は黒褐色、生殖節の下附器は稍々瓢箪形を呈し、上附器は稍々四角形にして、大。翅は半透明、灰白、斑紋は暗色。跗節及び脛節は褐色。開張二寸内外。これは七月中旬朝鮮に稀ならず。



朝鮮

モンヘビトンボ……………(五〇)

*Neochauliodes zinnensis* W.L.

雄、體は淡黄褐色。觸角は黒褐色、櫛齒は灰褐色。單眼灰白、基部黑色。中胸背の各側に黒褐色紋あり。腹部は栗色、生殖節の下附器は黄色、稍々メリヂオナーリス形。

*N. meridionalis* Weale



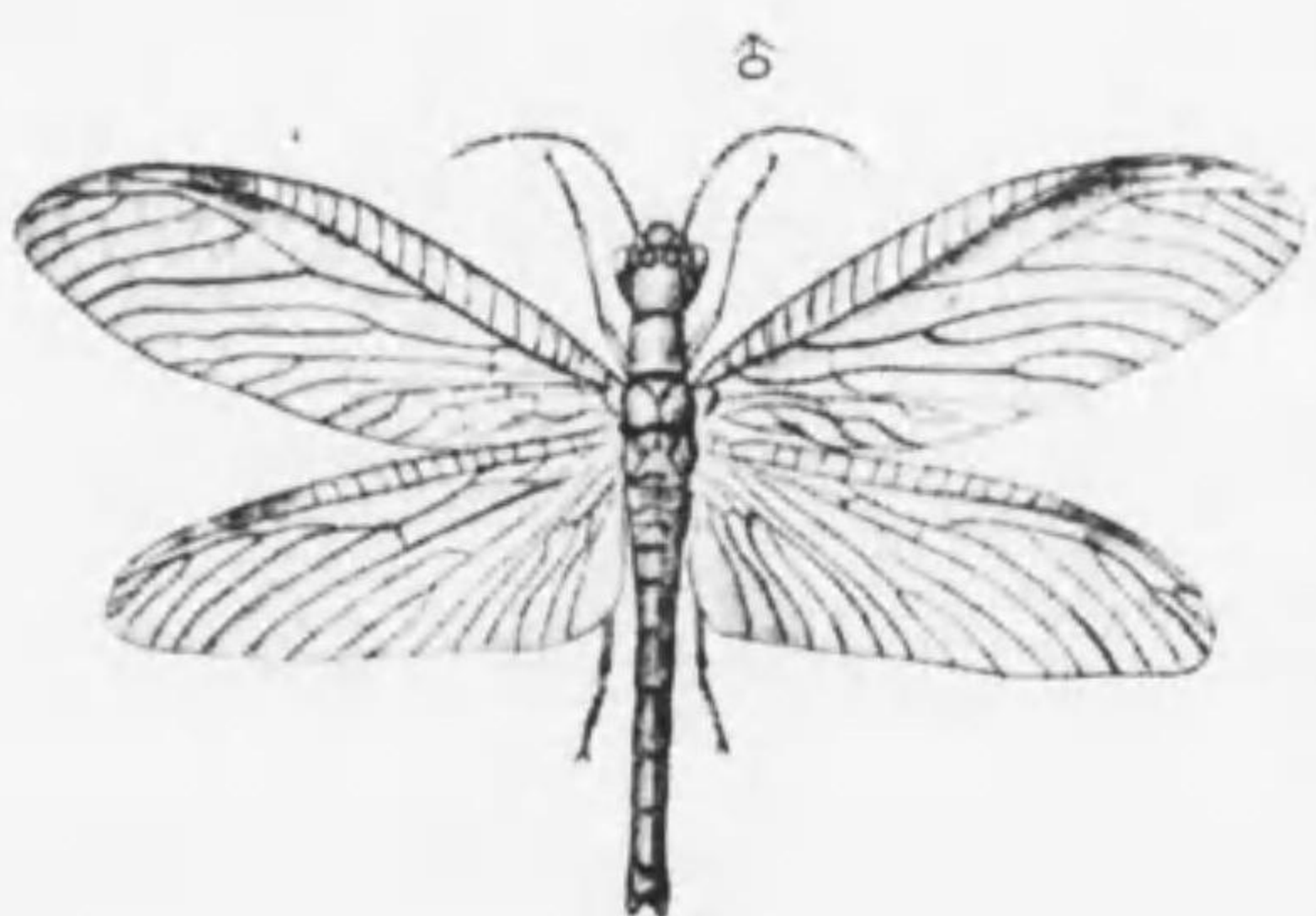
三角形、中央に縱溝を具へ、上附器の兩側に圓形の一突起あり。翅は半透明、灰白を帯び、斑紋は暗色、前翅底に斑紋を有するも、後翅にはこれを缺く。脚は黄褐色なるも、前肢の脛節及び跗節は栗色。開張二寸二分内外。これは四月臺灣

に少なからず。  
分布—臺灣、支那。

クロスチヘビトンボ……………(五一)

*Parachauliodes japonicus* M.L.

體は暗色。頭頂黄色、各側に黑色の一縱條あり。





り。翅は半透明、暗色紋を散在す。翅脈は暗褐、前縁に十四、五個の横脈あり。觸角の櫛齒状なること及び翅脈の粗なることによりてヘビトンボと區別せらる。開張三寸四寸四分。これは北海道には産せざれども、中國地方には稀ならず。

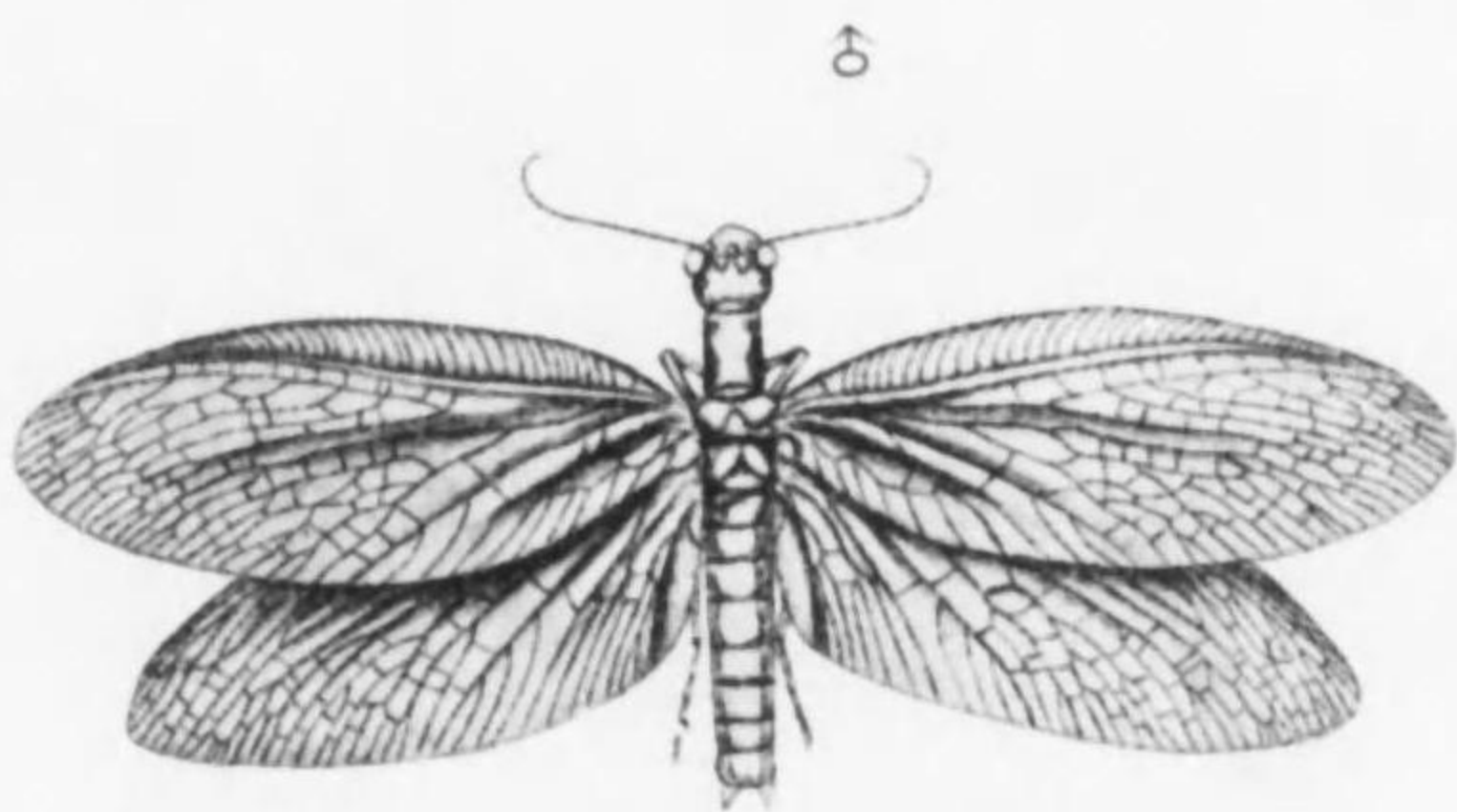
分布 本州。

ナシヘビトンボ(ヘビトンボ)……………(五二)

*Protolermes grandis Thunb.*

體暗黄。頭の兩側に黒褐紋を装ふ。觸角は黒色、基節黄色。前胸に太き黒縱條あり。翅は淡き暗色、脈は暗褐、黄色を混ず。前翅には普通三、四個の黄紋を装ふ。腹部黄褐。脚黄色、跗節の大部分は暗色、雌にては脛節の大半暗色。開張三寸二分—三寸九分。通常河畔の葉上に靜止し、又は飛翔するものあるを見る。幼蟲は河中にあつて小蟲を食す、俗にこれをマゴタロウムシと稱し、坊間に販ぐ。

分布 北海道、本州。



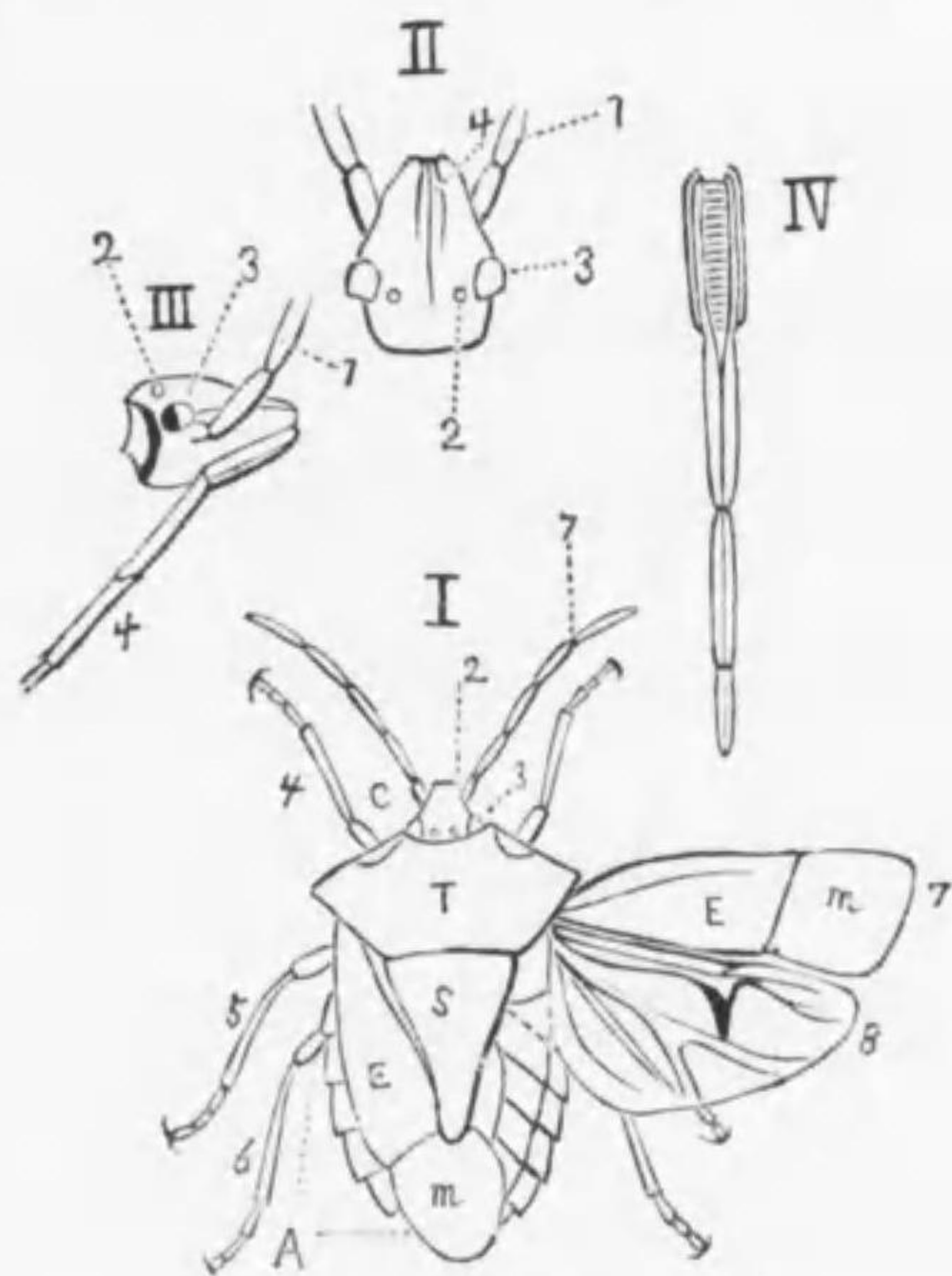
第一〇 有 吻 目 RHYNCHOTA



第一〇 有吻目

Klyuchevskaya

口は口吻狀にして、普通關節を有し、吸  
收及び製蝨に適す。二双の翅は同形若く  
は不等にして、又全くこれを缺くものあ  
り。前胸は自在に動き、稀にその癒着す  
るものあり。一名之れを半翅目 (Hemiptera) と云ふ。變態は不完全なれども、  
介殼蟲の雄の如く稀に完變態をなすもの  
あり。この目には陸棲と水棲との二類あ  
り。大部は植物の液汁を吸収し、農林業  
者に有害なれども、又害蟲を捕食して有  
益なるものもあり。本邦學名を有するもの約千種あり。



*Carpocoris pudicus* Poda

[IV]	[III]	[II]												[I]
(4)	(4)	(m)(L)	(A)	(T)	(S)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
口吻を廓大せるもの	頭部の側面	頭部の背面	膜質部	半翅部	腹背狀	前胸部	後翅	前後肢	中肢	前肢	複眼	單眼	觸角	背面

椿象科 *Pentatomidae*

觸角は五節（稀に四節なることあり）、頭の下方より起り、絲狀をなす。二個の單眼あり。口吻は四節、第二節は最長。稜狀部大にして、短かく、腹部の半若くは半以上に達す。體は圓形若くは長橢圓形なり。何れも一種固有の臭液を分泌す。其大部は植物の液汁を吸収して農林業に有害なれども、又時に太き口吻を装ひ、フナムシ蛭蛉、シイロムシ鳥蠅等を捕食して、有益なるものもあり。本邦學名を有するもの百數十種あり。これは長形の口吻を有するを以てこの名あり。時に龜に似たる形態を有するを以て龜蟲の名あり。

セアカツノガメ……………(一)

*Acanthosoma denticulata* Tak.



下及び脚  
は黄色。  
觸角は第  
二節を除  
き暗褐な  
るものあ  
り。前胸

オホツノガメ……………(三)

背の角狀突端は暗色。稜狀部は赤褐、末端は黄色。半翅鞘前縁の基部は黄色。腹背は赤色、兩側は黄色、後縁は細く黒色、尾節は赤色。雄にては八字形の突起を装ふ。體長五分—六分。これは餘り多からず。

**分布**—北海道、本州、四國、九州、印度。



各腹節の後縁は細く黒色、尾節は赤色。腿節は兩端を除き暗褐、脛節の末端及び跗節は暗色を帯ぶ。體長六分内外。これも餘り多からず。

分布——本州（京都）。

ハサミガメ……………(三)

*Acanthosoma liliifoliosides* Jik.



體は綠色。觸角黃褐、第三節の末端は黑褐。前胸背の兩側突起は紅色。稜狀部の末端は細し。膜質部は暗褐。雄は尾端に鍊子様の紅色附屬物を有す。體長五分八厘内外。これは札幌地方のツタウルシに普通なり。

分布——北海道、アムール。

六

ツノアカガメ (四)

體は黃色。觸角は黑色、第一節の内側及び第二節の基部は灰黃。前胸背の角狀突起は紅色。



半翅鞘の  
末端は緑  
色、内片  
及び基部  
は黄褐、  
前縁は黄



色、膜質部は黄褐色、尾端の腹側は赤色。雄の尾端は短き鉋状をなす。跗節は暗色。體長五分五厘。これは稀なるが如し。  
分布—北海道。

ヨコツナチガメ (ヨコツナガイタ).....(五)

*Aletris magna* Uhl.

體は光澤ある黒色。觸角は四節、第三及び第四節の基部は細く有柄、第三及び第四節は黄褐色。膜質部は黄褐色、縦脈は判然せり。體長六分五厘七分。これは本州に産するも、稀なるが如し。  
分布—本州(東京、臺灣、支那、印度)。



雌

ウツラガメ.....(六)

*Aelia helvetic* Scott



體は黄色。頭長く、象鼻狀に少しく下方に曲る、縦脈は灰褐色。體長三分—三分三

厘。これは稻の害蟲にして、房州館山地方には普通なり。  
分布—本州、四國、九州。

イネガメ.....(七)

*Auraria asinulans* Dist.

體は灰黄乃至黄褐色、褐色の點刻を密布す。觸角は黄赤、末端に暗色の部分あり。前胸背の前方に二黒紋を具へ、後脚部の基部に四黒紋を裝ふ。前胸背及び後脚部に黄色の縦脈を縱走し、半翅鞘の兩側は黄白。跗節は褐色。體長四分三厘内外。これは稻の害蟲なれども、北國には産せざるが如し。  
分布—本州、四國、九州。



♂

シロヘリガメ.....(八)

*Aenaria lewini* Scott

體は灰色若くは灰黄色、黒點刻多し。觸角は黒色、基部の二節は黄色。前翅の前縁は白色若くは黄白色、その内縁に細き黒線あり。體長四分

ウシガメ.....(九)

*Alcinocoris borealis* Dist.

體は暗色。觸角の基部は黄色。頭頂の一紋、複眼間の一紋、中央の二縦條、前胸背の前縁、兩側、中央の二紋及び縦條并に後脚部の基部の二紋は淡黄褐色。脚は黄褐色、腿節は末端を除き暗色。體長二分八厘。これは稀なるが如し。  
分布—本州、沖縄。



♀

イシダクチフトガメ.....(一〇)

*Andallus spinulosus* F.

體は黄褐色。觸角黄色、暗褐色の斑紋あり。前胸背の突起は黒色、その後縁に一黒齒あり。前翅の前縁及び後脚部の末端は黄白。脚は黄色。體長四分五厘内外。これは蜚蠊を捕



♀

第一〇 有吻目

食す。口吻は太し。臺灣に産すれど、餘り多からず。  
分布—臺灣、支那、印度。

アカクチフトガメ.....(一一)

*Asopus malabaricus* F.

體は朱色。頭の後縁の一紋、前胸背の三紋及び後脚部の二紋は黒色。膜質部は暗色。腹部は黄色。體長四分五厘内外。これは他蟲を以て食とす。口吻は太し。臺灣甘蔗園



♀

に稀ならず。  
分布—臺灣、支那、比島、印度。

ツマキクロガメ.....(一二)

*Aspongo-pus chinensis* Dall.



分布—本州、四國、九州。

五厘内外。これは禾本科植物の害蟲なり。これは餘り多からざるが如し。

アヤナミガメ.....(九)

*Agonoscelis mullia* F.

體は淡黄褐色。觸角、頭頂の四縦條、前胸背の後縁、後脚部の末端に近き兩側の一紋、半翅鞘の九紋等は黒色。前胸背及び後脚部中央の一縦條は黄色。脚の斑紋は黒色。體長三分五厘—四分。これは中國地方に普通なり。  
分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。



♀

體は黒褐色。觸角の末端は橙黄色、その基部は黒色。半翅鞘は少しく紫色を帯び、膜質部は淡色。體下及び脚は黒色。體長七分内外。これは臺灣に普通なり。  
分布—沖縄、支那、印度。

ハナダカガメ.....(一四)

*Ischnocoris reticulata* Dall.

體は暗灰色。觸角及び口吻は赤褐色。前者は細く、後者は基部にて黄色を呈す。後脚部の兩側に各一個の黄白點を具へ、中央に淡色の一縦條を裝ふ。全面にある黒褐色の網狀紋は餘り判然せず。膜質部は灰白。腹部の兩側は灰黄、黒紋あり。脚は黒色、跗節は赤褐色。體長一分八厘内外。  
分布—本州、四國、九州。



分布—本州、四國、九州。

ツヤマルガメ.....(一五)

*Braclhyplytus subaeuensis* West.



體は光澤ある黒色、少しく紫藍色を帯ぶ。觸角及び脚は黄褐色、前中兩胸背の兩側及び後脚部の周圍は黄褐色。腹面の兩

一一七七



側は黄色。體長一分七厘。これは臺灣に産すれども、稀なるが如し。

分布 臺灣、支那、馬來、印度。

ミヤコキンガメ

*Brachynotus miyakonus Mats.*

體上は紫藍色、體下金緑。腹部の接合膜は橙黄色。基節、轉節、腿節は淡黄褐色。觸角は黒褐色、第一節の基部は黄色。稜狀部に四個の黒紋あり。體長四分。これは沖縄宮古島に産す。



分布 沖縄(宮古島)。

ナナホシキンガメ

*Calphidia exellatus Burm.*

體は金緑色、斑紋は黒色。觸角は黒色。前翅の前縁は黒藍色。脚は赤褐色、腿節の末端及び附節は黒藍色、附節は黒色。體長六分六厘五厘。



分布 臺灣、支那、馬來、印度。

これは沖縄に稀ならず。

分布 沖縄、臺灣、支那、印度。

アカギガメ

*Cantao oculatus Thunb.*

體は黄褐色。後頭の中央にある縦條、頭の下面、觸角の基部、胸下、脛節、後腿節及び腹面は暗緑色。觸角、前胸背の前縁、同八紋等は黒色。脚は黄褐色。體長八分内外。これはアカギの害蟲なり。臺灣に普通なり。



分布 沖縄、臺灣、支那、印度。

キシモフリガメ

*Cantocnitha furellata Wolf.*

體は淡黄褐色、暗褐色の點刻を密布す。觸角は黄褐色、第三、四、五節の末端は暗褐色。頭頂の縦條は黒色。稜狀部の基部に三個の黄白紋あり。膜質部は黒色、末端は透明、これに黒紋あり。腿節の末端及び脛節の兩端は黒色。體長四分五厘。



分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

♀

分布 臺灣、支那、印度。

タイワンキンガメ

*Chrysocoris formosana Mats.*

體は緑色、斑紋は黒色。後頭は黒藍色。觸角は黒色、基部の二節は金緑色。頭下及び胸面は緑色。脚及び腹面は金緑色、後者の兩側は紫色。附節は黒色。體長三分五厘。これは阿里山にて採集せるが、稀なるが如し。

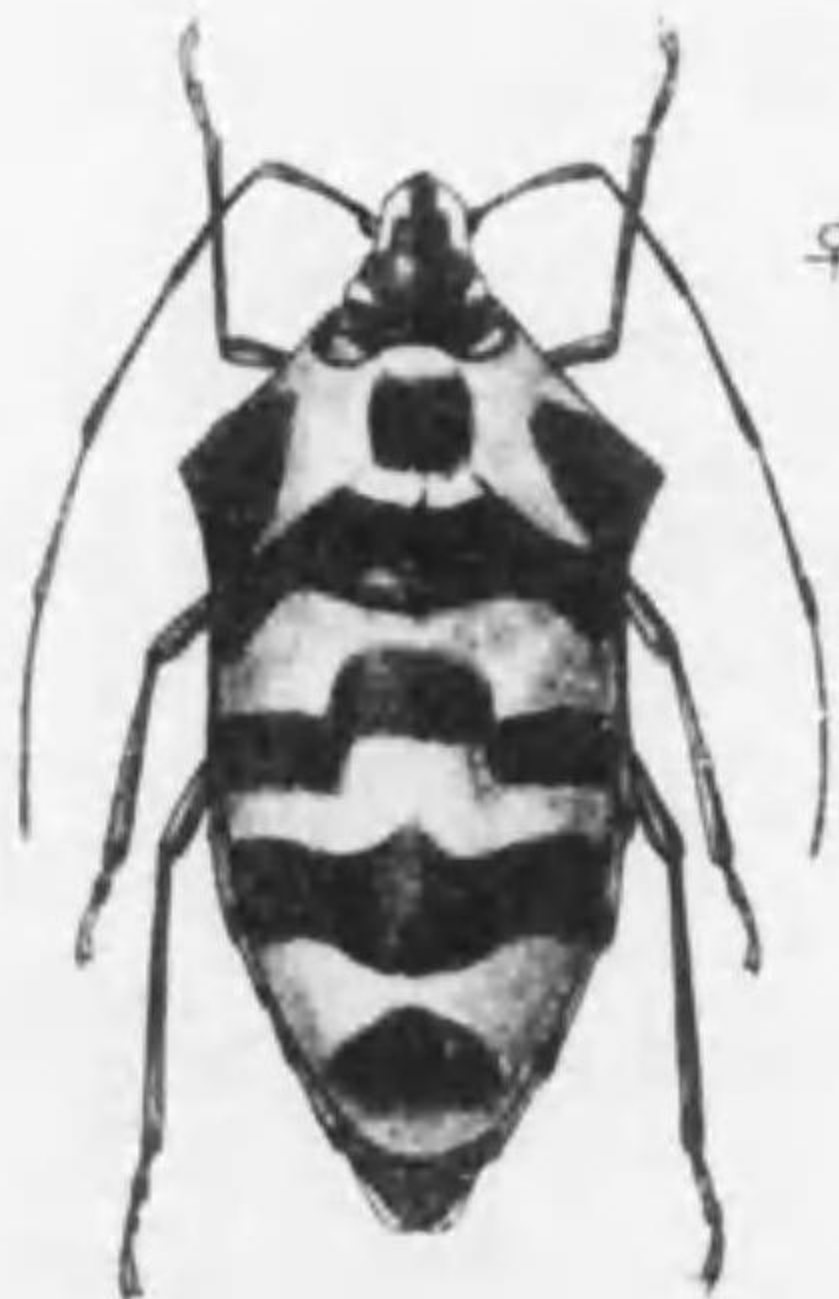


分布 臺灣(阿里山)。

♀

オホキンガメ

♀



ヨツボシガメ

*Chrysocoris fuscipennis Boh.*

體は黄褐色乃至赤黄。ムラサキガメに酷似すれども、その異なる所は、前胸背にある突起は稍々圓く、暗色を帯び、前縁に近く二乃至四個の黄



點を横列するにあり。體長四分四分五厘。これは華樹の果液を吸収す。東北地方に多し。

分布 北海道、本州、歐洲。

附言 これをムラサキガメの變種となすものあり。

ムラサキガメ

*Carpocoris pumilus Poeh.*

體は黄褐色乃至赤黄、少しく紫色を帯ぶ。觸角は黒色、第一節は赤黄。前胸の前縁に短かき四黒縦條あり。稜狀部の末端は黄色。體長四分八厘内外。これはネギ、ニンジン等の害蟲にして、何れの地方にも普通なり。



なるが如し。

阿弗利加、メキシコ。



内外。これは蝱蝨を食し有益なり。口吻は太し。

分布 臺灣、馬來、印度。

トゲガメ

*Carbula lunerigera Th.*

體は黒褐色、少しく藍色を帯ぶ。觸角は暗黄、第四及び第五節の基部は黒色、第五節の基部は黄白。前胸背の兩側は白色。稜狀部の末端は白色。脚は淡黄、黒點を散在し、脛節端及び附節の基部は黒褐色。これはノヂリウギクに普通なり。體長二分五厘内外。



分布 日本全土。



*Chrysocoris granulata* Thunb.

體は橙赤色、黒紫紋あり。觸角、脚、胸下及び腹部の大部は黒色。腹部の中央に近き二紋并に尾端は紅色。體長七分乃至八分。これはクチナシ、センダン等に有害なるが、その数は餘り多からず。

分布—日本全土、臺灣、支那、印度。

ルリボシキンカメ

*Chrysocoris mollis* Woll.

體上は金緑色、斑紋は黒藍色、體下にては暗黄。觸角は黒色、基節の半部は黄白。尾端及び前翅の前縁は黒藍色。胸側紋及び氣門線は金緑色。胸片は黒色。胸面及び腹面の兩側は赤紫色。脚は黄色、前中兩腿節の縱條、後腿節の末端并に全腿節は金緑色、跗節は黒色。體長五分内外。これは臺灣恒春地方に稀ならず。

♀



分布—臺灣、支那、印度。

印度。

ヒメマルカメ

(二七)

*Coptosoma bipunctatum* Motsch.

體は黒色。觸角黄色、末端の二節は黒褐。稜狀部の基部に二個の黄紋あり。體長八厘内外。これは主として大小豆及び萩に寄生するものなるが、時に草の見えぬ程、群集することあり。



分布—日本全土。

キボシヒメマルカメ

*Coptosoma japonicum* Mats.

これはヒメマルカメに酷似すれども、その異なる所は、觸角は全部黄色、前胸背の前縁に近く黄色の四紋を具へ、その兩側に同色の一縱條あり。稜狀部の周圍は(基部を除き)黄色。脚は黄色、基節、轉節及び腿節(末端を除き)は黄褐。體長九厘。これは東京地方に普通なり。前種同様に荳科植物に寄生す。



分布—本州(東京)。

マルカメ

*Coptosoma punctissimum* Mont.

體は黄褐乃至黒褐、黒點を密布す。觸角は黄

色。稜狀部は腹部を被ひ、稍稍四角形をなす。脚は黄色。體長一分五厘内外。これは大小豆の害蟲にして、これも時に大害を加ふることあり。



分布—本州、四國、九州。

カホチャシラホシカメ

*Cyclopelta jayra* Diet.

體は褐色。觸角の末端は黄色。前胸背に粗大の横皺多し。腹側に黄色の五紋あり。體長六分内外。これは臺灣にありて南瓜及び西瓜に大害を加ふることあり。未だ本州に發見せられず。



分布—臺灣、支那、馬來、印度。

コクロチカメ(コクロガイタ)

*Cydnius nigrinus* F.

體は黒色、少しく褐色を帯ぶ。頭に赤褐の長毛を粗生す。半翅鞘は黒褐、膜質部は暗黄。跗節は黄色。體長二分



(三一)

二分五厘。これは石下その他倒木下に發見せらるゝが、その食物は判然せず。

分布—日本全土、支那、印度、歐洲。

アラクチフトカメ

*Dinorhynchus dybowskyi* Jak.

體は金緑色、體下及び脚は灰黄。觸角は暗褐、第一節の基部は黄褐、同節の末端は細く黄白、第二及び第三節の接合部は黄褐。膜質部は灰黄、半透明。接合膜は黄色、各節の前後兩縁は黒藍色。口吻は灰黄にして、太し。體長七分

♀



七分五厘。これは東京中野地方に多く、粘着を捕食す

るが故に有益なり。

分布—本州(東京)、西比利亞。

フチヒゲカメ

*Dolycoris lacustrum* L.

(三)

第一〇有吻目

體は灰褐、少しく紫色を帯ぶ。觸角は黒色、各節の基部及び第一節は黄色。腹部の兩側は黒色と黄色との斑をなす。體長四分五厘内外。これはネギ、ゴマ、ゴバウ等の害蟲にして、何れの地方にも普通なり。

♂



分布—日本全土、朝鮮、滿洲、支那、西比利亞、印度、歐洲。

ベニモンカメ

*Elaenostelus matsunuriae* Horv.

體は黄緑。觸角は黄色、末端の二節は黒褐、但し第五節の基部は黄色。前胸背の前縁に黄色の一横條を具へ、稜狀部の末端は細く、基部の中央に淡紅の大紋あり。半翅鞘の後縁及び外縁は



後縁及び外縁は

淡紅色、膜質部に一褐紋あり。雄の尾端の兩側は紅色。體長三分二厘内外。これはイタヤ、ニレに普通なる種類にして、晩秋家屋に飛來す。これその越年の爲めなるべし。

分布—北海道(札幌)。

ホシムラサキカメ

*Epichelonicus borealis* Diet.

體は黄褐、少しく紫色を帯ぶ。頭頂の兩側は黒縁を具へ、その外側は黄色。觸角、前胸背の兩側、稜狀部の基部にある二點、體下及び脚は黄色。前胸背及び稜狀部の點刻は紫色。稜狀部の中央線は黄色、その兩側に黒紋あり。體長五分

♀



六分五厘。これは臺灣に産すれども稀なるが如し。

分布—臺灣(新社)。

キマダラカメ

*Ertessus fullo* Thunb.

(三六)

體は黒褐、黄色の小紋を散在す。前肢は甚だし



く延長し、脛節は側扁なり。腹部の兩側及び體下の大部は黄色。前翅の膜質部は黒色。脚は黒色にし。



て、黄色紋あり。體長七分内外。これは柑橘、桃、櫻等に寄生し、時に他蟲を捕食するが如し。

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

タイワンナガメ *Eurydema pulchellum* West. (三七)

體は橙黄色、斑紋は緑黒。觸角は黒褐色。頭は黒、前縁は赤黄。前胸背に六紋を具へ、稜狀部の基部に大紋を裝ふ。前翅は緑黒、外片にV字形の二紋を裝ふ。



體下は黄白、緑黒の三紋列あり。脚は緑黒、基部は暗黄。體

長二分七厘。これは九州、沖縄、臺灣等において十字花科植物に有害なり。

ナガメ *Eurydema rugosum* Motsch. (三六)

體は赤色。頭の中央は黒色。觸角及び口吻は褐色。稜狀部に三角形の黒紋を裝ふ。前翅には赤色紋あり。體長二分七厘内外。これは十字花科植物の害蟲にして、時に大害を加ふることあり。



分布 日本全土。

タイワンオホガメ *Eurydema validus* Dali. (三九)

體は栗色。頭頂の二紋、前胸背の前縁及び節狀部の兩側は暗緑。觸角は暗褐色、末節は黄色(基部を除き)。膜質部は褐色、銅色の光澤を帯ぶ。腹側は黒色、各節の基部は黄褐色。胸下に暗緑紋を散在す。體長一寸内外。これは臺灣新社地方に稀ならず。その食草は判然せず。本邦産最大の椿象なり。

分布 臺灣、支那、印度。



チヤイロガメ *Eurydema hauseri* J. (四〇)

體は黄褐色。觸角は黒色、第一節は黄褐色。前胸背に黄色の一縦條あり。稜狀部に黒色の短線を散在す。各腹節の兩側に黒褐色紋あり。脚は黄色、黒点を散在す。體長三分一分五厘。これは麥その他禾本科植物の害蟲にして、中國地方には稀ならず。北海道には産せざるが如し。



分布 本州、四國、九州、歐洲。

マルシラホシガメ *Eysarcoris antiger* Thunb. (四一)

體は暗灰色。觸角黄色、第四、五節の末端は少しく褐色を帯ぶ。頭は黒色、少しく銅色を帯ぶ。稜狀部の兩側に黄白紋ありて、少しく突出す。脚は黄色。體長二分内外。これは臺灣にては桑に寄生す。日本に於ては如何なる植物を害するや不明なり。



分布 本州、四國、九州、臺灣、印度。

レウキスシラホシガメ *Eysarcoris lewisi* Diet. (四三)

體は暗灰色、少しく紫色を帯ぶ。頭は紫黑色、觸角は黄色、黒点を散在し、第四(基部を除き)及び第五節は黒色。稜狀部の基部に一黄白紋あり。膜質部は暗黄。體下は紫黑色。脚は黄色。體長二分四厘。これはウヅに寄生する普通種なり。



分布 日本全土。

クロツマルガメ *Eysarcoris melanophthalmus* F. (四二)

體は黄白。觸角の第四節(基部を除き)及び第五節は黒色。前胸背の前縁にある二紋、稜狀部の基部にある大紋及び末端は紫黑色。稜狀部の基部に黄白の一小紋あり。膜質部は灰白。體下は紫黑色。腹側は黄白、黒紋を列ぬ。體長二分内外。これは東洋に廣く分布する種類なるが、未だ



その食草は判然せず。

分布 北海道、本州。

シラホシガメ *Eysarcoris ventralis* West. (四四)

體は灰黄。頭は黒色、少しく藍色を帯ぶ。觸角は黄色、第三及び第四節は多少暗色を帯ぶ。前胸背の前縁に近き兩側に各一黒紋を具へ、側縁は白色。稜狀部の兩側基部に黄白紋を具へ、末端に近く六個の黒紋を裝ふ。腹面は黒色、兩側は灰白。脚は

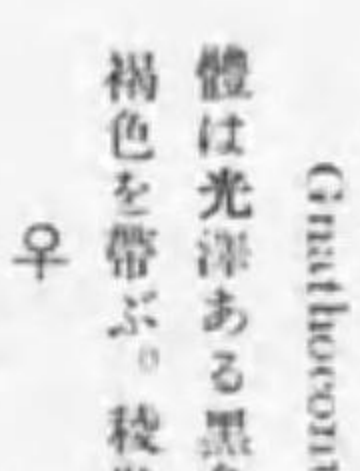


分布 日本全土。

淡黄、跗節は黒褐色。體長一分八厘—二分三厘。これは菊科植物に普通なり。

ミツボシチガメ *Gnathocoris tringitatus* Motsch. (四五)

體は光澤ある黒色、周縁は白色。觸角は少しく褐色を帯ぶ。稜狀部の末端は白色。半翅鞘の中央に近く各一個の小白紋を裝ふ。膜質部は黒色、外縁は淡色。體長一分五厘—二分。これは石下、倒木下に稀ならず。



分布 本州、四國、九州。

エビイロガメ *Gnathocoris affinis* Uh. (四六)

體は暗黄。觸角は赤色、第五節の末端は黒褐色。第一節は黄色、黒点を散在す。半翅鞘は暗赤黄、膜質部は灰白。脚は黄色、脛節及び跗節は赤色を帯ぶ。氣門は黒色。體長五分五厘—六分。これは禾本科植物に普通にして、暗んでススキ





の蜜液を吸収す。  
分布：本州、四國、九州。

アカスチガメ *Graphosoma fulvipes* West. (四七)

體は赤色。頭は二個、前頭は六個、稜状部に四個の黒縦條あり。體長四分



内外。これはネギ、ニンジン、パワフウ、ゴバウ等の害蟲にして、何れ地方にも

多し。

分布：北海道、本州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

クサギガメ *.....* (四八)

*Halyomorpha pleuralis*

體は灰黄若くは灰褐、黄色の稜状紋あり。觸角は赤黄、第三節の末端、第四節の中央及び第五節の大部分は黒褐。前胸背の前後に四個の黄點を列ぬ。體長五分五厘内外。これはクサギ、モモ、ナシ、リンゴ、サクラその他種々の果樹に有害なり。然れども北海道に發見せられず。  
分布：本州、四國、九州、臺灣、支那、馬來、印度。



ギランキンガメ *Lampyris girardinii* Mats. (四九)

♀



體は緑色。觸角は黒色。前胸背の觸角は紫色、前縁の中央、後縁の五縱條は黒色。稜状部は黄褐、

斑紋は黒色。體下及び脚は黄褐。腹背及び腹側は赤紫色。脚は黄褐、腿節の末端は金綠色、脛節は暗褐。體長三分五厘。これは宜蘭にて採集せるものなるが、その食草は未だ不明なり。  
分布：臺灣。

ミヤコキンガメ *Lampyris myakonis* Mats. (五〇)

體は紫綠色。觸角は黒色、基部は黄褐。前胸背及び稜状部の基部は紫藍色。體下は金綠色。腹面の兩側及び脚は黄褐。前胸の側片及び氣門點は紫藍色。脛節は金綠色、趾節は黒色。體長四分内外。これは沖縄宮古島に普通なり。



分布：沖縄。

トホシガメ *Lelia decemmaculata* Motsch. (五一)

♀

體は暗黄。觸角黄色、末端の二節は暗褐。前胸背の中央に四個の褐色紋あり。體下及び脚は黄色。體長七分—七分五厘。これはニレの害蟲にして、晩秋叩網を以て幾等も捕へ得べし。

アカガメ *Menida histrio* F. (五二)

♀



體は朱色。頭は黒色、黄色若くは赤色の三縱條を裝ふ。觸角は淡黄褐、各節の基部は黒色。前胸背後縁の二紋、稜状部の中央紋及び末端の二紋は黒色。前翅は暗黄、前縁及び末端に近き一紋は朱色、末端及び楔狀片は黒色、膜質部は暗黄。體長二分五厘。これは稻の害蟲にして、暗んで花液を吸収するが如



し。  
分布：臺灣、支那、印度。

半翅類は紫色を帯び、膜質部は透明、その前縁の中央に暗色紋あり。腹部の兩側は黄色、黒紋を列ぬ。體長三分—三分五厘。これは札幌地方に稀ならざるも、其食草は未だ判然せず。  
分布：北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

シラホシムラサキガメ *Menida violacea* Motsch. (五三)

♀

體は紫黒色。觸角は黒色。頭、前胸背の前縁、兩側、稜状部の末端、腹背の兩側紋、脚並に體下は黄色。脚に小黒點を密布す。第二腹節より上方に向つて出せる棘刺は黄色。體長三分二厘。これは本州には稀ならざる



も、その食草は判然せず。  
分布：本州、九州、西比利亞。

ノコギリガメ *Megynemum tauriforme* Dist. (五四)

♀



體は黒褐、少しく藍色を帯ぶ。觸角は四節より成り、第四節の末端は橙黄色。膜質部は黄色。趾節は褐色。體長五分。これは九州地方に稀ならず。仙臺地方にも産す。その食草は未だ不明なり。  
分布：本州、四國、九州。

スコットガメ *Menida scotti* Jak. (五五)

♂



體は暗緑、後半は紫褐。頭の中央にある頭頂板の兩側は平行す。觸角は黒色、第三節の末端、第四節の兩端及び第五節の後半は黄白。前胸背の側縁は黄白。稜状部の末端は黄色。

アラクサガメ *Neura antennata* Scott. (五六)

體は緑色。觸角は緑色、第三節の末端、第四、五節の半部は黒色。前胸背の兩側に褐色點を散在



♀



す。體長四分五厘。これはアヲガメに酷似すれども、

その異なる所は、體形は大にして、前胸背に斑紋を欠き、觸角節の異なるにあり。體長四分五厘内外。これも禾本科植物の害蟲なれども、アヲガメの如く多からず。

分布 本州、四國、九州。

アヲガメ

*Nezara viridula* L.

(五七)

體は綠色。觸角に黒色の部分あり。種類によりて前胸に灰白紋を裝ふものあり。體長四分三厘内外。これは禾本科植物の害蟲にして、時に稗に大害を加ふることあり。この



種は殊に小笠原島に多し。

五厘内外。これはニレに有害なり。晩秋の木の幾等も捕獲し得べし。

分布 北海道、本州。

ウスグロクチブトガメ

*Pentatomella rufipes* L.

(六二)

體は暗褐、少しく青銅色を帯び、點刺多し。觸角、口吻、體下及び脚は灰黄。第二觸角節に暗褐紋を散在し、第三及び第四節は基部を除き暗褐。前胸背の兩側に角狀突起ありて、更にその末端に一小齒あり。稜狀部の末端は黄褐。膜質部は灰黄。腹部は黒色と黄色との斑をなす。

♀



體長四分五厘五分。これはニレ、カバの害蟲なり。これは前種の如く多からず。

分布 北海道、本州、朝鮮、歐洲、西比利亞。

クチブトガメ

*Pteronarcys lewisi* Scott

(六三)

體は灰褐。觸角は赤黄、第二、三、四節の末端は

第一〇 有 吻 目

分布 本州、四國、九州、八丈島、小笠原島、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

エゾアヲガメ

*Talonia angulosa* Matsch.

(五八)

♀



體は綠色。觸角は黒色。基部は黄緑。膜質部は

黒褐。體下は淡黄緑、尾端は赤色を帯び、雌にては四突起あり。氣門は黒色。體長四分四厘五分。これは雜草間に稀ならず。嗜んで菊科植物の液汁を吸収するが如し。

分布 北海道、本州。

ベニクチブトガメ

*Parastethia fulgens* Dist.

(五九)

體は朱色、斑紋は黒色。觸角、前胸背の前縁、腹背及び脚は黒色。轉節は少しく赤色を帯ぶ。膜質部は半透明、少しく黄褐を帯ぶ。體長五分五厘。これは太き口吻を有す。而して類似の

黒褐。前胸背の後方兩側に角狀突起ありて、赤黄を呈す。稜狀部基部の兩側紋及び末端は赤黄。各腹節の兩側に各一個の黒褐紋あり。脚は黄赤。

♀



口吻は太し。體長五分五分五厘。これは點刺を捕食す。嘗て樺太にて松點刺の大發生せし際、大に有益なりし一種なり。

分布 樺太、北海道、本州。

ハネナガアヲガメ

*Plautia stali* Scott

(六三)

♀



體は綠色。觸角は黄色、第一、三、四節の末端及び第五節の末端に近き一紋並に前胸背の兩側にある一縱條は黒色。半翅鞘は赤褐、前縁は綠色、膜質部は黄

♀



ものに似ず食草性なり。その數條り多からず。

分布 本州、九州

ツノアヲガメ

*Pentatomella japonicum* Dist.

(六〇)

♀



體は綠色、點刺多し。觸角は赤褐。終りの二節は黄褐。前胸背の角狀突起は截斷狀に終る。脚は褐色、跗節は淡色。體長六分

色を帯び、その基部は淡色。腹側紋は黒色。跗節の末端及び跗節は黄色。體長三分五厘内外。これは禾本科植物の害蟲なるが如し。

分布 本州、九州。

アラホシキンガメ

*Poecilotheris aurata* L.

(六四)

體は黄褐。頭及び觸角の基部は黒藍色、第二、三節は金綠色、第四、五節は黒色。前胸背の前縁及び兩側は紫色を帯び、稜狀部に十三個の金線紋ありて、四列をなす。腹背の兩側、頭下、胸面は金綠色。腹面及び脚は黄褐。腿節、脛節及び跗節は紫色

♀



を帯ぶ。體長六分。これは臺灣に産すれども、稀なるが如し。

分布 臺灣(埔里)、支那、印度。

アカスチキンガメ

*Poecilotheris lewisi* Dist.

(六五)

體は金綠色、斑紋は黄褐、少しく紫色を帯ぶ。



♀



頭頂の二縦條、複眼の内側及び觸角は黒色、後者は少しく紫藍色を帯ぶ。體下は黄褐色。胸側片、氣門點及び脚は金綠色。基部、轉節は黄色。體長六分内外。これは日光地方に産すれども、稀なるが如し。

分布—本州、臺灣。

ワタナベキンガメ……………(六六)

*Poecilocoris watanaabei* Mats.

體は黄褐色。頭、觸角及び斑紋は黒紫色、但し觸角末端の二節は黄褐色。前胸背の前縁及び兩側は紫色を帯び、中央に二個の大なる紫褐色を装ふ。體下及び脚は黄褐色。腿節の末端、脛節及び跗節は暗緑、尾節の大紋は黒紫色。



體長五分五厘。これは臺灣に産すれども、その數多からず。

分布—臺灣。

ミカントゲガメ……………(六七)

*Rhynelocoris humeralis* Thunb.

體は綠色、點刻多し。觸角は黒色、基部は黄色、黒縦條あり。頭は黄色、内板の兩側は細く黒色。前翅前縁の基部は灰黄、膜質部は暗褐色。各腹節の後角は黒色、その末端は尖鋭なり。口吻は頗る長く、體と約同長。體長七分—八分。これは臺灣にて有名な柑橘の害蟲なるが、長き口吻を果實に挿入して、その液汁を吸收す。



分布—臺灣、支那、印度。

モンキツノガメ……………(六八)

*Zizygia zentelata* Scott

體は黄緑。觸角は綠色、末端の三節は少しく暗色を帯ぶ。口吻、脚、體下は黄色。膜質部は黄色。

厘内外。これは有名なる稻の害蟲なり。殊に四國、九州に多く、時に大害を加ふることあり。未だ北海道に發見せられず。

分布—本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

ヒメクロガメ……………(七〇)

*Scotinophara scotti* Horv. (*S. tarsalis* Scott)

體は黒色。觸角各節の末端、口吻及び跗節は黄褐色。これはクロガメに酷似すれども、小形なるを以て容易に區別し得べし。體長一分八厘。同じく稻その他の禾本科植物に有害なり。餘り多からず。



分布—本州、四國、九州。

♀



シロヘリガイ  
タ……………(七一)

*Schizus*  
*nitens*  
*sinatus*  
Scott

第一〇 有 吻 目

イハサキガメ……………(七二)

*Stenobothrus iwakaki* Mats.

體は淡黄褐色。後脚部の末端は黄白。半翅鞘に點刻の少なき部分ありて、恰も二斑紋を有するが如し。膜質部は灰白。腹側に黒紋を列ぬ。體長三分。これは石垣島に産するも、稀ならざるが如し。



分布—沖縄(石垣島)。

ヨツモンガメ……………(七三)

*Urochela jozankana* Mats.

體は黄褐色。觸角は黒色、第四及び第五節の基部は黄色。頭頂の縦紋、後頭、半翅鞘の二紋、胸背及び腹側の紋列は黒色。膜質部は黄褐色。體長



♀



褐、基部は暗褐色。雌の尾端は鋭角をなして突出す。體長四分—四分五厘。これは本州に稀ならず。

分布—本州、九州、臺灣。

クロガメ……………(六九)

*Scotinophara lurida* Horv.

體は黒色、光線の具合にて少しく藍色を帯ぶ。前胸背の前縁及び中央の兩側に各一個棘狀の附屬物を装ふ。脛節及び跗節は赤褐色。體長三分五厘。



五分内外。これはニレに普通なる害蟲にして、九月中旬、定山溪にて採集傘を用ふれば、幾等も捕獲し得べし。

♀



分布—北海道(定山溪)。

ナシガメ……………(七四)

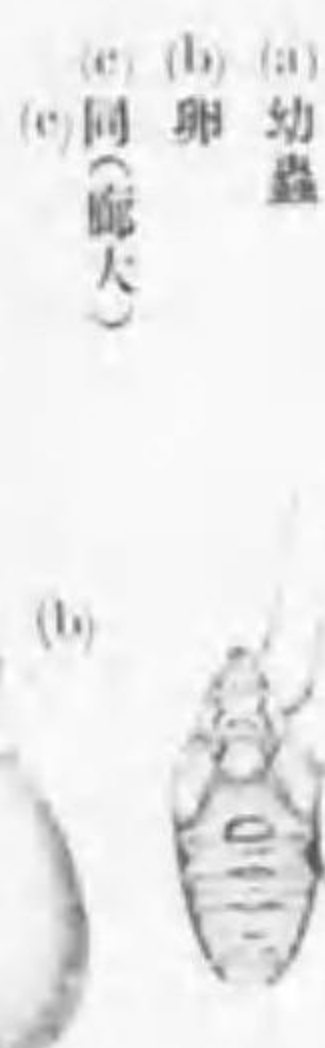
*Urochela luteovariorata* Dist.



體は灰褐色。頭、後頭に二個の黒紋を具へ、



前縁には二黒條あり。觸角は黒色、第四、五節の基部は黄色。前胸背の前縁に近く黒紋を装ひ、後縁の中央に黄色の短縦條あり。前翅前縁の末端及び基部に各一個の黄色紋を具へ、末端には黒紋あり。



(a) 幼蟲  
(b) 卵  
(c) 同(雌大)

これはナシ、リンゴに普通なる種類なり。  
分布—北海道、本州。

クヌギガメ *Trostylis weevil* (七五)

體は緑色。觸角の第一節緑色、第二節は暗緑、第三節は黒褐、第四及び第五節は黄色、その末端は黒褐。膜質

部の縦脈は暗色。各腹節の内側に各一個の黒點あり。脛節の基部及び跗節の末端は黒褐。體長三分五厘内外。これは樹斗科植物の害蟲にして、何れの地方にも稀ならず。

ルリガメ *Microtus curvipes* (七六)

體は青藍色。觸角及び口吻は黒色。膜質部は黒褐。體長二分七厘内外。これは蝸蝓、蛭、蛤等の血液を吸収し、農林業に有益なり。嘗て樺太に松蝸蝓の發生せる際、大に有益なりき。

分布—樺太、本州、四國、九州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

二 緣椿象科 (Coreidae)

觸角は四節、頭の前縁に起り、末端は棍棒狀をなす。二個の單眼あり。口吻は四節、其内第一節は最も長し。腹部の兩側は双様をなして突出せるを以て緣椿象の名あり。稜狀部は普通、腹部の半に達せず。本邦に産するもの百數十種あり。何れも植物の液汁を吸収して農林業に有害なり。

ホホヅキヘリガメ (ホホヅキガメ) (七七)

*Acanthocoris sordidus* Thunb.  
體は暗褐、顆粒突起を密布す。觸角に剛毛多し。前胸の兩縁に棘狀突起を装ふ。前翅の膜質部は黒色。體長三分八厘内外。これはナス、ホホヅキ等の害蟲にして、中國地方に多しと雖も、北國には産せず。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、臺灣。

オホクモヘリガメ *Anacanthocoris marginatus* Vhl. (七八)

體は緑色。觸角は紅色にして、第一節の兩側に

*Cletus trigonus* Thunb.

體上は暗褐、體下は黄色、黒點を散在す。觸角は黄褐、第一節は太く、外側に黒縦條を具へ、第四節は短かく、褐色。稜狀部の末端は黄色。半翅精の基部は黄色、後縁の中央に各一黄點あり。膜質部は暗色、半透明。脚は黄色。兩側に黒縦條あり。體長三分五厘。



これは稻の害蟲にして、地方的に大害あり。  
分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、比島、印度。

トゲヘリガメ *Coreus scabricornis* Panz. (八三)

體は暗褐。頭頂の中央に灰白の一縦條あり。前胸背の兩側に白色の顆粒を散在し、これより剛毛を生ず。半翅精の脈上に黒褐紋を具へ、膜質部は灰白、脈は白色、これに黒褐紋あり。脛節及び跗節の大部は黄色。腹面は黒色、中央及び兩側は暗黄、後者には黒褐紋を列す。體長二分六厘内外。これは雜草間に産すも稀なり。



クロハネヘリガメ *Cletus infuscatus* Mats. (八〇)

體上は灰黄、體下淡黄。複眼の後方に當り各一黒條を具ふ。前胸の刺は長く、黒色。稜狀部の中央部は黒色。半翅精内片の内角に淡色紋を具



を具へ、各胸側に一黒紋を装ふ。脚は淡黄、基部に一黒紋あり。體長四分弱。これは沖縄に産すれども、餘り多からざるが如し。  
分布—沖縄(那覇)。

ハリヘリガメ (ハリガメ) (八一)



アシプトヘリガメ *Aspidiotus heri* (七九)

黒縦條を具へ、第二、三節の末端及び第四節の大部は暗褐。頭は灰白、前頭の一紋及び單眼は紅色。前胸背の兩側は細く黒色。半翅精は黄褐、少しく緑色を帯び、膜質部は黄褐。體下黄色。轉節及び脛節の基部は黄色、末端は褐色。體長七分—八分。これは禾本科植物の雜草間に捕獲し得べし。  
分布—本州、四國、九州。



〔分〕本州(播州)、歐洲。

モモクロヒメヘリガメ……………(八三)

*Corizus crassicornis* F.

體上は灰褐、體下は暗黄、赤褐紋を散在す。單眼の兩側に黒紋あり。觸角基節の前後に黒色の一縱條を裝ふ。前胸の中央に黄色の一縱條あり。半翅鞘は灰白、脈は黄色、その上に黒點あり。脚に黒點を散布し、後腿節内方の基部は黒色、脛節及び跗節端は黒褐。體長二分六厘内外。これはアカザの如き雜草間に普通なり。

♀



〔分〕北海道、本州、西比利亞、歐洲。

フチヒメヘリガメ(フチヒゲガメ)……………(八四)

*Corizus sapporensis* Mats.

體は灰褐、少しく緑色を帶ぶ。觸角の第一節に黒點を散在し、外側に黒紋を具へ、第四節は黒色、兩端は黄色。前胸の後縁は少しく黄色を呈し、後縁角に一黒紋あり。棧狀部の末端黄色。膜質部に數個の不明なる小暗褐紋あり。跗節端は黒褐。腹面の

♀



兩側は黒色

これは札幌、青森、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿兒島、沖縄、支那、印度。

〔分〕北海道、本州、九州。

ツキワヘリガメ……………(八五)

*Decephorix chinensis* Horv.

體は暗黄褐。第四節は暗黄、赤褐紋を散在す。灰白の短毛を粗生す。觸角の短毛多し。跗節は暗黄、その上に黒點あり。これは阿里山にて捕獲せられた。〔分〕沖縄、支那、印度。

♀



アヅキヘリガメ……………(八六)

*Homocoeurus consociatus* Uhl.

體は暗褐、少しく緑色を帶ぶ。體下は黄色。觸

〔分〕本州、九州。

タイワンヘリガメ……………(九〇)

*Iwasakia formosana* Mats.

體は黄褐。觸角は赤色、第四節は暗褐、その基部は黄色。前胸背の兩側は暗褐。棧狀部の末端は少しく黄色を帶ぶ。膜質部は暗褐、銅色の光

♀



〔分〕臺灣。

イハサキヘリガメ……………(九一)

*Iwasakia signata* Wk. (L. lugitata Mats.)

體は暗黄褐。觸角は少しく緑色を帶び、暗色の部分あり。前胸背の兩側は暗色、兩側突起の末

角は赤色、第二節の末端は黒色。前翅後縁の中央に黒點あり。體長四分七厘内外。これは大小豆、その他の豆科植物に有害な

〔分〕本州、四國、九州。

ハラヒロヘリガメ……………(八七)

*Homocoeurus dilatatus* Horv.

♀



體上は黄褐、體下は黄色、黒點を散在す。觸角は赤褐。

前翅の中央脈上に一黒點あり。腹部の兩側は双物様に張る。體長四分八厘内外。これは萩その他の豆科植物に有害なる普通種なり。

〔分〕本州、四國、九州。

〔分〕本州、四國、九州。

♀



の末端及び跗節は緑色。體長五分内外。

〔分〕沖縄(石垣島)。

ヒメヘリガメ(ヒメガメ)……………(九二)

*Ichorissus hyalinus* F.

これはモンヒメガメに酷似すれども、その異なる所は、體細長、觸角基節の側に黒紋を具へ、脚に小褐點を散在し、尾節に二黒紋を裝ふにあり。體長は三分五厘内外。これもアカザの如き雜草間に普通なり。

〔分〕北海道、本州、西比利亞、歐洲。



クモヘリガメ(クモガメ)……………(九三)

*Lophocoris varicornis* F.

體は黄綠。觸角は體より長く、黒色の部分あ

シヨウカヘリガメ……………(八八)

*Homocoeurus shokanensis* Mats.

體は淡黄褐、黄色の短毛多し。觸角は末端に至るに従ひ赤色を帶び、第二節の末端は暗褐。單眼は紅色。

♀



は黄色。體長三分五厘—四分五厘。これは臺灣に産すれども、餘り多からず。

〔分〕臺灣(彰化、士林)。

ツマキヘリガメ……………(八九)

*Hygia opacus* Uhl.

體は黒色、黄色の短毛多し。各觸角節の基部及び第四節(基部を除き)は橙黄色。後頭に二黄紋を裝ふ。棧狀部の末端は橙黄色。半翅鞘前縁の中央紋は黄色、膜質部は暗黄褐。

♀



各接合膜節の後縁及び跗節は黄色。體長三分二



り。體長五分二厘内外。これは廣く東洋に分布し、稻その他禾本科植物の害蟲なり。長脚を有するを以て蜘蛛の如き觀あり。



分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、比島、馬來、印度。

アシビロヘリガメ *Leptoglossus membraceus* F. (九四)

體は黒色。第二及び第三觸角節の中央並に第四節の末端は橙黃色。頭頂の後方にある二紋、頭下の兩側條、前胸背の中央に近きう狀帶、稜狀部の兩側及び末端紋、半翅鞘の中央紋、その他、



♀

胸腹面に散在せる紋は橙黃色。體長七分内外。これは蕨科植物の害蟲にして、臺灣には普通なり。分布 沖縄、臺灣、支那、比島、印度。

キハネホソヘリガメ *Megalotoma costalis* Stål (九五)

體は黒色。觸角は體長より短。單眼間の一點、頭の兩側紋及び口吻の基部は黃色。中胸背に黃色の一縱條あり。半翅鞘は黃色若くは黃褐、基部は暗色。腹背の兩側に黃色紋あり。脛節及び跗節の大部は黃色。體長五分内外。これは菊科植物上に捕へ得べしと雖も、餘り多からず。



♀

分布 北海道、本州。

フタスチハリヘリガメ *Metacletus bivittatus* Mats. (九六)

體は橙黃色、點刻多し。觸角は黒藍色、第四節は暗褐。頭は黒藍色、後頭の五紋は黃



♂

色。前胸背の前縁、後縁角及び針狀突起は黒藍色、後縁の三角紋及び稜狀部紋は黒色。半翅鞘は黃色、前縁及び末端は暗褐。各接合膜節の後縁は黒色。頭下、胸側紋、各腹節の後角、脚等は黒藍色。基部は黃褐、跗節は暗褐。體長五分六分。これは沖縄地方に産すれども、稀なるが如し。分布 沖縄。



♀

ヒゲナガヘリガメ *Notolus nuchegata* F. (九七)

體は暗褐、少しく紺色を帶ぶ。第四觸角節の基

は大小豆、豌豆、稗、甘蔗、粟等に寄生す。時に大害を加ふることあり。分布 本州、四國、九州。

タイワンホソヘリガメ *Riptortus linearis* F. (一〇一)

ホソヘリガメに酷似すれども、その異なる所は、體は小形、觸角は暗褐、第四節は黃褐、頭側及び胸側に黃白の太き一線を縱走し、腹部は黃白、中央に褐色の縱條ありて、その内に更に黃白の縱紋を裝ふにあり。體長四分五厘内外。これは稻、その他の禾本科植物に有害なり。



分布 沖縄、臺灣、支那、印度。

ナミヘリガメ *Symastus marginatus* L. (一〇二)

體は褐色若くは赤褐。觸角は太く、第一節甚だ大にして、平たく、第二節と略同長、第三節は第二



一一九五

部及び末端は黃色、觸角節は黃褐。稜狀部の末端部は黃褐。膜質部は銅色の光澤を有す。體下は天鵝絨様の光澤を放つ。脚の斑紋は黃色。體長八分九分。これは臺灣に稀ならず。分布 臺灣、支那、馬來、印度。

オホヘリガメ *Oebrochra fuliginosa* Th. (九八)

體は黒褐。第四觸角節の末端は黃色。半翅鞘は黃褐。後腿節は側扁にして、末端に近く三角形の突起あり。體長八分内外。これは本邦最大の椿象なるが、稀なるが如し。



♀

分布 本州、九州。

ヒメクモヘリガメ *Taraphilus unicolor* Scott (九九)

體は暗黃、綠色を帶ぶ。頭頂に黒色の短縱溝あり。單眼は紅色、その前方に八字形の暗色紋あり。第四觸角節は暗黃、基部前は黃色、基部は黒色。前胸背の兩側及び中央に淡色線を走らし、兩側縁の内方は黒色。稜狀部の末端は黃色。跗節は黒褐。體長四分五厘内外。早春竹叢に普通なり。



♀

分布 北海道、本州、四國、九州。

ホソヘリガメ *Riptortus clavatus* Thunb. (一〇〇)

體は赤褐。前胸背の兩側に各二個の突起あり。後腿節は膨大し、之れに鋭齒を列ぬ。體長五分五厘内外。これ



♀



節より短、第四節は短小。腹部の両側は著しく肥大す。稜状部に顆粒を散在す。體長五分内外。これはゴバウの如き菊科植物に普通なり。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

モンヒメヘリガメ (モンヒメガメ) (104)

*Corizus maculatus* F.

體は黄赤。單眼は紅色。觸角第四節は中央にて褐色。半翅鞘は稍々透明、脈上に黒點あり。膜質部に淡褐色紋を散在す。脚部に赤色の小點を密布し、附節端は黒褐。尾節の中央に黒色の一縱條あり。體長三分九厘内外。これも雜草間に普通なり。

♀



分布 北海道、本州、歐洲。

三 絲椿象科 Berytidae

觸角は頭の前方形に起り、細長にして、四節より成り、第一節の末端及び第四節は膨大す。口吻は四節より成る。單眼は二個あり。脚は頗る細長。體は細小。稜状部は微小にして、これに刺あり。本邦に産するもの數種あり。これは多く叩網若くは蠅傘を用ひて捕獲せらるゝものなるが、其食草は餘り能く知れ居らず。

イトガメ (Yemima exilis How.) (105)

體は淡黄褐。觸角は暗色、末端は黄色。頭の兩側に一黒條あり。前胸背の後半は黄褐、中央の一縱條及び兩側の二紋は褐色。腹背の中央に褐色の一縱條あり。附節は暗色。體長二分一二分五厘。これは九州地方に多く、樹斗科植物上に捕へ得べし。その脚部絲の如く細きを以てこの名あり。

♀



分布 本州、九州。

四 長椿象科 Lygaeidae

觸角は四節より成り、絲狀にして、頭の下方向に出づ。口吻は三節乃至四節より成り、各節は約同長。二個の單眼を有す。腹部の両側は突出せず。稜状部は小なり。本邦に産するもの五十餘種あり。何れも長形なるを以てこの名あり。植物の液汁を吸収し、農林業に有害なり。

シロホシガイタ (Aplanus albomaculatus Scott) (106)

*Aplanus albomaculatus* Scott

體は黒色。觸角は暗褐、第二節の基部は黄褐。前胸背の兩側は黄白、後縁の中央に黄白の一縱條あり。稜状部の中央に近き二小紋、末端並に半翅鞘は黄白。膜質部は灰白。體下及び脚は黒色。

♀



基節の外側にある一紋及び後胸側にある一帯は黄白。その他、黄褐の部分あり。體長二分五厘内外。餘り多からず。

分布 本州。

オキナハガイタ (Aplanus fallaciosus Mats.) (107)

*Aplanus fallaciosus* Mats.

體上は黄褐、體下は黒色。頭は黒色、二個の赤色紋を装ふ。觸角は黄色、各節の末端は褐色、第三、四節は褐色(第四節は基部を除き)。前胸背の前半及び稜状部の基部は黒色。半翅鞘に褐色點を散在し、外片の末端及び中央に近く褐色紋を具す。膜質部は暗褐。腹部は黒色、接合膜に黄色部あり。脚は黄色、腿節に褐色紋を具す、末端は暗褐。體長三分内外。これは沖縄に稀ならず。



分布 沖縄。

シロヘリガイタ (Aplanus japonicus Stål) (108)

*Aplanus japonicus* Stål

體は黒色。第二觸角節の中央の赤褐なるものあり。前胸は灰白。前後兩縁は細く赤色、前縁に近く黒色の一紋あり。稜状部の下方にある二紋及び末端は灰白。半翅鞘は灰白、黒點多



第一〇 有吻目

メダカナガガメ (メダリガメ) (109)

*Chenobius fallax* Scott

體は灰褐、少しく緑色を帯ぶ。眼は甚だしく隆起し、恰も蟹の眼の如し。觸角は赤褐。體長九厘内外。これは豆科植物の大害蟲にして、殊に大小豆に多し。北海道に産せざるが如し。



分布 本州、四國、九州、印度。

クロオホメナガガメ (Geocoris lonic Mats.) (110)

*Geocoris lonic* Mats.

體は黒色。前頭の兩側に一白紋あり。第四觸角節末端の半は暗黄。稜状部の末端は黄白。前翅



オホメナガガメ (オホメガメ) (111)

*Geocoris varius* Uhl.

體は黒色。頭は黄色乃至黄赤。第一觸角節は黄赤、第二節の兩端、第三節の末端、第四節の基部は黄色。前胸背の後縁角は黄色。半翅鞘は暗黄、膜質部は少しく黄色を帯ぶ。前胸片及び脚は黄色。後腿節の末端に褐色紋あり。體長一分五厘内外。これは北海道に産せず。



分布 本州、四國、九州。

ナガメダガイタ (Lygaeosoma flavipes Mats.) (112)

*Lygaeosoma flavipes* Mats.

體は暗黄。觸角及び脚は黄色。觸角の第四節は暗色。頭は黒色。前胸背の前縁は褐色、前縁に近き兩側紋及び後縁角は暗色。稜状部は暗褐、末端は黄褐。半翅鞘の前縁は黄色、末端は暗色、膜質部は灰白、中央に暗色の一縱條あり。體下









装ふ。轉節及び腿節の基部は黄色。脛節は黄色。體長四分内外。これは沖縄に稀ならず。

分布 本州、九州、八丈島、沖縄、支那、印度。

ヨツボシガイタ

*Panura pallicornis* Dall.

(一三三)



體は黒色。觸角淡黄褐色、暗灰色の部分あり。前胸背の前縁は細く赤褐色、後縁に黄白斑を横列す。稜狀部の末端及び半翅鞘は黄白、後者の斑紋は黒色。膜質部は暗灰色。脚は黄色。中後の兩腿節は各基半部を除き黒色。體長二分五厘。これは岐阜地方に普通なり。

分布 本州、九州、八丈島、沖縄。

タバコヒメナガガメ

*Cymus tabicus* Zett.

(一三四)



體は淡黄褐色。複眼紫色。第四觸角節は太くして暗褐色。前胸背の中央に黄白の一縦線あり。前翅鞘は黄色、膜質部と外片との接合部は褐色。體長一分三厘内外。

これは煙草の害蟲なり。

分布 臺灣、印度。

ヒゲナガガイタ

*Pachyrotia antennata* Uhl.

(一三五)



體は暗灰色。第一觸角節の末端は黒褐色、第三節の上半及び第四節は黒褐色。前胸背の中央縁は黄色。稜狀部の兩側の各一紋及び末端の短線は黄色。半翅鞘の末端に褐色あり。膜質部は灰白、褐色縦線あるも断續す。附節は褐色。體長二分五厘。これは他處を捕食するものの如し。

分布 北海道、本州。

クロモンナガガメ

(一三六)

五 星椿象科 Pyrrhocoridae

長椿象に酷似すれども、その異なる所は、單眼を缺き、前翅の膜質部に二個の大なる胞室を装ひ、これより分岐せる多數の翅脈を後方に送り、第一觸角節は常に棍棒狀をなし、前腿節下に小齒を列ぬるにあり。これは主として熱帶地方に多き種類にして、本邦に産するもの十數種あり。普通前翅に圓形の斑紋を有するを以てこの名あり。多くは喬木の樹液を吸收す。

ベニホシガメ (ベニナガガメ)

*Anthrenus cognatus* F.

(一三七)



體は朱色。觸角は黒褐色、基部は赤褐色。稜狀部の基部にある點刻は暗褐色。膜質部は黒色、基部に灰白の部分あり。脛節及び附節は暗褐色。各腿節の後縁は黒色。體長五分一分五厘。これは臺灣に産するも餘り多からず。

分布 臺灣、支那、印度。

アカホシガメ

*Dysdercus cingulatus* F.

(一三八)



體は朱色。觸角黒色、第一節の基部は赤色。前胸背の前縁は黄白、その後方に一褐色紋あり。稜狀部は黒褐色。半翅鞘の中央に圓形の一黒紋あり。膜質部は黒色、外縁は細く灰白。胸腹各節の接合部は白色。脚は暗褐色。赤色の部分あり。體長四分五厘。これは臺灣にて有名なる棉の害蟲なり。

分布 沖縄、臺灣、支那、比島、馬來、印度。

シロジフジホシガメ

*Dysdercus erueifer* Mats.

(一三九)



體は朱色。翅を疊む時はX字の黄紋白を

*Paradichus lewisii* Diet.



體は黒褐色。觸角は黄褐色、終りの二節は暗褐色。前胸背の前縁は隆起し、兩側は灰白。稜狀部の兩側及び末端に點刻を装ふ。半翅鞘は灰白、末端に近く二暗色紋あり。膜質部は基部を除き暗褐色。脚は黄褐色。體長一分八厘内外。これは萩及びその他の荳科植物に普通なり。

分布 北海道、本州。

アカギホシガメ

*Physopelta gutta* Burm.

(一四〇)



現はす。觸角、前胸背前縁の一紋、稜狀部、半翅鞘の内片、く字形黄白紋の内角にある一紋、膜質部、脚、胸面等は暗褐色。觸角の基部は赤色。前胸背の前縁及び接合膜部は黄白。體長四分五分五厘。臺灣に普通なり。

分布 沖縄、臺灣、シンガポール。

體は褐色。觸角は黒色、第三節の基部黄白、末端は灰褐色。頭は黄褐色、頭頂の一縦線は褐色。前胸背の周縁は淡黄褐色。稜狀部は暗褐色。半翅鞘は黄褐色。内片は褐色、中央の一紋及び末端は黒色、膜質部は黒色、末端は灰白、基部は黄褐色、これに一黒紋を装ふ。腹背の兩側は黄赤、基部、轉節及び腿節の下面は淡黄褐色。體長三分五厘一分。これはアカギの害蟲にして、中國地方に多し。

分布 本州、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。



フタホシガメ (フタホシガイタ) (一一一)

*Pyrrhoxenus thalictus* Mat.

體上は暗褐色、體下は黒色。頭頂に黒紋を具へ、頭頂板の中央に黄色の一縦條あり。觸角は黒色、第一及び第二節の末端は黄色。前胸背の前縁に近く、兩側に各一黒紋あり。稜狀部の中央には一黄條を縱走す。半翅鞘外片の中央に一黒紋あり、膜質部は灰白。胸側片に白色部あり。脚は黒色、腿節の末端及び脛節の外側は黄白。腹部の接合膜は黄色。體長三分内外。これは倒木下若くは石下に捕獲し得べし。



分布 北海道、本州。

六 軍配蟲科 *Tenebrionidae*

觸角は四節、頭の前縁より起り、末端に於て棍棒狀を呈し、第二節甚だ長し。前翅は全體同質にして、膜質部を缺き、網狀の太き翅脈を有す。前胸背の後縁は延長して、稜狀部の觀を呈し、前縁には膨大せる附屬物を有するもの多し。本邦に産するもの三、四種あり。これは色々の植物の液汁を吸取し、大害を加ふることあり。中には稀に蟲癭を生ずるものあり。

エグリグンバイ

*Monanthia conchata* Horv.

(一一三)

體は暗灰色。頭、觸角、前胸背及び脚は黄色。第四觸角節の末端は黄褐色。頭頂、觸角の前方及び複眼は黒色。前胸背の縦隆は黄色。半翅鞘の末端及び後縁は暗色。體下及び附節端は暗色。體長一分五厘内外。これは雜草間に普通なるが、其食草は判然せず。



分布 北海道、本州。

ホソグンバイ

*Phyllotus helictes* Mat.

(一一四)

體は黒色。觸角は黄色、第四節は濃色。前胸背前縁の中央に黄色の鞍狀隆起を具へ、兩側に黄色の葉狀片を裝ふ。半翅鞘は淡黄、X字形の暗色紋を有す。脚黄色、附節端は暗色。體長一分内外。これも雜草間に普通なるも、その食草は未だ判然せず。



分布 北海道、本州、九州。

ナシグンバイ

*Zeplanatus ambigua* Horv.

(一一五)

體は黒褐色。觸角は黄色。前胸背は黒褐色、前縁中央の突起及び兩側の葉狀突起は黄白、中央に近く暗色紋あり。後縁の半部に黄白の三縱條を具ふ。半翅鞘のX字紋は黒褐色。脚は淡黄。體長一分内外。これは有名なる梨の害蟲にして、被害の梨葉は黒褐色に變ず。



(a) 幼蟲 (麻大)

分布 北海道、本州、九州。

トサカグンバイ

*Macpharbia globulifera* Mats.

(一一六)

體は黒褐色。頭頂板は赤褐色。觸角は黄色。前胸背の隆起は黄色。半翅鞘にX字形の黒褐色紋あり。脚は黄色。體長一分四厘内外。これは雜草間に普通なり。



分布 本州、九州。

ヒログンバイ

*Tingis amplata* H. S.

(一一七)

體上は灰黄、體下は黒褐色。頭黒色、三縱條並に觸角は黄色。前胸背の中央は暗色、前縁にある葉狀の附屬物の一部は黒褐色。各腹面節の後縁は赤褐色。脚は黄色、附節端は褐色。體長一分五厘。これは雜草間に捕獲し得るも、その食草は判然せず。



分布 本州、西比利亞、歐洲。

ハヒイログンバイ

*Tingis lasiocera* Horv.

(一一八)

第一〇 有 吻 目

七 扁椿象科 *Anthrenidae*

*Anthrenidae*

觸角は稍々棍棒狀を呈し、第一節は短大、頭の兩側にある突起より起る。單眼を缺く。體は平たく、顆粒狀の小紋多し。前翅の膜質部は發達し、これに細き脈あり。稜狀部は小にして、細長す。本邦に産するもの十數種ありて、何れも形、扁平なるを以てこの名あり。枯木若くは倒木の皮下に住し、菌類の液汁を吸食す。農林業には大なる關係なし。

ナミヒラタガメ (ヒラタガメ) (一一九)

*Aradus consociatus* Horv.

體は黒色。觸角は暗褐色、第一節は黄褐色。前胸背前縁の兩側は白色。半翅鞘は灰白、外片の後半は少しく濃色、その脈は褐色。膜質部は暗色、基部は淡色。腹面は黄色、尾節は白色、その周圍黒色。體長一分九厘内外。これは枯木の樹皮下に發見せらるる普通種なり。



分布 北海道。

イグチヒラタガメ (一二〇)

一二〇



*Aradus igneii* Mats.

體は黒褐。觸角は黒色、第四節の末端に少しく灰白の部分あり。前胸背前縁の兩側に黄色の部分をつぶ。稜状部に黄褐の顆粒多く、兩側の中



部に黄色あり。各腹節の後縁は黄白。脚黒色、黄白

紋あり。體長三分内外。これは播州地方に稀ならず。樹皮下に發見せらる。

分布 本州(播州)。

コヒラタカメ.....(一四〇)

*Aradus lugubris* Fall.

體は黒褐。前胸背の四縱條は端直。半翅鞘は灰色、脈は黒色。膜質部は暗灰色、脈の周圍は灰



白。前胸の側片及び腹面の後方は黄褐。體長一分六厘内外。これは枯木の樹皮下に發見せらるる普通種なり。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

オホヒラタカメ.....(一四一)

*Aradus zealandica* Scott

體は黒褐。頭は黄色。前翅の膜質部は灰白、暗色の不定脈あり。腹節の末端、脛節の兩端は黄色。腹部接合膜の各後縁は黄色。體長二分四厘三分六厘。これは樹皮下に發見せらるる普通種なり。



分布 北海道、本州。

## ハ 水黽科 (Belontiidae)

一一〇四

觸角糸状、四節より成り、頭の兩側に位す。口吻三節あり。單眼を缺く。前翅は全體同質、膜質部なし。時に翅を缺くものあり。稜状部を缺く。本邦に産するもの二十數種あり。何れも長く、水上を疾走す。動物性の食物を以て餌となす。農業上に關係なし。夜間空中を飛翔し、時に燈火に飛來す。早春右下にその越冬するものを發見し得べし。これに接觸すれば一種固有なる銼様の臭氣を發するを以てこの名あり。一名之れをカハグモとも云ふ。

ウミアメンボ.....(一四三)

*Halobates sericeus* Esch.

♀



體は灰色、白色の絹様毛を生ず。後頭の二紋及び前胸背の兩側は淡黄褐。觸角及脚は黒色。基節及び轉節に黄

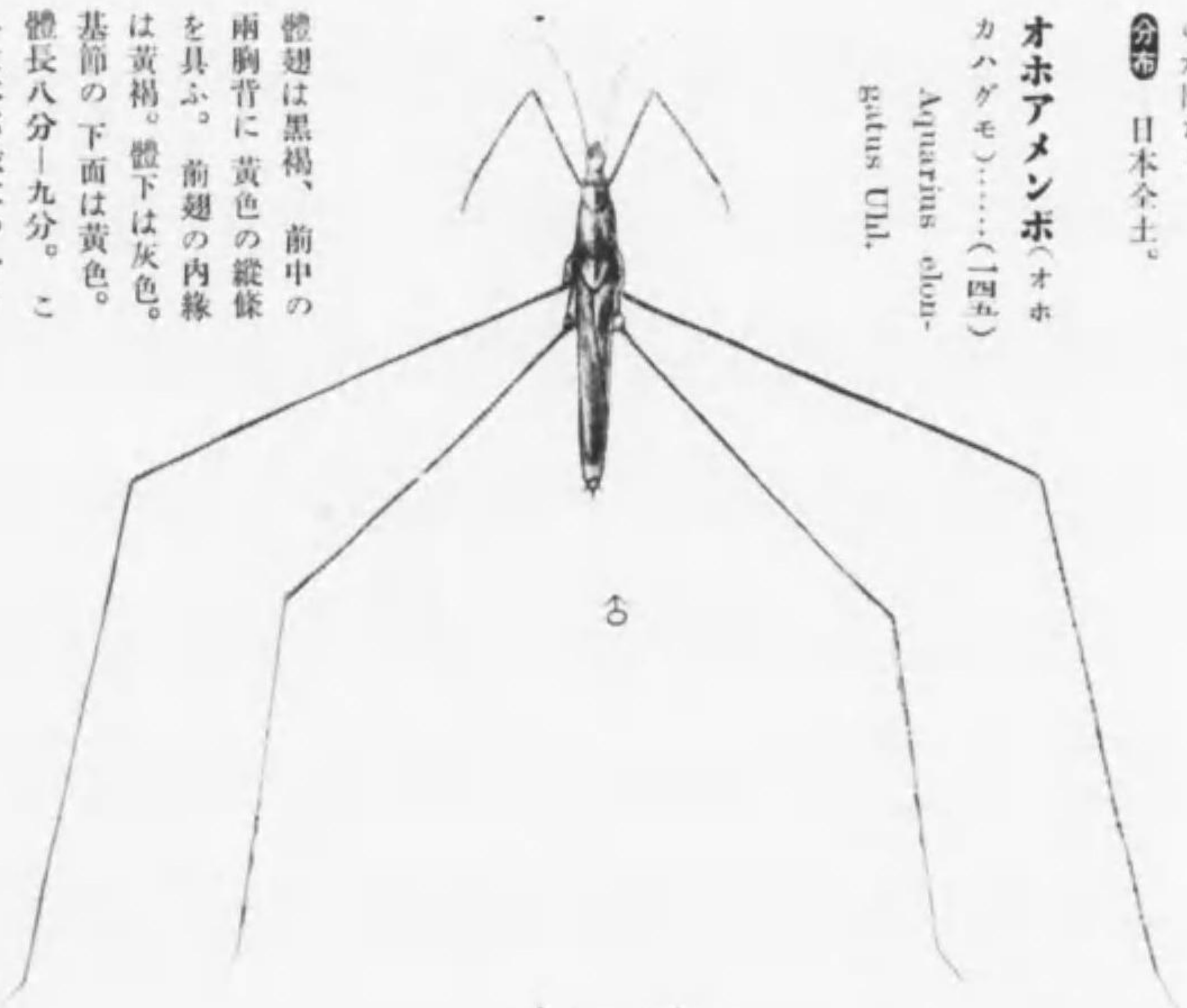
の水黽なり。

分布 日本全土。

オホアメンボ(オホ

カハグモ).....(一四四)

*Aquarius elongatus* Uhl.



♂

ヲガサハラアメンボ.....(一四六)

♀



*Neogerris laotiensis* Mats.

體は暗褐。前胸背の一紋、中胸背の後縁及び脚基節は黄褐。前胸背の後縁、喉頭、前胸片及び腹節の基部は淡黄褐。體下は絹様の灰

分布 日本全土。

ヒメアメンボ(ヒメカハグモ).....(一四四)

*Gerris paludum* F.



體上は黒褐、體下は銀白なれども、少しく黄色を帯ぶ。前胸の縦條及び中胸背の兩側は赤褐。脚は黄色、腿節の外方に黒色の縦條あり。體長三分五厘四分五厘。これは何れの地方にも多し。水上を疾走する小形

第一〇 有 吻 目

一一〇五



色。これは普通のアメンボに似れども、前胸背の短かきを以て、容易に區別し得べし。體長二分内外。これは小笠原島の池沼に普通なり。

分布 小笠原島。

カタビロアメンボ

*Kotylela kawakamii* Mats.

體は黒色、暗褐色多く、斑紋は黄色。後腹節の下面に小齒を列ぬ。

腹面の基部は暗色。體長二分内外。これは臺灣紅頭嶼にて始めて故川上瀧彌氏の發見せるものなり。

分布 臺灣(紅頭嶼)。

シマアメンボ

*Metrocoris histrio* Inoh.

體は暗黄、黒色の紋條を具ふ。腹部は黒色、各節の後縁は多少黄色を帶ぶ。體長一分三厘二分。こ

れは山間の小川に多く、常に流に逆つて游泳せり。何れの地方にも普通なり。

分布 日本全土。

九 食椿象科 *Pythividae*

一二〇六

觸角は絲狀にして、細長く、四節より成り、頭の上方に位す。口吻は太く、三節乃至四節より成る。單眼は大にして、複眼の後方に位す。稀に單眼を缺くものあり。後頭は延長して、判然せる頸狀を呈す。稜狀部は小。脚は細長。何れも食肉性にして、その太き口吻を他蟲の體内に挿入し、その血液を吸收するを以てサシガメと云ふ。何れも農林業に有益なり。本邦に産するもの數十種あり。

ハリサシガメ

*Acanthaspis cheliferus* Stål

體は黒色、白色の短毛を被ひ、長黒毛を粗生す。

第一觸節中央の暗黄なるものあり。前胸背の棘狀突起は黄白。稜狀部に直立せる

アカサシガメ

*Cyrtocoris rufus* Stål

體は朱色。觸角、腹面及び脚は黒色。第三觸角節は暗褐色、第四節は黄褐色、何れも灰白の短毛を密生す。

半翅鞘は朱色、膜質部は半透明、暗色を帶ぶ。胸側及び胸片は黒色。各接合膜にある帯は黒色。體長六分内外。これは九州及び臺灣に普通なり。

分布 本州、九州、臺灣、支那、比島。

キボシサシガメ

*Ectonocoris biguttatus* Stål

體は黒色。前胸背は少しく緑味を帶ぶ。觸角は褐色。頭に灰白毛多し。半翅鞘は暗褐色、楕圓形の一黄紋を具へ、膜質部は暗色、基部に黄色紋を裝ふ。

各接合膜の後縁角は黄色。脛節及び跗節に金色

は灰色。第一口吻節の基部に近き一紋、第二節及び第三節(基部を除き)は黒褐色。體長六分五厘内外。これは臺灣に産すれども稀なり。

分布 臺灣(阿里山)。

アカスチサシガメ

*Ctenorhinus rufescens* Dege.

體は暗褐色。觸角の第三及び第四節は黄色。前頭に小顆粒を散在す。前胸背及び稜狀部に顆粒多く、半翅鞘の縦脈及び中央の一紋は淡黄褐色。接合膜及び同各節の後縁并に後縁角は黄色。脛節の兩端及び跗節は淡黄褐色。體長六分五厘。これは臺灣に稀ならず。人畜の血液を吸

収するを以て有名なり。南京蟲よりも一層疼痛を感じるものなり。

分布 臺灣、支那、印度、阿弗利加。

棘狀突起あり。半翅鞘には鎌刀狀の黄白縱條を裝ひ、脈は天鵝絨様の黒色。脚に黄紋あり。體長四分八厘内外。これは餘り多からず。

分布 北海道、本州、九州。

トゲサシガメ

*Polihidus armatus* Stål

體は赤褐色。全體の齒狀突起、後頭の三縱條及び前胸背の四縱條は黄色。腹面には灰白毛多く、兩側に黒縱條あり。脚は淡黄褐色、脛節は基部を除き赤褐色、脛節及び跗節端は暗褐色。體長三分

四分。これは本州には稀なれども、臺灣には普通なり。

分布 本州(岐阜)、臺灣。

ハラビロトゲサシガメ

*Centronemis formosana* Mats.

體は暗黄褐色。稜狀部の末端は黄色。半翅鞘の脈



の短毛多し。體長四分五厘内外。これは臺灣及び沖縄に稀ならず。

分布—沖縄、臺灣。

アカヘリルリサシガメ

*Ectrychotes andreae* Thunb.

(一五五)

體は暗黄。腹の大部は朱色。半翅鞘は黒褐。基部は黄色。胸面は黒藍色。腹部の兩側は雄にては赤色、雌にては黄色、尾端の二節、第四及び第五節の兩側、前節の接合部并に脚は黒藍色。轉節及び腹節の基部は赤褐、前腹節及び腹節に暗黄の縦條を具へ、跗節は褐色なり。體長三分五厘—四分。



分布—本州、九州、沖縄、臺灣。

イグチアカサシガメ

*Ectrychotes igneii* Mats.

(一五六)

體は朱色。觸角、頭及び脚は暗褐。觸角に褐毛多し。頭、前胸背の前半、稜狀部及び胸下は黒色。前頭及び口吻は黄褐。前胸背の三縱溝は暗色。半翅鞘は暗褐、前縁及び基部は朱色。腹節

♂



の末端及び跗節は黄褐。體長二分六厘内外。これは中國に稀ならず。

分布—本州(播州)。

♀



オキナハハラアカサシガメ

*Ectrychotes okinawensis* Mats.

(一五七)

體は黒色。稜狀部後縁の二突起は褐色。半翅鞘は暗褐、前縁の基部は黄色。接合膜は黄色、腹面は褐色、中央に三個、兩側に五個の黒紋あり。跗節の基部は暗褐。體



長四分五厘内外。これは沖縄には稀なるが如し。

分布—沖縄、臺灣。

アシナガサシガメ

(一五八)



クロヒゲナガサシガメ *Ectrychotes marginatus* Mats. (一五九)

♀



基部は黄色。接合部は赤色、第四、五、六の三腹節の後縁に黒紋あり。體長二分八厘内外。これは京都地方に稀ならず。

分布—本州(京都)。

ヒゲナガサシガメ

*Ectrychotes stebianus* Horv.

(一六〇)

體は赤褐、前頭の兩側及び下方は黄色。頭は黄褐。觸角黄色、第一節の基部は黒褐。前胸背の前半は黄褐、後半の兩側及び中央に黄縱條あり。稜狀部は黄色、基部は暗色。半翅鞘の内片は褐色、外片は赤色、末端に近く黒褐紋を装ひ、末端は黄色、膜質部は透明、脈は黄色、末端に



第一〇 有吻目

ベニサシガメ

*Enagoroides coccineus* Mats.

(一六一)

體は光澤ある紅色。頭及び胸は黒色。觸角は暗褐、第一節の基部は黒色。頭の後方は赤黄。半翅



を帯ぶ。體下及び脚の基部は紅色。腹節に低き瘤狀突起多く、腹節及び跗節は暗褐。體長二分五厘。これは臺南地方の甘蔗園に普通なり。

分布—臺灣(臺南)。

ヒロウドサシガメ

*Ectrychotes haematogaster* Burm.

(一六二)

體は黒藍色。觸角の末端は黄褐。前胸背の兩側は暗褐。半翅鞘は暗色、

ススキマキハサシガメ

*Gorytus brevilineatus* Scott

(一六三)

體は赤褐。觸角は黄色、第二節の末端は暗褐、稜狀部は赤黄。半翅鞘は赤褐、前縁の中央及び末端に暗褐部を具へ、膜質部の基部は赤褐、末端は不透明、少しく黄色を帯ぶ。胸下及び脚は黄色。中後の兩胸側及び胸片に暗色紋あり。腹面は赤



褐、基部に暗褐の縱條あり。體長二分七厘。これは京都に産するも、稀なるが如し。

分布—本州(京都)。

アカシマサシガメ

(一六四)



*Haematoloebea nigrofufa* Stål

體上は朱色、體下は黒色。頭、觸角、前胸背の溝、稜狀部、脚等は黒褐色。轉節は淡色。腹背は暗褐色、兩側は朱色、各節の後縁は暗色。體長四分内外。これは東京地方に稀ならず。



♀

分布 本州、九州。

*クビクロアカサシガメ* *Haematoloebea nigrofufa* Stål (一六五)

體は朱色、斑紋は黒色。半翅鞘は暗褐色、前縁は朱色。各接合膜の後縁は黒色。脚は暗褐色、腿節の末端、脛節の基部及び跗節は



♂

黄褐色。體長二分八厘。これは京都に産するも餘り多からず。

分布 本州(京都)。

*オホトビイロサシガメ* *Labidocoris insignis* Dietz (一六六)

*Leptoloebea olivaceus* Stål  
體翅は褐色、黄褐色の短毛多し。第二觸角節の基部、第三節の兩端及び第四節の末端は黄色。頭頂は黒色。前翅の膜質部は暗色。各接合膜質の後縁は細く黄色、腹面の兩側には暗褐色の縦條あり。體長八分内外。これは中國に産すれども、餘り多からず。

♀



分布 本州。

*クロバアカサシガメ* *Labidocoris insignis* Dietz (一六七)

♂



體は朱色、斑紋は黒色。前翅は淡黄褐色。單眼は赤色。半翅鞘は黒



♀

*オホクロボシサシガメ* *Cantusaurus apicalis* Mats. (一六八)

體翅は灰黄。觸角は暗褐色、第二節の半部、第三及び第四節は黄色。第二節の末端、第三節の兩端

分布 本州。

分布 臺灣。

*クロボシサシガメ* *Cantusaurus fulvo* Stål (一六九)

♀



*トビイロサシガメ* *Oncocephalus palliornis* H. S. (一七〇)  
體は淡黄褐色。第一觸角節の内側に暗色の縦條あり。稜狀部に顆粒多く、中央は黄褐色。前翅の中央に天鵝絨線の一黒條あり。腿節に二黒



♂

條を裝ふ。體長四分五厘、五分五厘。これは九州地方に稀ならず。

分布 本州、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。



*ゴミアシナガサシガメ* *Gomphocerus sibiricus* L. (一七一)

*Orthoneura bipunctata* Y. H.

體は暗黄褐色、黄褐色の長毛を密生す。觸角第二節の末端及び第三節の基部は黄白。前胸背中央に黄色の二縦條を具ふ。前翅は半透明、翅底脈は暗色、前縁は赤褐色、末端の脈は暗褐色、腹部は暗褐色。脚は黄色、腿節に暗色紋あり。體長五分。これは本州に産すれども稀なるが如し。

分布 本州(京都、奈良、岐阜、盛岡)。

*クロモンサシガメ* *Phytolacca turpis* Wk. (一七二)

體は黒色、灰色の短毛を密生し、その間に長黒毛を粗生す。半翅鞘は黒褐色、内片の基部にある



縦紋、く字形の縦條及び膜質部にある卵

形紋は黒色。跗節は褐色。體長四分五厘内外。これは餘り多からず。

分布 北海道、本州、支那。

*ヤエヤマサシガメ* *Phytolacca turpis* Wk. (一七三)



暗色の叉狀線を具へ、前胸背に四縱溝を裝ひ、

暗色の叉狀線を具へ、前胸背に四縱溝を裝ひ、  
兩胸の側片に暗色の縱條あり。前中脰節の兩端  
及び中央に暗色環あり。腹面は黒色。體長四分



體は淡黄。紋條は暗褐。第一口吻節の兩側には暗褐紋あり。複眼の後方にある紋は灰色。稜狀部の三角紋は暗色、その兩側に黄色點あり。半翅鞘の中央に判然せざる褐色の一紋を具へ、膜

## (一七六)

暗色の三縦條を

腿脛節に暗色紋を具ふ。體長二分内外。これは



*Nabis apterus* F.  
體は黒褐。前頭及び複眼は赤褐。單眼の兩側は

## (一七八)

♀



翅鞘は暗  
褐色、腹側  
は黄白、  
第四及び



(120)

♀ Rhinocoris ornatus Uhl. 體は黒色、斑



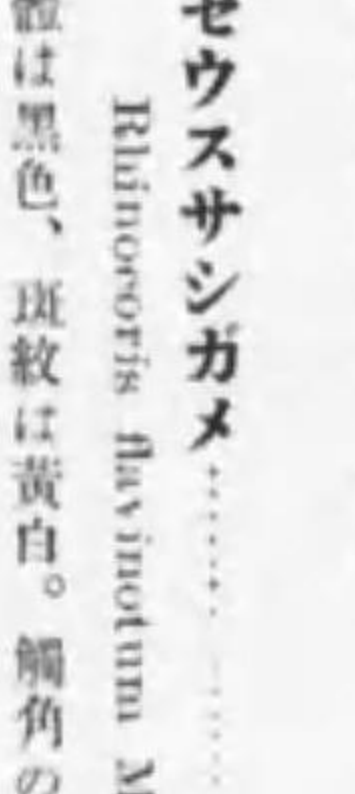
脚。

色體

## 體色。

周圍（中央の緊縮部を除き）及び腹側は紅色。體

長四分—五分。これは中國地方に稀ならず。  
分布—本州、四國、九州。

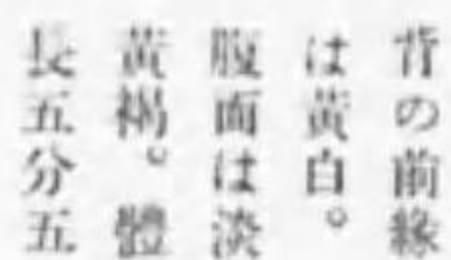


ナカグロアカサシガメ……………(一七)

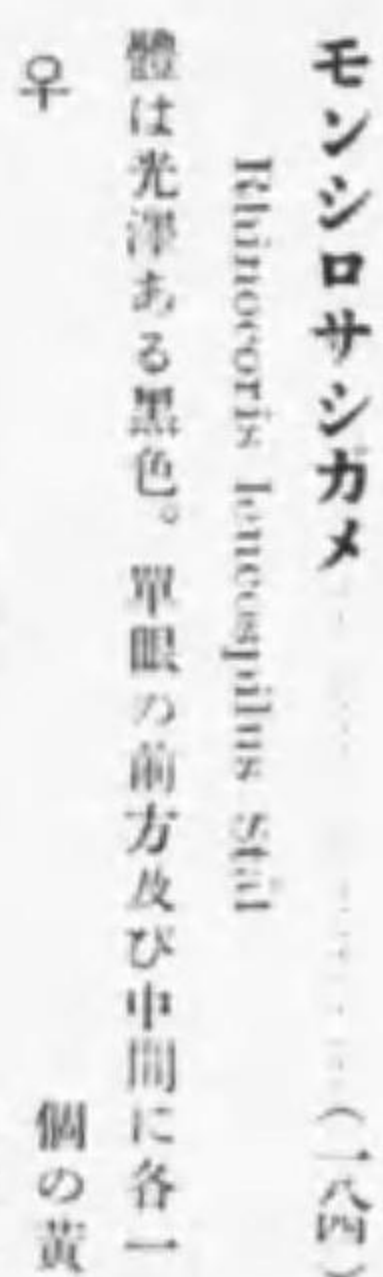
## (1501)

1  
2  
3  
4  
5  
6





分佈 樺太、北海道、本州、西比利亞。  
キイロサシカメ、*Silenea flavipes* Stål (二八五)  
*Silenea flavipes* Stål  
體は黃色。前頭の兩側に太き暗褐條を具へ、單  
アピカールリス形。E. apicalis Stål



片及び前胸片の中央は黄白。腹部の接合膜は黒色と黄白の斑をなす。體長四分五厘内外。これは貼斷、蜈蚣等を食するを以て有益なり。嘗て樺太にて松貼斷大發生の當時、大益ありたるものなり。



眼の周圍及び頭の兩側は黒色。前胸背後方の三分の一は黒褐、稜狀部黒色、基部黃色。半翅鞘は黒色、内片及び外片の基部并に中央の内側は黃色。體長五分五厘—六分五厘。これは中國地方に稀ならず。

**分布**—本州、四國、九州、臺灣、支那、比島、印度。



は少しく  
淡色、膜  
質部の脈  
は暗褐色  
にして、判  
然せり。

腹側は黄色、各接合膜の後縁は黒色、腹面に白紋を散在す。腿脛節に黄白紋あり。體長四分四分六厘。これは本州に稀ならず。

〔分布〕 本州、四國、九州、支那、印度。

### ハネナシサシガメ

（一六七）

*Velimolus chitatus* Mats.

體は暗色。觸角は黒色、末端は黄褐色。口吻の末端は黄色。腹部の接合膜の後縁角に各一個の

黄褐色を装ふ。體下及び脚は光澤ある黒色。體長五分五厘。

〔分布〕 北海道及び本州に産すれども、餘り多からず。

ふ。後翅部の末端は黄褐色。半翅鞘は暗黄褐色、基部は少しく淡色、膜質部の脈は暗褐色にして、判然せり。

〔分布〕 北海道、本州。



黄褐、基部は少しく淡色、膜質部の脈は暗褐にして、判然せり。

*Velinus nodipes* Ulr.



體は黒色。觸角第一節は長く、稍々同距離に一面の黄色部あり。喉頭は黄色。半翅鞘は黒褐色。雌



腿節及び脛節に瘤狀の隆起多く、腿節に黄紋あり。體長四分五厘内外。これは一種の膠質物を分泌して蔦芥を附着す。本州及び九州に稀ならず。

分布—本州、九州。

二 床蝨科 *Cimicidae*



觸角は絲狀、頭の前端より起り、四節より成る。口吻は三節にして、長く、腹部に達し、第二節は甚だ長し。單眼は甚だ大なる複眼間に二個ありて、相接近す。稜狀部小なり。水邊に普通なる卵形の小形種なり。本邦に産するもの數種あり。食肉性なるが如し。

ミツギハガメ *Spida zeutholis* Horv. (二八九)

體黒褐。頭頂板及びその後方にある横隆起は黃色。觸角短かく、第一、二節の大半黃色。半翅鞘は黒色、少しく藍色も帶び、大白紋を散在す、但し外側の二紋は藍色を帶びず。膜質部は暗色、脈黒色、末端白色。脚黃色、腿節の下方及び脛節の兩端は黒褐。體長二分二厘。水潭の近邊に多し。

分布——北海道、本州。



觸角は鞭狀、四節より成る。口吻は三節、頭の前端より起る。複眼を有す。翅を缺く。稜狀部小。體は扁平にして、多くは卵形。何れも鳥若くは哺乳動物の血液を吸収す。本邦に産するもの二種あり。

トコジラミ(南京蟲)……………(一九〇)

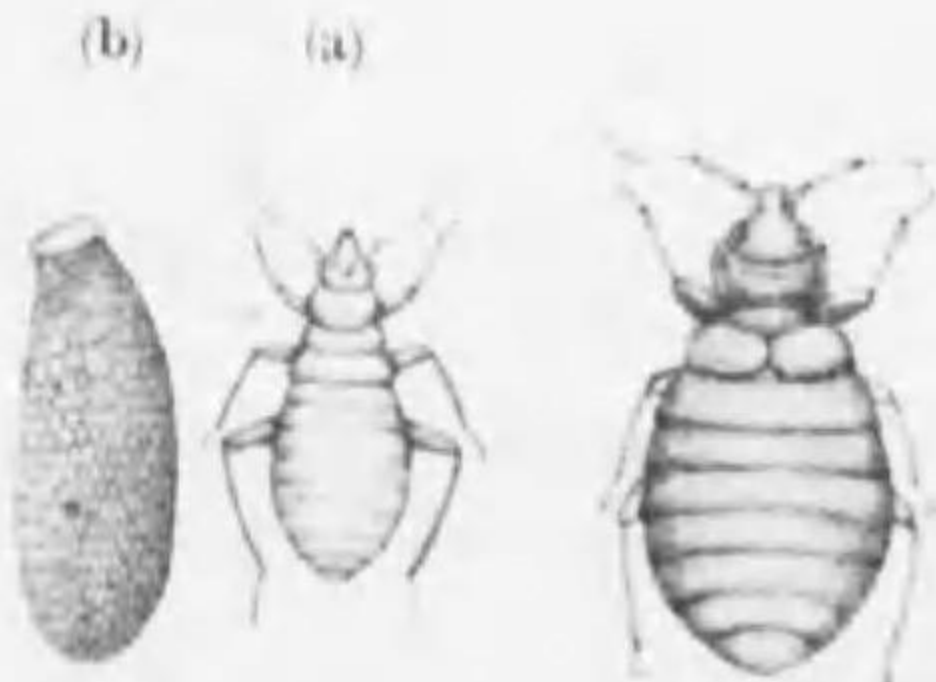
*Cimex lectularius* L.

體は黃褐、點刻を散在す。前胸背は心臟形。觸角、脚及び口吻は暗褐。體長一分八厘内外。こ

△

(a) 幼蟲

(b) 卵(廓大)





これは幼時灰白色を呈す。有名なる吸血害蟲にして、今や全世界に傳播せり。  
分布—世界共有。

## 一二 盲椿象科 (Cysnidae)

觸角は鞭狀、四節より成り、第四節は頗る細く、頭の下方より起る。單眼を缺く、故にこの名あり。口吻は四節あり。體は柔軟。稜狀部小なり。本邦に産するもの百數十種あり。何れも植物の液汁を吸收し、農林業に有害なり。これは單眼を缺き、鞭狀の觸角を有するを以て他と區別すること容易なり。

### シマメクラガメ

*Adelphocoris schmidtii* Esch.

體は緑色、斑紋は黒色。頭黄色、黒紋條あり。觸角は黄色、若くは黒褐、第一節の基部、第二三節の末端並に第四節は黄褐。前胸背に黒色の縦紋あり。楔狀片は黄色、その末端は黒色。腿節に黒紋を縱列し、脛節端及び跗節は黒褐。體長二分八厘内外。これは雜草間に普通なり。



分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

### ヘリグロメクラガメ

*Adelphocoris suturalis* Jak.

體は黄色、少しく緑色を帯び、頭は黄褐、前頭の中央に黒褐の一縱條あり。前胸背兩側に卵形の一黒紋を具ふ。稜狀部は黒褐。半翅鞘に黒褐紋あり。前胸側片に卵形の黒褐紋を具へ、中胸側片にも黒褐紋あり。腿節に褐紋を散在し、跗節端は黒褐。體長二分一二分五厘。これは雜草間に普通なり。



### ヒゲナガメクラガメ

*Adelphocoris lineatus* Goeze

體は黒色。後頭は暗黄。觸角黄色、黒褐の部分あり。前胸背は黄色、黒紋あり、前縁は黒色。半翅鞘の外片は綠黄、接合線に平行せる一條及び末端は黒褐、楔狀片は黄色、中央に一暗色紋あり。脚は黄色、腿節に黒紋列あり。體長二分五厘内外。これは雜草間に普通なり。  
分布—北海道、本州、歐洲。



分布—北海道、本州、西比利亞。

### フタモンメクラガメ

*Adelphocoris variabilis* Uhl.

彩色に變化多しと雖とも、普通黄色、少しく綠色を帯び、短毛を密生す。頭は黒色。觸角は黄色なれども、暗色を帯ぶることあり。前胸背の中央に卵形の二黒紋あれど、前縁及び兩側に褐紋あり。稜狀部の末端は黄色。半翅鞘の内片は黒褐、外片の中央に三角形の黒紋あり。體長二分六厘内外。これは雜草間に普通なり。  
分布—北海道、本州。



### アカスチヒゲアトメクラガメ

*Atractotenus rubrolineatus* Mats.

體は黒色。觸角短、複眼の内側及び後縁は淡黄褐。その他の斑紋は赤色。半翅鞘の前翅及び楔狀部の中央に暗色の各一紋を具ふ。脚は黒



第一〇 有 吻 目

色、赤褐及び黄白紋を具ふ。體下に赤色の部分あり。體長一分六厘内外。これは杉の害蟲なり。  
分布—本州。

### アカスチメクラガメ

*Calocoris rubrovittatus* Mats.

體は黄色、少しく緑色を帯ぶ。觸角赤褐、末端少しく淡色、前頭に赤黄の二紋を具ふ。前胸背に赤褐の二縱條ありて、これは後縁にて廣まる。前胸背の後縁及び稜狀部の基部は淡赤褐。



及接合部は赤褐。脈は赤褐。體下は黄白。脚は赤褐、黄白部あり。體長一分六厘。これは雜草間に捕獲し得べし。  
分布—本州(京都)。

### モンキクロメクラガメ

*Capsus ater* Jak.

體は黒色。頭頂は暗黄、三黒縱條あり。觸角第

三及び第四節は暗黄。前翅楔狀片は橙黄色、その末端は黒色。脛節の末端及び跗節の大部は黄色。體長三分内外。これは雜草間に普通なり。



分布—北海道、本州、西比利亞。

### アカアシメクラガメ

*Dicoryphus latus* Uhl.

體は黒色、頭頂に黄色の一紋あり。觸角は褐色、第一節の基部及び第三節の基部は黄色。前胸背の中央に黄色の輪環あり。稜狀部は黄色、四黒紋あり。半翅鞘は綠白、内片は赤褐、その基部と外片との境界は黒色、膜質部は透明、末端及び基部に黒紋あり。腹部は黄色、兩側縁は黒色。脚は赤色。體長二分五厘内外。草間に普通なり。  
分布—北海道、本州。



### タバコメクラガメ

*Gallolaelius crassicornis* Dist.

一二一七



體は緑黄。觸角は黄色、第一節は兩端を除き黒色。第二節の基部に黒輪を具へ、第三節の基部並に第四節は暗褐。頭



は細く、褐色を帯ぶ。稜狀部の末端は暗褐。前翅は灰黄、外片及び梗狀部の末端は暗褐。中央に判然せざる一暗色紋あり。脚は黄色、褐色の部分あり。體長一分二厘。これは煙草に大害を加ふ。

分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那、印度

#### リンゴクロメラガメ

*Heterorhynchus flavipes* Mats. (1100)

體上は黒褐。體下は赤褐。脚は黄色。觸角暗色、基部は淡黄、末端は濃色。體長一分内外。これは青森縣地方にありて、苹果に大害を加ふ。これに罹りたる時は萃



♀  
a) 芽上にある卵子  
b) 卵子(膨大)



a) 芽上にある卵子  
b) 卵子(膨大)

暗色。前翅の後縁及び中央の縦紋は暗褐、梗狀片の末端は赤褐、脈は紅色。脚は綠色、跗節は暗黄、後腿節の末端に近く褐色の二紋あり。體長一分六厘内外。これはウド、ハクカ、カラマツ等に寄生す。札幌地方に多し。



♀  
體は黒色。頭頂に二赤紋あり。觸角は黒色、第一節の黄褐なるものあり。半翅鞘には膜質部を缺き、内片に顆粒突起あり。脚は黒褐若くは黒色、腿節は褐色。體長一分六厘内外。これは一見甲蟲に似たり。雜草間に捕獲し得。

分布—北海道、本州。

#### クロマルメラガメ

*Orthocentrus funestus* Jak. (1105)

體は黒色。頭頂に二赤紋あり。觸角は黒色、第一節の黄褐なるものあり。半翅鞘には膜質部を缺き、内片に顆粒突起あり。脚は黒褐若くは黒色、腿節は褐色。體長一分六厘内外。これは一見甲蟲に似たり。雜草間に捕獲し得。



♀  
體は黒色。頭頂に二赤紋あり。觸角は黒色、第一節の黄褐なるものあり。半翅鞘には膜質部を缺き、内片に顆粒突起あり。脚は黒褐若くは黒色、腿節は褐色。體長一分六厘内外。これは一見甲蟲に似たり。雜草間に捕獲し得。

分布—北海道、本州、滿洲、西比利亞。

#### トビダメラメラガメ

*Phytocoris novickyi* Fieb. (1106)

體は赤褐、黄斑あり。頭黄色、赤褐縦紋を具へ、前額は少しく濃色、稜狀部は黄色、基部及び兩側

果は變じて異形を呈す。

分布—本州(青森、岩手)。

#### アラメラメラガメ

*Lygus lineum* Mey. (1101)

體は暗綠色。頭頂に一、二の黒縦條あり。觸角暗褐、第一及び第二節の兩端を除き黄色。前胸背に點列あり。稜狀部黄色、中央に黒褐紋を裝ふ。半翅鞘外片の末端に近く二三の褐色縦條あり。體下は黄色、腹面の中央及び兩側に太き黒褐の縦條あり。脚は黄色、腿節の末端に褐色紋あり。體長二分内外。これは禾本科の雜草間に普通なり。



♀  
體は淡綠色。頭黄色、頭頂板の大半は黒色。觸角黄色、末端の二節は暗色。前胸背の前半は黄色、後半は淡綠。梗狀片は黄色、末端は黒褐。膜質部は灰色、の縦紋は赤褐。半翅鞘外片の中央に黄色の縦條を走らし、黄色の圓紋を散在す。梗狀片は黄色、末端は赤褐、脈は赤血色。腹部の兩側は黄色。後胸節の基部は黄色、末端の三分の二は赤褐、黄紋を散在す。腿節及び跗節は黄色。體長二分二厘。カバ、ブナ等に普通なり。

#### マキハメラメラガメ

*Lygus kalmi* L. (1102)

體は淡綠色。頭黄色、頭頂板の大半は黒色。觸角黄色、末端の二節は暗色。前胸背の前半は黄色、後半は淡綠。梗狀片は黄色、末端は黒褐。膜質部は灰色、の縦紋は赤褐。半翅鞘外片の中央に黄色の縦條を走らし、黄色の圓紋を散在す。梗狀片は黄色、末端は赤褐、脈は赤血色。腹部の兩側は黄色。後胸節の基部は黄色、末端の三分の二は赤褐、黄紋を散在す。腿節及び跗節は黄色。體長二分二厘。カバ、ブナ等に普通なり。



♀  
體は灰色。觸角は暗褐、第一節は灰白、灰黒點を散在し、第二、三節は白色、第二節の中央は黄褐。頭は灰白、前頭に一暗褐紋あり。前胸背は暗褐、前後縁は灰白。稜狀部に暗色の二縦條あり。

#### シナノメラメラガメ

*Phytocoris thuae* L. (1107)

體は灰色。觸角は暗褐、第一節は灰白、灰黒點を散在し、第二、三節は白色、第二節の中央は黄褐。頭は灰白、前頭に一暗褐紋あり。前胸背は暗褐、前後縁は灰白。稜狀部に暗色の二縦條あり。



外縁に近く暗色紋あり。腿節の末端に近く暗色の一輪環あり。體長二分内外。これは禾本科植物に普通なり。

分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

#### マダメラメラガメ

*Lygus saundersi* Reut. (1103)

體は暗褐。第一觸角節は黄色、その外側に暗色の一縦條あり。頭の兩側に黄紋を列ぬ。前胸背前縁の二紋及び後縁は黄褐、中央の一縦條は黄色。半翅鞘は黄褐、前縁の中央及び梗狀片の末端は暗褐、梗狀片



♀  
體は黄白、その末端は黒色。膜質部は暗色、灰白紋あり。脚は黄色、腿節に暗色紋多し。體長一分五厘内外。これは繖形科植物に普通なり。

#### ウドメラメラガメ

*Lygus ulonis* Mats. (1104)

體は黄褐。觸角は暗褐、第一節は黄褐。前胸背の前縁及び後縁は暗褐。稜狀部は黄色、基部は

りて、末端は白色。前翅は灰白、暗色紋を粗布し、膜質部に暗褐の小點を密布す。脚は灰白、暗色紋を散在す。體長二分五厘内外。シナノキに普通なり。

分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

#### ヘウタンメラメラガメ

*Phytocoris zethosus* Horv. (1108)

體は黒色。觸角は黄褐、第二節の末端は黒色、第三及び第四節は暗色、第三節の基部は黄色、第四節の基部は白色。半翅鞘は黄褐、中央に銀白色の二毛帯を裝ふ。體長一分五厘。これはハシノキに普通なり。



分布—樺太、北海道、本州。

#### ナスメラメラガメ

*Phytocoris solani* Mats. (1109)

體は暗灰色、少しく緑色を帯ぶ。稜狀部は黒褐。觸角は黄褐、暗色の部分あり。稜狀部の基部は黄褐。前翅は灰色、外片の末端



に近く暗色紋を具へ、楔状片は暗色を帯び、基部に灰白の一致あり、脈は淡黄。脚は暗褐、腿節の末端及び脛節は黄色。體長八厘内外。これは茄子、蕃茄に普通なり。



分布 樺太、北海道、本州。

ムギメクラガメ……………(二一〇)

*Zenodema calcaratum* Fall.

體は黄緑。頭の兩側に暗色の一縦條あり。前胸背兩側に暗色の縦條ありて、稜状部の前兩角は暗色の一縦條を有す。中胸背は黒色。脚は黄色、後脛節の上方に二條の黒紋列あり。體長二分—二分五厘。これは禾本科植物の害蟲なり。



分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

アカヒゲメクラガメ……………(二一一)

*Trigonotylus ruficornis* Geoffr.

體は綠色。觸角は赤血色。稜状部の中央に淡色の

♀



一縦條あり。跗節及び後肢の脛節端は赤血色、跗節端は黒褐。體長一分八厘—二分。これは稻の害蟲なり。

分布 日本全土、西比利亞、歐洲。

アカミヤクメクラガメ……………(二一二)

*Zenodema rubrinerve* Horv.

體は綠色。觸角は暗黄、第二節の末端及び第四



♀

節は赤色。頭にへ字形の灰黄紋あり。前胸及び翅鞘(側部を除き)は黄褐。體長二分八厘内外。これは禾本科植物に有害にして、何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

テンサイメクラガメ……………(二一三)

*Tuponia guttula* Mats.

體翅は綠色。觸角は體より少しく短。體には白鱗を装ふ。前翅に灰白の圓紋を散在す、膜質部は灰白。脚は淡綠。體長一分四厘内外。これは甜菜に普通なり。



分布 北海道、本州。

### 一三 花椿象科

Anthrenidae

これは盲椿象に酷似すれども、其異なる所は單眼を具へ、口吻の太きにあり。その性多く食肉性なれども亦、植物の液汁を吸収し、時に花に集まり、その液汁を吸収するを以てこの名あり。本邦に産するもの十數種あり。

クハヒメハナガメ(クハヒメガメ)……………(二一四)

*Anthrenus morio* Mats.

體は光澤ある黒褐。觸角及び脚は黄色、但し觸角末端の二節は黄褐。翅は黄白、膜質部は灰白、半透明。體長七厘内外。これは九州地方にありて桑樹に大害を加ふ。桑芽は霜害を被りたるが如く加害せらる。



分布 九州(熊本)。

### 一四 眼水蟲科

Pelagonidae

體短楕圓形にして、稍々平たし。口吻は長く、四節より成る。前中の兩跗節は二節、後跗節は三節、膜質部に大なる半圓形の脈室あり。眼は大にして、突出し、腎臓形をなす、故にこの名あり。本邦學名を有するもの二種あり。何れも食肉性にして、その幼蟲は水中にありて、能く游泳す。

メミツムシ……………(二一五)

*Pelagonus flavomarginatus* Scott

體黒褐、斑紋は黄褐。頭には點刻及び横皺多し。半翅鞘に判然せざる青白紋を散在す。體下に灰白の短毛を密生す。體長一分六厘—一分八厘。これは播州地方の池沼に稀ならず。



分布 本州、四國、九州。

タイワンメミツムシ……………(二一六)

*Pelagonus formosanus* Mats.

前種メミツムシに酷似すれども、前胸背にある點刻は餘り判然せず、但し後縁の黄紋上にあるものは判然す。半翅鞘の前縁に三個の黄紋ありて、一列に排置せらる。後脛節の末端兩側は暗色。體長一分四厘。これは臺灣の池沼に稀ならず。



分布 臺灣。



一五 金判蟲科 *Nanoriniidae*

體は卵形にして、平たし。觸角は四節より成る。前肢は捕獲肢に變じ、腿節は甚だしく發達し、跗節を缺き、脛節に長き一爪あり、後肢は二跗節を具へ、二爪を裝ふ。半翅鞘の膜質部には脈なし。尾端に長毛を缺く。體は楕圓形にして、稍金判形を呈するを以てこの名あり。本邦に産するもの僅に一種あり。これは地方的の昆蟲にして、中國地方の池沼に多く、時に幼魚に有害なり。

コバンムシ *Nanoris eximulionis* Scott. (三六)



體は黄色、少しく緑色を帯ぶ。腹面は暗黄、兩側に暗色紋を列ぬ。これは播州地方の池沼に普通なり。體長四分五厘内

外。  
分布 本州、四國、九州。

一六 鍋蓋蟲科 *Aphelocheilidae*

體は圓形に近く、稍々平たし。觸角は四節にして、細長。口吻は長く、二節より成り、中肢の基部に達す。跗節は凡て二節にして、長き二爪あり。尾毛を缺く。これは清水の砂礫上に棲息する種類にして、時に池沼にありて淡水産の海綿に穴を穿ち、その内に住するものあり。本邦學名を有するもの四種あり。これには短翅形と長翅形とありて、大にその形狀を異にせり。何れも食肉性なるが如し。この形稍々鍋蓋に似たるを以てこの名あり。

カハムラナヘバタムシ *Aphelocheilus kawamurae* Mats. (三八)



體は暗褐、黄褐毛を粗生す。前胸背の後縁に



横皺を具ふ。稜状部の末端は黄色。脚は淡黄、基節及び末端を除きたる中腿節は暗色。體長二分三厘内外。これは琵琶湖にて捕獲せられたるものなるが、圖の如き淡水海綿中に棲息す。

分布 本州(琵琶湖)。

トゲナヘバタムシ *Aphelocheilus nawaie* Mats. (三九)



雌、體は黄色、斑紋は暗色。雄にては腹背黒色。中央及び兩側に黄色紋を列ぬ。體長二分五厘一

三分五厘。これは岐阜地方の清水に少なからず。砂礫の多き溝にありては保護色をなす。

分布 本州、九州。

シラキナヘバタムシ *Aphelocheilus shirakii* Mats. (四〇)

體は暗色。頭、口吻、脚及び尾端の棘状突起は黄色。これはナベバタムシに酷似すれども、その異なる所は、全部暗色にして、黄色の部分を生ず。

一七 田鼈科 *Belostomatidae*

體は平たし。觸角は四節より成る。前肢の腿節は甚だしく膨大し、跗節は一節、その末端に長き一爪あり。尾端に短き附屬物あれども、これによりて空気を呼吸せず。本邦に産するもの四種あり。何れも幼魚の害蟲にして、時に蛙を捕食することあり。

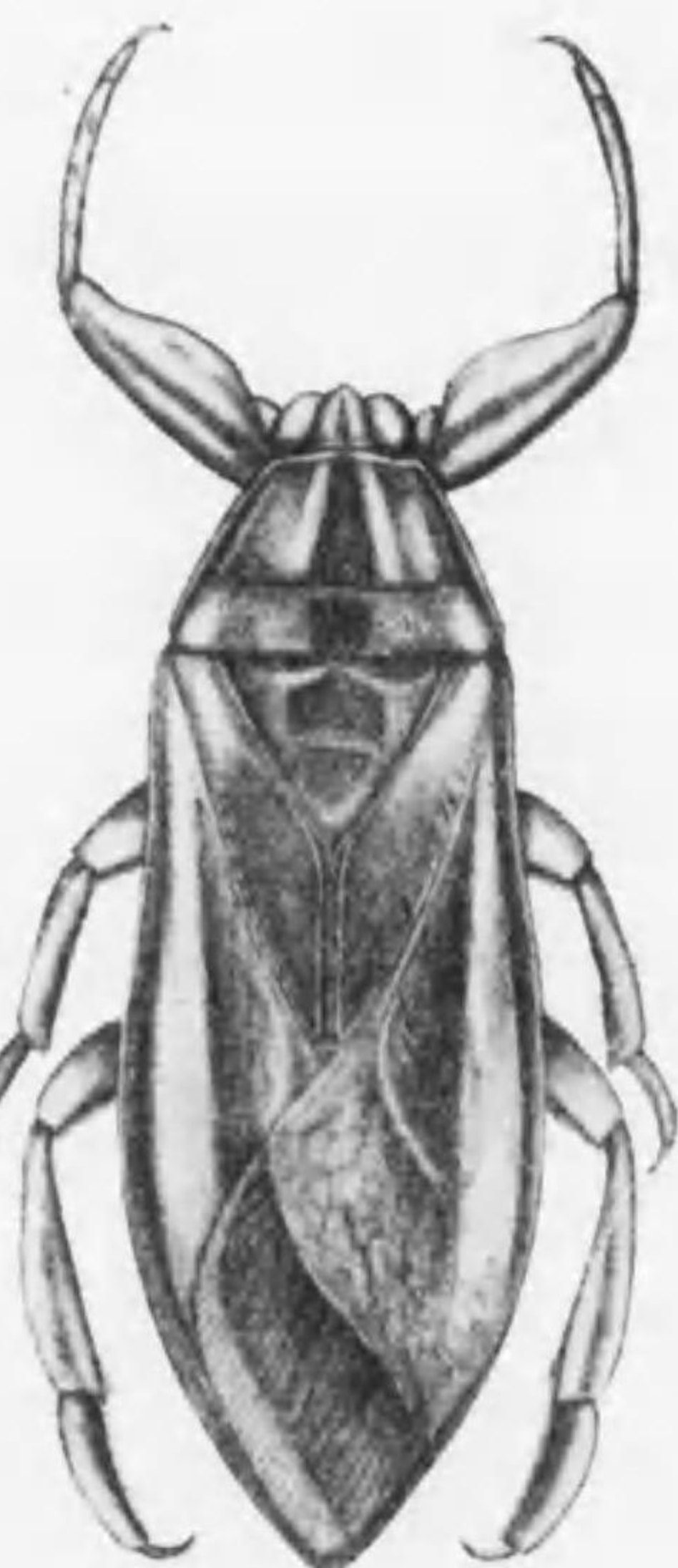
タイワンタガメ *Belostoma taiwanense* Iap. et Serv. (四一)

これはタガメに酷似すれども、その異なる所は、

分布 本州(岐阜)。

タガメ(田鼈) *Kirialyia deyrollei* Vuill. (四二)

體は暗灰色。前胸背の後縁に一横溝あり。前翅は革質、後翅は黄白にして、翅底は黄色。中後の兩肢に暗褐色を裝ふ。體長一寸八分一二寸。これは本州に



は本州に普通なれども、北海道には稀なり。幼魚の害蟲なり。時に蛙を捕へ、その血液を吸収す。



缺き、形少しく小形なるにあり。體長四分。これは餘り多から

ざるが如し。  
分布 本州(岐阜、箱根)。

ナベバタムシ(鍋蓋蓋) *Aphelocheilus vittatus* Mats. (四三)



これはトゲナベバタムシに似れども、その異なる所は、前胸背の兩側にある突起は圓く、腹側にある突起は短かく、尾節の中央に黒色の一縦條を裝ふ。體長四分五厘。これは岐阜地方の溝に少なからず。

分布 本州(岐阜)。





多く水田に住するを以て田鼈の名あり。一名これを河伯蟲(河童蟲)とも云ふ。

分布—日本全土。

コヲヒムシ(子負蟲)……………(三四)

*Sphaeroderma japonicum* Vuill.



體は暗褐。前跗節に爪を缺き、中後肢に暗褐紋を缺く。體長八分内外。雄は常に雌の卵子を背上に附着するを以て子負蟲の名あり。時に雌の卵子を負ふものあり。これは幼魚の害蟲なり。



♀

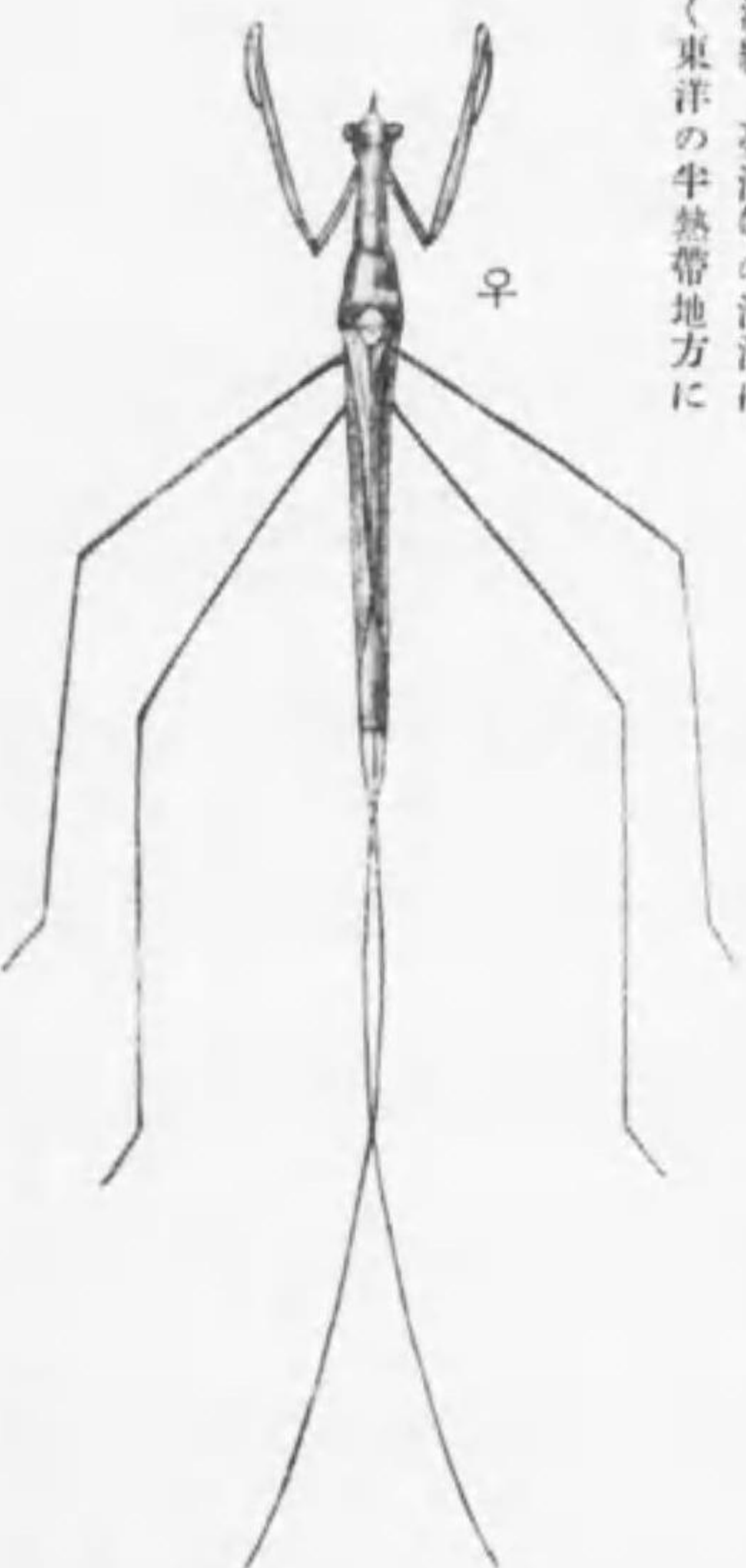
オキナハコヲヒムシ……………(三五)

*Sphaeroderma rusticum* F.

これはコヲヒムシに酷似すれども、その異なる所は、形小、節色を呈し、前胸背の後縁は廣く、横溝は不明瞭、點刻は微小、半翅鞘に細狀脈を缺くにあり。體長五分三厘

内外。これは沖縄、臺灣等の池沼に普通なり。廣く東洋の半熱帶地方に分布す。

分布—沖縄、臺灣、支那、比島、印度、澳洲。



♀

ミツカマキリ(水斧蟲)……………(三六)

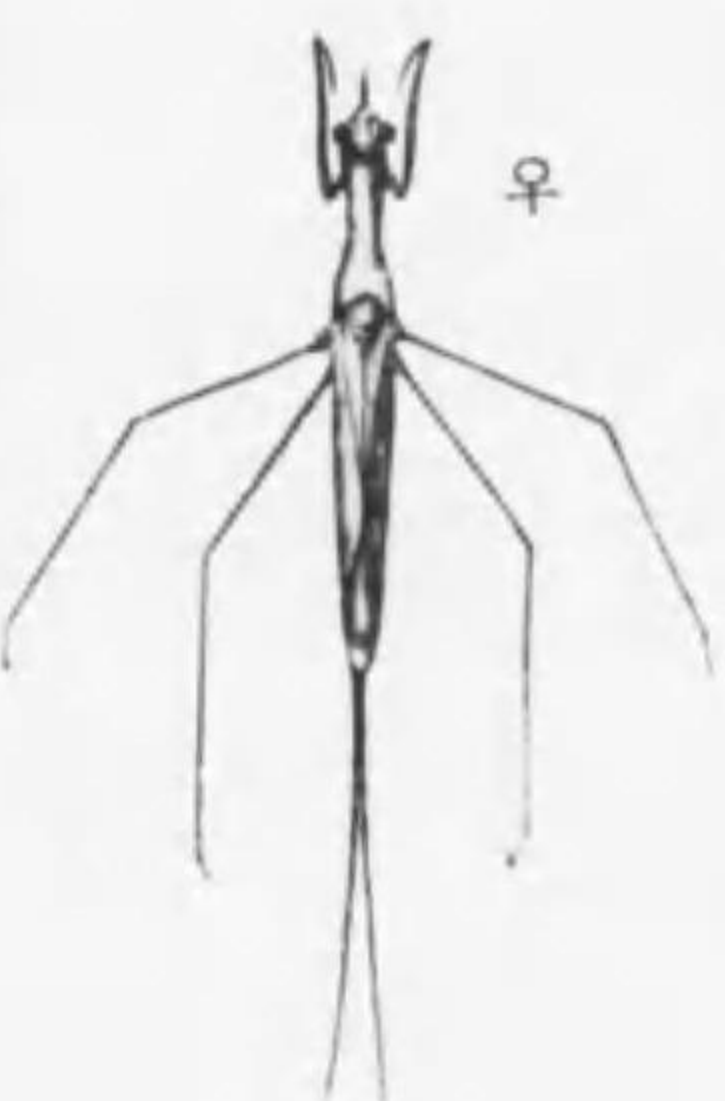
*Limania chinensis* Mayr

# 一八 紅娘華科 *Nepidae*

體は長形。觸角は三節より成る。前肢は延長して鎌様の捕獲肢となる。跗節は一節。尾節に長き二附屬物ありて、その末端に一個の氣門を開き、これによりて空氣を呼吸す。幼蟲、成蟲共に幼魚を捕食して、大害を加ふることあり。本邦に學名を有するもの四種あり。これは時に空中を飛翔することあり。稀に燈火にも飛來す。

*Limania scutellata* Dolan

これはミツカマキリに酷似すれども、その異なる所は形小、前腿節の下方は黒色、残狀部は稍



♀

部は前胸背より短、兩側及び中央に隆起あり。脚には斑紋を缺く。體長八分内外。これは中國地方の池沼に普通にして、幼魚の害蟲なり。これは時には百合花に見ることあり。後翅は紅色を呈するを以て、紅娘華の名あり。北國には産せざるも中國の池沼には普通なり。その前肢を動搖する狀、恰も大鼓の撥を打つに似たり、故にこの名あり。

分布—本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

マダラ(アシ)ミツカマキリ……………(三七)

*Limania maculipes* Mats.

これはヒメミツカマキリに酷似すれども、その異なる所は體は細小、前胸背は長く、前肢の基部及び腿節に暗色紋を散在す。中肢の腿節にも同様紋を装ふ。體長七分八厘内外。これは臺灣に稀ならず。

♀



タイコウチ(紅娘華)……………(三九)

*Iacotrepes ruber* L.

體は黃褐乃至暗褐。全面に顆粒突起多し。残狀



♂

分布—臺灣(打狗)。

ヒメミツカマキリ……………(三八)

第一〇 有 吻 目



一九 松藻蟲科

Notonectidae

體は稍々圓柱形に近し。口吻は四節より成る。稜狀部は判然す。後跗節は二節にして、爪を有せず。常に水中にありて、腹部を上方に向けて游泳す。その複眼の延長せるが爲め、水上及び水下を同時に見ることを得べし。これは燈火に飛來せざるが如し。後肢は長く、その游泳の狀恰もボートを漕ぐに似たり、故に一名バツテラムシ(ボートマン)と云ふ。動物性の食物を餌となし時に養魚に有害なり。本邦に學名を有するもの七種あり。



オキナハママツモ  
*Notonecta bivittata* Mats.  
分布—本州、四國、九州、小笠原島。



タイワンママツモ  
*Enallagma formosana* Mats.  
分布—本州、四國、九州、小笠原島。



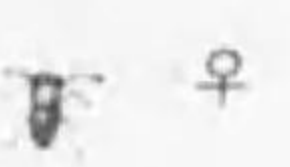
マルミヅムシ  
*Plea japonica* Horv.  
分布—本州、四國、九州。



オキナハママツモ  
*Anisops nivicus* F.  
分布—沖縄、臺灣。



クロイハママツモ  
*Anisops kuroivae* Mats.  
分布—日本全土。



ヒメマルミヅムシ  
*Plea indistincta* Mats.  
分布—本州、四國、九州。



## 二 風船蟲科 (水蟲科) Corixidae

體は平たく、口吻は隠れ、關節をなさず。觸角は四節。稜狀部は見えず。前跗節は拘子狀にして、一節より成り、爪を缺く。本邦に産するもの十數種あり。これは動物性の食物を以て餌となし、時に幼魚に有害なり。何れも背部を下方となして游泳す。コヅブに水を盛り、その内にこれを入れ置けば、一種氣持ちの好き微音を發す。又、風船様の玩具をその水中に入れ置けばこれに乗りて浮き來るを以てこの名あり。夜間燈火に飛來するもの多し。

ナミフウセン (ムシ) (風船蟲) (ミヅムシ) (三三八)

*Corixa distantis* Kirk.

♀



體は黄色。前胸背及び前翅は暗褐、前者には約十條の黄帶を具へ、後者には黄帶及び波狀の黄線を裝ふ。體長三分一三分五厘。これは札幌地方の池沼に普通なり。  
分布—北海道、本州(青森)。

## イシタフウセン

*Corixa ishikawa Mats.*

♀



これはコフウセンに類似すれども、その異なる所は、體は淡色にして、頭頂は長く突出し、前胸背に八條の黒帶を裝ふにあり。體長二分弱。これは臺灣の池沼に普通なり。  
分布—臺灣(桃園)。

## コフウセン

*Corixa substriata* Uhl.

體は黄色。前胸背に七個の黒色帯ありて、互に相平行す。前翅底に平行せる黒色帯を有すれども、他面にては波狀をなす。これは坊間に販賣する普通の風船蟲にして、これをコヅブの水中に入れ置けば、一種の美音を發す。體長一分九厘内外。何れの地方にも普通なり。  
分布—日本全土。



## カラフトフウセン

*Corixa schultzei Mats.*

(三九)

體は暗褐。前胸背には十條の暗色帯を具ふ。稜狀部は暗色。翅を合する時は約、幅の三倍長あり。體長二分三厘—二分七厘。これは樺太の池沼に普通なり。



分布—樺太。

## ツヤフウセン

*Macrocorixa okinawensis Mats.*

體は淡黄褐。頭及び稜狀部は淡黄、前頭は褐點を散在し、その後縁に褐色紋あり。前胸背及び半翅に不明の點刻を具へ、褐色の微毛を裝ふ。體下及び脚は黄色。體長二分三厘内外。これは沖縄及び臺灣の池沼に産する普通種なり。  
分布—沖縄、臺灣。



## タイワンチビフウセン

*Microcorixa formosana Mats.*

♀



體は少しく緑色を帯びたる褐色、點刻及び毛を缺く。前翅前縁の基半部は淡色にして、その中央に暗色の一縱條あり。

## 三 蟬科 Cicadidae

觸角は針狀にして、七節より成る。頭頂に三個の單眼あり。雄は腹部に發音器を有す。前腿節は膨大し、剛刺を裝ふ。幼蟲は地下にありて、樹根の液汁を吸收し、有害なり。卵子は多く樹枝に産下せらるゝものを以て、その局部の死すること少なからず。本邦學名を有するもの百餘種ありて、その大部は臺灣に産す。

ヒメフウセン (ヒメミヅムシ) (三四四)

*Microvelia sedula* Horv.

♀



體は黄色、少しく褐色を帯ぶ。頭頂に判然せざる褐色の一縱條ありて後頭にある一紋と相連絡す。前胸背及び前翅は暗黄。後者に四縱條ありて、前縁にあるものは中央に達し、他の三條は翅底に達せず。體長八厘—一分。これは殊に九州の池沼に多し。  
分布—本州、四國、九州。

## コエゾセミ

*Cicada himantata* Motsch.

(三四五)

體は黒色、黄紋を裝ふ。前胸背にW字形大紋あり。翅は透明、脈は黒色、但し翅底の三分の一は黄色若くは緑色を帯ぶ。腹蓋は黄白、中央にて縫れ、末端にて圓く、白粉多し。體長一寸内外。開長三寸内外。これは札幌地方に普通なり。



アカエゾセミ (三四六)

*Cicada flammea* Dist.

♀

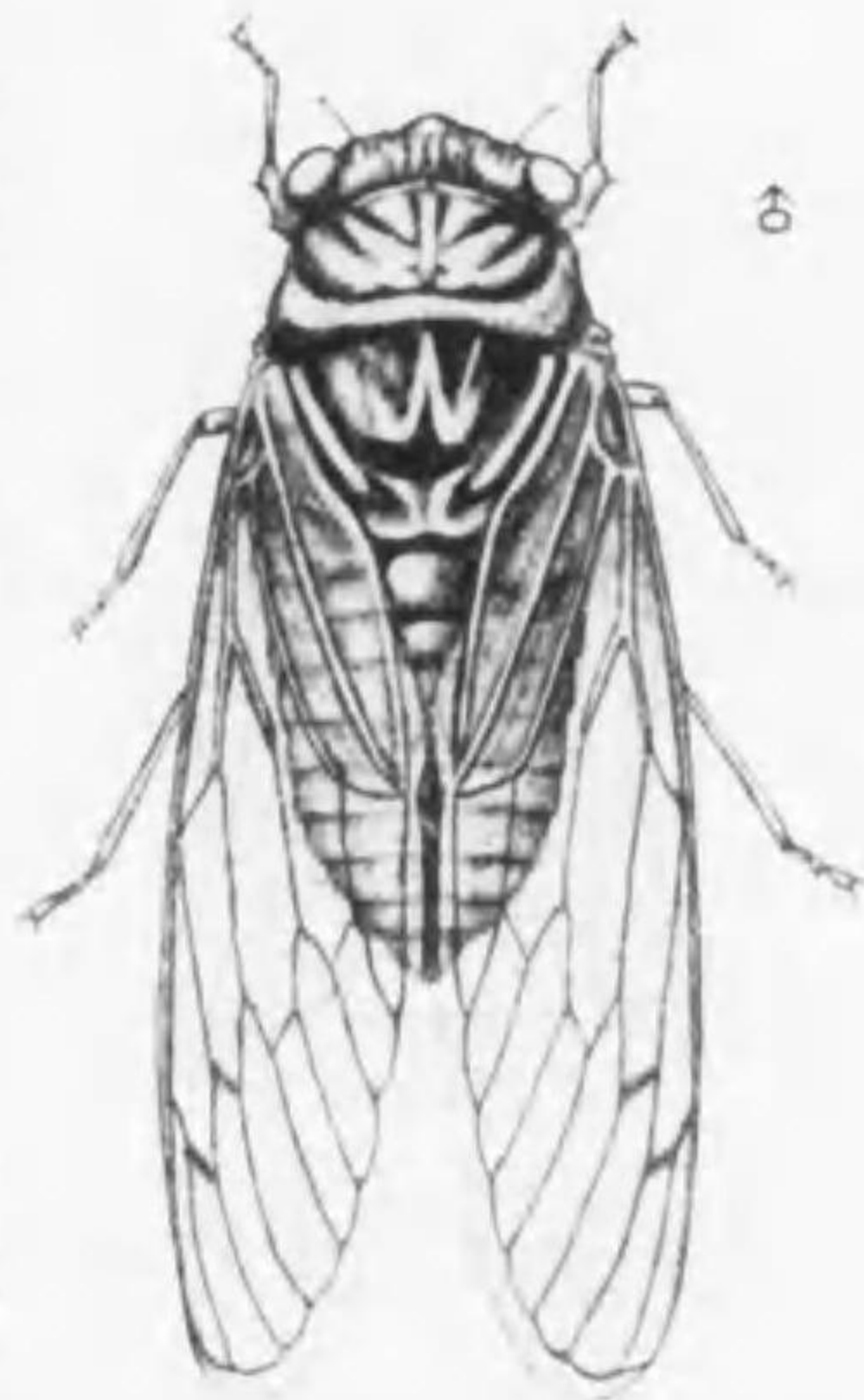


これはエゾセミに酷似すれども、其異なる所は、大部赤褐を呈し、前翅も亦赤褐を帯び、翅端室は長く、これに暗色紋を具へ、腹蓋の短かきにあり。同じくギギギと鳴く。體長一寸三分。時々多數發生することあるも平時は稀なり。  
分布—北海道、本州(岩手、青森、鳥取)。

## エゾセミ

(三四七)





*Cicada japonica Kato*

コエジセミに酷似すれども、その異なる所は、形大にして、腹端の中央は唯だ少しく縮れ、その末端は内方にて傾斜す。體長一寸三分内外。開張三寸八分内外。これは北海道に普通なり。聲はアカエジセミに酷似すれども大聲なり。

分布—北海道、本州、四國。

クマゼミ(蚱蜢)



部黒色、中後の兩肢に黒條あり。腹端は橙黃色。翅は透明、前翅前縁の基部は黒色、斑紋を缺く。體長一寸五分内外。開張四寸内外。中國地方に多く、シャ／＼と鳴く。

分布—本州、四國九州、沖縄、臺灣。

タイワンクマゼミ

*Cryptotympana taiwana holsti* Dist.

體は黒色。單眼前



方の一紋、口吻の基部、額の兩側、×字隆起等は黄褐。腹端は形三角、黒色、外側黄褐。前翅

は黒色、末端の半部は透明。體長一寸七分内外。開張四寸二分。これは恒春に産すれども、その數多からず。

分布—臺灣(恒春)

イシガキクマゼミ

*Cryptotympana ishigaki* Sakuma



Mats.

翅は透明。腹端は黒色を呈し、後縁角は鋭角をなす。前頭及び中胸背の中央に黄褐紋を缺く。體長一寸六分内外。開張四寸七分内外。これは八重山に産するも、多からざるが如し。

分布—沖縄(八重山)。

リウキウクマゼミ

*Cryptotympana okinawana Mats.*

クマゼミに酷似すれども、その異なる所は第二腹節に太き白帯を具へ、前翅前縁の基部の橙黄褐を呈するにあり。體長一寸五分内外。開張四寸内外。沖縄には普通なるが如し。

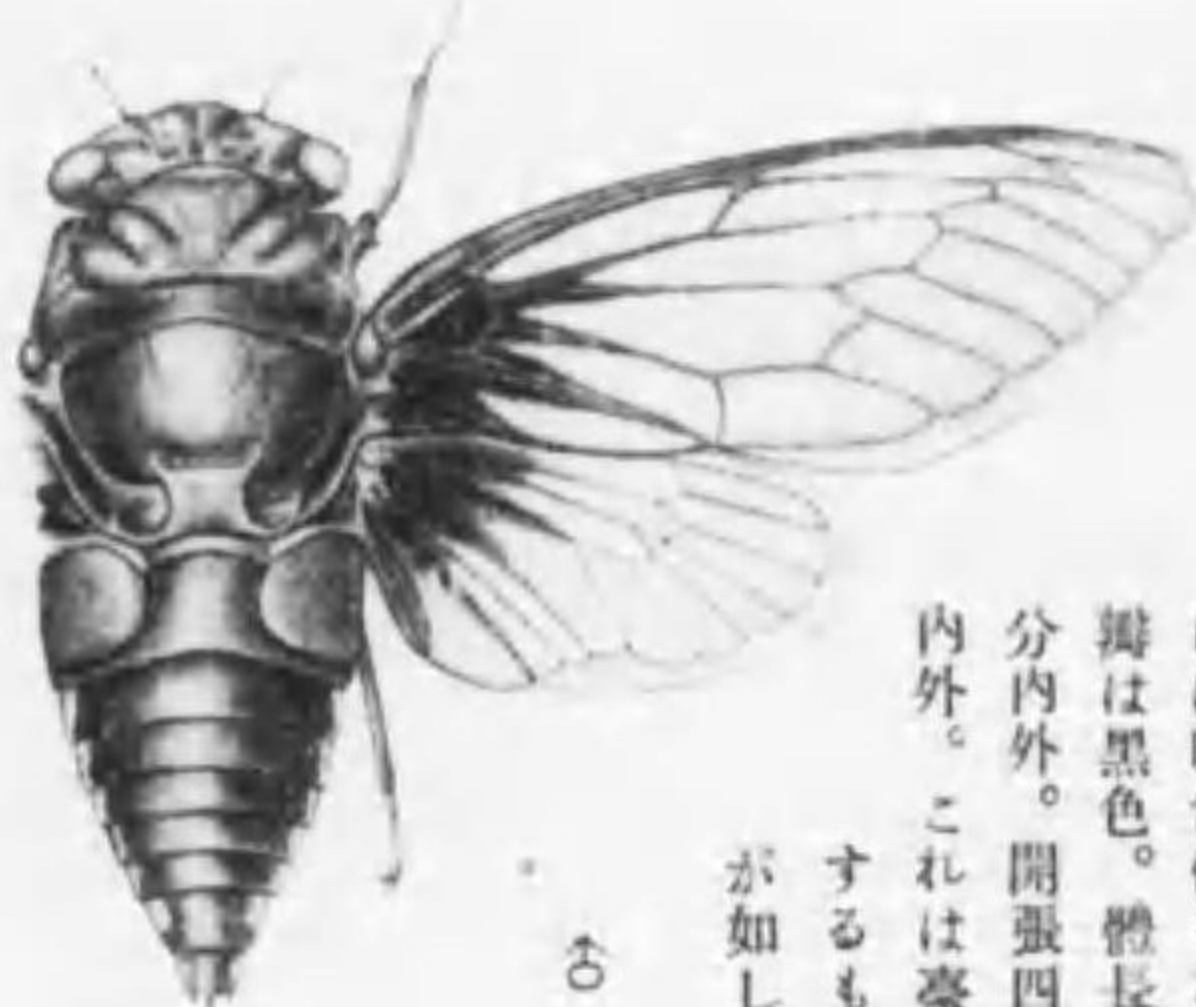


分布—沖縄。

シラキクマゼミ

*Cryptotympana shiraki Mats.*

體黒色。前翅は透明、基部は黒色、翅脈の兩側には暗色條を有す。腹端は黒色。體長一寸七分内外。開張四寸五分内外。これは臺灣に産するも稀なるが如し。



分布—臺灣。

ヲガサハラゼミ

*Diceromyza boninensis Dist.*

體は緑色。胸背黒色。中胸背に黒紋を装ふ。腹端は弧狀三角形にして、黄白、腹部の約三分の

二に達す

この属の特徴は腹端の兩側を呈せず

尾端の兩側を呈せず

突起若くは角狀突起を有するにあり。體長一寸。開



張三寸内外。これは小笠原父島に普通なり。

分布—小笠原島。

イハサキヒメハルゼミ

*Enteromusia iwashiki Mats.*



黄白、腹端は黄緑、稍々楕圓形。體長八分五厘。



開張二寸内外。これは沖縄石垣島に産する珍種なり。

分布—沖縄(八重山)。

タイワンヒメヒグラシ

*Formosmia apicalis* Mats.

體は黄緑、黒紋を装ふ。腹背は黄色、尾端の二節は暗褐色。腹背は暗褐色。腹背は暗褐色。腹背は暗褐色。



色を帯ぶ。體長八分。開張二寸三分内外。これは臺灣北埔地方に稀ならず。

分布—臺灣(北埔)。

タイワンアブラゼミ

*Formosmia sieboldi* Dist.

これは日本領産最大の蟬なり。體黑色、黄緑紋を装ふ。翅は黑色、不透明、中央に黄色帯ありて、これは斷續せり。體長一寸六分内外。開張四寸九分内外。これは臺灣の中部に稀ならず。

♂



一二三二

分布—臺灣。

アブラゼミ(鳴蟬)

*Graptopsaltia colorata* Sait.

♂



白粉を散布す。腹背は短かく、卵形を呈す。體長一寸二分内外。開張二寸五分内外。これは本邦普通なる種類にして、主として日暮にギーギギと鳴く。

分布—北海道、本州、四國、九州。

コシアキニイニイ

*Hanza nichiyamae* Mats.

これは一見ニイニイに似れども、腹部の背背は不完全にして、鼓膜の一部を露出す。翅は灰黄銀色の鱗毛を有す。背背の外側は穹状に膨起し、内側は稍々圓形に刻らる。體は綠色。額の縦溝は頭頂に達す。後翅は暗褐、三條の黄帯あり。

分布—沖縄

カラフトチツチゼミ

*Karupsalia sachalinensis* Mats.

體は黑色。前胸背の中央にある二小紋、中胸背の二紋及び額の兩側並に腹面の大部は黄褐。翅は透明、脈は黑色、基半部にて黄褐、これに暗色の小斑を連ね。これは頗る遅鈍なる蟬にして、手にて容易に捕へ得べし。體長七分五厘。開張二寸内外。チツチ〜と鳴く。

♀



北海道にては稀なるも、樺太には普通なり。

分布—樺太、北海道(定山溪)。

チツチゼミ

*Kosemia raditor* Uhl.

體は黒褐、赤褐紋を装ふ。翅は透明、脈は黒褐腹背は小にして、褐色。體長六分内外。開張二寸内外。これは本州に稀ならず、その小

體黄緑、斑紋黑色。翅透明、少しく黄色を帯び、脈綠色、末端暗黄褐。腹背は楕圓形、中央にて隔離す、腹面基部に黒紋あり、腹背の中央及び兩側に斑紋を列ね、生殖板は長楕圓形。開張一寸四分。體長六分。これは朝鮮に普通なり。チツチ〜と鳴く。



♂

分布—朝鮮。

クロイハゼミ

*Nalasemia kuroivae* Mats.

體は黄緑にして、斑紋を缺く。翅は透明にして少しく黄色を帯び、脈綠色。前腿節及び爪の末端は黒褐。腹背は龍骨狀に隆起せり。體長六分。開張一寸七分。これは沖縄に産すれども、未だその雄は發見せられず。餘り多からざるが如し。

♀



これは沖縄に

*Huehys sanguinea* DeG.

體翅は黑色。額、中胸背の二大紋並に腹部は紅色。翅の黑色なる爲めこの名あり。臺灣にては普通なる蟬にして、その遅鈍なる



爲草間に幾等も捕へ得べし。體長八分。開張一寸九分内外。

分布—臺灣、支那、印度。

キイロチツチゼミ

*Melampus peliosoma* Uhl.

第一〇 有明日

一二三三



♂



チと鳴く。

分布—本州。

エゾチツチゼミ

*Koschmützky's Mats.*

(二六四)

♂



これは前種のチツチゼミに酷似するが、一層大形にして、顔は黒色なるを以て容易に區別することを得。體長八分五厘内外。開張二寸内外。こ

の音は同じくチツチツチなり。これは札幌地方の山地に普通なり。

分布—北海道。

ホソヒゲラシ

*Leptosemia makai Mats.*

(二六五)

♂



里に産する細長の種類なり。分布—臺灣(埔里)。

カレイゼミ

*Macrosomia karisima Mats.*

(二六六)

體は綠色、黒斑を有するも、その斑紋には變化多し。腹脚は長くして、尾端に達し、綠色、時にその周囲の暗色なるものあり。翅は透明。體長一寸四分内外。開張三寸三分内外。これは臺

灣北埔地方に産するも稀なるが如し。分布—臺灣(北埔)。

♂



イハサキゼミ

*Meimuna iwaseki Mats.*

(二六七)

體は黄緑、黒紋を装ふ。翅は透明、黒紋あり。腹脚は長く、腹部の半を越へ、外側の中央は少しく刻られ、末端に至り細まり、末端は黒色。體長一寸七分。開張三寸内外。これは八重山地方に産するも、餘りに多からざるが如し。

♂



キイロクサゼミ

*Megamnia kasai Mats.*

(二七八)

體は黒褐、腹部に黄褐紋を縦列す。中胸背は黄褐紋を有す。前翅は透明、基半部は黄褐色を呈す。頭は複眼間の幅と約同長。體長五分半。開張一寸三分内外。これは臺灣の草間に稀ならず。

♂



分布—臺灣。

ルリクサゼミ

*Megamnia cyanea Wk.*

(二七九)

體は黒藍色、斑紋を缺く。前翅は透明、基半部は橙黄色、その外側に黒帯あり。體長五分

♂



ツクツクボウシ(寒蟬)

*Meimuna opalifera Wk.*

(二八〇)

♂



三角形にして、尖り、その中央にて膨起す。體長九分内外。開張二寸六分内外。晩夏現はる、普通種にして、ツクツクボウシと鳴く。東京にてはオウシツクと云ふ。暗んで河畔の柳に集まるの性あり。

分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣。

サカグチゼミ

*Meimuna sakagu-mi Mats.*

(二八一)

♂



第一〇有吻目



内外 開張一寸二分内外。これは臺灣に稀ならず。

分布 臺灣。

ネグロクサゼミ

*Mogannia formosana* Mats.

體は黒色。前翅の中央に鋸齒状の黒帯を具へ、前縁は紅色を帯ぶ。前胸背に三角形の縁紋を缺く。體長五分半。開張一寸三分内外。これは臺灣に稀ならず。



分布 臺灣。

クサゼミ

*Mogannia letes* Wk.

體は黄緑。中胸背の四縦紋は黒褐。翅は透明。腹背の太き縦條は灰黄。體長五分。開張一寸三分内外。これは臺灣に餘り多からざるが如し。



頸長は複眼間の幅よりも明に長し。腹背に大なる三角形の黒紋あり。體長五分半。開張一寸二分内外。これは臺灣に餘り多からざるが如し。

分布 臺灣。

ツマグロゼミ

*Nipponosemia terminalis* Mats.

これはハゴロモゼミに酷似すれども、黒紋を有するを以て容易に區別し得べし。前翅の末端は暗色を呈す。體長七分。開張一寸七分内外。これは臺灣に産すれども、餘り多からず。



分布 臺灣。

ミンミンゼミ(始蟬)

*Oncoyngyia maculicollis* Motsch.

體は黒色、縁紋を装ふ。中胸背のX字隆起は緑白、腹脚は黒色、基部に緑白の二紋あり。翅透明にして黒紋を装ふ。體長一寸一分。開張三寸八分内外。その聲ミンミンに似たるを以て、こ

これは臺灣に最も普通なる草蟬にして、草間に多し。

分布 臺灣、支那、印度。

イハサキクサゼミ

*Mogannia iwatsuki* Mats.

體は黒色。前翅は透明、脈の基半部は緑色。頭は複眼間の幅と同長。中胸背に縁紋を缺く。體長四分。開張一寸内外。これは沖縄八重山に産するも、餘り多からざるが如し。



分布 沖縄。

カトウクサゼミ

♀

*Mogannia katonis* Mats.

體は黒色にして、黄褐の斑紋を有す。翅は透明、基半部にて暗色を帯ぶ。脚は黄褐、中後の兩脛節は緑色。體長五分。開張一寸三分内外。これは臺灣に産するも、餘り多からず。



一寸三分内外。これは臺灣に産すれど少なきが如し。

分布 臺灣(新竹)。

ハグロルリクサゼミ

*Mogannia nigrocyanea* Mats.

體は黒藍色、斑紋を缺く。前翅の基半部は黒色、翅端に橙黄色の部あり。體長五分。開張一寸三分内外。これは臺灣に産するも、餘り多からず。その性遲鈍なり。



分布 臺灣(埔里)。

セグロクサゼミ

♀

*Mogannia ruficornis* Mats.



體は黒褐、黄褐紋を装ふ。前翅は透明、基半部は黄色

が如し。

分布 南洋(パラウ)。

ニイニゼミ(蟪蛄)

*Platypleura kaempferi* F.

體黄緑、黒條及び黒紋を装ふ。前翅は透明、大なる黒紋を具ふ。後翅は黒色、後縁及び外縁は白色。腹脚は灰黄にして、淡黄。體は少しく扁たし。體長七分五厘内外。開張二寸三分内外。これは本邦に廣く分布し、



ニイニイと鳴く。何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那。

タカサゴゼミ

*Platypleura bivocatus* Mats.

體は黄褐。中胸背に黒色の三縦條と横列の四紋あり。腹脚は黒線形にして、腹半に達す。翅は





透明。體長二寸一分内外。開張三寸八分内外。これは恒春地方に多く、シヤーホーとオクタープの異なる二聲を發す。  
分布—臺灣(恒春)。

タイワンヒグラシ *Pompia fusca Oliv.* (三八四)

體は褐色、少しく緑味を帯ぶ。黄緑の斑紋を装



ふ。額の中央に太き黄帯あり。翅は透明。腹瓣は圓形に近し。體長二寸六分。開張五寸七分内外。これは臺灣及び沖縄に産する普通種なり。  
分布—沖縄(八重山)、臺灣、支那、印度。

テウセンニイニイ *Pompia corana Mats.* (三八五)

これはニイニイゼミに酷似すれども、頭幅は中胸背の基部と等しきを以て容易に區別し得べし。前翅前縁の基部は弓狀に膨起し、後翅は黄色を呈す。體長七分内外。開張二寸三分内外。



これは朝鮮に産すれども、その數多からざるが如し。  
分布—朝鮮。

ハゴロモゼミ *Ichuata ochracea Wk.* (三八六)

體は綠色。翅は透明。頭は三角形をなし、その前縁は黑色を呈す。この屬の特徴は、後胸片の中央の圓錐形に隆起せざるにあり。體長七分五厘内外。



普通なる蟬にして、大形なる綠色のものはこの一種あるのみ。  
分布—臺灣。

アシアカハゴロモゼミ *Zecropoda formosana Ichuata* (三八七)

體翅は黑色、前翅の前縁、前胸背の中央にある縱條、側縁、後縁并に中胸背の中央にある縱條は黄色、脚及び腹部は紅色。



これは額面に縱溝

を有せず。體長六分半。開張一寸七分内外。これは遅鈍なる蟬にして、容易に捕獲し得べし。  
分布—臺灣。

ワタナベヒグラシ *Zenita watanabei Mats.* (三八八)

體は綠色、斑紋は黑色。前翅は透明、前縁は綠色、脈は綠白と黑色との斑をなす。後翅は綠白、



中央に暗色の一横紋を装ふ。腹瓣は黄緑、幅よりも短かし。體長一寸二分。開張三寸二分内外。これは臺灣北埔地方に産すれども、稀なるが如し。  
分布—臺灣(北埔)。

イチノサハチツチゼミ *Takagisaltia ichinosawana Mats.* (三八九)

これはカラフトチツチゼミに酷似すれども、そ



の異なる所は一層小形にして、腹背は龍骨狀に隆起し、腹瓣の後縁の稍々端直なるにあり。體長七分。開張一寸八分。これは一の澤にて高野秀三、玉貫光一兩氏の採集せるものなるが稀なるが如し。  
分布—樺太(一の澤)。

ヒグラシ(カナカナ) *Tanna japonensis Dist.* (二九〇)

體は黄褐、綠紋を装ふ。中胸のX字隆起は黄色。翅は透明、その脈は黄色、中央にて黑色、



前縁に接する脈は白色、横脈上に黒紋あり。腹瓣は黄白、少しく綠色を帯び、小形なり。體長

ハルゼミ(春蟬) *Terpnosia vacua Oliv.* (二九一)

(雄)一寸二分、(雌)九分内外。開張三寸内外。これは北海道に産せず。主として本州の高山地帯に多し。その鳴聲カナカナに似たるを以てこの名あり。東京地方にては平地にも産す。  
分布—本州、四國、九州。



體黑色。黄斑を有するものと、有せざるものとありて金色の短毛を粗生す。翅は透明、横脈上に卵形の暗色紋あり。腹瓣は小にして、短かく、その基部は暗褐。體長九分内外。開張二寸二分内外。その聲は稍々ジ



ワジワに似たり。中國に多しと雖ども、北海道に産せず。主として松林に多し。

分布 本州、四國、九州。

### エゾハルゼミ

*Xylocopa nigricornis* Motsch.

(二九二)

體は黒色、縁紋を装ふ。頭は小。翅は透明、各横脈上に楕圓形の黒紋あり。腹は黒褐色、その



周縁は暗黄、銀色の短毛を装ふ。體長(雄)一寸、(雌)八分内外。開張二寸五分内外。これは北海道に普通なり。早春時々ギギギユウと鳴く。

分布 北海道、本州。

### 二 角蟬科 Membracidae

頭は下方を向く。前胸背には普通角様の附屬物を具へ、その後縁は延長して腹部を掩ふ。單眼は二個あり。觸角は三節より成る。本邦、學名を有するもの約二十餘種ありて、何れも樹木の液汁を吸収し、有害なり。時にガムガラ属の如く前胸に角状突起を有せざるものあれども、多くは一双の突起を有するを以てこの名あり。

#### マルツノゼミ

*Harpegnathos saltator* F.

(二九三)

體は黄褐色乃至黒褐色、黄色毛多し。前胸には角状突起を欠く。前翅は稍々透明、翅底は黒色、前縁に一褐色紋を具へ、脈は黄色。脚は黒色。體



長一分七厘内外。これはヤナギ、ドロノキ、ハギ、ニレ、イボタ等に普通なり。歐洲及び

東洋に廣く分布す。

分布 日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

#### ツノゼミ(角蟬)

(二九四)

*Tricentrus flavipes* Th.

體は黒褐色、金色の短毛を密生す。前胸の延長せる部分は腹半に達し、その中央に二白紋を装ふ。翅は透明、少しく黄色を帯ぶ。脚は黄色、



腿節は末端を除き黒褐色。體長二分一分五厘。これはニレ、ヤナギ、ウメ、サクラ等に有害なり。何

れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

### 二四 耳蟬科 Scutidae

これは浮塵子科に似れども、其異なる所は、後脛節は葉狀に擴がり、その後半に刺列を具へ、頭部は扁く、普通耳様の附屬物を前胸の兩側に具へ、前翅には網狀脈を装ふにあり。本邦學名を有するもの約十種あり。何れも樹葉の液汁を吸収して有害なり。

#### ミミツク(耳蟬)

*Ledra audifera* Wlk.

(二九五)

體上は黄褐色、體下は黄色。全面に褐色の顆粒を散在す。前翅は半透明、脈上



(a) 幼蟲

(a)



第一〇 有吻目

に顆粒多し。脚は側扁。前胸に耳様の突起あるを以て、この名あり。體長四分半五分。これはカシハ、ナラの葉裏にありて、その液汁を吸収す。その數、多からず。

分布 本州、四國、九州。

あり。背面に褐色の顆粒多し。前翅は不透明、中央に灰白の斜條を具へ、その外側に濃褐色條を装ふ。體長三分一分五厘。これはナラ、カシハ、クヌギ等に寄生す。餘り多からず。



分布 本州、四國、九州。

#### コンゴウヒラタミミツク

*Ladropsis kongosana* Mats.

(二九六)

體は緑色。頭頂の兩側は暗褐色を帯ぶ。前翅は透明、黄色を帯び、大點刻を具へ、脈に暗褐色を呈する部分あり。體長三分半内外。これは朝鮮金剛山にて捕獲せられたるものなるが、稀なるが如し。

分布 朝鮮(金剛山)。



#### コシミツク

*Ledromorpha discolor* Th.

(二九七)

體翅は赤褐色。額は匙狀に凹陥し、兩側に深き溝



二五 沫吹科 Ceroptidae

觸角は針状にして、三節より成る。頭の前縁に四角形の頭頂板を有す。單眼二個にして、頭頂にあり。幼蟲は何れも泡沫様の分泌物にて身體を掩ふ、故に此名あり。本邦學名を有するもの數十種あり、何れも植物の液汁を吸収して有害なり。

トドマツアワフキ *Aphrophora abietis* Mats. (三九六)

體は暗色にして、光澤を帶ぶ。前翅は灰色、前縁は灰白、中央の波狀帶及び内片の末端に近き半横線は黒色、末端は褐色。體長二分八厘内外(翅端迄)。これは札幌地方のトドマツ林に普通なり。



分布 北海道。

ハンノアワフキ *Aphrophora alni* Fall. (三九七)

これはシロオビアワフキに類似すれども、其異なる所は、形小にして、前翅にある黄白斜



分布 北海道、本州。

モンキアワフキ *Aphrophora flavomaculata* Mats. (三九八)

體は暗黄、點刻は黒褐。口吻は黄色。前翅内片脈の中央に一黒褐紋を具へ、これを横きりて一暗色帶を裝ひ、それは前縁の中央に達し、末端に近く黄色の一紋を裝ふ。體長四分半(翅端迄)。これは柳に普通なり。



分布 北海道、本州、四國、九州。

ハリマアワフキ *Aphrophora harimae* Mats. (三九九)

マヘキアワフキに類似すれども、其異なる所は體は灰黄、光澤を帶び、前翅は中央にて狭く、翅脈は翅の地色と同色、腹部及び脚は全部黄色、

第一〇 有 吻 目

條は細し。體長三分内外(翅端迄)。これは北海道及び樺太に産し、ハンノキに普通なり。歐洲にても普通なり。

分布 樺太、北海道、歐洲。

トドオビアワフキ *Aphrophora brevis* Mats. (四〇〇)

體翅は灰黄。前胸背の兩側は褐色。前翅に淡褐の細き斜條を具へ、その前方に大なる白色の部分



を裝ひ、翅底は淡褐。腿節に淡褐の二縱條を具へ、脛節の兩端は褐色。體長三分三厘内外。これは札幌地方の樺林に普通なり。

分布 北海道。

ダイヤアワフキ *Aphrophora conjuncta* Mats. (四〇一)

體翅は灰黄、白色の短毛を裝ふ。前胸背の中央に横紋多し。前翅を疊む時は、中央にダイヤモンド形の黒褐紋を現はす。脚に斑紋を欠き、跗節の末端褐色。體長三分六厘内外。これは定山溪にて捕獲せるが稀なるが如し。



斑紋を缺き、爪の褐色なるにあり。體長三分内外。これは播州地方にて捕獲せるものなるが、柳に寄生す。



分布 本州(播磨)。

イシダアワフキ *Aphrophora isidiae* Mats. (四〇二)

體は褐色。前翅に白點を散在し、第二縱脈外枝の中央に白紋を裝ふ。體長三分半内外。これは赤楊、柳、榆等に寄生するものに



して、札幌地方には普通なり。

分布 北海道、本州。

シロオビアワフキ *Aphrophora intermedia* Uhl. (四〇三)

體は灰黄。前翅は黒褐、中央より少しく翅底に接したる所に太き黄白の一斜條を具へ、荷、翅端に近く黄色條あり。體長四分(翅端迄)。これ

分布 北海道(定山溪)。

マヘキアワフキ *Aphrophora costalis* Mats. (四〇四)

體翅は黄褐。頭頂板は暗褐、中央の縱隆は淡黄色。額は黒褐、基部は黄色。前胸背に大なる黒點刻多し。前翅前縁及び末端は灰白、前縁の基部は黄色。脚暗褐、後肢は暗黄、脛節の中央、脛跗節の基部は暗色。體長四分内外。これは柳に普通なり。



分布 北海道、本州。

マツアワフキ *Aphrophora davipes* Uhl. (四〇五)

體は黄褐、灰白の細毛多し。頭頂の中央にある太き縱條及び前胸背の前縁にある一紋は暗褐。前翅灰白、中央の斜帶及び内片の末端に接する大紋は暗褐、何れもその内側は黄白。體長三分五厘。これは松の害虫にして、何れの地方にも普通なり。



は柳その他、種々の植物に寄生す。何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

オオアワフキ *Aphrophora minor* Uhl. (四〇六)

體翅黄褐色乃至灰黄。前翅の末端に近く一黄色點を裝ふ。稜狀部は中央にて凹陥し、横紋を裝ふ。頭頂は少しく上向し、中央に大なる點刻を裝ふ。體長四分内外(翅端迄)。これは柳に普通なり。



分布 北海道、本州。

ハマヘアワフキ *Aphrophora maritima* Mats. (四〇七)

體翅は灰黄。前翅底より中央に至る迄、褐色の





一縦條を具へ、他に斑紋を欠く。體長三分半内外(翅端迄)。これは蘆、葦、芒に普通なる種類にして殊に海濱に多きを見る。  
〔分布〕北海道、本州、四國、九州。

ヒメアワフキ

*Aphrophora obliqua* Uhl.

(三二〇)



これはハンノアワフキに酷似すれども、その異なる所は、形、遙に小にして、前翅灰白、基部暗色、斜條は廣く、末端は半透明にして、褐色の一紋を裝ふにあり。體長二分半内外。これは東京地方にて赤楊、柳、白楊の葉上に普通なり。

コカタアワフキ

*Aphrophora obtusa* Mats.

(三二一)

體翅は暗褐。頭の中央は淡黄褐。前胸背の後半



にある點刻は粗大。前翅前縁の外半は灰白、半透明、内片の末端にある一紋は赤楊、白楊、柳等の葉上に普通なり。  
〔分布〕北海道、本州。

ネグロアワフキ

*Aphrophora pectoralis* Mats.

(三二二)



體は黄緑若くは灰黄。顔は褐色、末端及び額片は黄色。稜狀部は黄色。前翅内片の大部及び中央脈の斑紋は暗褐。脚は褐色、黄紋を有す。體長三分七厘四分。これは柳に捕獲し得べき普通種なり。  
〔分布〕北海道、本州。

オクヤマアワフキ

(三二三)

♀



體は淡黄乃至黄褐。額片は黒色。觸角黄色。前胸背の兩側に黒縱條を具へ、中央に二つの黒紋あり。前翅は黄白、基部及び中央に黒帶を裝ふ。胸片及び脚は淡黄褐。脚の斑紋は褐色。體長三分三厘内外。これはハンノアワフキに酷似すれども、その異なる所は、點刻は小、前頭短かく、前胸背の中隆起低く、その後縁に達せざるにあり。  
〔分布〕北海道(定山溪)。

ホソオビトアワフキ

*Aphrophora scutellata* Mats.

(三二四)



體は淡黄褐。前胸背の兩側は暗色。稜狀部に粗大の點刻を裝ふ。前翅は中胸背の前縁と同様に灰色を帶び、中央に近く暗色の一斜條を有すれども、それは内片に達せず、内片の第二脈は中央にて暗色紋を裝ふ。尚、翅底及び内片の末端に接す

*Eoscarta assimilis* Uhl.



體翅暗褐乃至黒色、光澤を缺く。前翅前縁の中央に近く黄色の一紋を裝ふ。體長四分内外(翅端迄)。これは野葡萄に普通なり。  
〔分布〕北海道(札幌)。

クロスチアアワフキ

*Aphrophora vitata* Mats.

(三二五)

體は灰黄。前翅は中央に太き黒褐の一縦條を具へ、これは中央にて最も太く、時に中央にて切断することあり。前縁は灰白、半透明。體長四分内外(翅端迄)。これは柳楊に普通なり。



體は淡黄。前翅は廣く、各脈の中央に近く横列をなし、黒褐紋を具へ、尚、翅底にも黒色の二紋あり。體長四分半内外(翅端迄)。これは禾本科植物の雜草間に多し。  
〔分布〕北海道、本州、四國、九州。

フダウアワフキ

(三二六)



體は灰黄。前翅は中央に太き黒褐の一縦條を具へ、これは中央にて最も太く、時に中央にて切断することあり。前縁は灰白、半透明。體長四分内外(翅端迄)。これは柳楊に普通なり。  
〔分布〕北海道、本州。

ベニフコガシラアワフキ

(三二七)



體は光澤ある黒色。頭は稍々球形を呈す。前胸背は大にして、稍々稜狀に近し。前翅は黒色、中央に近く電光横紋及びその外側にある一弓狀帶は紅色。體長五分内外。これは臺灣にありて芭蕉の葉に普通なり。  
〔分布〕沖縄、臺灣。

コガシラアワフキ

♀

*Eoscarta assimilis* Uhl.

(三二九)

體翅は黒褐、黄褐の短毛を密生す。口吻は短大。前翅の末端淡色に



して、赤褐を帯ぶ。體長二分三厘内外(翅端迄)。これは白楊に普通なり。  
分布 北海道、本州、四國、九州。

ヲカダアワフキ

*Eurysia okadae* Mats.

體翅は黄褐、黄毛多し。頭頂板は半圓形。額は黒褐、黄帯を具へ、基部及び額片は黄色。前翅に白毛を



♀

裏ひ、  
末端に  
近く二  
斜條あ  
りて、

暗色を呈す。前翅の末端は圓錐形に近し。後翅の末端に凹所あるを以て他の沫吹と大にその趣きを異にす。體長二分五厘内外。稀なるが如し。

分布 本州(静岡)。

マルアワフキ

*Lepyrotia coeleptera* L.

雄は黄褐乃至黒褐、灰白の短毛を密生す。前翅

體は黄褐、前胸背に微小の點刻あれども判然せず。前翅は栗色、前縁の三分の一は淡色、灰白の細毛を装ふ。體下及び脚は淡黄褐。腹背は橙黄色。體長二分一分五厘。これはトドマツ、エゾマツ、モミの害蟲なり。札幌地方に稀ならず。



♂

二分一分五厘。これはトドマツ、エゾマツ、モミの害蟲なり。札幌地方に稀ならず。

分布 北海道、本州。

イネホソアワフキ

*Ptyelus costalis* Wk.

體翅は暗褐、灰白の短毛多し。頭頂板の前縁に三個の黒點を横列す。前翅の縦脈間に黒褐の短横線を散在す。體長三分三厘内外(翅端迄)。これは臺灣にありて苗代の害蟲なれども大害なし。



♀

分布 臺灣、支那。

クロホソアワフキ

*Ptyelus fuscus* Mats.

體は暗褐、少しく紅色を帯ぶ。頭頂に二黒點を具へ、額の中央は黒色。枝狀部の末端は黄色。

は短かく、翅を疊む時は稍々半卵形をなし、灰グロツサ形。白にして、翅底の大紋及び中央にあるく字形の大紋は黒褐。雌にては長卵形、灰黄、銀色の短毛多し。前翅の中央にあるく字形の黒褐紋は細し。體長二分六厘内外(翅端迄)。これは禾本科の雜草間に普通なり。



♂

分布 北海道、本州、歐洲。

マキアワフキ

*Macropyelus dimorphus* Mats.

♀

體は雌にては綠色。頭黄



(a) 幼蟲 (b) 卵(何れも膨大) (c) 亞蛹より羽化せんとするもの (d) 老成せる介殼

サウンアワフキ

*Mesopyelus nigritarsis* Mats.

體は黄褐、光澤を缺き、微毛を装ふ。額の兩側に點刻を缺き、上方に黒横紋を装ふ。前翅は暗褐、基部及び中央に近く黄帯を有し、翅端に近く前縁に黄白紋を具へ、それに對する後縁に一黄紋を装ふ。體長二分五厘内外。(翅端迄)。これは箱根早雲山にてイボタノキにて採集せるものなるが、稀なるが如し。



♀

分布 本州(箱根)。

マツホソアワフキ

*Ptyelus abetti* Mats.

體は暗褐、前胸背及び前翅の小圓紋を散在するを以て、恰も網狀紋を有するが如し。額は暗色、横隆は黄色。脚は淡色。體長二分四厘内外。これはトドマツ、エゾマツ、モミに捕獲し得べし。主として高山地帯に産す。



♀

分布 北海道、本州。

イクマホソアワフキ

*Ptyelus ikumae* Mats.

體翅は黄色。翅は不透明、翅底より翅端に向つて、凸凹ある黒色條を縱走し、前縁の兩側は半透明。體長二分半(翅端迄)。これは朝鮮金剛山に産すれども、餘り多からざるが如し。



♀

二分半(翅端迄)。これは朝鮮金剛山に産すれども、餘り多からざるが如し。



分布 朝鮮

ムナグロホソアワフキ *Pyctus nigripes* Mats. (三〇)

體黃褐、頭頂板は三角形を呈す。前翅の中央に太き黒色の、條を縱走す、但し雌にてはこの縱條は細く淡色なり。



體長二分—三分三厘。これはトドマツ、エゾマツに少なからず。主として高山地帯に多し。

分布 北海道(札幌)。

カラフトホソアワフキ *Pyctus sachalinensis* Mats. (三一)

體は黄色。翅は白色、翅底は暗褐、中央に暗褐色あり、これは後縁にて横まり、翅端も亦暗色を呈す。



體長一分八厘内外(翅端迄)。これは樺太地方の雑草間に普

通なり。

分布 樺太、朝鮮

ホソアワフキ *Pyctus spinarius* L. (三二)

體色及び斑紋に變化多し。前翅に二個の黒紋を具へ、額は黄色、時には褐色若くは黒色を呈す。觸角は黄色、第三節は黒色。



腹面は黒色、兩側及び生殖板は黄色、前翅には褐色、黄褐、黒褐紋等ありて、中央の斜條は黄色。體長一分五厘—二分三厘。これは雑草間に普通なり。

分布 樺太、北海道、本州、四國、朝鮮、西比利亞、歐洲、阿弗利加、北米。

マツシヤマアワフキ *Penepytus indentatus* Uhl. (三四)

體は灰色。前胸背には凸凹ありて、點刻は粗大。前翅の前縁は半透明、その中央に褐色の三角紋に突出せる部分あり。體長二分半(翅端迄)。これはトドマツに普通なる種類にして、高山に多し。



分布 北海道、本州。

コシヤマアワフキ *Penepytus medius* Mats. (三五)

ミヤマアワフキに酷似すれども、其異なる所は、頭頂板は短かく、餘り判然せず、前翅の點刻は一層多く、額頂に、黄紋あり、觸角は黄色、前胸背に褐紋を具へ、稜狀部は黄色、中央は少しく褐色、前翅前縁の卵形白紋は短、内片の末端にある黒紋は一層判然せるにあり。體長二分内外。これもトドマツに普通なり。



分布 北海道、本州。

ナワシヤマアワフキ *Penepytus nawa* Mats. (三六)

體は黄色、光澤を帯び、毛を缺く。頭頂の點刻は頭頂板のそれよりも大。口吻は長く、後基節外に達す。前翅は灰色若くは暗褐色にして、大なる點刻を具へ、前縁に二個の卵形紋ありて、白色を呈す。體長三分内外(翅端迄)。これは高山の松柏科植物に普通なり。



分布 北海道、本州。

ミヤマアワフキ *Penepytus nigrescens* Mats. (三七)

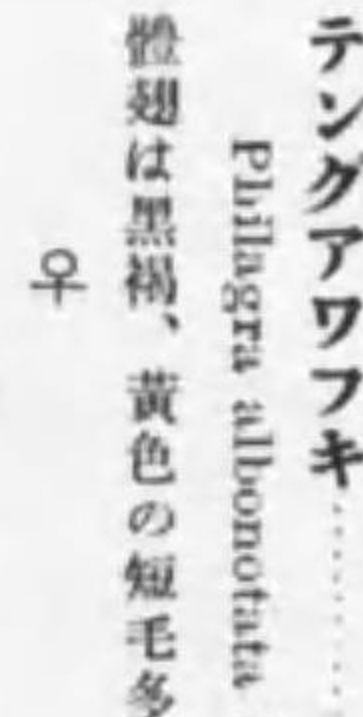
體は灰黄。額は黄褐、中央は黒褐、上方は黄色、前胸背の後半と同色。稜狀部は黒褐(兩側を除き)。前翅は灰白、中央に褐色の三角紋あるを以て、恰も前縁に二個の卵形紋を有するが如し。體長二分五



分布 北海道、本州。

テングアワフキ *Ptilintra albonotata* Uhl. (三八)

體翅は黒褐、黄色の短毛多し。口吻は短かし。前翅前縁の中央より少しく翅端に接する所に黄白の一斜條を具へ、内片に二、三個の黄白紋を裝ふ。體長三分五厘—四分(翅端迄)。これは高山に普通なり。北海



道には産せず。



褐紋を散在し、外片の中央に白紋を裝ふ。體長三分半内外(翅端迄)。これは高山のトドマツに多し。



分布 北海道、本州、支那。

クロフアワフキ *Sinophora mucronosa* Melsch. (三九)

體は黄色。頭頂の中央に高き一縱隆ありて、その兩側は甚だしく凹陥す。額は卵形にして、甚だしく膨起し、兩側に點刻を缺く。前翅には黄



二六 浮塵子科 Tenebrionidae

觸角は長く、三節より成り、第三節は針状にして、更にこれに多数の副節を有するものあり。單眼は二個、稀に之れを缺くものあり。前翅の基部に鱗状の小片を缺く。體に白蠟の分泌物を有せず。本邦學名を有するもの數百種ありて、何れも農作物その他樹木の液汁を吸収し、大害を加ふ。その性横に這ふを以てヨコバへの名あり。暗んで燈火に飛來す。時に吾々の皮膚を齧蝕するものあり。

テラウチホソトカリヨコバへ (三三九)

*Acanthia terachitii* Mats.

體は暗黄。頭頂の中央に圓形の二黒紋あり。前胸には判然せざる褐色の二紋を具へ、後翅部の兩側基部にも同色の二紋あり。前翅は半透明、少しく白



色を帯び、脈は判然せず。體長一分内外

これは金剛山にて捕獲せられし珍種なり。

分布 朝鮮。

クロマルツヨコバへ (三四〇)

*Acanthia nigra* Mats.

♀



體は黒色。頭頂の後縁は淡褐。前胸に横皺多し。前翅は暗色、脈は淡色。體長一分三厘内外。これは朝鮮長白山にて採集せられたる稀種なり。

分布 朝鮮。

シタルツヨコバへ (三四一)

*Acanthia floridis* Mats.

♀



體は灰褐。頭及び前胸背は黄白。頭は甚だ短かく、上より見る時は、單に後縁の隆起を見得べく、これに黒紋を具へ、頭の上縁に七黒紋を列ぬ。前翅は灰褐、半透明、脈の大部は灰白。體長雄一分四厘、雌一分八厘(翅端迄)。これは羊齒に普通なる種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

クロスヂヒロヨコバへ (三四二)

*Athyas bifurca* Mats.

♀



體は綠黄。前頭の一紋及び頭頂の一帯、顔の二紋及びその下方の界線、顔片の中央紋、前胸背の一帯、前翅の縦條等は黒色。前翅は淡黄。體長二分一分三厘。これは柳に産すれども、その數多からず。

分布 本州(東京、青森)。

ヒロヨコバへ (三四三)

*Athyas vittatus* Th.

♀



體翅は暗黄、少しく綠色を帯ぶ。頭頂に淡褐の横條を裝ふ。前翅は半透明、脈は黄色、接合線(内片と外片と相合する線)は褐色。腹節に黒褐の一縱條あり。體長二分三厘内外。これは河野のヨモギに普通なり。

分布 北海道、本州。

クサビヨコバへ (三四四)

*Athyas vittatus* Mats.

♀



體翅は黄緑。斑紋は黒色、頭頂に二紋を具へ、前胸背の八紋は弓状に排列す。後翅部は黄色、兩側及び中央に一紋あり。前翅は本端にて少しく暗色を帯ぶ。體長二分一分五厘。これは中國地方の柳に多し。地方的の昆蟲にして、何れの地方にも産するにあらず。

分布 本州(播州)。

カスリヨコバへ (三四五)

*Ischnura punctata* Fall.

♀



體は淡黄緑、稀に赤色を帯ぶ。翅に五六個の黒紋を散在す。體長七厘一分二厘。これは稻を害することあるも、寧ろ藪に多し。

分布 日本全土、朝鮮、支那、歐洲、阿弗利加。

クルミヒロツヨコバへ (三四六)

*Hythysopus julianus* Mats.

♀



體は黄色。頭頂の後縁は細く暗褐、兩側に一黒點を裝ふ。顔には馬蹄状の黒紋ありて、その前縁に三黒紋を横列す。前胸背前縁の兩側に黒褐紋を具へ、後縁は暗色を呈す。後翅部は三黒紋ありて、中央にあるものは後縁に達す。前翅は灰白、半透明、内片及び外片の中央にある各一縱條并に翅端は暗褐。體下及び脚は黄色。前中脛節及び跗節は暗褐。體長一分七厘内外。これは胡桃の害蟲なり。何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州。

モンキヒロツヨコバへ (三四七)

*Hythysopus nudi* Mats.

♀



體は黄色。後翅部の中央及び兩側は三角形にして、淡黄褐、中央に二黒點を裝ふ。前翅は

(a)

(b)

(c)



半透明。脚は黄色。體長一分五厘。これはリンゴ、ナシ、イボタその他種々の植物に寄生す。時に大害を加ふることあり。これは果實の皮下に數列をなして産卵す。

(a) 卵(原大)

(b) 苹果の表皮に産卵せるもの

(c) 同上の裏面を現はす

分布 本州。

フタホシヒメヨコバへ (三四八)

*Chlorita bimaculata* Mats.

♀



體は黄緑。頭頂に暗色の二紋あり。前胸背の前縁に白色の三紋を横列し、その後縁及び後翅部の基部も白色。前翅に一黒紋あり。體下及び脚は黄色。腹節の末端及び跗節は綠色。體長八厘内外。これは臺灣



にてワタ、ナス、フヨウの害蟲なり。  
分布—臺灣。

ウスバヒメヨコバヘ……………(三四九)

*Chlorita flavescens* F.

體は黄緑色。頭頂、前胸背及び稜狀部に白紋を装ふ。翅は透明、脈は緑色。體長七分内外。こ

♀



れはリンゴ、ナシ、モモ、チャ、イチゴ、ジャガイモ、

テンサイ、ムギ、イネ等に有害なり。何れの地方にも普通なり。



(a) 卵(廓大)

分布—日本全土、朝鮮、臺灣、支那、歐洲。

フタテンヨコバヘ……………(三五〇)

*Circulula fascifrons* Zett.

體は黄緑。頭に二黒點を具へ、顔には八双の黒條を横列す。體長九厘一分。これは稻、その



♀

四黒紋を具へ、四角形に排列す。翅は半透明、脈は判然せず。體長八厘一分二厘。これは稻の害蟲にして、その害大なり。何れの地方にも多し。

ヨツテンヨコバヘ……………(三五一)

*Circulula nusatons* Mats.

體は淡黄、少しく緑色を帶ぶ。頭頂に



♀

頂の二紋のみ圓形なれば容易に區別し得べし。分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、アムール、シベリア、歐洲、北米。

ナナホシヨコバヘ……………(三五二)

*Circulula septemnotata* Fall.

體は黄白。斑紋は黒色にして、都合七個の黒紋を装ふ。前翅は半透明、脈は判然せず。體長一分二厘内外。

♀

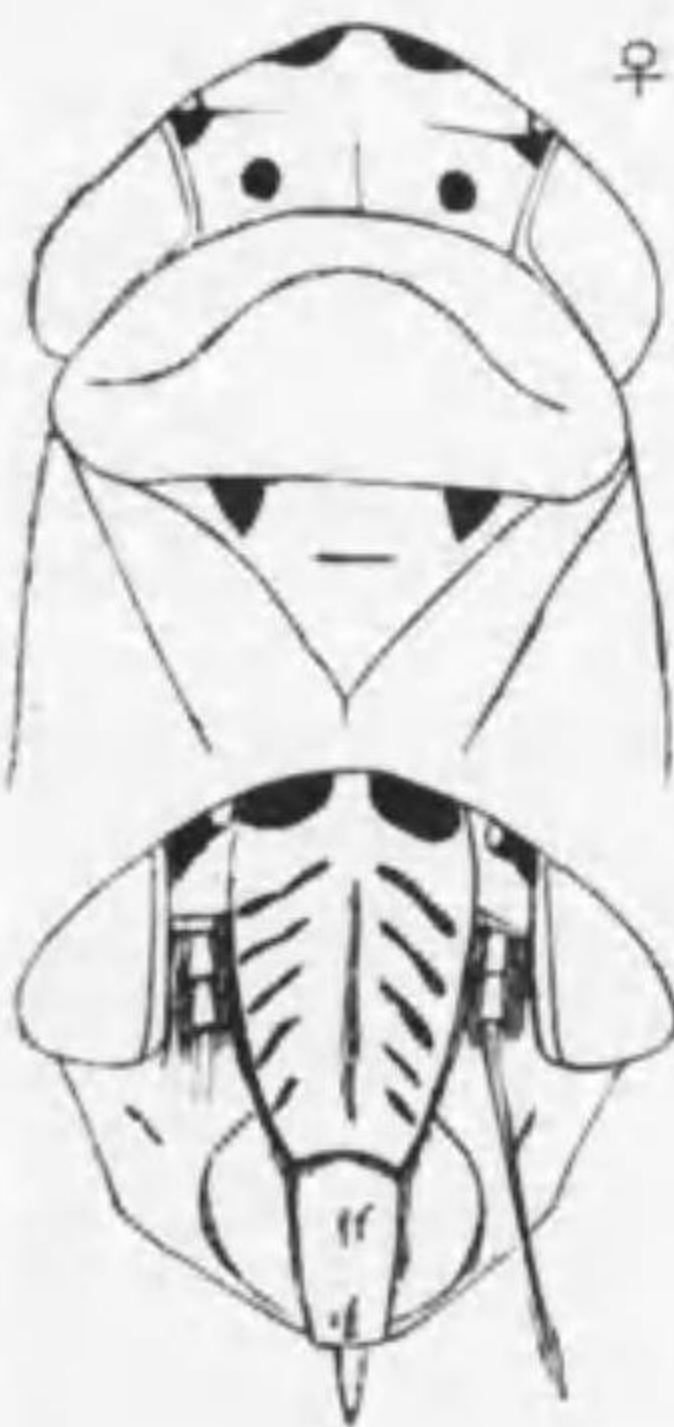


これは雜草間に捕獲し得べし。その數、餘り多からず。歐洲にも分布すれど、同じく少なし。

分布—北海道、本州(青森)、歐洲。

ムツテンヨコバヘ……………(三五三)

*Circulula xenotata* Fall.



(a)



(a) 幼蟲(廓大)  
(b) 卵を産附せる稻葉

ツノモントカリヨコバヘ……………(三五九)

*Deltocephalus cornutus* Mats.

體翅は黄緑。斑紋は黒色。頭頂に三角形の二紋を具へ、その後方に稍々三角形の大紋ありて、これは後方に



て尖らず。前翅は半透明、脈は黄色。體長一分半内外。

オホトカリヨコバヘ……………(三五七)

*Deltocephalus fraternus* Mats.

體翅は暗黄。斑紋は褐色。前頭には三角形の黒紋を具へ、頭頂には褐色の四紋ありて、これは相合して二紋となる。前胸背の四縦條及び稜狀部の二紋は褐色。前翅は半透明、脈は白色、その兩側は褐色。體長一分半内外。これは長白山に捕獲せられたる珍種なり。



♀

イナヅマヨコバヘ……………(三五六)

*Deltocephalus dorsalis* Mats.

體は暗黄。頭頂に二個の弓狀紋を装ふ。前翅は



♀

黄白、電光様の褐色紋あり。これは稻の害蟲にして、九州及び臺灣に多し。體長一分三厘内外。廣く東洋に分布し、何れの米作地も相當の害を被る。

分布—本州、四國、九州、臺灣、印度。

コンゴウトカリヨコバヘ……………(三五八)

分布—朝鮮。

分布—沖縄、臺灣。



ヤエヤマオモナガヨコバヘ……………(三四四)

*Coelidia yayaunae* Mats.

體は淡黄褐。頭は黄色、前縁に二黒點を装ひ、額は長く、これに紅色の二縦條を具ふ。前胸及び稜狀部に顆粒を密布す。前翅は黄褐、脈に黄白の顆粒多し。體長三分四分五厘。海岸の雜草間に捕へ得べし。臺灣には普通なり。

♀



*Deltocephalus kongosanus* Mats.

體は黄白。頭頂に二黒紋を具へ、後方に黄色の二縦條を送る。前胸には黄色の四縦條を具へ、後部の二縦條を具へ、

♀



兩側に黄紋を具ふ。前翅は半透明、白色、翅底色、翅及び末端は暗色、脈は白色。體長一分五厘内外。これは金剛山に産す。

分布 朝鮮。

*トホシトカリヨコバヘ* ..... (三五九)

*Deltocephalus octomaculatus* Mats.

體翅は暗黄。頭に八個の黒紋あり。前胸は褐色、四條の黒紋を具へ、後部の二縦條を具へ、後部の二縦條を具へ、

♀



前翅は半透明、脈は白色。體長一分内外。これは長白山に捕獲せられたる珍種なり。

分布 朝鮮。

*マダラトカリヨコバヘ* ..... (三六〇)

*Deltocephalus strabus* L.

體は褐色。多数の褐色紋を散在す。前頭に八字形の黒紋を具ふ。前翅脈の兩側は褐色なり。脚は黄色にして、褐色を具ふ。體長一分一分三厘。これは禾本科、その他種々の植物に有害なり。本邦最も普通なる浮遊子なり。これは歐洲にありては燕麥に大害を加ふ。

♀



分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、アムール、西比利亞、歐洲、亞米利加。

*ヤノウトカリヨコバヘ* ..... (三六一)

*Deltocephalus yanous* Mats.

♀



體は灰黄。額の前縁に二黒點あり

て、中央の二條は灰黄。額には黒色、雌には灰黄、斜紋は暗色。前胸背に灰黄の四縦條あり。前翅は灰黄白、脈の兩側は暗色、前縁の中央に暗色紋を有するもの多し。腹節紋及び腹節の縦條は黒色。體長一分一分二厘。これは稻、その他の禾本科植物に有害なり。中國地方に普通なり。

分布 本州、四國、九州。

*フチミヤクヨコバヘ* ..... (三六二)

*Deltocephalus nigripennis* Mats.

體は暗黄、少しく緑色を帯ぶ。前頭に二黒帶ありて、その兩側は黄色。前胸背に黄斑を散在し、横紋多し。前翅は白色、半透明、褐色の二帶を具へ、翅端は黒褐、脈は白色と褐色との斑をなす。體長二分半内外。これは中國地方のナラ、クマギ、カシハ等に普通なり。

♀



分布 本州、四國、九州。

*ヤナキヒメヨコバヘ* ..... (三六三)

*Euphyas smaragdina* Fall.

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

*カシヒメヨコバヘ* ..... (三六七)

*Euphyas quercus* Mats.

體は黄白、斑紋は黒色。前頭の前縁に黒色の一條ありて、稍々半圓形をなす。前翅は半透明、褐色の三縦條を具へ、前縁に黒色の四横紋ありて、その内、内方にあるものは斜傾し、翅端に近く褐色を具へ、末端には一黒紋あり。體長一分二厘内外。これはカシ、シヒの新芽液を吸収して有害なり。餘り多からず。

♀



分布 本州、四國、九州。

*タイワントビヨコバヘ* ..... (三六八)

*Goniognathus formosanus* Mats.

體は黄褐。頭頂に黒帶ありて、その中央は分離し、額の兩側には約八個の黒紋を横列す。前胸背には横紋多く、灰白の小紋を散在す。翅は黄褐、脈は黄白、これに黒斑を有す。體長二分内

體は緑色、胸背は少しく暗色を帯び、淡色の縦條あり。前翅は少しく綠色を帯び、後縁及び前縁は少しく暗色を帯ぶ。體長一分四厘内外。これはヤナギ及びドロノキに寄生す。廣く分布し、歐洲にても同じく普通なり。

♀



分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

*クハキオホヨコバヘ* ..... (三六四)

*Euphyas ruficeps* Mats.

♀



體は橙黄色。頭頂に四黒紋を具へ、中央にあるものは三角形をなす。前翅は半透明、暗褐を帯びたるものあり。體長一分五厘一分二分。クハに有害なり。

分布 日本全土。

*オビヒメヨコバヘ* ..... (三六五)

*Euphyas zonata* Mats.

體は黄色、少しく扁平。頭頂に橙黄色の二縦條を具ふ。前翅の中央に一黒帶ありて、外縁に近き後縁に一黒點を具ふ。體長一分二厘(翅端迄)。

♀



何れの地方にも多し。これには變種多し。ナシ、リンゴ、モモ、クマギ、ナラ等に寄生す。

分布 本州、四國、九州。

*キスチカンムリヨコバヘ* ..... (三六六)

*Eucanthus interruptus* L.

♀



體翅は黒色。體下は黄色。頭頂に四黄色紋を具ふ。額は黄色、下方は暗色。前翅は半透明、黄色の縦條あり。體長二分一分二分。これはゴバウ及びキタの害蟲なり。菊科植物の雜草間に普通なり。廣く東洋に分布す。





外。こ  
れは臺  
灣にて  
雑草間  
に捕獲  
せらる  
る普通

種なり。

分布 臺灣。

フクロクヨコバヘ……………(三六九)

*Heilus fukuroki Mats.*

體は雄にては灰黄、雌にては黄褐。額の兩側に赤色の斜條列を裝ふ。前翅は雄にては長く、雌にては短く、脈は黄色、その兩側は濃色。體長三分七厘—四分五厘。これは高山の禾本科植物



間に捕へ得れども餘り多からず。

分布 本州、九州。

シロツキンヨコバヘ……………(三七〇)

*Idiocerus ishikawae Mats.*

體は黄白。前胸背は灰白、稜狀部の兩側に黒色の三角紋を具へ、中央に褐色の二小紋を裝ふ。

♀



前翅は長く、灰色、中央の横脈は黒色、末端は少しく暗色を帶ぶ。體長二分二厘内外(翅端迄)。札幌地方の柳及び白楊に普通なり。

分布 北海道(札幌)。

テウセンツキンヨコバヘ……………(三七二)

*Idiocerus koreanus Mats.*

體翅は黄緑。前胸後縁の中央に一暗色紋を具へ、稜狀部は兩側を除き黒色。前翅は半透明、後縁及び膜質部は黒色。體長一分六厘内外。これは朝鮮長白山にて捕獲せられたるが、定めて柳に寄生するものならん。

♀



分布 朝鮮。

ヒロツヨコバヘ……………(三七三)

*Micropsis lateralis Mats.*

♀



體は緑色。頭廣し。前翅は淡緑、半透明、大なる點刻を散在す。體長三分三厘内外(翅端迄)。これは櫟、楡、榆等に寄生する普通種なり。

分布 北海道、本州。

ムナグロツキンヨコバヘ……………(三七四)

*Idiocerus nigripictus Mats.*

體は黄褐若くは黄淡褐。額に二黒點を具へ、中央は暗黄褐。稜狀部の二紋は黒色。前翅は半透明、黄褐を帶び、脈は暗褐、これに白紋あり。胸背は黒色。體長一分六厘内外。これはヤナギ、ドロノキの害蟲にして何れの地方にも普通なり。

♀



分布 北海道、本州。

ドロツキンヨコバヘ……………(三七五)

*Idiocerus populi L.*

體は黄白。前胸背は少しく灰色を帶び、中胸背の黒紋を透視し得べし。稜狀部の兩側基部に各三角形の一紋を裝ふ。前翅は灰黄、後縁は翅端より中央に至る迄暗褐、その中央に白紋を裝ふ。體長二分内外(翅端迄)。これは率樹、水蠟樹、白楊、柳に普通なる種類にして、廣く東洋に分布す。

♀



分布 北海道、本州、歐洲。

ウラカハツキンヨコバヘ……………(三七五)

*Idiocerus urakawensis Mats.*

體は黄白、斑紋を缺く。額に濃色紋を散在す。稜狀部の兩側に濃色の三角紋あり。前翅は白色、翅端脈は少しく灰色を帶ぶ。體長二分三厘内外(翅端迄)。これは柳、白楊の害蟲にして、

♀



分布 北海道、本州、歐洲。

ツキンヨコバヘ……………(三七六)

*Idiocerus vitticollis Mats.*

體は淡褐。頭は黄色、頭頂に二黒紋を具へ、額に褐點を粗布す。前胸背の中央に太き灰白の一縱條を裝ひ、前縁は淡色にして、褐紋を散在す。稜狀部の基部及び中央に黒褐紋あり。前翅は淡褐、半透明、脈は褐色、小顆粒を散在し、末端に近く白色の脈あり。體長二分半。これは柳、白楊、赤楊に普通なり。

♀



分布 北海道、本州。

マヘジロオホヨコバヘ……………(三七七)

*Ischnella albomarginata Sign.*

體は淡黄緑。頭頂に一個、前頭部に二個の黒色を具ふ。前胸背は光澤ある暗藍色、稜狀部の兩側に黒紋あり。前翅は帶白藍色、前

♀



分布 北海道、本州。

ヒメアシメヨコバヘ……………(三七九)

*Taesius dentatus Mats.*

これはアシメヨコバヘに酷似すれども、形小にして、雄の生殖板(最終腹面節)後

♀



分布 北海道、本州。



縁の中央深く刻られ、その兩側より角状の一齒を生ずるにあり。體長二分五厘内外。これは草間に捕獲し得べしと雖も多からず。

分布 本州。

アミメヨコバヘ (チャイロオホヨコバヘ)..... (三八〇)

*Asinus puerul Horv.*

體翅は黄褐。頭は黄色、中央にある短縦線及び横紋は褐色。前翅は半透明。脈は白色、外片の中央にある一縦紋及び内片の末端は褐色。體長三分二厘。三分五厘。これはニレ、クヌギその他種々の植物上に普通なり。



分布 北海道、本州、九州。

ミカンヒメヨコバヘ..... (三八一)

♀



體は黄白。前胸背一帯は黒色。前翅の中央に楕圓形の大黄白紋を具へ、黒縁を有す。體長一分内外。これは柑橘の

體は淡黄白。前翅は帯白、半透明、翅端に近く

♀



前縁に暗色の二帯を具へ、翅端は黄色、一暗色紋を装ふ。體長一分五厘内外。これは稻、甘蔗等の害蟲なるが、その數餘り多からず。

分布 臺灣。

ナカグロホソサジヨコバヘ..... (三八五)

*Nivana satutalis Meloh.*

體は淡黄白。前頭より翅の末端に達するの紋列は黒色

♀



前翅は光澤ある帯白。半透明。後縁角には淡褐の一線を具へ、その中に黒點を装ふ。體長一分七厘内外。これは稻、甘蔗等に寄生すれども少なし。

害蟲にして、八丈島に多し。

分布 九州、八丈島。

ツマクロヨコバヘ..... (三八二)

*Nephrotettix apicalis Motsch.*

シシクサケツクス形



體は黄

緑。前

頭に一

黒横帯

ありて

雄にて

は顔は

黒色。

前翅は

緑色、

雄にて

は末端

黒色、

雌にて

は灰

白。體

長一分

六厘内

外。これは有名なる稻の害蟲なり。北海道には産せざるも、中國、九州地方には最も普通なり。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣。

テウセンホソサジヨコバヘ..... (三八三)

*Nivana koreana Mats.*

體は黄白。前翅は半透明、白色を帯び、前縁の二斜條及び翅端の斑紋は黒色。體長一分六厘内外。これは朝鮮金剛山にて採集せられたる珍種なり。

分布 朝鮮(金剛山)。

♀



ホソサジヨコバヘ..... (三八四)

*Nivana pallida Meloh.*

くして、體長の半に達す。體長二分四厘内外。これは樟、肉桂の害蟲なり。九州地方に普通なり。

分布 本州、四國、九州。

ミツボシサジヨコバヘ..... (三八八)

*Paraboloratus trinitatus Mats.*

體は暗黄。頭頂には二條、前胸には四條、後狀部には三條の紅色線あり。前翅は半透明、

♀



前縁に一個、末端に二個の黒紋を装ふ。體長一分六厘内外。これは朝鮮に産すれども稀なり。

分布 朝鮮(長白山)。

オキナハサジヨコバヘ..... (三八九)

*Paraboloratus okinawensis Mats.*

體は淡緑。サジヨコバヘに酷似すれども、頭の前縁に暗緑色の一弧線あり。前胸背に横皺と點刻





を装ふ。前翅は遙に短かく、産卵管の末端は黄色。體長二分八厘内外。これは沖縄に産すれども餘り多からざるが如し。

分布—沖縄(那覇)。

サジヨコバヘ……………(三九〇)

*Paraboloratus prasinus Mats.*

體は緑色、扁平。前翅は雄にては長く、雌にては尾端に達せず。産卵管の末端は紅色。體長二分二厘—二分七厘。これは高山地帯に於ける荒蕪地の禾本科植物間に普通なり。



分布—本州、九州。

フタオビハトムネヨコバヘ……………(三九一)

*Pentaplois bifasciata Mats.*

體は黄褐。額の上方に褐色の二横紋ありて、横置せらる。稜状部は少しく赤味を帯ぶ。前翅は灰白、褐色の二帯を具へ、翅端に暗色の小点を散在す。體長一分六厘内外。これは櫛斗



科植物に寄生する普通種なり。

分布—本州、四國、九州。

クロヒラタヨコバヘ……………(三九二)

*Pentimnia nitida Latr.*

體翅は黒色、斑紋は黄白。前胸背に斑紋を列ぬ。稜状部には三紋ありて、三角形に排列す。前翅には小紋を散在す。體長一分五厘内外。これはリンゴ、ナシ、ヤナギ、その他の樹木に有害なり。その數餘り多からず。



分布—本州、四國、九州。

チヤヒラタオホヨコバヘ……………(三九三)

*Pentimnia thaeae Mats.*

體は灰褐。頭頂は黄褐。暗色の小環を散在す。額は黒色。前翅は灰白、半透明、暗褐色の小紋を基部及び中央に密布し、脈は黒色と白色と



の暗色紋を装ふ。前胸背は大にして、横置多し。前翅は黄褐、白粉を散布せるの觀あり。體長二分五厘—三分五厘。これは柑橘、無花果、その他種々の植物に寄生す。

シロセスチヨコバヘ……………(三九七)

*Scaphioides albovitatus Mats.*

體は灰黄。頭頂より稜状部に達せる太き一縦條は黄白。頭頂の四紋、前胸背の八紋、顔の七紋及び前胸の兩側條は黒色。前翅は半透明、少しく黄色を帯び、脈及び中央にある三斜紋、



ある三斜紋、

リンゴマダラヨコバヘ……………(三九六)

*Phlepsius ishikii Mats.*

體は暗黄、黒紋及び黒條を散在す。頭頂は廣き三角形にし、て、稍々平たし。前翅に稍々網目様の斑紋を有するを以て他と區別し



得。體長一分七厘内外。これはリンゴ、ナシ、サクラ、グミ、カイドウ等の害蟲にして、何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

の斑をなす。脚は黒色。體長一分三厘内外。これは臺灣にありて茶樹の害蟲なるが、その數餘り多からず。

分布—臺灣。

ミスチヒロトガリヨコバヘ……………(三九四)

*Platymetopius cinetus Mats.*

體は黄緑。頭頂の前縁は細く黒色、灰色の三縦條ありて、顔及び稜状部は橙黄色。前翅は灰白半透明、暗色の斷續せる三帯ありて、内片の末端は暗色、脈は紅色。脚は黄白、腿節に暗褐色あり。體長一分八厘内外。これはモミヂ、イタヤの害蟲



なるが、札幌地方には普通なり。

分布—北海道、本州。



シロボ  
シヒロ  
トガリ  
ヨコバ  
ヘ……………(三九五)

ツマグロオホヨコバヘ……………(三九九)

*Tetragonella ferruginea Wlk.*

アビカリス形。體翅は黄緑(乾燥すれば橙黄色)、斑紋は黒色。前翅は半透明、翅端は黒色。體下及び脚は黒色。體長四分。これはチャ、



クハ、カンショ等の害蟲なり。東京地方にありては茶樹に普通なり。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

オホヨコバヘ……………(四〇〇)

*Tetragonella viridis L.*

體翅は緑色。頭頂に五角形の一紋を具へ、前頭に褐色の横線を列ぬ。斑紋は黒色。前翅は不透



♀



明。脚は黄色。體長二分  
半。三分。これはイネ、  
ムギ、タバコ、チャ、ハタ  
カ、マメ等に有害にして  
何れの地方にも普通なり。  
分布 日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲、  
阿弗利加。

ヒトツメヨコバヘ.....(四〇一)

*Thamnotettix cyclops* Muls.

體は黄褐。體下及び脚は黄白。頭頂の後縁及び  
觸角下方にある各一紋は黒色。前翅は黄褐にし  
て、半透明。  
體長一分六  
厘内外。こ  
れは雑草間  
に捕獲し得  
べし。廣く東洋に分布すれども、何れの地方に  
も餘り多からず。  
分布 北海道、本州、九州、西比利亞、歐洲。



クロスヂミドリヨコバヘ.....(四〇二)

*Thamnotettix nigrovittatus* Mats.

體は黄緑。顔は黄白、觸角の基部に一黒點を裝

♀



ふ。前  
翅は半  
透明、  
黄緑を  
帯び、  
暗褐の  
縦條を  
裝ふ。體長三分半内外。これは朝鮮長白山に捕  
獲せられたる珍種なり。  
分布 朝鮮。

イネマダラヨコバヘ.....(四〇三)

*Thamnotettix oryzae* Mats.

體は黄褐。前翅に二小白紋を具へ、單眼の周圍も  
亦白色なるを以て、  
四白紋を横列するが  
如し。前翅は灰白、  
半透明、翅脈に沿ふ  
部分は褐色。體長一  
分二厘内外。これは  
稻、その他、禾本科植物の害蟲にして、何れの  
米作地にも普通なり。  
分布 日本全土。



ヨモギシロテンヨコバヘ.....(四〇四)

*Tylozygites artemisio* Mats.

體翅黒色。體下及び脚は黄白。前翅は褐色、兩  
側に三横條を裝ひ、尙、中央に黄白の一縦條あ  
り。稜狀部は  
黄白。前翅は  
不透明、斑紋  
は白色。體長  
二分内外。こ  
れはヨモギその他菊科植物に普通なり。  
分布 北海道、本州、九州。



バラヒメヨコバヘ.....(四〇五)

*Typhlocyba rosea* L.

體は黄白、斑紋を缺く。前翅は半透明、少しく  
黄色を帯ぶ。脚は白色、跗節端は暗色を帯ぶ。  
體長一分二  
厘内外。こ  
れはバラ、  
その他、種  
の植物に  
寄生する普通種にして、廣く東洋に分布せり。  
分布 北海道、本州、朝鮮、支那、歐洲、阿弗  
利加。



ムツホシヒメヨコバヘ.....(四〇六)

*Typhlocyba sexnotata* Fall.

體は淡黄緑。頭頂の二紋、觸角下の二紋、額片、  
前胸背の六紋及び稜狀部の二紋は黒色。前翅は  
灰白、半透明、翅端及び二列をなせる六紋は暗  
色。體長一  
分二厘内  
外。これは  
ヤナギに普  
通なる種類



にして、東洋に廣く分布す。  
分布 北海道、本州、歐洲。

フタモンヒメヨコバヘ.....(四〇七)

*Zygina apicalis* Mats.

體は黄色。頭頂の二紋及び稜狀部の二大紋は黒  
色。頭頂の中央紋及び兩側は褐色、顔は淡褐、  
頂部に褐色  
の二點あ  
り。前翅は  
半透明、黄  
褐、灰白紋  
を散在す。體長九厘内外。これはブドウ、リン  
ゴ、ナシ、サクラ、その他果樹に普通なり。



(a) 雌(龐大)  
(b) 葡萄の葉下  
に産卵せら  
れたる部分  
を示す  
(c) 卵(龐大)



分布 日本全土。

チマダラヒメヨコバヘ.....(四〇八)



(a) 雌(龐大)  
(b) 産卵の爲め變色せる痕跡  
(c) 寄生蜂の脱出せる孔

ホシテンヒメヨコバヘ.....(四〇九)

*Zygina multipunctata* Mats.

體は黄白。頭頂の四紋、前胸背の二縦紋、前翅  
に散在せる長紋及び不定紋は赤血色。前翅の前  
縁にある一紋  
及び外縁に近  
き二紋は暗褐  
を帯ぶ。體長  
八厘内外。こ  
れはクハの害蟲にして、時に大害を加ふること  
あり。主として中國地方に多し。  
分布 本州、四國、九州。



體は黄色。頭の後縁に暗黄色の  
二紋あり。前胸背には暗黄の四  
縦條を具へ、その兩側に暗黄の  
一紋あり。稜狀部の中央にある



二縱條并に末端は黒色、時に各隅角のみ黒色なるものあり。前翅は黄色、黒點を散在す。體下及び脚は白色。體長一分内外。これは桑の害蟲にして、主として京都地方に多し。

分布—本州。

ヤマシロヒメヨコバ.....(四一〇)

*Yuzinia yamashiroensis* Mats.

體は黄白。頭頂にある紅色の二縱條は斷續せずして稜狀部の末端に達す。前胸側の二縱條、額の波狀帶、前翅の後縁にある電光様の二縱條並にその前方の斷續せる一縱條は赤

♀



血色。體長八厘内外。これは桑に寄生する普通種にして、主として近畿地方に多し。

分布—本州、四國、九州。

二七 白蠟蟲科 Fulgoridae

觸角は三節、短大、末端に一本の針狀毛を有す。體には白蠟の分泌物を附着す、故に白蠟蟲の名あり。前翅に鱗狀の小片あり。二個乃至三個の單眼を裝ふ。本邦學名を有するもの約百數十種あり。何れも植物の液汁を吸収し、時に大害を加ふることあり。この科に屬するセジロウシカの如きは時に大發生をなし、その群飛する時は恰も雲霞の如き觀あるを以てウシカの名あり。

キンタハゴロモ

*Alphana pubescens* Guér.

♀



體は暗褐、中後の兩胸及び腹部は黄色、但し紅色部を混す。前翅は黄褐、大小の黒紋を散在し、翅端は淡色、後縁の外縁に近き所に一白紋を裝ふ。後翅は橙黄色、翅底は紅色、十七八個の黒紋ありて、三列に排置せられ、尙、中央に近く四白紋を裝ふ。體長九

分内外。これは恒春地方に産するも稀なり。モクマワウの幹に多く發見せらる。

分布—臺灣(恒春)。

モンスケバハゴロモ.....(四三)

*Bids vittata* Mats.

♀



體は淡綠黄。頭頂及び前胸背に黒紋を散在す。觸角基部に近く赤紋を裝ふ。前翅は稍々透明、淡黄褐を帯び、脈に暗色を呈する部分を具す。翅端に黒紋を裝ふ。體長三分内外。これは沖縄に稀ならず。

分布—沖縄。

♀



ヤナギカハ  
ウシカ.....(四三)  
*Brixia marmorata*  
Uh.

體は暗褐。前

洲。

イシダテングスケバ.....(四七)

*Dielyophora ishidae* Mats.



體は黒褐。複眼の中間及び中央を縱走する一條、前胸背の中條、稜狀部の末端等は黄色。前翅は透明、脈及び縁紋は黒褐。體長四分五厘内外。これは山間の雜草間に多し。

分布—北海道、本州。

クロスチテングスケバ.....(四八)

*Dielyophora nigrovittata* Mats.



一二六五

體は淡黄褐。額の兩側に赤色の一縱條を具へ、その下方に緑色を帯びたる部分あり。前胸背の二縱條は赤色、稜狀部の四縱條は黄褐。前翅は透明、中央より翅端に亘りて

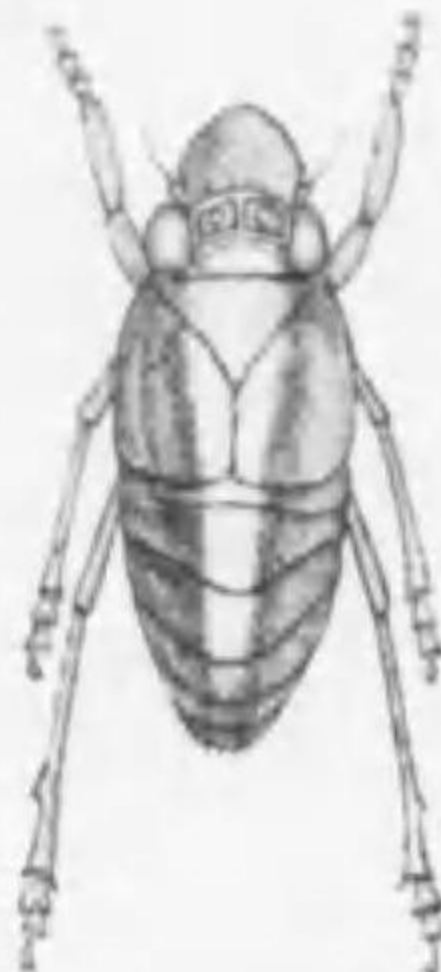
頭は三角形をなして上向し、額に二條の高き葉狀の縱隆ありて、これに黄紋を散在す。翅は廣く、半透明、褐紋を散在し、縁紋は黄色。體長二分五厘内外。これはヤナギ、ドロノキの害蟲なり。

分布—本州、四國、九州。

テラウチヒラアシウンカ.....(四二四)

*Caloscelis teranuchi* Mats.

體は灰白。前胸及び中胸の兩側に多數の黒點を散在す。前翅の兩側に黒點を散在し、



廣條を有するが如く見ゆ。體は一分六厘内外。これは朝鮮金剛山に産すれども稀なり。

分布—朝鮮。

シダクロスケバ.....(四二五)

*Oxioposis punctatus* Mats.

體は黒褐。額に三條の縱隆起を具へ、兩側にあるものは上部にて相合す。額及び前胸背に黄色



暗褐色の一縦條を具へ、これは翅端にて擴まる。臺灣に産すれども、餘り多からざるが如し。體長四分五厘内外(翅端迄)。  
**分布** 臺灣。

オキナハテングスケバ

*Dictyophora okinawensis* Mats. (四一九)

♀



體は暗黄。前頭の中  
 央に白色の細き一縦  
 條を具へ、顔は黄色、  
 紅色の二縦條を装  
 ふ。前胸背の中央赤  
 色、縦隆は黄色、稜  
 狀部に二褐縦條あ  
 り。前翅は透明、脈及  
 び縁紋は褐色。體長  
 四分五分。これは沖縄にて黒岩恒氏の採集せ  
 るものなり。  
**分布** 沖縄。

ヒメテングスケバ

*Dictyophora jatruei* Skat. (四二〇)

體は黄緑。顔は橙黄色。胸背及び稜狀部は黄色  
 (死後)、これに綠色の四縦條あり。前翅は透明、



♀

を帯び、後縁に  
 一褐色點を装  
 ふ。體長一分  
 三厘内外(翅端  
 迄)。これは竹に  
 寄生す。中國地  
 方に普通なり。  
**分布** 本州、四  
 國、九州。

ワタナベヒハゴロモ

*Eulophia watanabei* Mats. (四二五)



♂

第一〇 有 吻 目



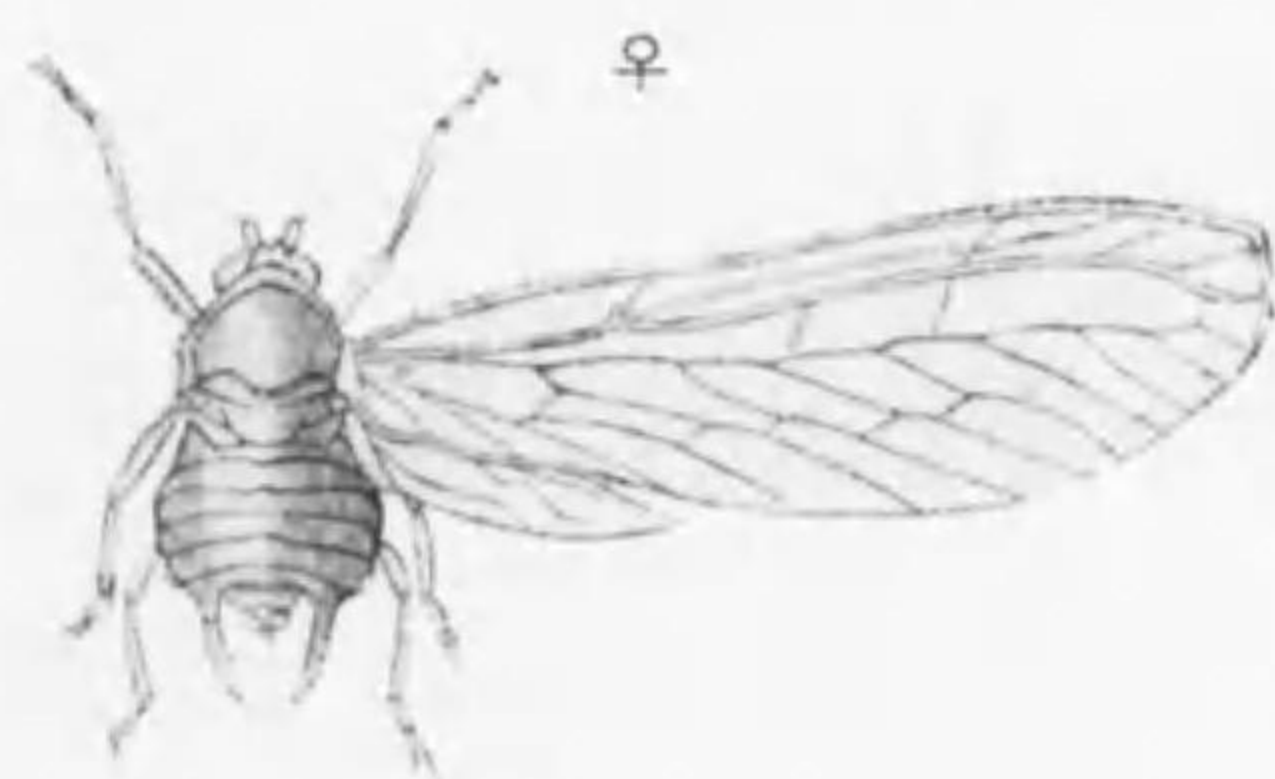
♀

脈及び縁紋は褐色。體  
 長四分内外(翅端迄)。  
 これは稻その他甘蔗の  
 害蟲なり。北海道に産  
 せず。  
**分布** 本州、四國、九  
 州。

アカハネナカウanka

*Dioscurella jeltus* Uhl. (四二二)

♀



體は赤黄色。前  
 翅は透明、少し  
 く暗色を帯び、  
 前縁には齒狀突  
 起を列ぬ。尾端  
 には長き一対の  
 附屬物あり。體  
 長三分三厘内外  
 (翅端迄)。これ  
 は稗、粟その他  
 禾本科植物の害  
 蟲なり。  
**分布** 本州、四  
 國、九州。

ゲンバイウanka

*Egortia genkai* Mats. (四二三)

♀



體翅は綠色。前翅には顆粒を散  
 在し、翅端の四分の一に網狀脈  
 あり。體長二分五厘内外。これ  
 は柑橘、無花果に寄生す。體は  
 少し平たし。主として暖國に  
 多し。  
**分布** 本州、四國、九州、臺灣。

スケバハゴロモ

*Empoasca fasciata* Wk. (四二四)

♀



體は黒褐。前翅は透明、少し  
 く黄色を帯び、周圍は黒褐、  
 前縁の中央に黄色紋を装ふ。  
 體長二分五厘内外。これはサ  
 ンショ、リンゴ、その他種々  
 の植物に有害なり。  
**分布** 本州、四國、九州。

タケウanka

*Euryta hawae* Mats. (四二五)

體は灰黄。前頭に隆起なきを以て容易に他の類  
 似のものと區別し得。前翅半透明、少しく黄色



♀

に丁字形  
 の黒紋を  
 装ふ。體  
 長一分八  
 厘内外。  
 これはリ  
 ンゴ、ヤ  
 ナギの害  
 蟲なり。

暖國に普通なり。

**分布** 本州、四國、九州。

カタビロヒシウanka

*Issus barinensis* Mats. (四二六)

♀



體は稜形にして、黄褐。前胸背及び顔の兩側に  
 灰白の顆粒を装ふ。前翅の肩部は著しく突出し  
 その突出部の直下  
 に半透明の灰白紋  
 あり。脈は黄白、  
 網狀を呈す。體長  
 二分五厘内外。こ  
 れは櫛斗科植物の  
 害蟲なり。九州地方に稀ならず。  
**分布** 本州、九州。

マルウanka

*Hemiphysalis variabilis* Burt. (四二七)

沖縄、支那。

體は黄褐乃至暗褐。頭及び顔は淡色。前翅に四  
 個の少しく綠色を帯びたる黄白紋を具へ、前縁



キガシラヒシウンカ (四三九)

*Knavea flavipes* Mats.



雌は黒色。頭は黄色。頭頂は圓形。中胸背に三縱隆あり。翅は透明、脈は黄色。縁紋は褐色。脚は黄色。體長二分七厘内外。これはシナ、ハンノキ等に有害なり。札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

トビイロウンカ (四四〇)

*Labiurnia*



*oryzae* Mats. ヒメトビイロウンカ

に酷似すれども、其異なる所は、全體赤褐色にして、形大、前翅の脈は太し。體長一分五厘内外(翅端迄)。これは前種同様に稲の大害虫にして、殊に九州地方に多し。

分布 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣。

シロスチトビウンカ (四四一)

*Labiurnia albopilata* Mats.



體は褐色、中胸背及び後翅の中央に白色の縦條あり。翅は透明、少しく暗色を帯び、後縁は細く白色、脈は黄褐色。小顆粒を並列し、後縁の中央に黒褐點を缺く。雌には短翅形あり。體長一分三厘—一分六厘。これは稲の害虫なり、然れどセジロウンカの如く多からず。

分布 本州、四國、九州。

セジロウンカ (四四二)

*Labiurnia furcifera* Horv.



體は黒褐色。中胸背の中央に黄白色の長紋あり。雄の抱握器は黒褐色にして、鉤形を呈し、末端は又狀をなす。雄に短翅形あり。翅は透明、内片の末端に黒褐點あり。體長一分三厘—一分六厘。これは有名なる稲の害虫なり。普通ウンカとはこの種を指せるものにして、昔時より稲に大害を加ふるものは多く本種なり。その飛翔するの狀雲霞に似たるを以てこの名あり。



雌

(a) 産卵の狀を示す

(b) 卵(卵大)

なる稲の害虫なり。普通ウンカとはこの種を指せるものにして、昔時より稲に大害を加ふるものは多く本種なり。その飛翔するの狀雲霞に似たるを以てこの名あり。

分布 日本全土、臺灣、支那、馬來、印度、阿弗利加、歐洲。

ヒメトビイロウンカ (四四三)

*Labiurnia striatella* Fall.



體は黒褐色。前胸背は灰白。前翅後縁の中央に黒紋あり。雌は淡色、前種同様に短翅形あり。體長一分三厘内外。これはセジロウンカに酷似するも、前胸背に黄白色を有せざるを以て、容易に區別し得。同じく稲の害虫にして、セジロウンカに混じて大害を加ふ。雌には短翅形あり。

分布 日本全土、朝鮮、歐洲、阿弗利加。

シタベニハゴロモ (四四四)

*Lycorma delticulatum* White

體は黄褐色乃至黒褐色。觸角赤色。前翅は灰色、少しく緑色を帯び、二十内外の黒褐紋を散在し、翅端黒褐色。後翅は紅色、五六個の黒紋を具へ、翅端は黒褐色、中央に青藍色の廣帯を裝ふ。これ

サトウマタラハネナカウンカ (四四六)

*Nivertoides saccharivora* Mats.



體は淡黄。複眼は褐色。前翅透明、黄斑を散在し、外縁にあるものは少しく褐色を帯ぶ。腹側は赤血色。體長六厘。これは甘蔗の害虫なれども、餘り大害を加へざるが如し。

分布 臺灣。

シマウンカ (四四七)

*Ninia atrovirens*



體は黄褐色。額の兩側に高き縦隆あり。翅は白色。脈太く顆粒を散在し、褐色を呈す。體には白粉を裝ふ。體長一分三厘内外。これは稲その他、禾本科植物に寄生す。本種は中國地方に普通なれども稲には多からず。

分布 本州、四國、九州、支那、馬來、印度。



クロヒシウンカ *Otiatus angusticeps* Horv. (四三八)

體は黒褐色。頭頂の兩縁、顔、前胸背、稜狀部等の隆起は黄色。前翅は半透明、少しく黄色を帯び、縁紋及び脈は褐色、脈上には小顆粒を列ぬ。體長二分二厘内外。これは河津のヨモギに普通なり。



分布 北海道、本州、九州。

ヒシウンカ *Otiatus apicalis* Uhl. (四三九)

體は黒褐色。中胸背に五條の縦隆あり。前翅は黄



褐色、脈には顆粒を散在す、雄には翅端は暗色。體長二分四厘内外。これは稻、麥等に寄生すれども、北海道には産せず。

分布 本州、四國、九州。

オホヒシウンカ *Otiatus sinensis* Kirk. (四四〇)

*Otiatus sinensis* Uhl.

體は褐色。頭及び前胸背の隆起は黄色、稜狀部の中央に低き五縱條ありて



兩側の隆起間にある部分は赤褐色。前翅は白色、半透明、脈及び縁紋は黒褐色、前縁は黄色、外縁にある横脈に黒褐色あり。體長三分七厘内外。これはヒシウンカ中最

大の種類にして、故名和靖氏は始めてこれを伊吹山にて採集せり。

分布 本州(伊吹山)。

テウセンアカシマウンカ *Ommatissus boreanus* Mat. (四四一)

體は灰白、下面は黒色。前頭、前胸及び稜狀部の中央に



ある一縱條は紅色。顔は黒色、額片の兩側及び基部は白色。前翅黄白、前縁は黒色、内片に黄色の二線を装ふ。脚は黒色。體長二分内

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

アカフハネナガウンカ *Otiopus flexuosus* Uhl. (四四五)

體は黄白。觸角赤色。前翅は白色、電光線の紅色紋を有す。これはミヅキ、シナノキ等の害蟲なり。體長三分五厘内外。秋季打網を用ふれば容易に捕獲し得べし。



分布 日本全土。

アカスチハネナガウンカ *Pamphila rubripes* Dist. (四四六)

體は黄白。前胸背は白色。前翅は灰白、暗色紋を散在し、翅底及び外縁に近き斑紋は灰、前縁の中央に紅色の五紋を列ね、前縁の横脈並に前縁脈の末端は紅色。腹背に黒紋を散在す。脚は白色。體長一分一厘内外。これはイタヤ、オヒヨウ、ニレの害蟲なり。



分布 北海道、本州、臺灣、印度。

外。これは初め朝鮮、金剛山にて採集せられたるが稀なるが如し。

分布 朝鮮。

ツマグロシウンカ *Ommatissus apicalis* Mat. (四四二)

體は淡黄褐色。頭及び前胸背に綠色を帯びたる部分あり。頭頂、前胸背、稜狀部を一貫せる一縱條、前胸及び稜狀部の兩側條並に顔の三縱條は紅色。前翅は半透明、少しく黄色を



帯び、翅底より中央迄の一縱條及び翅端は廣く暗褐色。體長三分内外。これは臺灣にて採集せられたるが、樟樹科植物に寄生するが如し。

分布 臺灣。

シウロウンカ *Ommatissus lineatus* Fied. (四四三)

體は灰黄。顔に二黒紋あり。前胸背の兩側にも亦黒紋を具ふ。前翅は灰黄、脈は灰白。雄の把握器は大にして、黒褐色。體長八厘。一分四厘内

分布 臺灣。

ウシウンカ *Perkinsiella sinensis* Kirk. (四四七)

體は暗黄。顔は黄色、上方は褐色、額片は黒色。胸背及び稜狀部の兩側に暗色の縦條を装ふ。前翅は透明、脈上に黒顆粒を具へ、外縁の中央より翅端に向ひ黒條を縱走す。體長一分五厘内外。これは甘蔗、稻その他、禾本科植物の害蟲なり。これは臺灣にて時に甘蔗に大害を加ふることあり。



分布 本州、臺灣、支那。

マダラハネナガウンカ *Phenac moesta* West. (四四八)

體は黒色。複眼間に白色の隆起あり。稜狀部にも白色の三縱條を装ふ。前翅には透明紋を散在



分布 本州、臺灣、支那。

外。これはシウロの害蟲なり。何れ地方にも普通なり。これは廣く分布せる種類にして、著者はこれをアフリカタンジニアにても採集せり。



分布 本州、九州、臺灣、支那、印度、歐洲、アフリカ。

ツマグロスケバ *Orthopagus humifer* Uhl. (四四四)

體は暗黄。顔黄色、褐色點を散在す。前翅透明、縁紋及び末端より後縁に互りたる大紋は黒褐色。脚は黄色、褐色の輪環あり。體長四分内外(翅端迄)。これは甘蔗、稻その他、禾本科植物の害蟲なり。中國地方に稀ならず。



分布 本州、九州、臺灣、支那、印度、歐洲、アフリカ。







(翅端迄)。これは札幌地方のエゾマツに捕へ得べしと雖も稀なり。  
分布 北海道(札幌)。

エホシハゴロモ



*Tomia formosana* Mats.  
(四五九)



頭頂は暗色を帯ぶ。前翅の前縁は弓状を呈し、後縁は黄色、脈は緑色、全面に低き疣状突起を密布す。體長五分五厘内外。これは臺灣に稀ならざるも未だその食草は判然せず。  
分布 臺灣。

コブウシカ

*Tropidocleptus lemniscatus* Sign.

體は黒褐。前胸及び後脚部は綠黄。前翅は透明、基部に近く黒色の一瘤状紋を具へ、翅脈に沿ひ小顆粒を散在す。體長一分内外。これは甘藷、その他の禾本科植物の害蟲なり。中國地方の草



間に普通なり。廣く東洋に分布す。  
分布 本州、四國、九州、臺灣、馬來、印度。

アカギハネナカウシカ

*Volunta nishioi* Mats.



體は灰黄。顔は暗色。胸背の兩側は暗褐。前翅は暗色、縁紋及び翅端脈は白色。腹面は暗色。脚は黄白、跗節端は暗色。體長一分二厘。アカメガシハの害蟲にして、中國に普通なり。  
分布 本州、四國、九州、臺灣、支那。

ニハ 木蝨科 *Psyllidae*

觸角は十節にして、稀に九節より成り、その末端は二分す。後腿節は膨大して、跳躍に適す。翅は透明なり。農作物の液汁を吸収し、農家に有害なるもの多し。恰も蝨の如く樹液を吸収するを以てこの名あり。本邦學名を有するもの七十餘種あり。

マダラキシジラミ

*Aphalara melibosa* Zett.



體は黄褐。頭頂に二凹陥あり。前頭の鼻狀突起は短かし。前胸背の中央は灰白、兩側に二褐色紋を具へ、胸背に八個の灰白縦條を裝ふ。前翅は灰白、褐色の三帶を具へ、何れも白點を散在す。體長一分六厘。これはリンゴに寄生す。  
分布 本州(青森)、朝鮮、歐洲。

ミカンキシジラミ



*Diuraphis citri* Kuwayama  
(四六四)

類の葉液を吸収し、時に大害を加ふ。  
分布 臺灣。

クスキシジラミ

*Mesolomema camphorae* Mats.



體は淡綠。觸角は白色、第三乃至第八節に末端の二節は黒色。翅は透明、脈は白色。體長九厘内外。これはクスの害蟲にして、殊に小笠原島に多し。  
分布 小笠原島、臺灣。



*Psylla abietis* Kuwayama  
(四六六)

トドマツキシジラミ

*Anomoneura mori* Schwarz



體は黄色、若くは黄綠。胸背に濃色紋あり。翅は白色、半透明、黒褐の斑紋を散在す。體長一分内外。幼蟲



*Kuwayama camphorae* Zasaki  
(四六七)

クストガリキシジラミ

*Psylla piranga* Forest



ナシキシジラミ



♀



は透明。  
體長八厘  
一分二厘。  
これ  
は有名な  
梨の害  
蟲にして



(a) 卵子 (b) 蛹(廓大)

時にリンゴにも寄生す。何れの地方にも多し。

分布 北海道、本州、四國、九州、歐洲。

クロリンゴギジラミ……………(四六九)

## 二九

蚜蟲科

Aphidae

觸角は三節乃至六節より成る。翅は透明、翅脈は細胞を缺く。後肢は細く、跳躍に適せず。夏日胎生兒を産し、世代交替をなす。作物の液汁を吸収して、農林業に大害を加ふ。多くは微小の種類にして、大なるも三分を越えず。夏季は胎生にて蕃殖し、秋季は兩性生殖をなし、卵子にて越冬するもの多し。時に中間宿主を有し、移動するものあり。この場合、春秋は喬木にありて、夏日は草本に移動するを常とす。本邦學名を有するもの百餘種あり。尾端より糖液を分泌する爲め葉上に油様の分泌物を生じたるが如くに見ゆ、故に一名油蟲の名あり。又常に蟻に取り巻かれあるを以てアリマキの名あり。

### ウドアシブトアブラ

*Aphis araliae Mats.*

(四七一)

有翅の雌は黒褐。觸角に白色の短毛多く、初めの二節を除き各節の基部は黄白。翅透明、少しく黄色を帯び、脈は暗褐。蜜管は短、長毛を密生す。脚は短大、黄褐、後肢は濃色、後腿節の基部は黄褐。體長八厘。開張二分二厘。これはウド、タラノキに寄生す。

*Psylla mahyorella Mats.*

♀



體は褐色、少しく緑色を帯ぶ。頭及び前胸背に淡色紋あり。  
翅は褐色、半透明。腹節は赤色、黒帯を裝ふ。生殖板は黒褐。脚は暗褐、腿節の末端及び脛節は淡色。體長七厘内外。これはリンゴの害蟲なり。

(a)



(b) 蛹(廓大)

分布 本州(信州)。

### グミギジラミ

(四七〇)

(a)

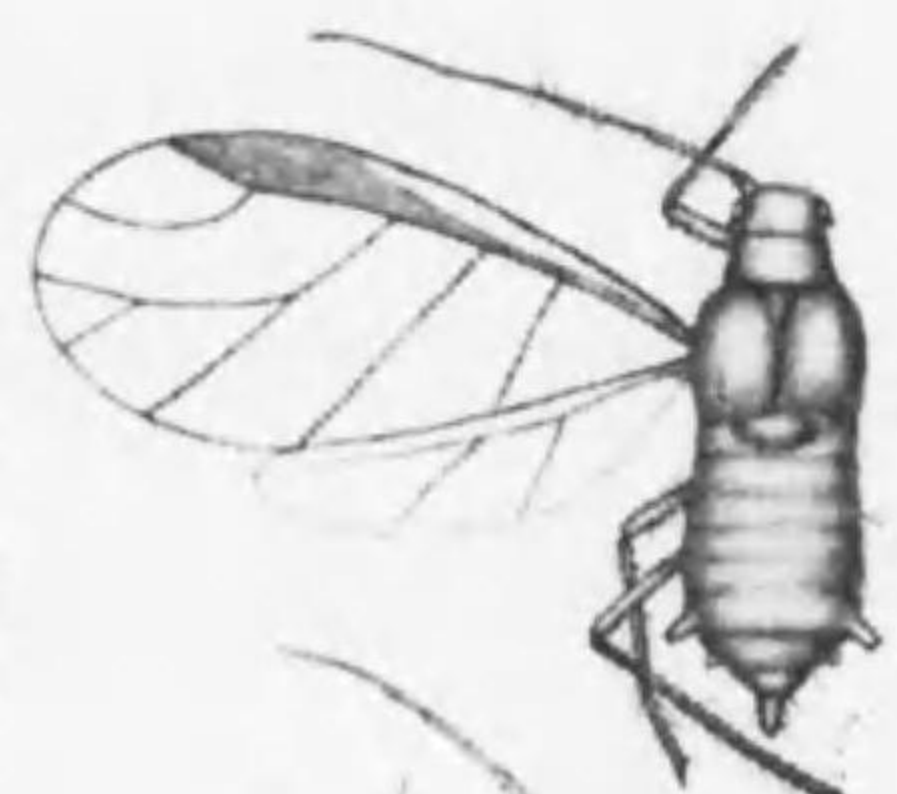


*Psylla elegans Mats.*

體は黄白、褐色の紋條を裝ふ。觸角及び末端の二節は黒色。

分布 北海道、本州。

(c)



(a)



(b)

(a) 胎生無翅の雌(廓大)

(b) 蜜管(廓大)

(c) 觸角(廓大)

### ワタアブラ

*Aphis gossypii Glover*

(四七二)

有翅の雌には暗色、黒色、暗緑、橙黄の諸色あり。頭は黒綠乃至黒色。觸角は暗色、各節の基部灰白、第六節の前片は後片の三倍長。翅は透明、脈は黄褐、縁紋は灰色。腹部橙黄色、その後半は緑色、網目様の斑紋あり。蜜管は黒色。脚灰白、脛節の末端及び跗節は黒色。體長四五

♀



翅は透明、褐色紋を裝ふ。體長八厘内外。これはグミの害蟲なり。何れの地方にも普通なり。

(a)

分布 北海道、本州。

(b) 蛹(廓大)



(a)

(b) 胎生無翅の雌(廓大)

分布 世界共有。

### ニハトコアブラ

*Aphis zambucii I.*

(四七三)

有翅の雌は黒綠。形大にして、蜜管は頗る長し。これは集合してニハトコの葉裏にあり。體長九。



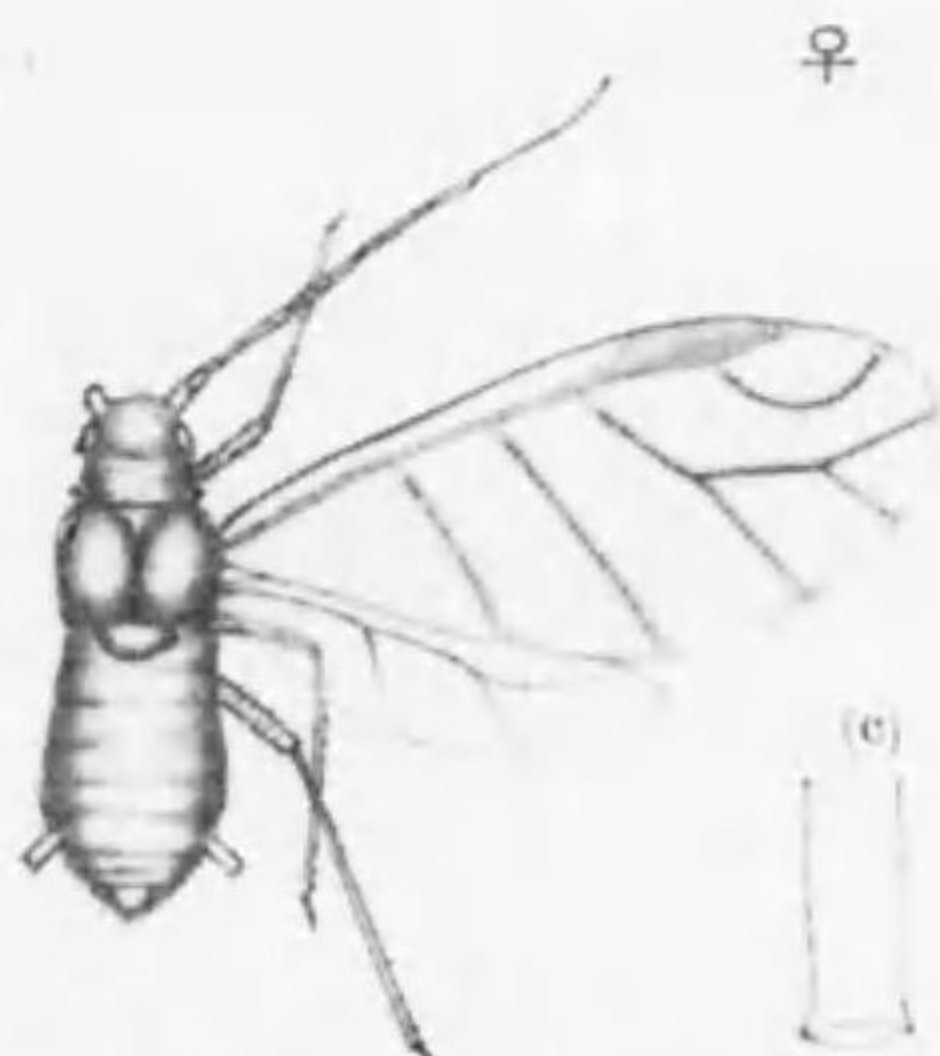


有翅の雌は暗褐色。腹部黄色。觸角に細毛を装ひ、第六節の前片は後片の約一倍半。翅は淡黄、脈及び縁紋は暗色。腹部の両側に暗色紋を具へ、末端の半部に近く五條の暗褐色帯あり。體長五厘半。開張二分内外。これはナシに寄生す。常に綿毛を被るを以て容易に他と區別し得べし。

ササクロミヤクアブラ

*Amuraphis sasae Mats.*

(四七四)



有翅の雌は暗褐色。腹部黄色。觸角に細毛を装ひ、第六節の前片は後片の約一倍半。翅は淡黄、脈及び縁紋は暗色。腹部の両側に暗色紋を具へ、末端の半部に近く五條の暗褐色帯あり。體長五厘半。開張二分内外。これはナシに寄生す。常に綿毛を被るを以て容易に他と區別し得べし。

ナシマルアブラ

*Amuraphis juri Mats.*

(四七五)



有翅の雌は暗褐色。腹部黄色。觸角に細毛を装ひ、第六節の前片は後片の約一倍半。翅は淡黄、脈及び縁紋は暗色。腹部の両側に暗色紋を具へ、末端の半部に近く五條の暗褐色帯あり。體長五厘半。開張二分内外。これはナシに寄生す。常に綿毛を被るを以て容易に他と區別し得べし。

(a) 雌  
(b) 觸角(廓大)  
(c) 蜜管(廓大)

分布 北海道、本州。

アラカハアブラ

*Arakawana stigma Mats.*

(四七六)



♀

分布 北海道(札幌)。



♀



有翅の雌は黒色、緑色を帯ぶ。觸角は體よりも長く、觸角節を具へ、初めの二節を除き淡黄、第三、四及び第六節の中央は暗色。翅は透明、縁紋は黒色にして、三ヶ月形をなす。蜜管は短。脚黄色、後肢は黒色。全體長毛多し。體長六厘。開張二分内外。これはナラに寄生す。

(a) 觸角(廓大) (b) 蜜管(廓大)

ダイコンアブラ

*Lipivoryno brassicae L.*

(四七七)



有翅の雌は淡黄褐色、白粉を密布す。頭及び胸瘤は褐色。腹部の横帯、兩側にある圓紋、蜜管尾狀突起并に脚は黒褐色。觸角は灰白。翅は透明、脈は灰白。體長五厘。開張三分内外。これは十字花植物に寄生す。

第一〇 有 吻 目



♀

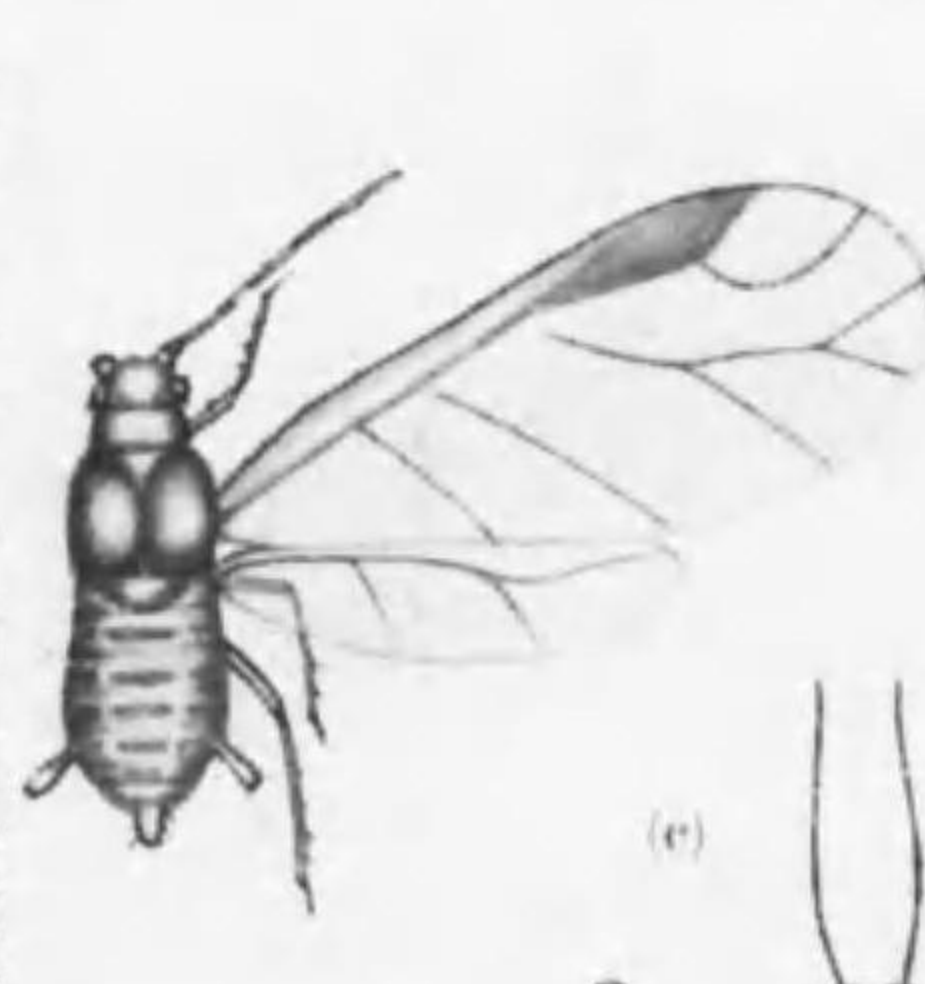
(a) 胎生無翅の雌(廓大)  
(b) 觸角(廓大)  
(c) 蜜管(廓大)

分布 日本、全土、歐洲、北米。

ヤナギナガアブラ

*Clavella salicicola Mats.*

(四七八)



♀

有翅の雌は淡黄褐色、白粉を密布す。頭及び胸瘤は褐色。腹部の横帯、兩側にある圓紋、蜜管尾狀突起并に脚は黒褐色。觸角は灰白。翅は透明、脈は灰白。體長五厘。開張三分内外。これは十字花植物に寄生す。

イタヤケアブラ

*Chaitophorus aceris L.*

(四七九)



有翅の雌は光澤ある黒色、灰白の長毛を簇生す。觸角は基部の二節より短、





♀

を除き黄色、長毛多し。翅は半透明、少しく黄褐色を帯び、脈は淡黄褐色。腿節及び脛節の末端は少しく暗く、暗褐色を帯び、黄褐色及び黒褐色の

長毛多し。體長七厘。開張二分七厘内外。これはイタヤ、モミヂに寄生す。

(a) 胎生無翅の雌(廓大)

分布 日本全土、歐洲。



ハンノチアブラ (四八〇)  
*Eucoraphis alni-aria* Mats.

有翅の雌は暗褐色。觸角初めの三節は淡色、第六節の前後は後

の前後は後

カハブチアブラ  
*Eucoraphis betulae* Mats. (四八一)

片より短。頭及び前胸背は淡色。翅は透明、黄色を帯び、縁紋は灰色、脈は黄褐色。蜜管は短、尾突起は二葉に分る。脚黄褐色、腿節及び脛節の末端并に跗節は暗褐色。體長一分。開張三分。これはハンノキ、カバに寄生す。

分布 北海道(札幌)。



♀

有翅の雌は暗褐色。觸角は灰色、斑をなし、各節の末端は暗色、第六節の前後は後片より少しく短、第三節は第四及び第五節を合したるものと約

ヨシコフキアブラ (ウメコフキアブラ) (四八二)  
*Hydomyces arundinis* F.

分布 北海道、本州。

脈は甚だしく彎曲す。各腹節の背上に楕圓形の暗褐色ありて、三列に排置せらる。後脛節の基部は白色。體長八厘。開張二分四厘。これは樺に寄生す。

(a) 胎生無翅の雌(廓大) (b) 觸角(廓大)



(a)

は暗褐色、第六節の前後は後片の三倍半長あり。胸



同長。翅は透明、脈は淡黄褐色、脛



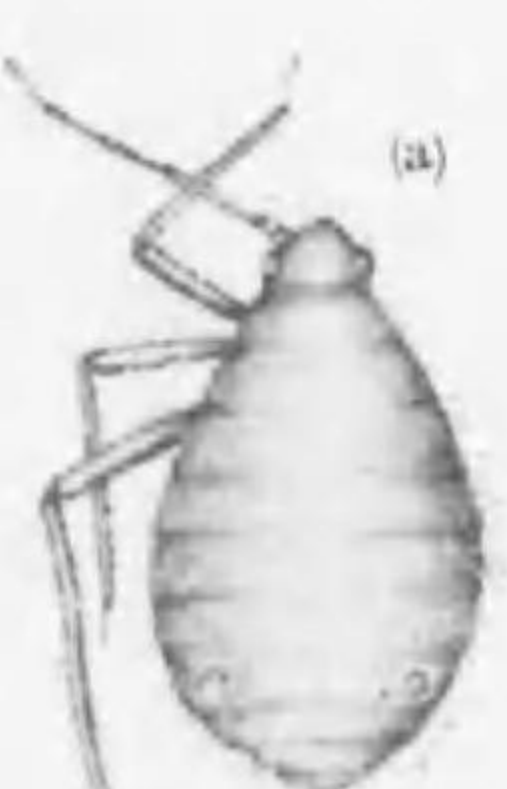
♀

背の中央に四角様の黒紋を装ふ。

翅は透明、脈黄褐色、腹部は緑色、蜜管は細小、尾突起と同長。脚は緑黄、腿節の末端、脛節の兩端及び跗節は黒褐色。體長八厘。開張二分五厘。これは春は薔薇科植物に寄生し、夏日は禾本科植物殊に藎、蘆の葉に寄生す。

(a) 胎生無翅の雌(廓大)

分布 日本全土、歐洲。



(a)

ハネナガオホアブラ (四八三)  
*Tachinus longipennis* Mats.

有翅の雌

第一〇 有翅目



♀

は黒褐色。翅は透明、脈は少しく黄色を帯ぶ。腹背に白紋を列ぬ。脚黒褐色、腿節の基部は淡黄褐色。體長二分。開張七分。八分。これ

はトドマツの害蟲にして、これが爲めに枝は枯死す。

(a) 胎生無翅の雌(廓大)

分布 北海道。

キクヒゲナガアブラ  
*Macrosiphoniella chrysanthemi* Del (四八四)



♀

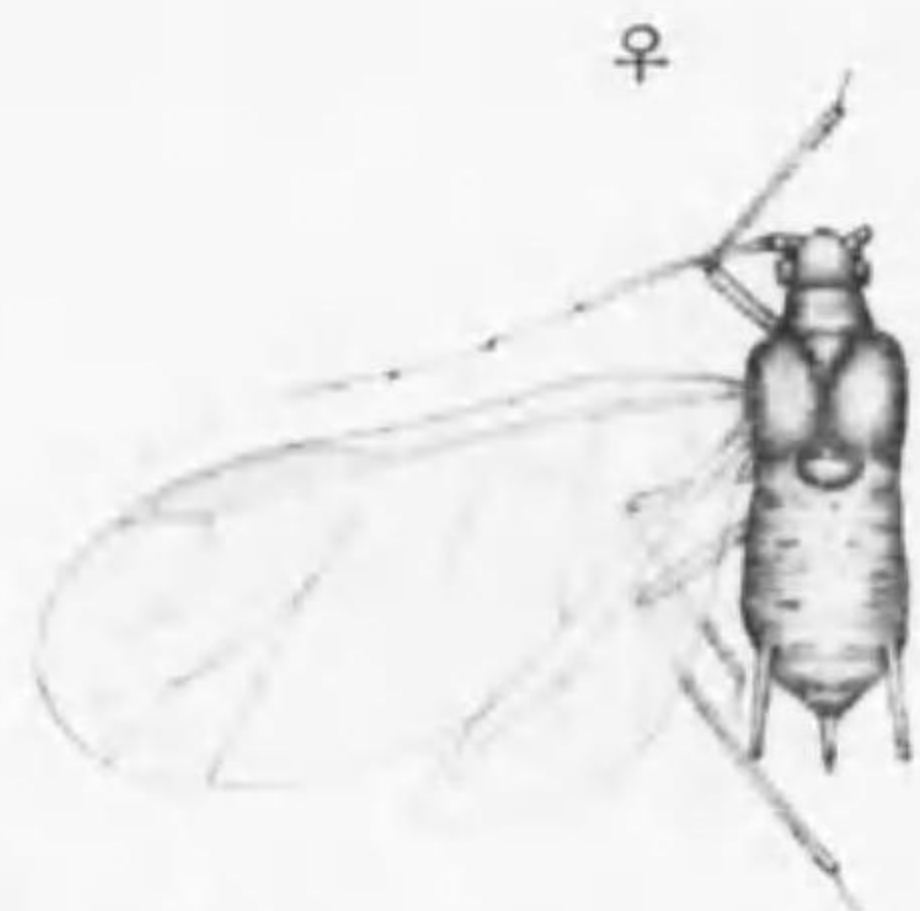
有翅の雌は褐色。觸角暗黄、基部の二節及び觸角結は黒色、第三節の基部は黄色、第六節の前後は後片の四倍長あり。中胸背の前縁は黄色。翅は透明、黄色を帯び、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管及び尾突起は暗褐色にして長し。脚は黄色、基部、腿節の末端、脛節の兩端并に跗節は暗褐色。體長八厘。開張二分。これは菊に寄生す。

分布 世界共有。

ムギヒゲナガアブラ  
*Macrosiphum granarum* Kirby (四八五)

有翅の雌は緑色。頭及び胸部は淡黄、胸脇は赤





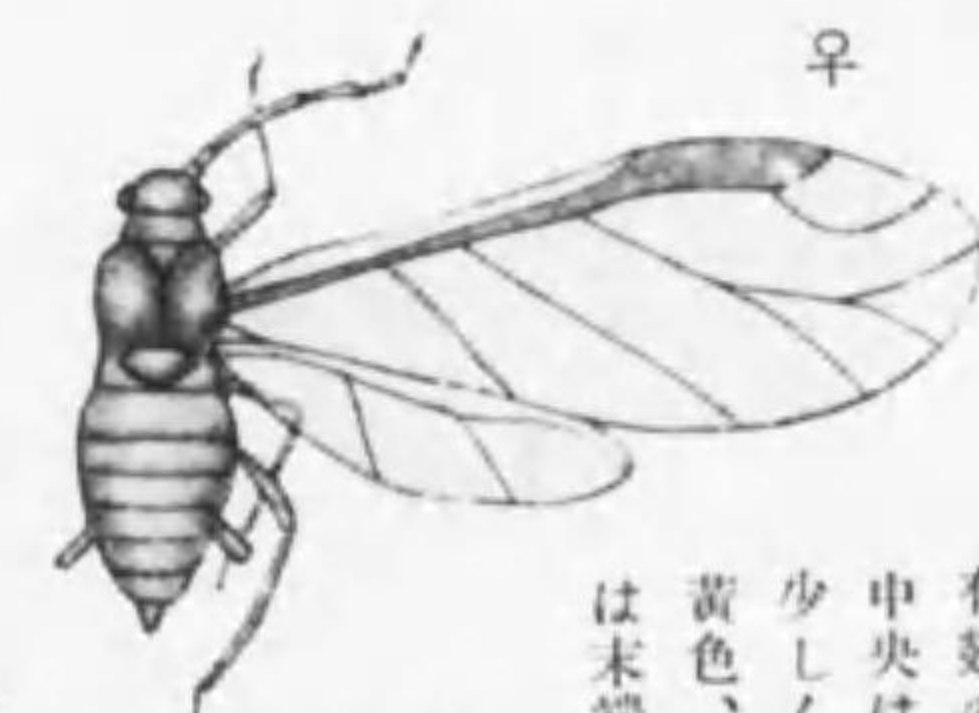
イモヒゲナガアブラ ..... (四八六)  
*Microsiphus mutuumformis* Hori  
 有翅の雌は黄色。觸角の基部は少しく暗色を帯

び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。  
 有翅の雌は黄色。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。  
 分布 日本全土、歐洲。



ササゲツボアブラ ..... (四八七)  
*Melanoxanthus vignae* Mats.  
 有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。

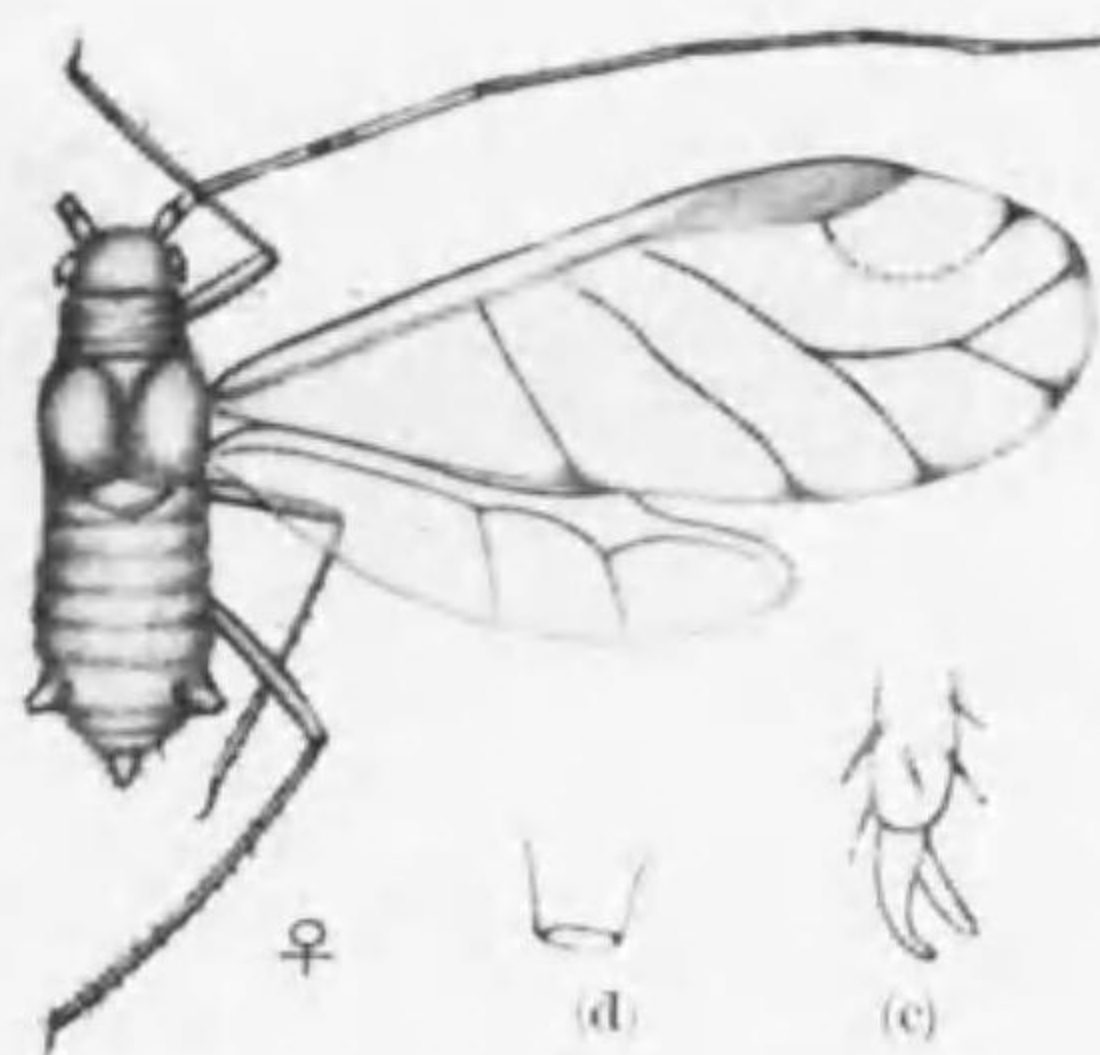
有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。



エゾニウアブラ ..... (四八八)  
*Metaphis angulata*  
 有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。

有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。

有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。  
 分布 北海道。



タケヒゲナガアブラ ..... (四八九)  
*Myzocallis bambusae* Mats.  
 有翅の雌は淡黄。觸角第六節の前片は後片と稍



ナラトゲアブラ ..... (四九〇)  
*Myzocallis narae* Mats.  
 有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。



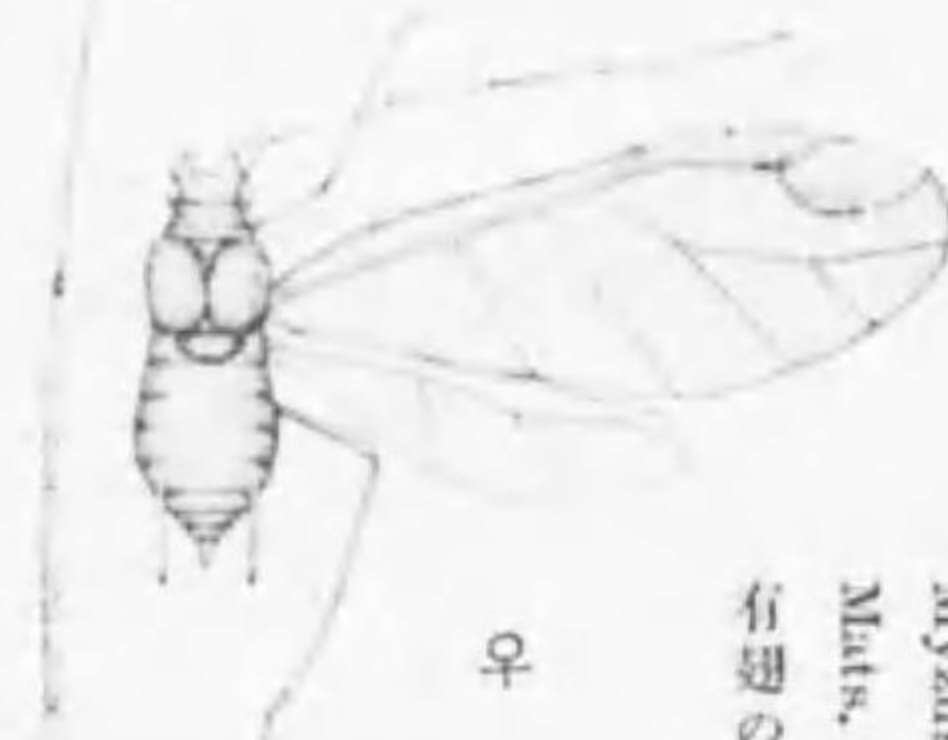
ササフチアブラ ..... (四九二)  
*Myzocallis sasae* Mats.  
 有翅の雌は黄緑。觸角黄白、第四、五、六節の末

有翅の雌は暗黄。觸角の基部は少しく暗色を帯び、第六節は暗色、前片は後片の約五倍半長あり。翅は透明、脈及び縁紋は淡黄褐色。蜜管は棍棒状、尾突起に短毛を装ふ。體長六厘。開張二分内外。これはエゾニウその他の繖形科植物に寄生す。





端は暗色。翅は透明、各脈の終止する所に雲状紋あり。経節の外、跗節及び後経節の末端暗色。體長五厘。開張一分七厘。



有翅の雌は暗黄褐、少しく緑色を帯ぶ。第六觸角節の前片は後片の約二倍



これは竹の葉に寄生す。

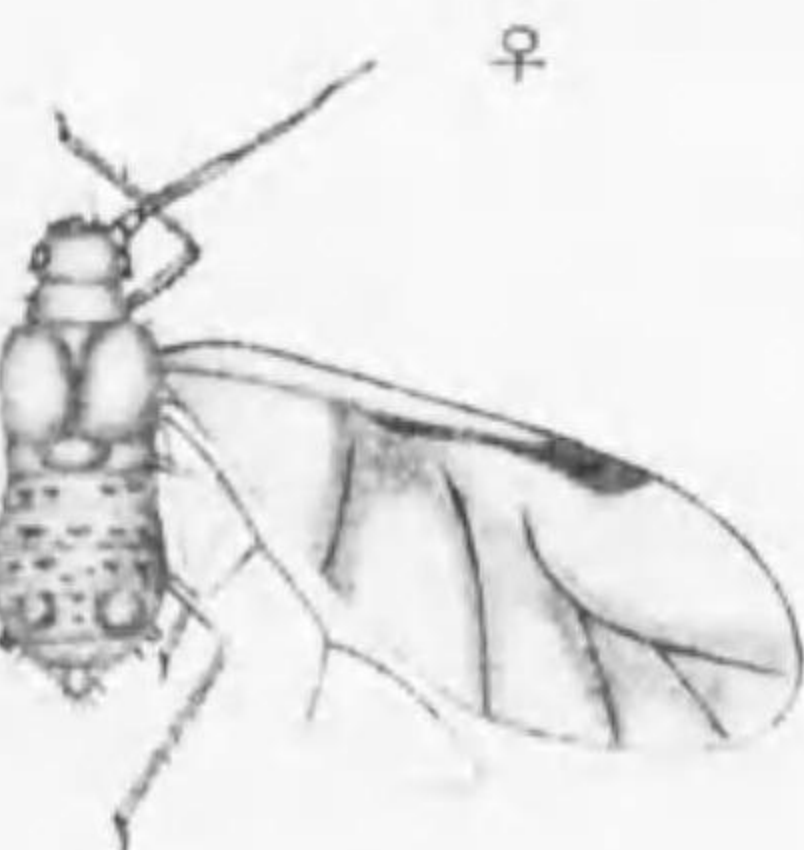
分布 北



海道、本州。

(a) 蝨(膨大)  
(b) 觸角(膨大)  
(c) 爪間の頭状毛(膨大)

ウツギアブラ.....(四九三)



は後片より少しく短、第三、四、五及び第六節の中央は暗色、翅透明、脈に沿ひ太き褐色帯あり。腹部に褐紋を散在し、蜜管の中間に二白紋あり。脚は淡黄褐。體長七厘。開張二分内外。これは栗の葉に寄生す。

(a) 蝨(膨大) (b) 觸角(膨大)  
(c) 蜜管(膨大)

分布 本州、四國。

チャイロオホアブラ.....(四九四)

*Nipolachnus abietinus* Mats.

有翅の雌は褐色。觸角黄褐。頭は暗褐。前翅透明、少しく黄色を帯び、前縁及び縁紋は褐色、脈は黄色。腹部黄色、各節に褐色帯を具へ、第



一節に二褐色紋あり。蜜管は暗褐、中點黄色。中胸背は廣く黒褐。體長八厘。開張三分。これはトドマツに寄生す。

分布 北海道(札幌)。

ナシミドリオホアブラ.....(四九五)

*Nipolachnus piri* Mats.

有翅の雌は暗褐、黄褐の長毛多し。觸角は黄色、第三節は暗色、頭胸を合せるものと同長、第六節は第五節と同長。前翅は透明、縁紋は長く、綠色、脈は黄褐、第三斜脈は二分す。第一腹節に一双の黒紋を具へ、第三節の中央に暗色の一



縦條を裝ひ、兩側に暗色紋あり。脚は淡黄褐。経節の末端及び跗節は暗褐。體長八厘。開張一分九厘。これは梨の葉枝に寄生す。

分布 本州。

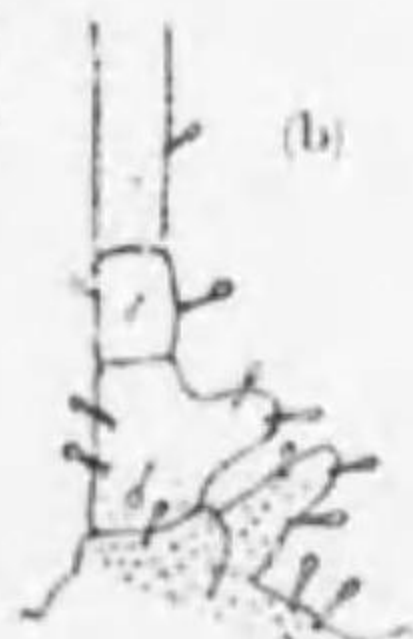


(a) 胎生無翅の雌(膨大) (b) 觸角(膨大)  
(c) 蜜管(膨大)

アサイホアブラ.....(四九六)



有翅の雌は綠色乃至黄綠。觸角は褐色、初めの二節及び第三節の基部は黄色。觸角砧の内側に疣状の一齒を具へ、第一節の内側にも同様の一小齒を裝ひ、第六節の前片は後片の約四倍長あり。中胸背の三大紋は暗色。脚黄色、経節の末端及び跗節は暗色。體長七厘。開張二分。これは大麻に寄



生す。

一二八五



(a) 胎生無翅の雌(龐大)  
(b) 觸角基部(龐大)  
分布 北海道、本州。

クリオホアブラ

*Pterohieris orientalis* v. d. Groot

有翅の雌は黒色。第六觸角節の末端は圓錐形。翅は不透明、中央に白色の一斜條を具へ、縁紋の外側に白色の一紋を装ふ。脚は暗黄。體長一分七厘。開張三分内外。これは主として栗の枝に寄生す。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣、印度。



(a) 胎生無翅の雌(龐大)

トツクリアブラ

*Rhopalosiphum persicae* Sulz.

有翅の雌は暗赤色。觸角は體と同長。胸節の基部は黒色、第三節の基部は淡色、第六節の前縁は後縁の二倍半長。頭胸及び中胸片は黒色。翅は透明、脈は暗褐、縁紋は灰色、基部及び前縁は緑色。腹部に黒色の二條縦を具へ、兩側に暗褐紋を装ふ。脚は暗褐、前中肢の腿節及び脛節の中央は淡色。體長八厘。開張二分三厘。これは春は薔薇科植物に、夏は禾本科植物に寄生す。



♀

部は暗色、觸角節の内側に瘤状の小突起を具へ、第一節の内側にも同様の突起を装ひ、第六節の前片は後片の五倍長あり。蜜管は灰黄。腹背の兩側に暗色紋を列ぬ。脚は灰黄、腿節及び脛節の末端は暗色。體長七厘。開張二分二厘内外。これは豆科、茄科、繖科、十字花科、薔薇科、柑橘科等の植物に寄生す。

(a) 雌(龐大)

分布 世界共有。

イネアブラ

*Rhopalosiphum pumilio* Fitch

有翅の雌は暗緑、少しく褐色を帯ぶ。觸角黒色五節より成り、第五節の前片は後片の六倍長あり、第三節に約十七個の感覺孔を装ふ。翅は透明、脈及び縁紋は灰色、第三脈二分す。蜜管は細長。脚灰黄、腿、脛節の末端及び跗節は暗色。

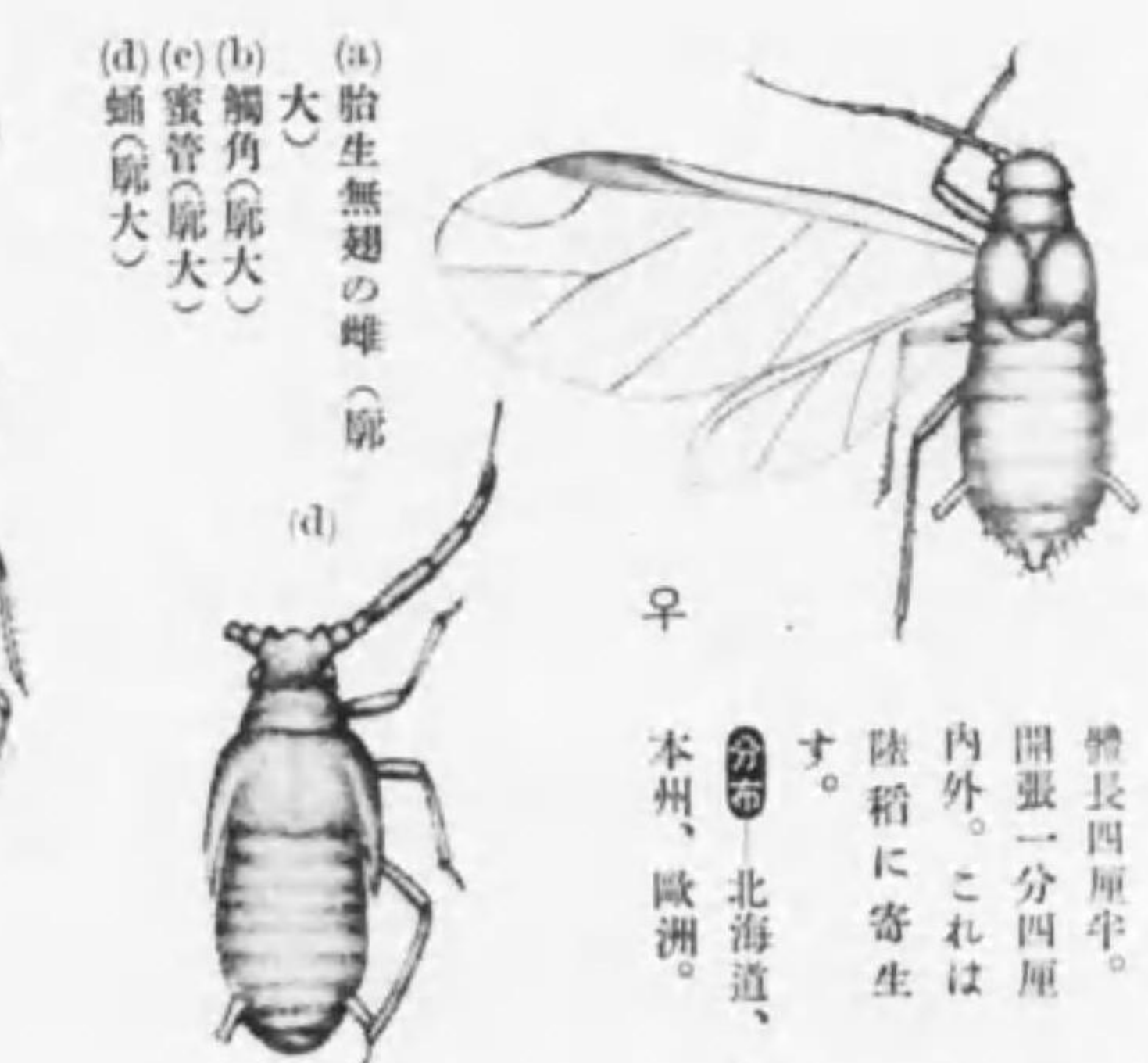
分布 世界共有。

トドミドリオホアブラ

*Psylla abietis* Mats.

有翅の雌は緑色。頭及び胸部は褐色、少しく緑色を帯ぶ。觸角は體の半長、淡褐、第三節は第四、五及び六節を合したるものと約同長、第六節は紡錘狀、感覺孔は大、圓形。翅は透明、脈は黄色。腹部に暗色紋を列ぬ。脚は暗緑、腿節の基部は黄色。

色。體長七厘。開張二分五厘。これはトドマツ



♀

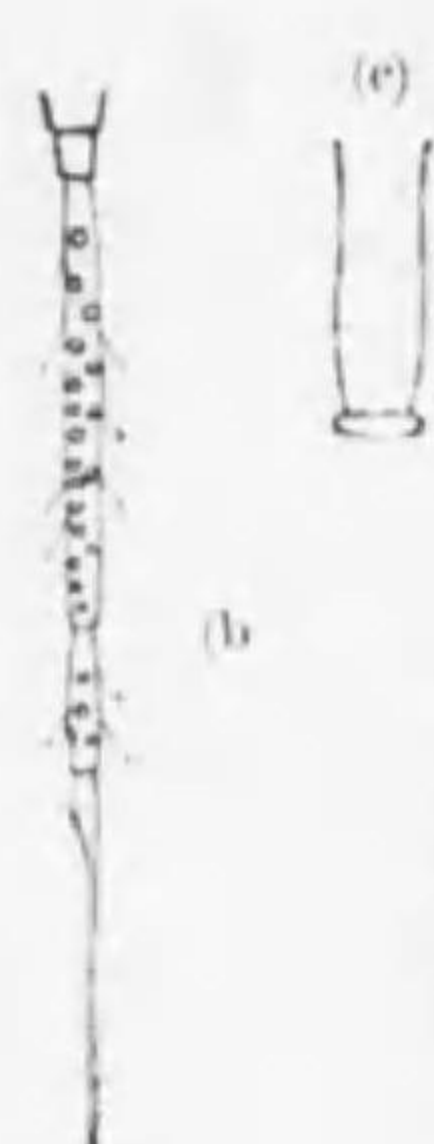
キビクビレアブラ

*Stolonavena* F.

有翅の雌は黄緑若くは暗緑。觸角は黒色、第三節の基部は淡色、第六節の前縁は後縁の二倍半長。頭胸及び中胸片は黒色。翅は透明、脈は暗褐、縁紋は灰色、基部及び前縁は緑色。腹部に黒色の二條縦を具へ、兩側に暗褐紋を装ふ。脚は暗褐、前中肢の腿節及び脛節の中央は淡色。體長八厘。開張二分三厘。これは春は薔薇科植物に、夏は禾本科植物に寄生す。

♀

(a) 胎生無翅の雌(龐大)  
(b) 觸角(龐大)  
(c) 蜜管(龐大)  
(d) 蛹(龐大)





に普通なり。

(a) 蛹(廓大) (b) 觸角(廓大) (c) 蜜管(廓大)

分布 北海道

ナシアブラ

*Toxoptera jiricola* Mats.

(五〇二)

有翅の雌は暗褐、黄褐の短毛多し。觸角黄色、頭胸を合したるものと約同長、第六節は第五節と同長。前翅は透明、縁紋は長く、綠色、脈は黄褐、第三斜脈は二分す。第一腹節に一双の黒紋を具へ、第三節の中央に褐色の一縦條を裝ひ、兩



側に褐色紋あり。蜜管は暗褐。脚は淡黄褐、脛節の末端及び附節は暗褐。體長



八厘。開張二分九厘内外。これは梨に寄生す。

(a) 觸角(廓大)

(b) 蜜管(廓大)

分布 本州

オホケアカブラ

*Trichosiphum kuwanae* Perg.

(五〇三)

有翅の雌は暗褐、同色の長毛多し。第六觸角節の前片は後片の二分の一長。胸瘤は黒色。



腹部に四黒帯ありて各節の兩側に黒紋あり。蜜管は甚だ長く

これに長毛を裝ふ。翅は大、肘脈は褐色、縁紋は黒褐。脚短、暗褐。體長九厘。開張二分三厘。これはカシハ、クマギに寄生す。

分布 本州、四國、九州

カラマツサウアブラ

*Yezosiphum thalictri* Mats.

(五〇四)

有翅の雌は暗緑褐。第三節角節に顆粒多く、第六節の前片は後片の約一倍半長。翅は淡黄、縁紋は淡灰色、後縁は少しく褐色を帶び、脈は黄色。蜜管暗黄、尾突起は



黄色、灰色毛を裝ふ。脚は黄色、脛節及び脛節の末端並に附節は褐色。體長五厘。開張一分八厘。これはカラマツサウに寄生す。

分布 北海道(札幌)

三〇 綿蟲科 Pemphigidae

觸角は體より短かく、三節乃至六節より成り、第六節の前片は短小、初めの二節を除き大形の感覺孔若くは輪環を有す。初めの幼蟲は頭の兩側に各三個の小眼を具へ、蜜管を缺く。前翅の第三脈の二分せるものと、分支せざるものとあり。卵生の雌は翅を缺く。何れも綿様の分泌物を附着す。脚は短かし。一部のものは單食性にして、移動せざるも、他の一部は移動し、中間宿主(中間木)を有す。時に蟲癭を生ずることあり。本邦學名を有するもの約五十種あり。時にその蟲癭の人類に有益なるものあり。

ミヅキワタムシ

*Anoeia corni* F.

(五〇五)

有翅の雌は黒色。觸角は體より短、第三節最長、第六節の前片は後片の四分の一長。前肢は透明、少しく灰色を帶び、縁紋は黒色、脈は黄褐。腹部褐色乃至黒色、基部黄白、これに二黒紋あるを常とす。腿



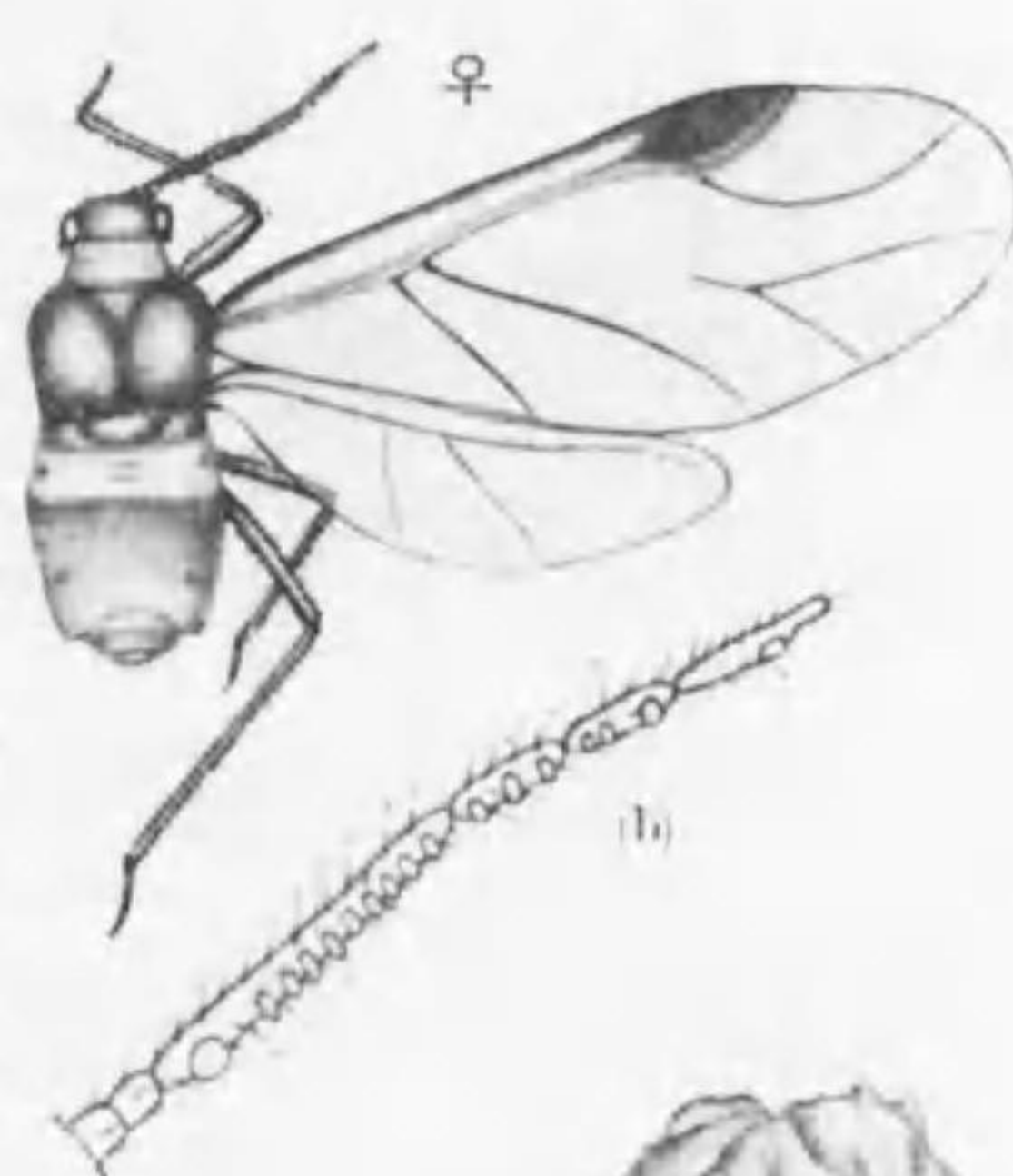
第一〇 有吻目

節の基部暗黄。體長六厘八厘。これは春はミヅキ、夏は禾本科植物に寄生す。

(a) 無翅の雌

(b) 觸角(廓大)

分布 北海道、本州、歐洲、北米。



イスフシ

*Astegeteryx nippona-plus distychi* Perg.

(五〇六)

有翅の雌は黒色。前胸背は灰黄、少しく紫色



を帶ぶ。腹部は紫褐色。觸角の各節に輪環ありて、第三節には最も多し。腹部の兩側に四黒紋あり。翅は暗緑、縁紋は暗色、前縁は黒色。體長五厘。これはイスノキに寄生し、長楕圓形の綠色蟲癭を造る。長さ二寸餘に達す。九州に普通なり。

(a) 觸角(廓大)

(b) 蟲癭(自然大)

分布 本州、四國、九州

エゴノネコアシ

*Astegeteryx nekoushi* Shinkai

(五〇七)

有翅の雌は暗褐、白粉を被る。觸角は短かく、褐色、初めの二節を除き、各節に環狀突起多く、第三節最長。口吻は短、前肢の基部に達す。前翅は透明、脈は黄色、縁紋は少しく綠色を帶ぶ。腹部は紫褐色。脚は褐色。體長六厘。蟲癭は指狀





を呈し、末端は少しく曲る、これを俗に猫足と云ふ、黄緑色、数多相集合し、長さ七八分に達す。

エゴノハナフシ

*Asteopharyx styriaci* Mats.

有翅の雌は暗褐、腹部は黄褐、觸角各節に於ける



(a) 胎生無翅の雌(廓大)  
(b) 觸角(廓大)  
(c) 蟲癭(猫足)

環狀突起の数を異にし、第三節に十九乃至二十一個、第五節に六個あり、第五節の前片は後片の約五分の一長あり。體長六厘。蟲癭は圓の如く不定の脚狀突起を出し、大なるものにおいて直徑三寸餘に達す、黄緑にして、乾燥すれば褐色となる。これはエゴノキに寄生す。

(a) 蟲癭

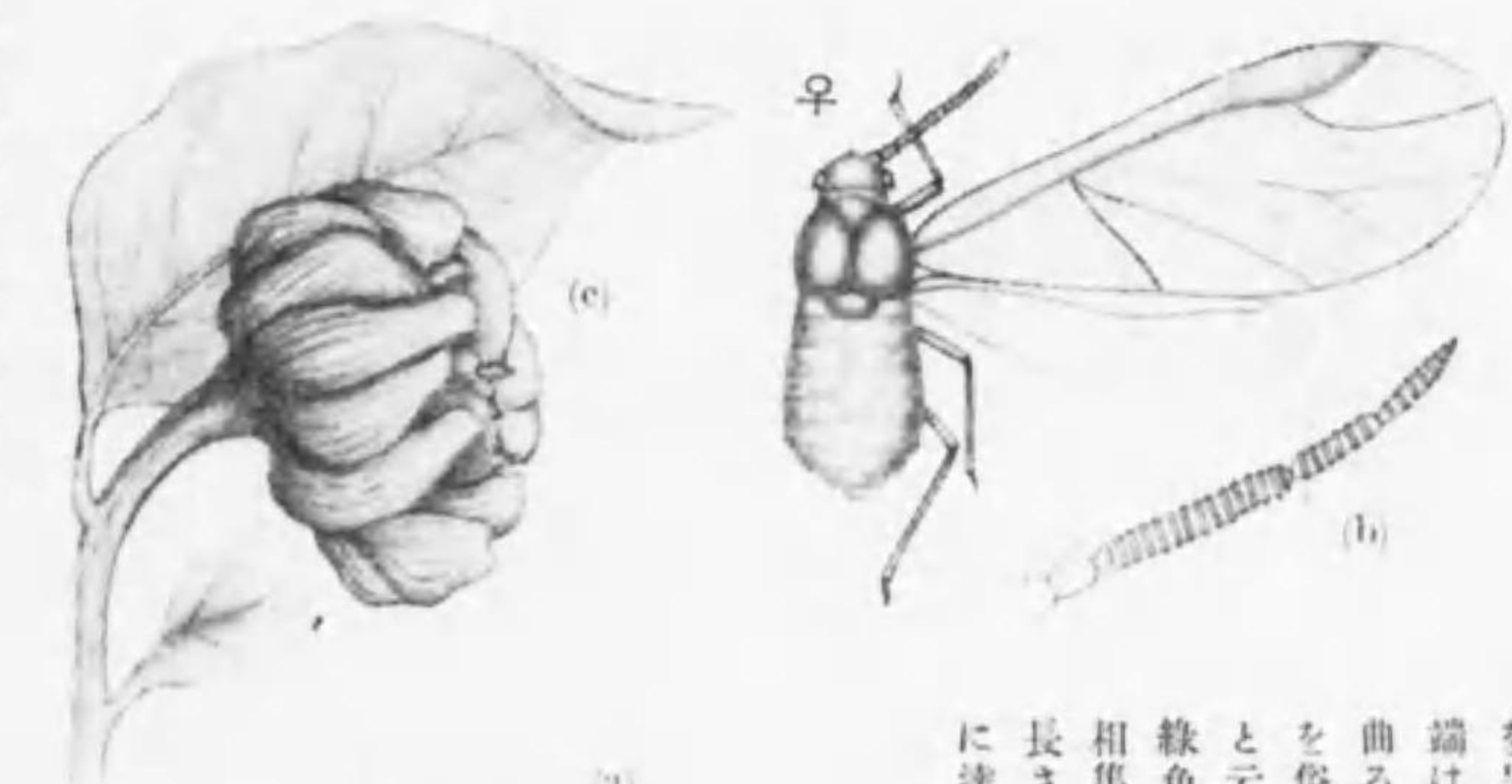
分布 北海道、本州。

カンシヨワタムシ

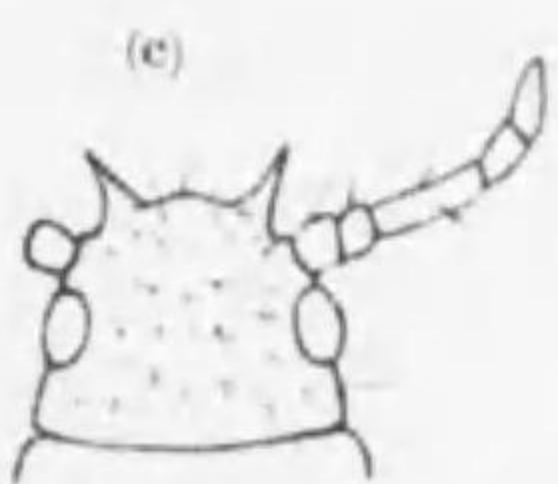
(五〇九)

*Cerataplia zae-charivora* Mats.

有翅の雌は暗褐、前頭に二個の角狀突起を具ふ。觸角の環狀突起は第三節に約二十一個あり



分布 北海道、本州。



脚は淡黄褐、後腿節の末端は少しく褐色を帯ぶ。體長六厘。これは臺灣にありて甘蔗に寄生す。

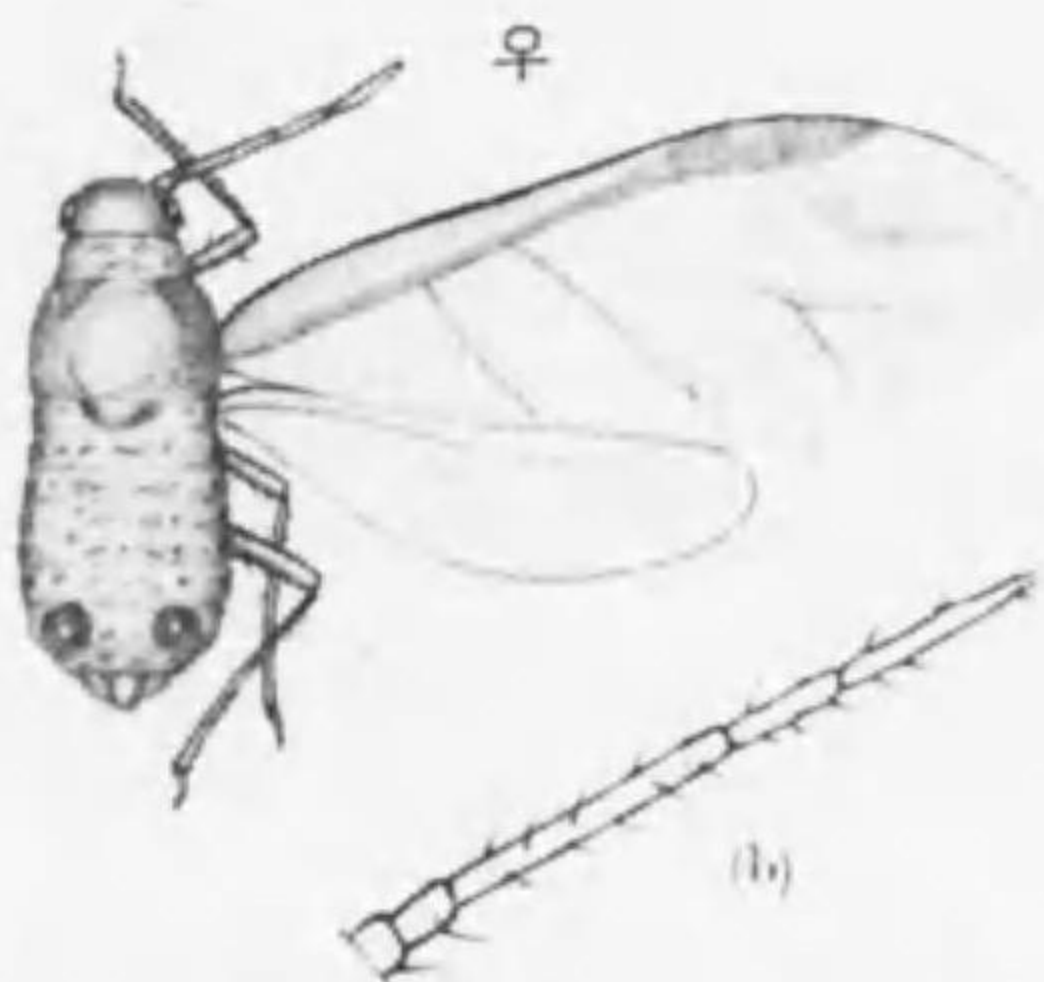
(a) 觸角(廓大)  
(b) 翅(廓大)  
(c) 頭部(廓大)

分布 臺灣。

カバワタムシ

*Glyptina betulae* Kalt.

有翅の雌は綠黄。觸角黄、第三節最長。中後



の兩胸背は暗褐。翅透明、少しく黄色を帯び、脈は暗色。腹部に褐紋を裝ふ。體長六

て、その液汁を吸收し、その枝を枯死せしむ。

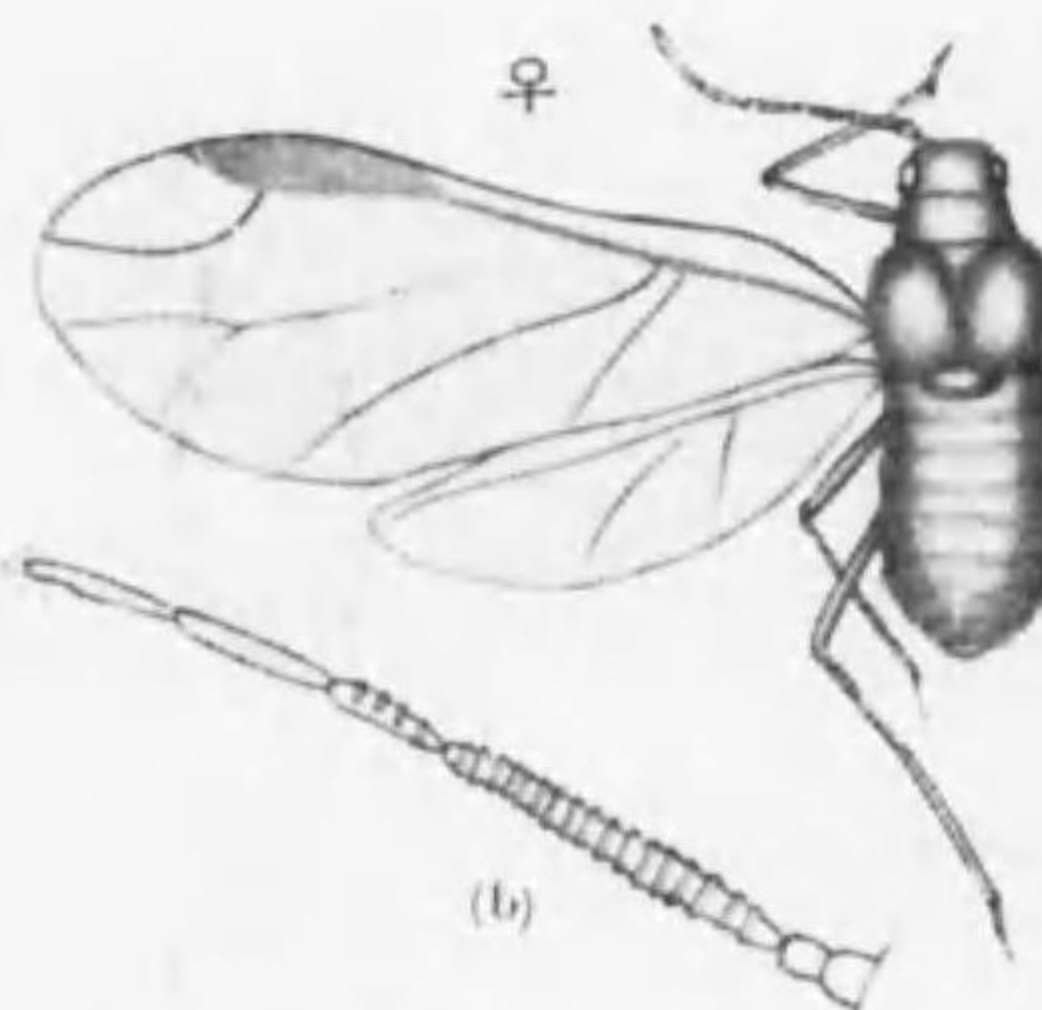
(a) 胎生無翅の雌(廓大)

(b) 觸角(廓大)

分布 北海道、本州、歐洲。

ニレワタムシ

*Eriosoma japonicum* Mats.



有翅の雌は黒色。第三觸角節に十七内外の輪環あり。前胸背は暗褐は透翅



厘。これはカバノキに寄生す。有翅の雌は翅を水平に腹上に疊む。新條に集合し



暗褐、脛節及び腿節の基部は汚黄色。體長六厘。これは樅に寄生し、新葉を捲きその内にありて液汁を吸收す。幼蟲は甚だしく綿毛を被る。

(a) 蛹(廓大) (b) 觸角(廓大)

分布 北海道、本州。

リンゴワタムシ

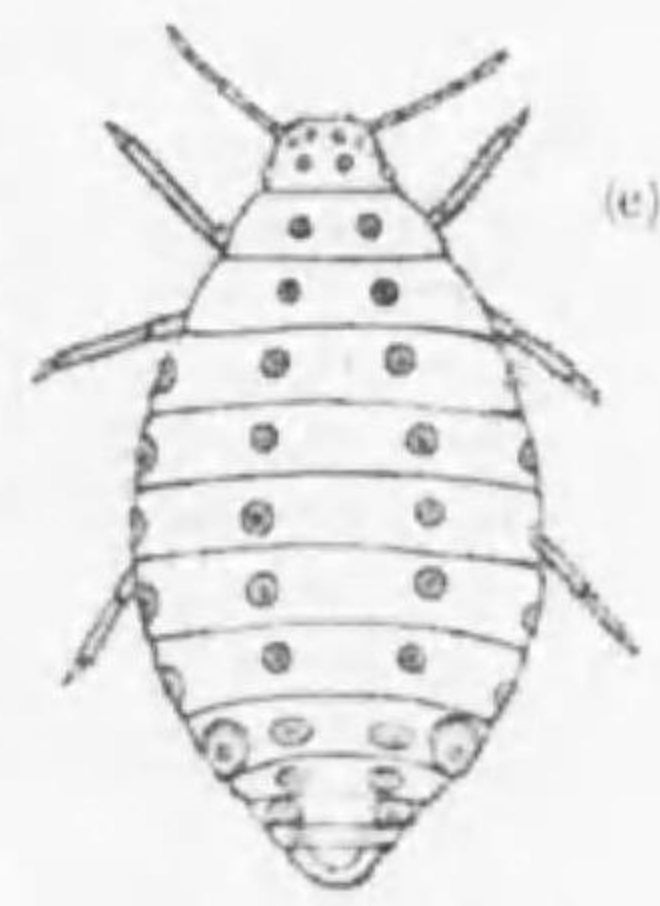
(五二)

*Eriosoma lanigerum* Haus.

有翅の雌は黒色。腹部褐色。觸角に輪環多く、第三節に二十個内外あ





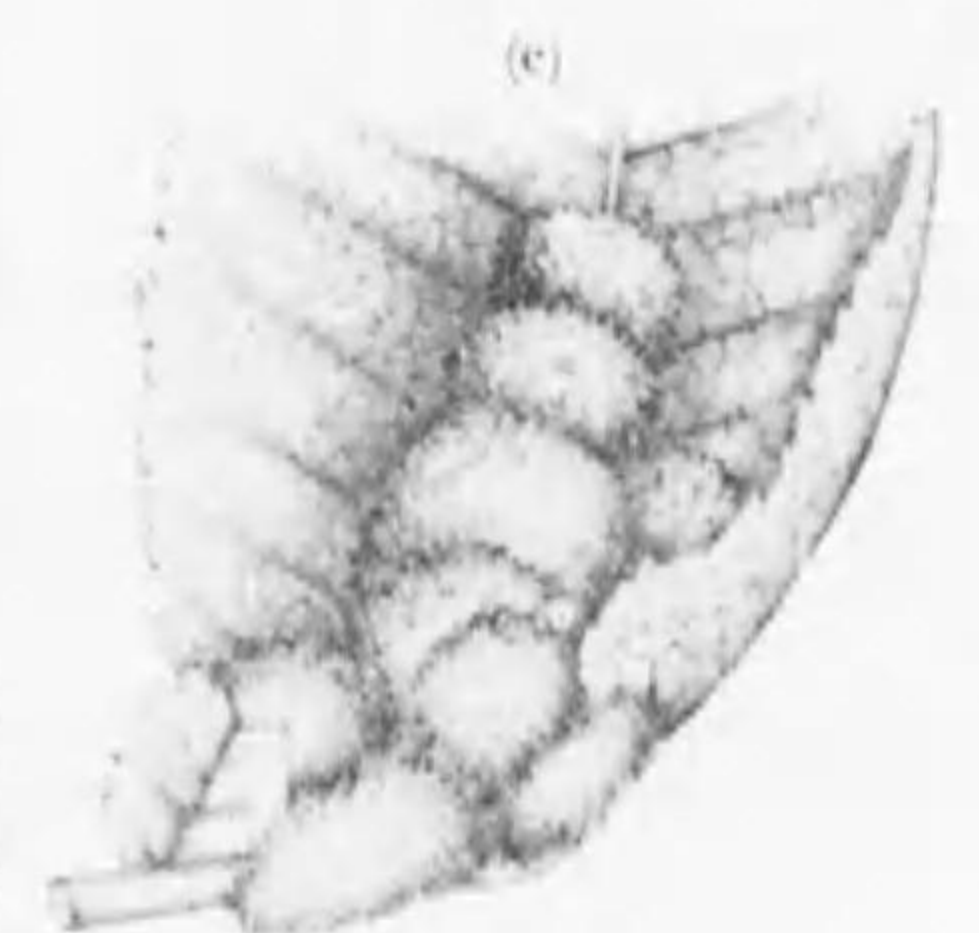


(a) 幼蟲 (縮毛を被る)  
(b) 同頭部  
(c) 草樹に附着せるもの (縮小)  
(d) 縮毛を脱せる幼蟲 (縮小)  
(e) 幼蟲幼時のもの (縮小)

ニレタマフシ

*Golishia japonica* Mats.

有翅の雌はニレイボフシに酷似すれども、その異なる所は、觸角の輪環数は第三節に十二個、第四節に三個、第八節に八個、第六節に七個を有し、前翅の第二斜



るものは徑六分餘あり。これは枝上端に附着し枝枯死するも落下せず。

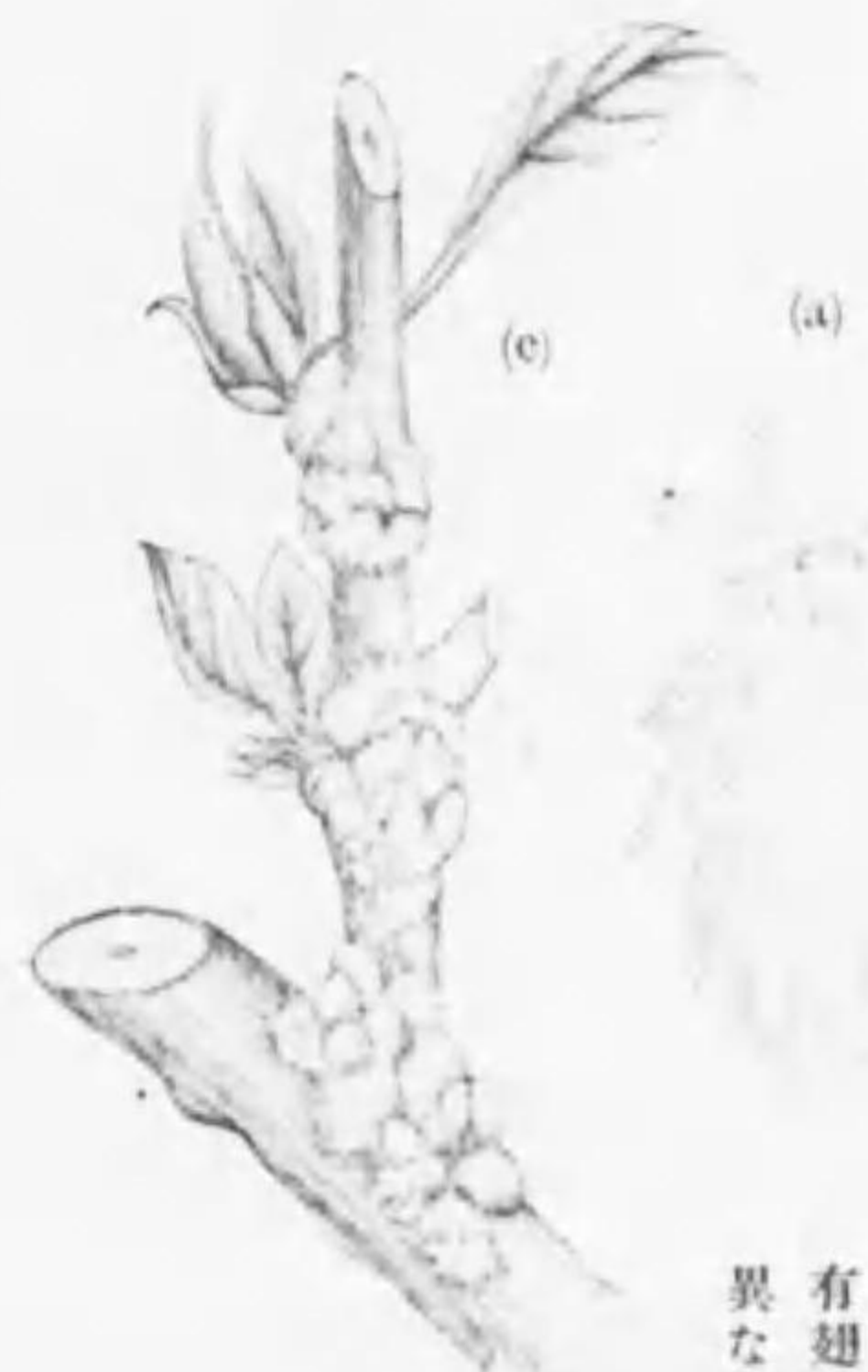
(a) 雌 (縮小)  
(b) 觸角 (縮小)  
(c) 雌 (自然大)

分布 北海道、本州。

ニレイボフシ

*Golishia niregola* Mats.

有翅の雌は黄褐、少しく紫色を帯ぶ。觸角に六



分布 北海道、本州。

有翅の雌は黄褐、少しく紫色を帯ぶ。觸角に六

り。脚は褐色、基部及び腿脛節の末端は暗色。體長五六厘。これは有名なる草樹の縮毛なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。



マンサクイガフシ

*Hornaphis (Mansukia) niyabei* Mats.

(a) 觸角 (縮小)  
(b) 雌 (縮小)



有翅の雌は暗褐。觸角の第三節に約二十個、第四節に十五個、第五節に十四個の輪環あり。

翅は少しく黄色を帯び、縁紋、脈及び脚は淡褐。體長五厘。雌は



節ありて、第三節最長翅は透明、縁紋及び脈は灰黄。體長三厘。これはニレに長柄を有する球形の蟲癭を造り、全面に小顆粒を密布し、白毛を密生す、大なるものは三分内外あり、初めは緑色後、紅色となる。札幌地方に普通なり。

第一〇 有 吻 目



(a) 雌 (縮小)

(b) 觸角 (縮小)

分布 北海道、本州。

マツワタムシ

*Mindarus abietinus* Koch

(五三)



有翅の雌は綠色。頭、觸角及び胸背は褐色前翅透明、脈及び縁紋は暗褐。蜜管は小さく判然せず。脈は暗褐。腿節の基部は黄色、褐色の長毛多し。體長七厘。これはトドマツの害蟲にして、松の枝はこれが爲に枯死す。

一二九三





(a) 蛹 (廓大)  
(b) 觸角 (廓大)  
分布 北海道、本州、歐洲。

脚は暗色。全體に白粉を被ふ。體長四厘。これは秋季空中に飛翔する普通種なれども、その食草は判然せず。

(a) 觸角 (廓大)  
分布 北海道、本州。

ヌルテイホフシ  
*Nurulea ibofushi* Mats. (五二八)

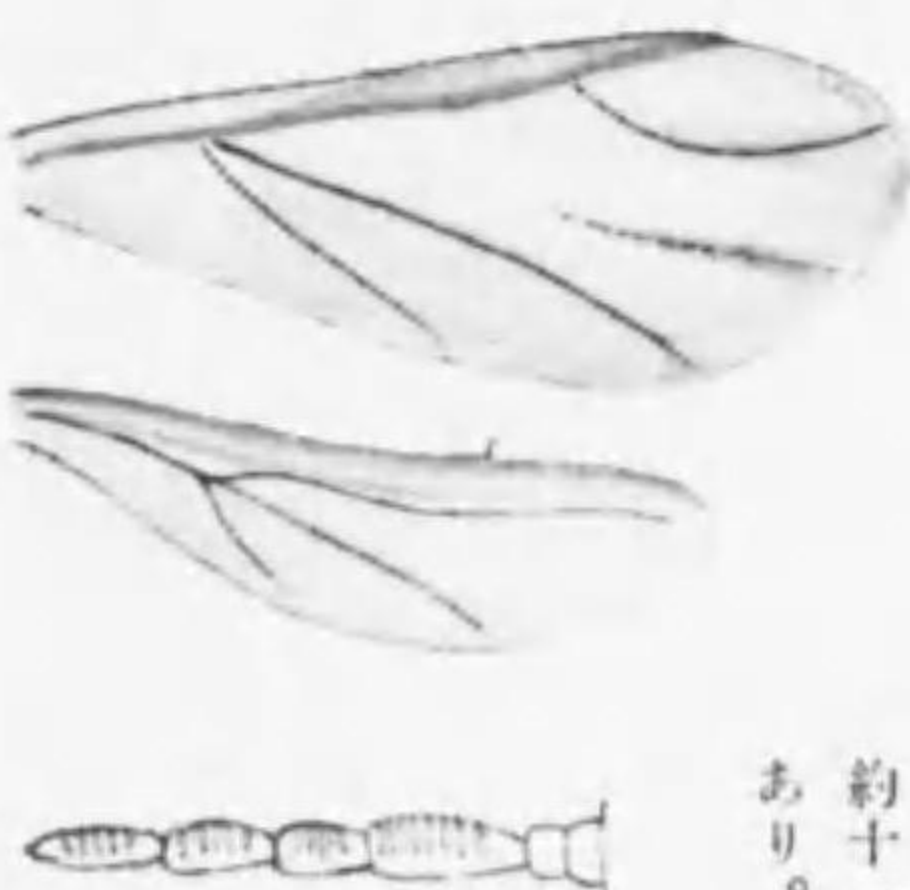
有翅の雌は暗褐。腹部は黄褐。少しく緑色を帯ぶ。觸角黄色、第三節に六個の不完輪を具へ、第四及び第五節に各一個大なる感覺孔を有す。翅は透明、縁紋は灰色、脚は黄色。體長三厘。これはヌルデに寄生し、淡黄褐の蟲癭を造る。これは静岡に産す。

(a) 觸角 (廓大)  
分布 本州 (静岡)。(b) 蟲癭 (自然大)

ヌルデヘニフシ  
*Nuruleopsis rosae* Mats. (五二九)



有翅の雌は紫褐色、腹部は灰緑。觸角第三乃至第五節は約同長、輪環なし。前翅は透明、少しく黄緑を帯び、縁



有翅の雌は暗褐。腹部緑色。觸角暗色、第三節に約十一個の半輪環あり。頭頂に卵形の二白紋を被ふ。翅は透明、淡灰色、脈及び縁紋は灰色。

ムシ  
*Nishiyana anomorionensis* Mats. (五二七)



紋は灰色。後翅に二脈あれども短かし。脚は灰黄。體長五厘。前翅長六厘。これはヌルデに寄生し、紅色の枝狀蟲癭を造る。

ヌルデハナフシ  
*Nuruleopsis shiraii* Mats. (五二〇)



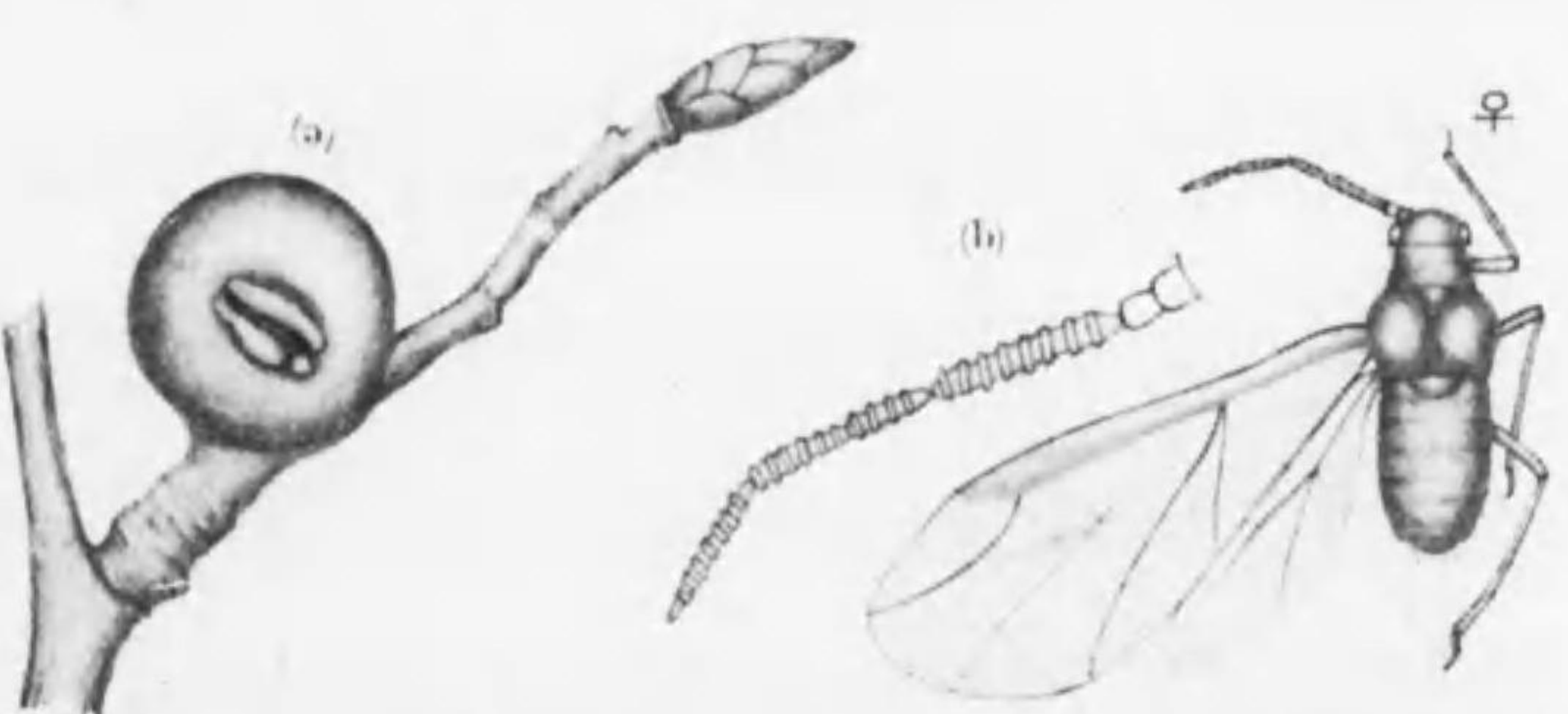
有翅の雌は暗褐。腹部は淡黄褐。觸角の第三、四の兩節に三個、第五節に四個の不定輪環あり。翅は透明、縁紋は劍狀にして、暗褐、脈は淡黄褐。脚は淡色。體長三厘。これはミルの如き細長、黄緑の蟲癭を造り、これには赤色の縦條を被ふ。

(a) 觸角 (廓大)  
分布 本州、四國、九州。(b) 蟲癭 (自然大)

ドロタマフシ  
*Pemphigus dorocela* Mats. (五三一)



有翅の雌は暗褐。腹部黄褐、少しく緑色を帯ぶ。觸角環の割合は13、5、6、7なり。前胸は黄色。翅は透明、脈及び縁紋は



暗色。尾突起は暗色。脚は黄褐、少しく緑色を帯ぶ。體長六厘。これは白楊に寄生し、球形の蟲癭を生ず。



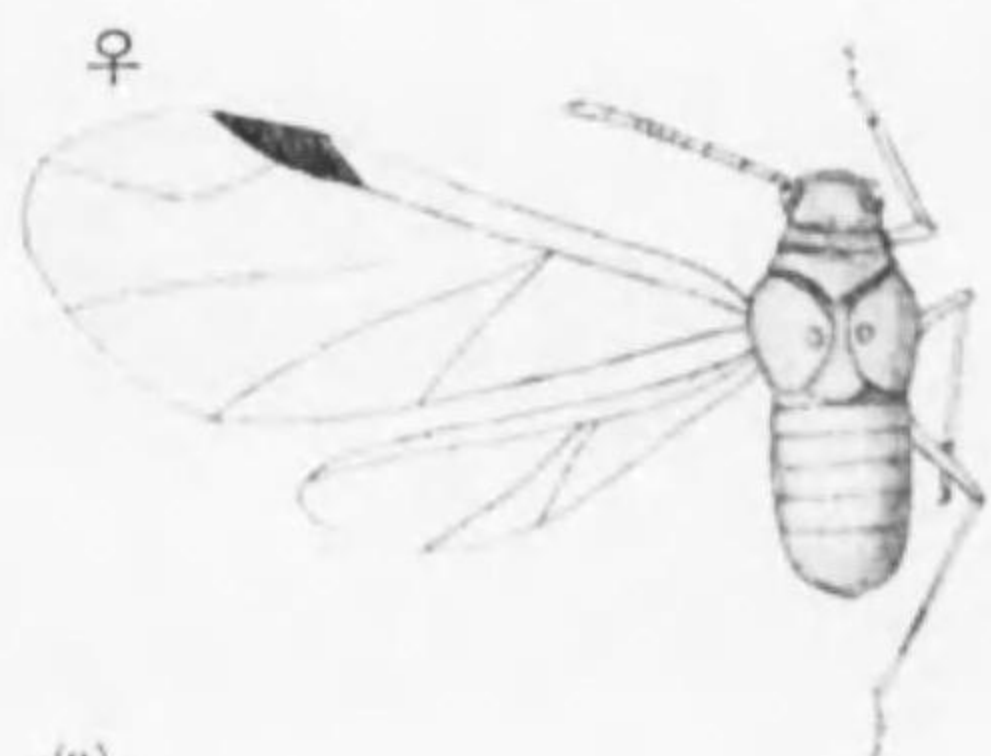
分布 北海道、本州。

ドロハフシ.....(五三)

*Pemphigus nishimae* Mats.



有翅の雌は黒色、腹部黄緑。觸角黒色、初めの二節短大、第三節最長、第三、四節に半環を具へ、第五、六節に楕圓形の各一個の感覺孔あり。體長七厘。無翅の雌は綠色、白色の線狀毛を密生す。頭は淡褐。觸角暗褐第三節最長、第六節の前片は後片の三分の一長にして細し。眼は暗色。氣門は黒色。脚は暗色。體長八厘内外。これは白楊の



葉に寄生し、これを縦に捲く、これに疣狀の突起多し  
(a) 觸角 (廓大)  
(b) 白楊

分布 北海道、本州。

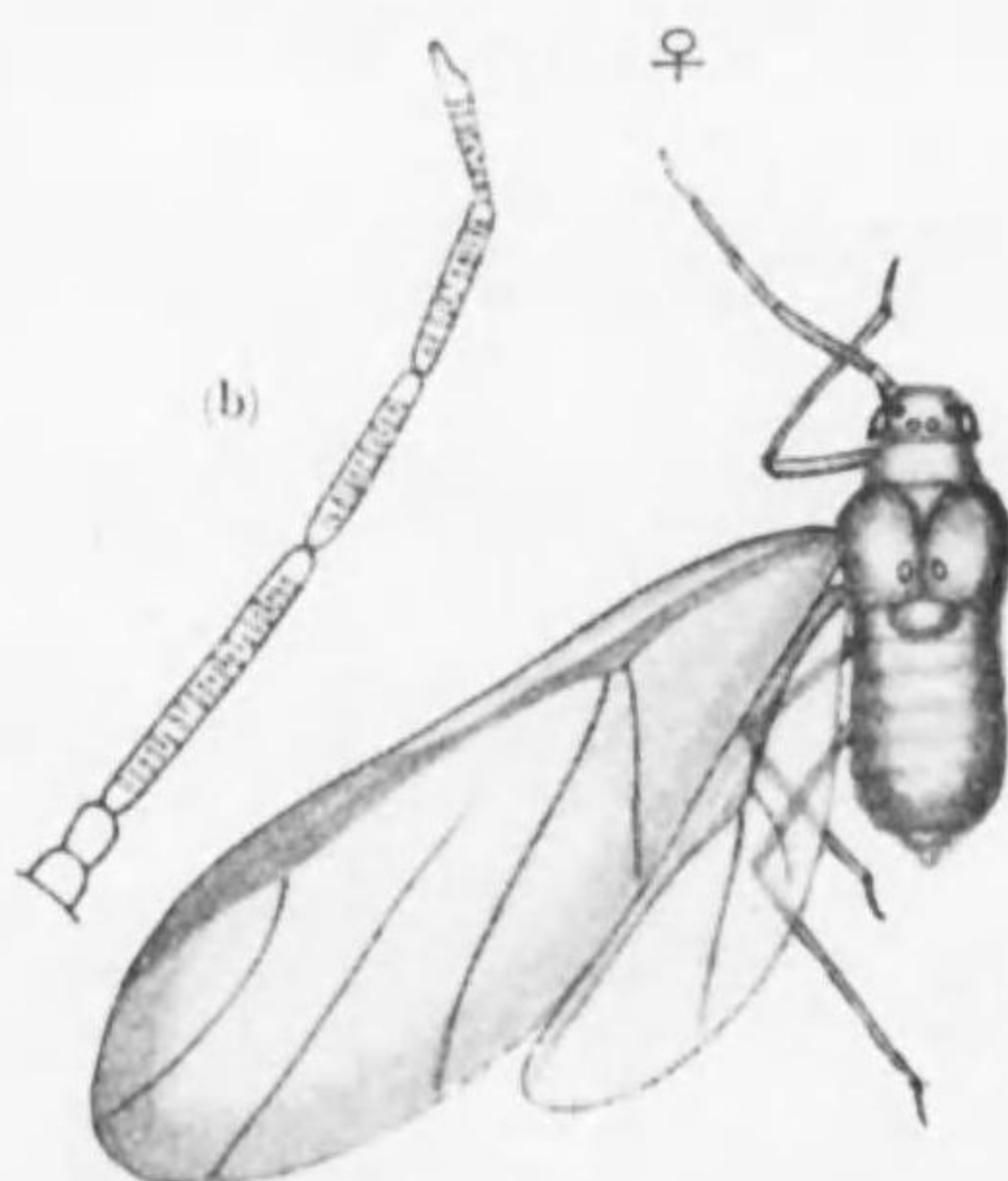
オホワタムシ.....(五三)

*Proclitus buneliae* Schr.



有翅の雌は黒色。腹部黄褐、輪環は不完全にして、下方のみ半環をなす。頭及び中胸背の中央に黄白楕圓形の各二紋あり。腹部の末端に多量の綿狀分泌物を裝ふ。體長五厘

これはリンゴ、マルメロトネリコ、ウルシ、ハシドイ等に寄生す。



(a) 胎生無翅の雌 (廓大)

(b) 觸角 (廓大)

分布 北海道、本州、四國、九州、歐洲。

ヌルデオホイボフシ.....(五三)  
*Schlechtendalia*

欠



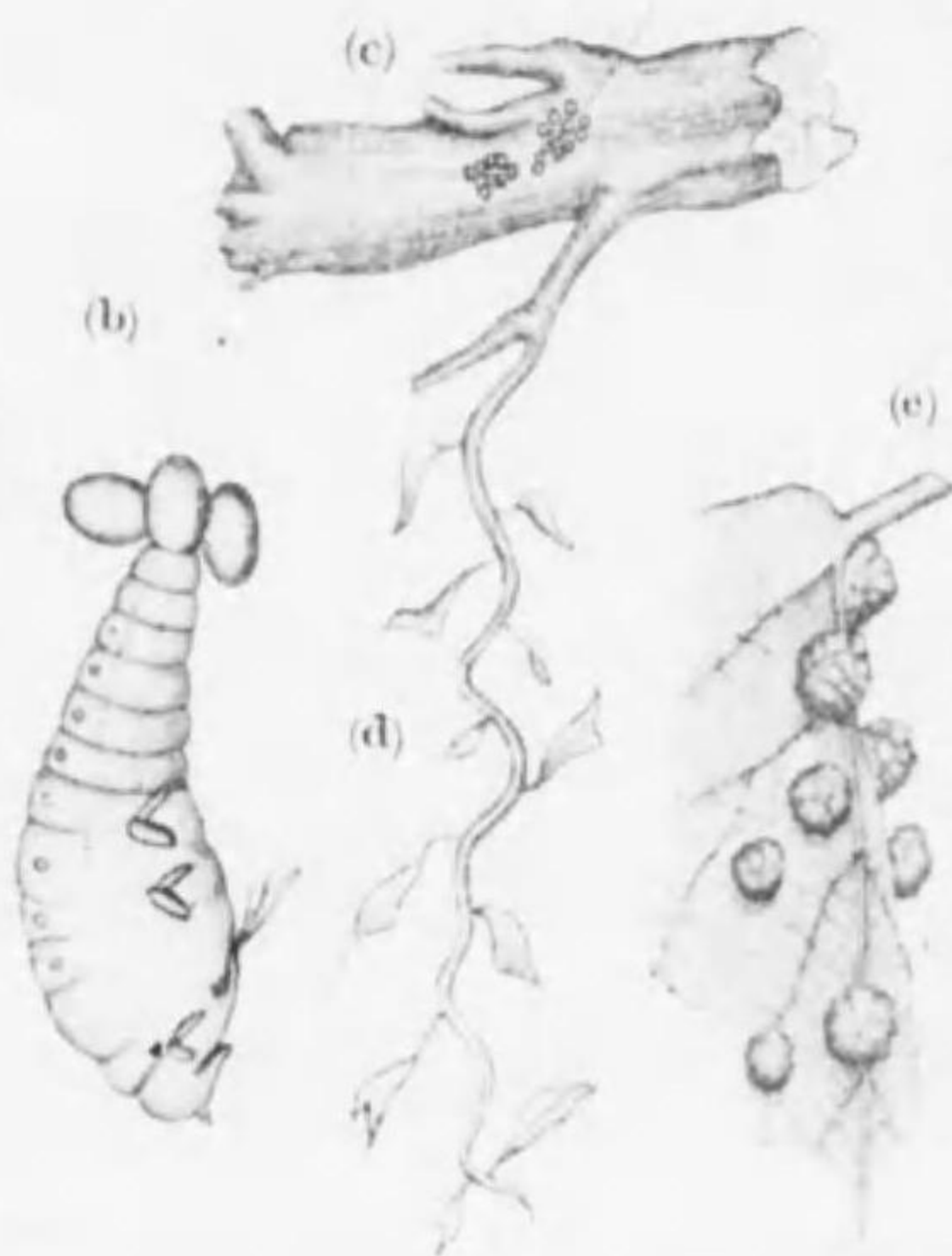
# 欠

## 三 瘤蚜科 Phylloxeridae

穂蟲科に似れども、その異なる所は、觸角は常に一個の感覺孔を具ふ。前翅の初めの二脈は同點より起り、静止の時は水平に重疊す。有性の雌は製舌を缺き、肛門閉塞し、何れも潤葉樹に寄生す。本邦學名を有するもの左の一種あり。

ブドウコブアブラ(ヒロヒセラ)……(五三九)  
*Phylloxera vastatrix* Planch.

有翅の雌は黄赤、少しく暗色を帯ぶ。觸角は五節、第三節に環狀突起を具ふ、第五節の中央は



第一〇 有吻目



四角し、これに大なる感覺孔あり。翅は透明、體の約二倍長あり。體長三厘。

地中にある無翅の雌は黄色若しくは褐色、少しく綠色を帯ぶるものあり。これは葡萄の害蟲にして、葉上にありては緑赤若しくは黄色の蟲癭を生ず。地中にありては甘藷様の蟲癭を造る。

(a) 幼蟲(廓大) (b) 無翅雌の産卵せるもの(廓大) (c) 卵 (d) 根部の蟲癭(自然大) (e) 葉上の蟲癭(自然大)

分布 世界共有。

## 三 毬蚜科 Chermesidae

雌は總て卵生にして、胎生兒を産することなし。觸角は短、五節より成り、二様の感覺孔を有す。前翅の第三脈分支することなく、初めの二脈は基部にて分離し、静止の時翅を屋斜狀に置く。蜜管及び尾突起を缺き、有性の雌は無翅肛門を有す。何れも針葉樹に寄生す。本邦學名を有するもの左の一種あり。

トウヒカサアブラ(トウヒアナナス)……(五三〇)  
*Chermes japonicus* Monz.



有翅の雌は暗褐、少しく綠色を帯ぶ。腹部は黄褐。前翅は透明、肘脈及び縁紋は綠色。脚は綠黄。體長一分。こはトウヒ、エゾマツに寄生す。この蟲癭は毬果狀を呈し、又鳳梨に

似たり、故にアナナスの名あり、卵形に近し。有翅の雌は八月下旬乃至九月上旬に現はる。





(a) 幼蝨(廓大) (b) 成蝨(自然大)  
分布 北海道、本州。

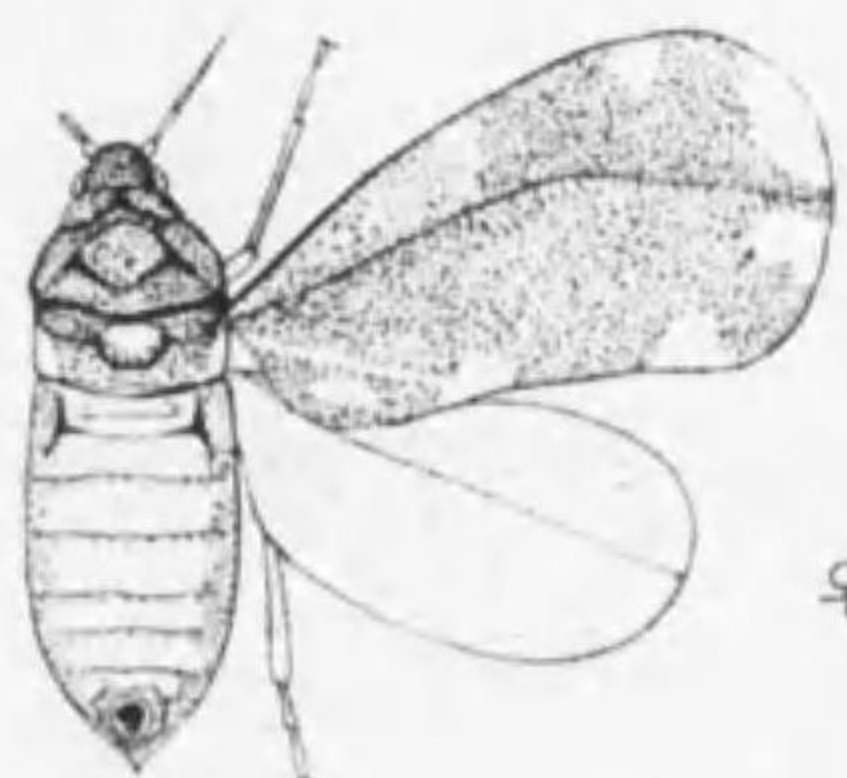
### 三三 粉蝨科 Aleurodidae

觸角は六節。二双の翅は不透明にして、白く、翅脈は細胞をなす。體には白粉を装ふ。幼蝨は介殼様の分泌物を以て蓋はれ、介殼蝨同様の経過をなす。これは介殼蝨同様に葉上にありて、その液汁を吸収し、大害を加ふることあり。その数餘り多からず。

#### ミカントゲコナジラミ (五二)

*Neurocanthus spiniferus* Quain.

雌、橙黄色、白粉を散在す。胸部に紫色紋あり。前翅灰褐、七個の灰白紋を具ふ、翅端にあるもの最も大。後翅に斑紋を缺き、灰紫色。體長四厘内外。雄は雌と同色なれども小形、抱握器及び生殖板は紫褐色を帯ぶ。體長三厘内外。これはカキ、ナシ、バラ、ブドウ、アケビ等に寄生す。



分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

#### ミカンコナジラミ (五三)

*Aleurodes citri* Riley et Howard.

雌、體は黄色。跗節及び脛節の一部は橙黄色。翅は透明、前縁に鋸状の小突起あり。體長五厘。雄は小形にして、尾端に大なる抱握器を具へ、四五個の棒状突起を装ふ。蛹殼は卵形、淡綠黄。胸部及び腹部の突起は緑色。長さ五厘。これはカンキツ、ツタ、イボタ、コーヒ等に寄生す。



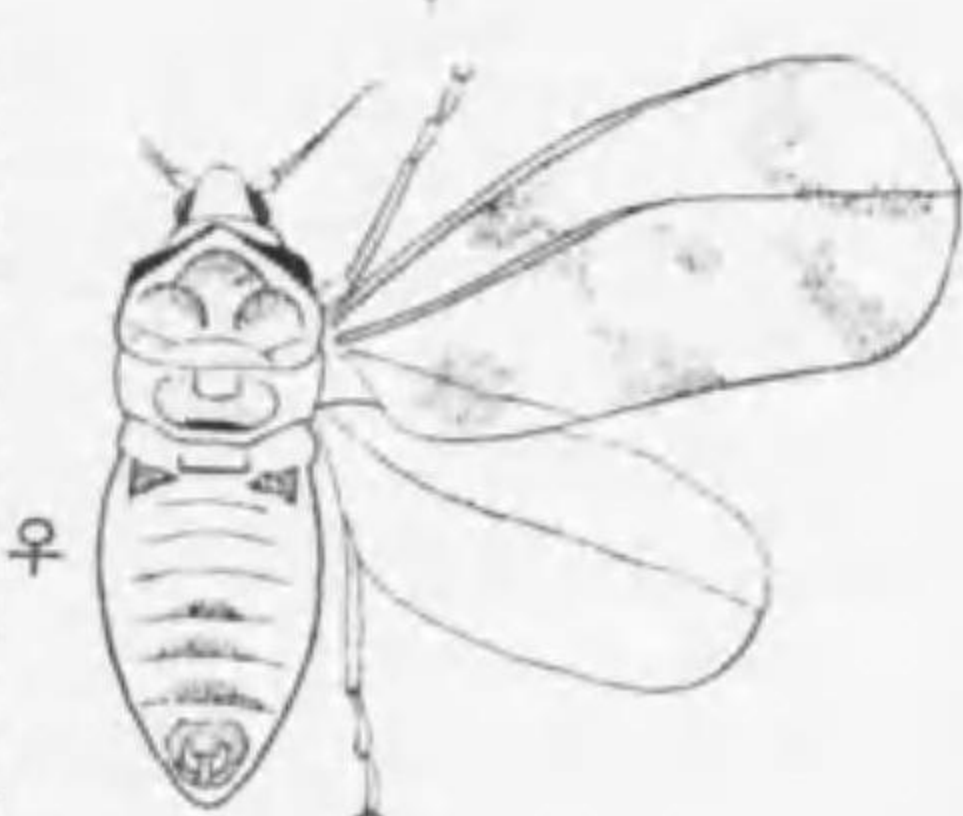
(a) 成蝨の蛹より羽化せんとするもの  
(b) 幼蝨の柑橘葉に寄生するもの

分布 本州、四國、九州、支那、北米。

#### マラットコナジラシ (五三)

*Aleurolobus marlatti* Quain.

雌は橙黄色、暗褐色を装ふ。觸角淡黄、第一、二の基部褐色。前翅白色、暗赤色の五六紋を具へ、後翅には斑紋を缺く。第一、二、五、六及び七腹節に褐色帯あり。觸角の末端に一本の長毛を具ふ。體長四厘内外。雄は小形にして、第七觸角節は細長なり。體長四厘内外。これはムクノキ、ユズリハ、クハ等に寄生す。



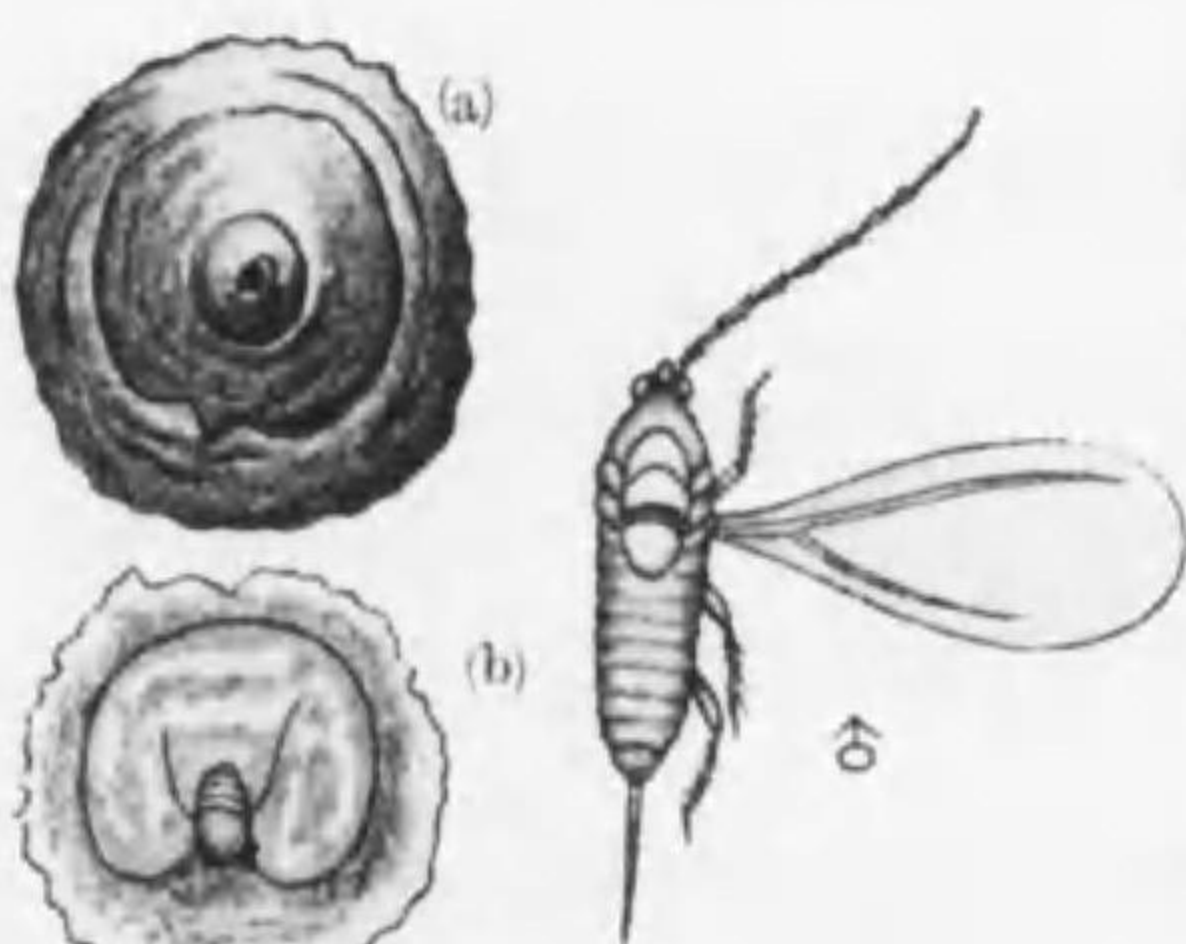
分布 本州、九州、沖縄、臺灣。

### 三四 介殼蝨科 Coccidae

觸角は連鎖状をなす。雄は一雙の翅を具へ、後翅を缺く。雌は翅を缺き、普通介殼様の分泌物によりて蓋はる。枝葉若くは果實に附着し、その液汁を吸収し、大害を加ふ。多くは微小の種類にして、樹の皮膚に似たるを以て、注意せざれば、發見し難し。樹木はこれが爲めに往々枯死す。本邦學名を有するもの百數十種あり。

#### アカマルカヒガラ (ムシ) (五四)

*Aspidiotus auranti Mael.*



介殼は雌にては淡き灰黄、半透明、殼點は橙黄色、中央に位す長さ七厘、雄は淡き赤褐にして、殼縁は少々淡色、

殼點は一方に偏し、錠目状をなす。長さ二厘三厘。雌體は橙黄色、胸腹節の兩側は延長、垂下して臂板を圍繞す。雄にありては同じく橙黄色、眼は暗紫色、頭大、觸角十節、腹部短大。體長三厘。開張六厘。これはカンキツ、リンゴ、ナシ、バラ、ブドウ、ヤナギ、イチジク、カンラン、ヤシ等に寄生す。

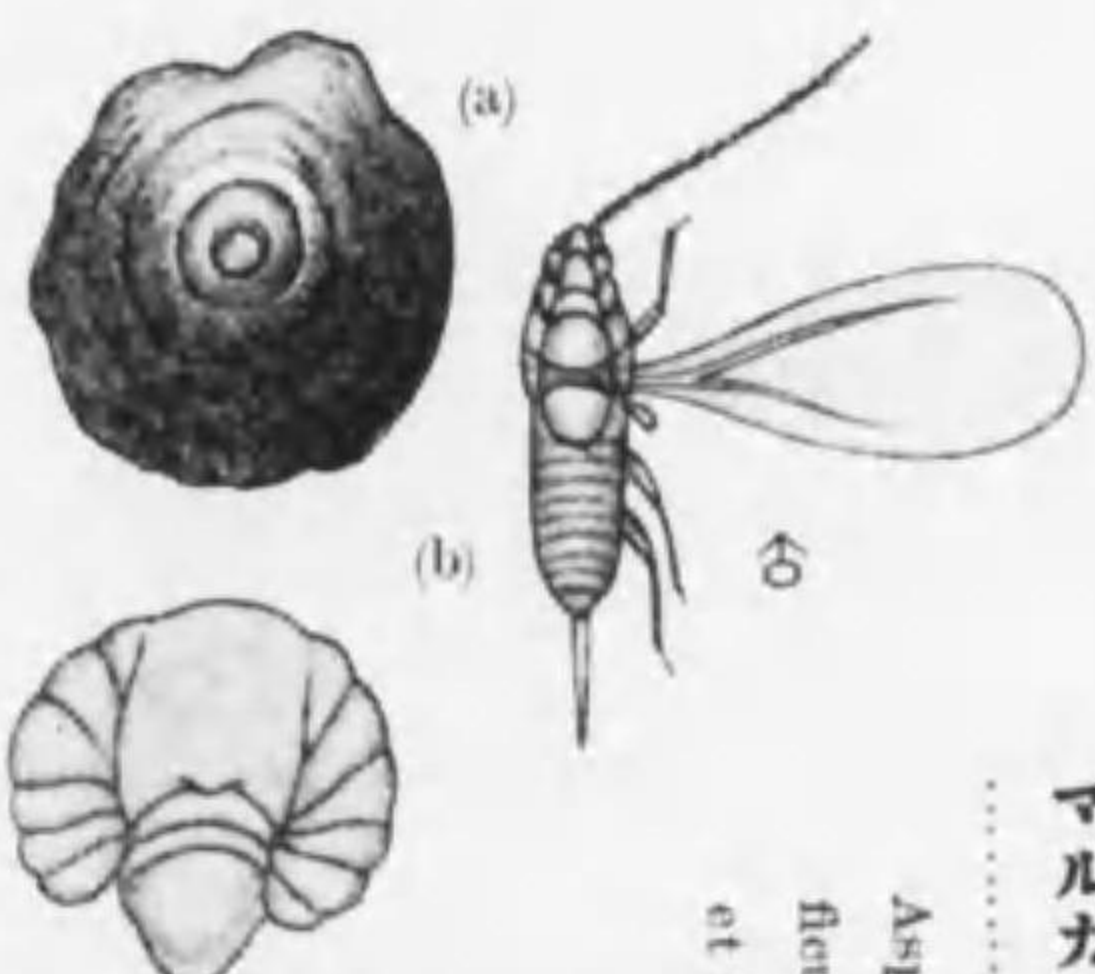
アカマルカヒガラ(ムシ)の雄×10  
(a) 同介殼×10 (b) 同裏面の雌體×10

分布 世界共有。

#### マルカヒガラ (五五)

*Aspidiotus ficus* Asch.

et Riley



介殼圓形、黄褐色、周縁は灰色、殼點は暗黄、徑(雌)七



厘内外、(雄)二厘。雌は暗赤、短楕圓。雄灰色。體長(雌)四厘、(雄)三厘。開張六厘。これはイチジク、ミカンの果實、葉枝に寄生す。

マルカヒガラの雄×50

(a) 介殼×50

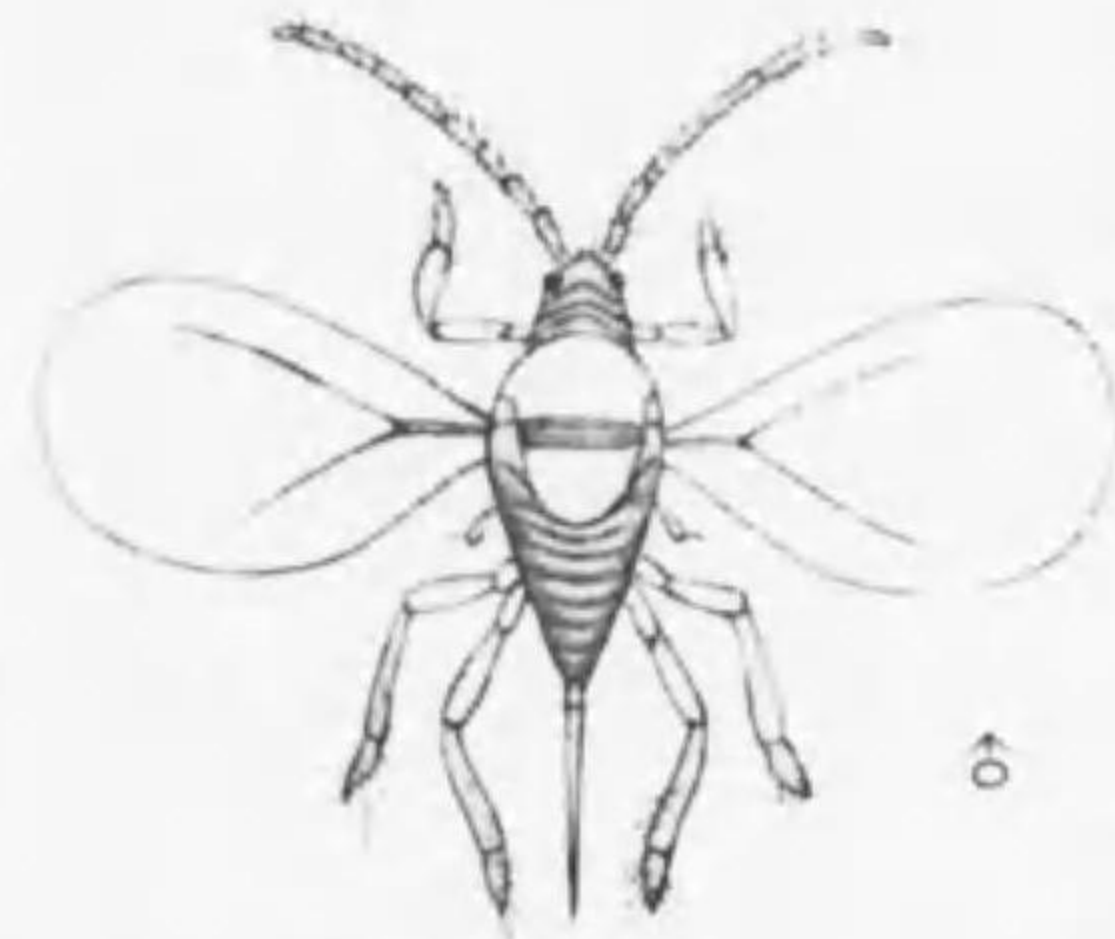
(b) 雌體×50

分布—世界共有。

ナシマルカヒガラ……………(五六)

*Aspidiotus perniciosus* Comst.

介殼は牡蠣介狀、灰色、少しく藍色を帯び、多



くは暗色の微菌を以て蔽はる、長さ六厘半、雄にては楕圓形、長さ三厘半。體は短圓形、淡黄、尾節黄色。雄は黄色



體長(雄)一厘二毛。開張三厘内外、(雌)四厘。これはナシ、リンゴ、アング、スモモ等に寄生す。

(a) 幼蟲×50 (b) 雌の介殼×50

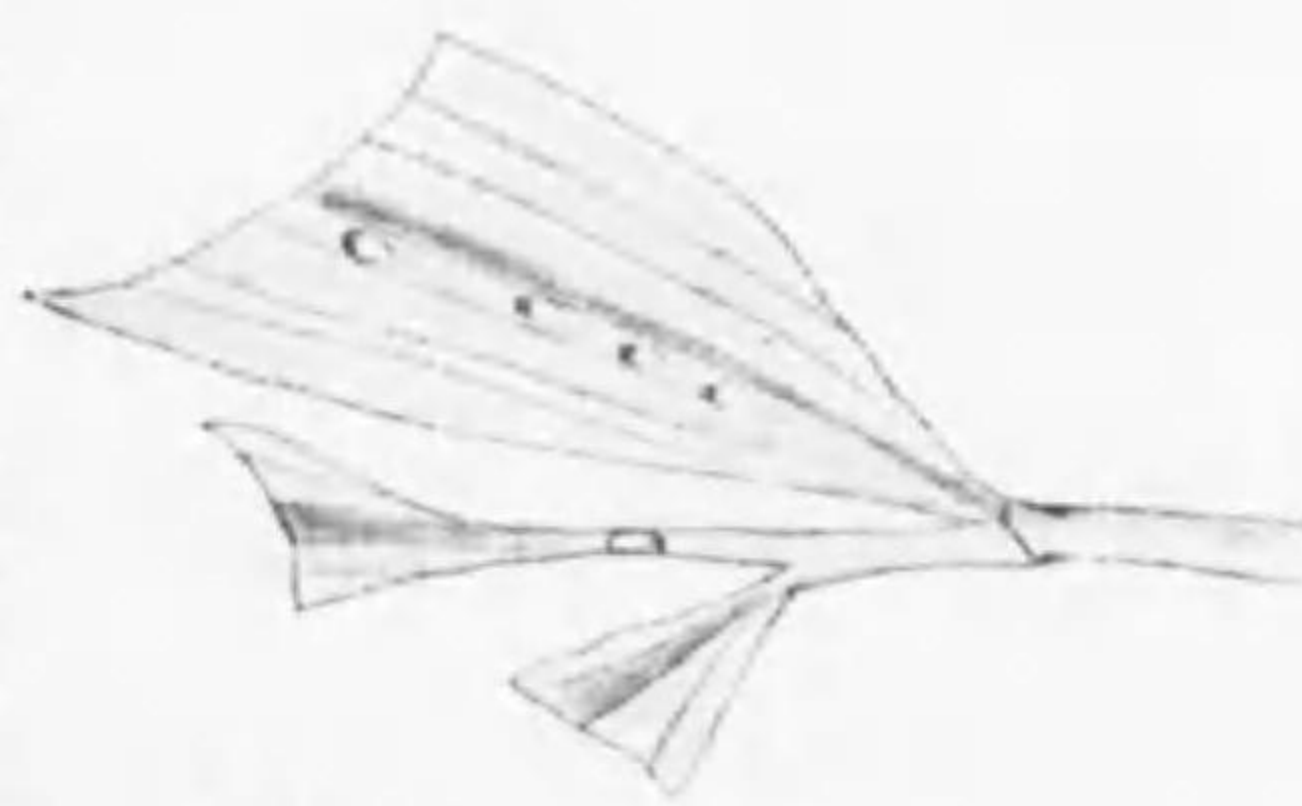
(c) 梨果上の介殼蟲(自然大)

分布—世界共有。

タケフサカヒガラ……………(五七)

*Asterolecanium bambusae* Hosh.

雌の介殼は楕圓形、背部隆起し、末端稍々凹陥す。表面はガラス様の半透明、初めは黄色、前半は少しく紅色を帯び、後半は淡色、周縁は淡



緑若くは黄色、周縁の鱗毛は紅色、一列より成る。長さ六厘一分内外。體は淡緑、赤褐紋を具へ、觸角は退化し、肛門輪に六剛毛あり。これは竹に寄生す。

タケフサカヒガラの竹葉上に附着せるもの(自然大)

(a) 卵袋

分布—臺灣、南米、阿弗利加、印度、布哇。

ツノラフムシ……………(五八)

*Coroplastes ceriferus* Anl.

(a) カメノコラフムシの枝に附着せるもの(自然大)

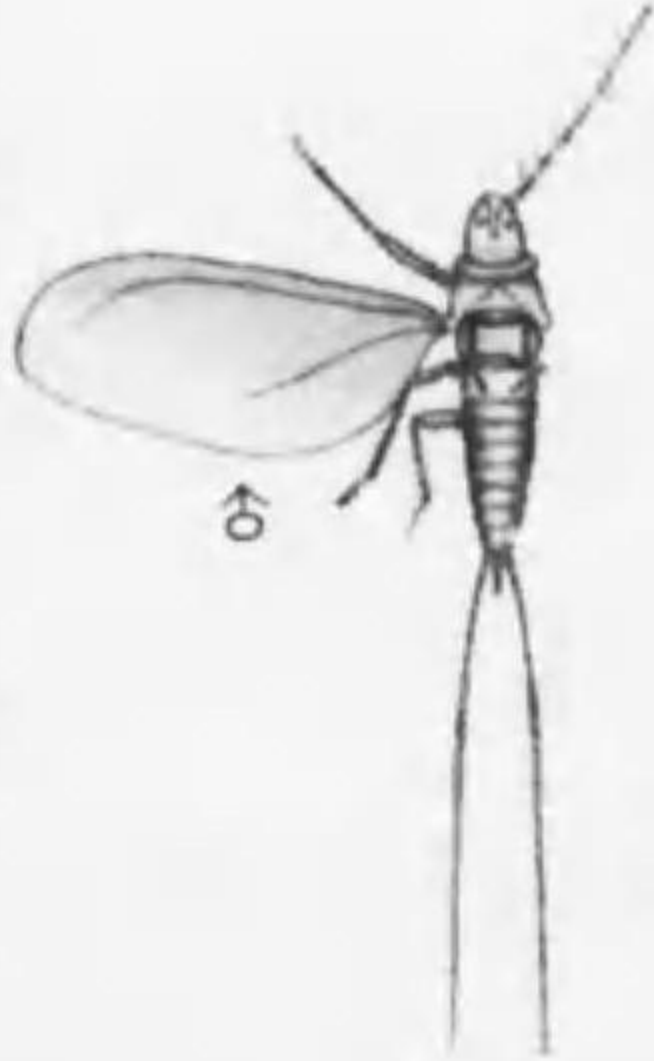
(b) 同(廓大)

分布—世界共有。

イボタラフムシ……………(五九)

*Ericerus pela* West.

雌は半球狀、背面に淺き縱溝を具へ、尾端に深き隘れあり、體色は褐色、體長三四分。雄は暗色少く綠色を帯び、觸角は十節より成り、淡褐、翅は透明、脈は褐色、尾端に二本の長白毛あり



111011



雌、體を包める蠟質物白色少しく紅色を帯び、その周圍に棒狀の八突起を具へ、その背上に角狀突起あり、これは後方に彎曲す、大なるものは長さ二分あり、體黄褐、頭は暗灰色、體長二分五厘内外。雄は赤褐、觸角長く、多數の長毛を裝ひ、翅は黄色を帯び、脈に沿ひ紫色を現はす、體長四厘、開張七厘内外。これはチャ、クハ、カンキツ、ツバキ、ナシ、リンゴ、ハゼ等に寄生す。

ツノラフムシの雄×50

(a) 同茶の枝上に附着せるもの(自然大)

第一〇 有 吻 目



體長五厘、開張二分。これはイボタに寄生する有名の水蠟蟲なり。雄は白蠟の内にありて、羽化せるものは白蠟に小孔を穿ちて出づ。イボタ、トネリコ、ネズミモチに寄生す。  
イボタラフムシの雄×10

(a) 雌の介殻(自然大)

(b) 雄の分泌せる白蠟(短縮せるもの)

分布—本州、四國、九州、支那。

サルスベリフクロカヒガラ……………(五四二)

*Eriococcus ligustris* Kuw.

雌體を包む蠟質の袋は白色、稍々卵形、兩端少く細し、長さ一分。體は暗紫色にして、長楕圓、背面に短かき刺毛を簇生す、觸角は七節より成り、  
第三節最長、腹裂は深く、その末端に各一本の長毛を有す、體長一分五厘。雄は紫赤色、尾端に長き白毛を有す、觸角は九節より成る、翅大、尾狀突起の半以上に達す。これはジャクロ、イチジ



(a) 雌の介殻(自然大)  
(b) 雄の分泌せる白蠟(短縮せるもの)

分布—世界共有。

ワタフキカヒガラ……………(五四二)

*Keaya purpurea* Mask.

雌は橙黄色、白色の蠟質物を以て蔽はる、眼、觸角及び脚は黒色、卵袋は白色、十五條の溝條を裝ふ、體長一分五厘—三分。雄は暗赤色、觸角中胸背、脚及び翅は暗褐色、翅に二條の白線あり、體長一分、開張四分。これは果樹、並樹、その他種々の植物に寄生す。



(a) 雌の介殻(自然大)  
(b) 雄の分泌せる白蠟(短縮せるもの)

分布—世界共有。

ワタフキカヒガラの雄×10

(a) 幼蟲×10 (b) 雄×10

(c) 雄の蛹×10

(d) 三齡の幼蟲×10

(e) 被害の樹

ヒメタマカヒガラ……………(五四三)

*Kermes niyaki* Kuw.

雌は球形にして、光澤ある暗褐色、多数の黒帯を裝ひ、背面に楕圓形の鋭殻を有す、長さ一分五厘内外、觸角は五



(a) 雌の介殻(自然大)  
(b) 雄の分泌せる白蠟(短縮せるもの)

して、基節の幅廣く、長方形、脛節は附節より短かく、爪は大なり。これはクヌギ、ボケに寄生す。

ヒメタマカヒガラの様樹に附着せるもの

(自然大)

(a) 同×10

分布—北海道、本州、四國、九州。

ナラタマカヒガラ……………(五四四)

第一〇 有 吻 目

ク、サルスベリ等に寄生す。

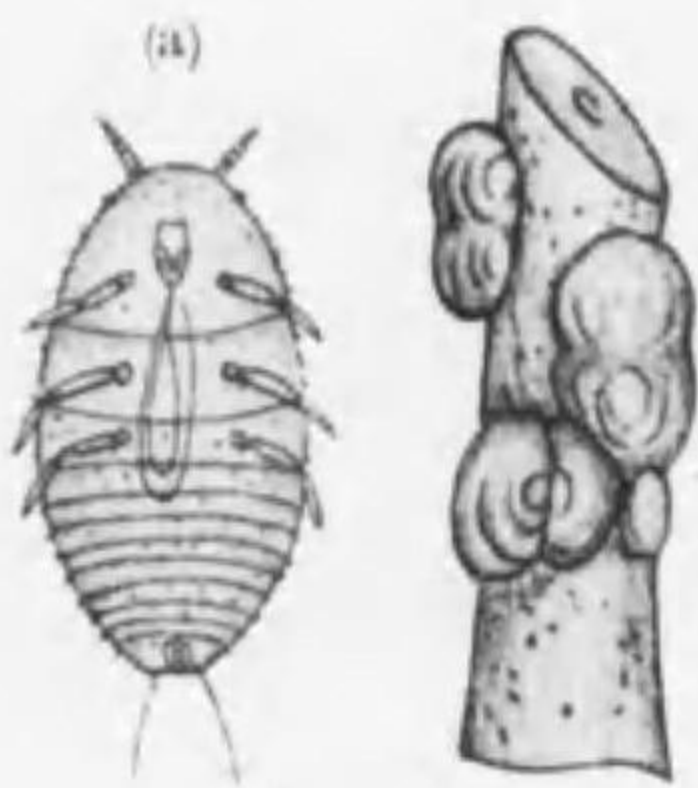
サルスベリフクロカヒガラの雌

(a) 雌の背面×10

分布—本州。

*Kermes nakagawae* Kuw.

雌は球形、暗褐色にして、黒横條を具へ、少しく白蠟を以て蔽はれ、中央に一縱溝を裝ひ、その基部に圓形の一突起ありて、綿絲にて蔽はる、觸角は小、三節、第三節最長、脚は退化し、爪は大なり、體長一分三厘—一分七厘、幅一分七厘—二分、高さ一分二厘内外。これはクヌギ、ナラ、カシハに寄生す。



(a) 雌の介殻(自然大)  
(b) 雄の分泌せる白蠟(短縮せるもの)

ナラタマカヒガラのクヌギの枝に附着せるもの×10

(a) 孵化當時の幼蟲×10

分布—本州。

ヒラカタカヒガラ……………(五四五)

*Lecanium hesperidum* L.

雌、介殻は稍々扁平、楕圓形、暗褐色、龜甲様の紋刻あり、長さ一分内外。體は淡黄褐色乃至暗褐色、



腹面の中央に二條の白帶を裝ふ。これはカンキツ、ビハ、クハ、リンゴ、キク、ブドウ等に寄生す。目下温室に廣く播布せり。半熱帶地方の産なるが如し。

ヒラカタカヒガラの柑橘葉に附着せるもの

(自然大)

(a) 雌の介殻×10

分布—世界共有。

ナシシロナガカヒガラ……………(五四六)

*Leucospis japonica* Ohtl.

雌、介殻白色、細長、尾端に向ひ漸次幅廣く、殻點は小にして、淡紫色。長さ五厘。體は長楕圓、淡紫色、腎板は黄褐色。體長三厘。雄の介殻は雌のそれに酷似すれども、小なり。體は淡紫





色、翅大。體長二厘。開張四厘内外。これはナシ、リンゴ、カンキツ、カキ、カエデ、イタヤ、ボタン等に寄生す。



生す。

ナシシロナガカヒガラの雄×10

(a) 梨樹に附着せる介殼蟲(自然大)

(b) 雌の介殼×10

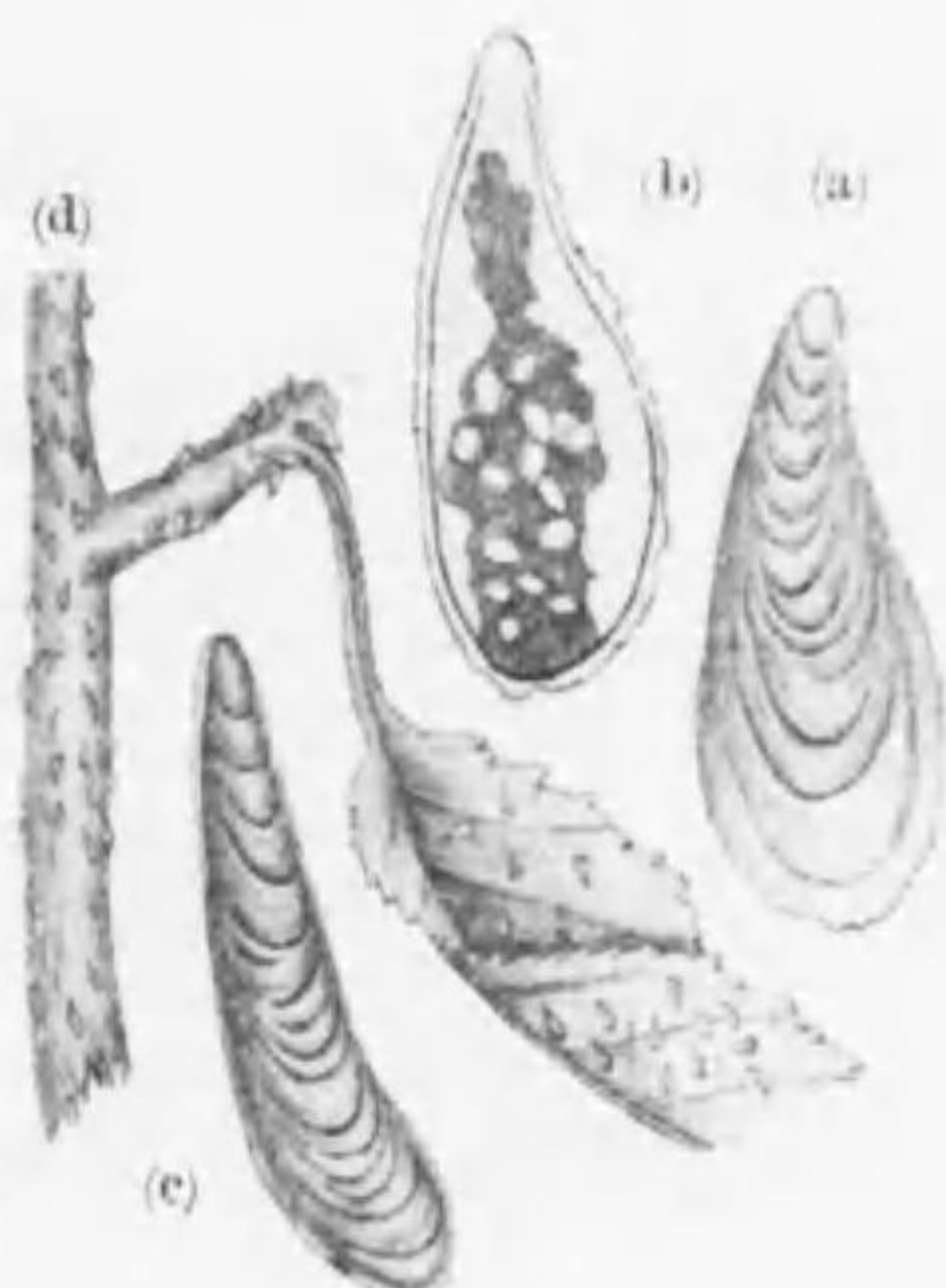
分布—北海道、本州、四國、九州、北米。

リンゴカヒガラ.....(五四七)

*Lepidosaphes ulmi* La.

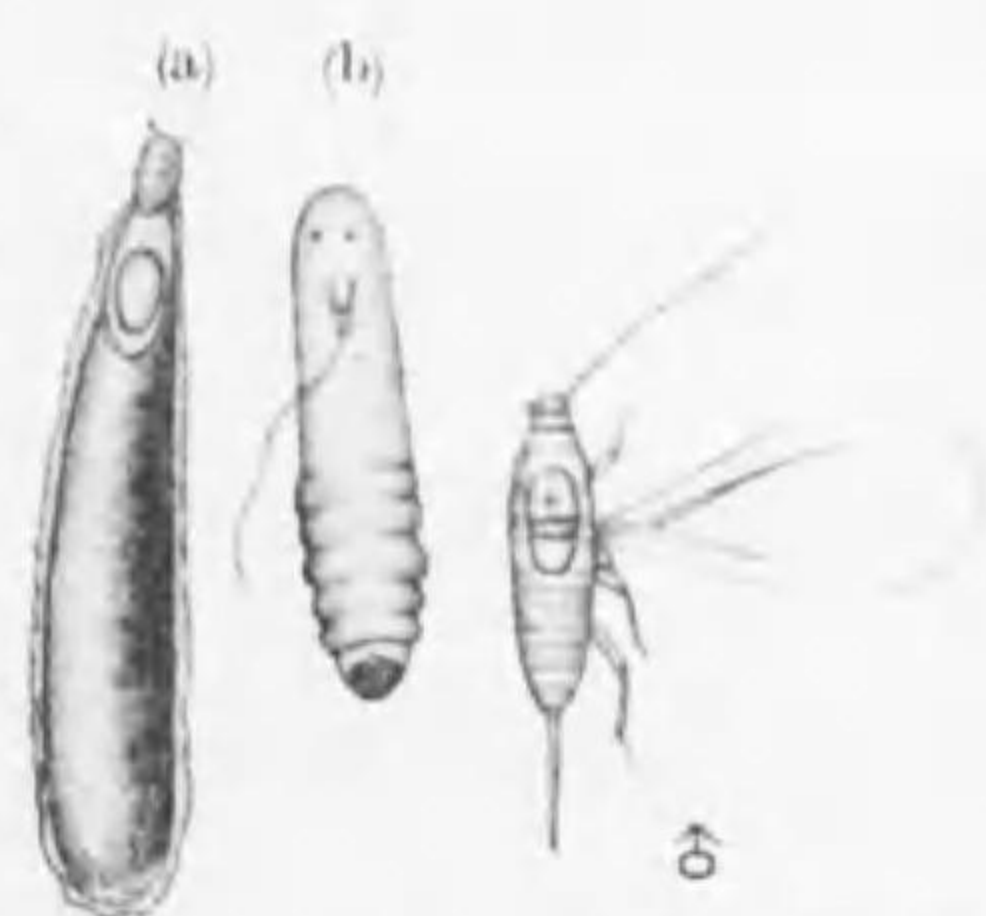


介殼は黒褐、長形、淡紫介殼をなす。長さ(雌)一分二厘(雄)三厘。體は楕圓形、兩側に剛毛あり。雌は黄白、腎板橙黄色、常に介殼下にあり。雄は灰白、一対の白色翅を具へ、一脈



ナガカヒガラ.....(五四八)

*Lepidosaphes gloverii* Pack.



介殼淡褐、殼點淡黄、少しく彎曲す、長さ九厘。體は淡紫色、尾端及び腎板は赤褐、體長五六厘。雄は淡紫色、眼は暗色を帶び、翅は白色、體長二厘、開張四厘半。これは柑橘、棕櫚

柳、樺等に寄生す。

ナガカヒガラの雄×10

(a) 介殼×10

(b) 雌體×10

分布—世界共有。

ヤスシセツコウカヒガラ.....(五四九)

*Orthozia yasushii* Kuw.



雌、赤褐乃至暗褐。觸角及び脚の末端は暗色。觸角の末端に一齒ありて、餘り尖らず。體は全部白蠟を以て蔽はれ、格子様をなし、尾端に四双の尾狀突起ありて、第三双のもの最長、卵袋は尾狀突起よりも長し、體長一分内外、卵袋一分二厘、雄は赤褐、觸角、眼、脚、胸は暗色、翅は白色、透明、尾端には多數の硝子様の長絲を裝ふ、體長七厘。こ



第一〇有吻目

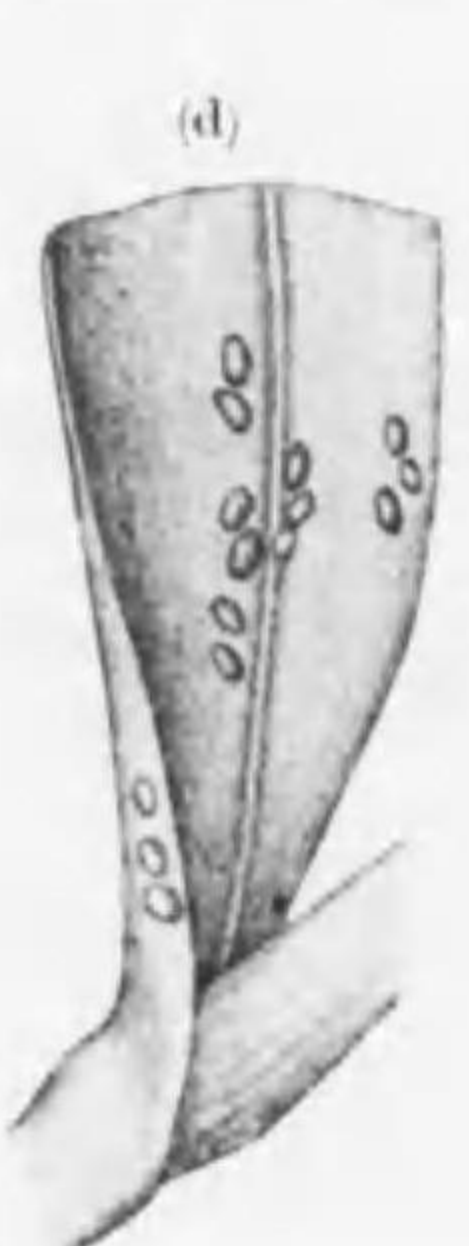
これは菊科植物に寄生す

分布—本州、九州。

ナカグロホシカヒガラ.....(五五〇)

*Parietaria proteus* Kuw.

雌の介殼は楕圓形。灰褐、殼點は黒色、一端に突出す、長さ六厘。雄にては細長、少しく暗緑を帶び、殼點は淡褐、長さ三厘。體は淡紫色、腎板は黄褐、體長五厘内外。雄の介殼は長形、



ありて、これは分支す。體長(雌)四厘、(雄)二厘。開張五厘。これはリンゴ、ナシ、スモモ、ウメ、カンキツ、ニレ等に寄生す。

リンゴカヒガラの雄×10

(a) 雌の介殼 (b) 裏面の卵子を示す×50

(c) 雄の介殼×10

(d) 草樹に附着せる状態(自然大)

分布—世界共有。



兩側相平行し、暗綠色、殼點は淡褐、一方に偏す、長さ三厘、體は紫褐色、脚及び觸角は淡色、體長二厘、開張五厘。これはナシ、リンゴ、モ

モ、スモモ等に寄生す。

ナカグロホシカヒガラの雄×10

(a) 雌體×10 (b) 雌の介殼 (c) 雄の介殼

(d) 被害の枝葉

分布—世界共有。

ヒメクロカヒガラ.....(五五一)

*Parietaria zizyphi* Lucas

介殼は雌にては黒色、稍々方形、第二脱殼は大きく、殆んど介殼の背面を蔽ふ、第一脱殼は小楕圓形、介殼の前方に突出す、體は紫赤色、長さ七厘。雄にては灰白、殼點は黒色、長さ三厘、雌は卵形、環節兩側に







生す。

ヒメクロカヒガラの雌介殻×100  
(a) 同雄の介殻×100 (b) 雌の蟲體

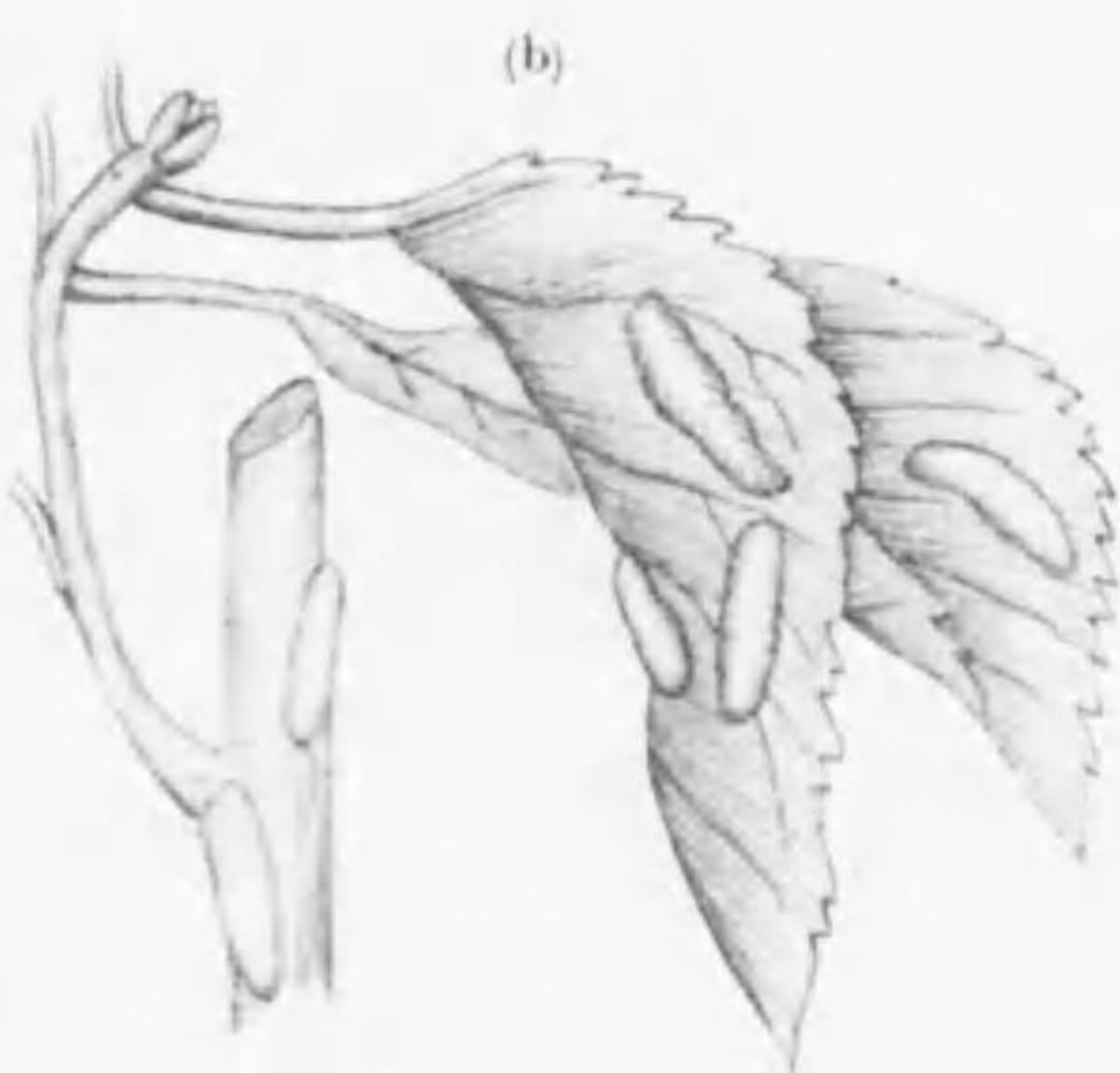
分布 世界共有。

クハコナカヒガラ……………(五五三)

*Phenococcus pergandei* OHL.



雌は赤褐  
背部は少  
しく黒色  
を帯び、  
白粉を装  
ふ、老熟  
すれば尾  
端より白



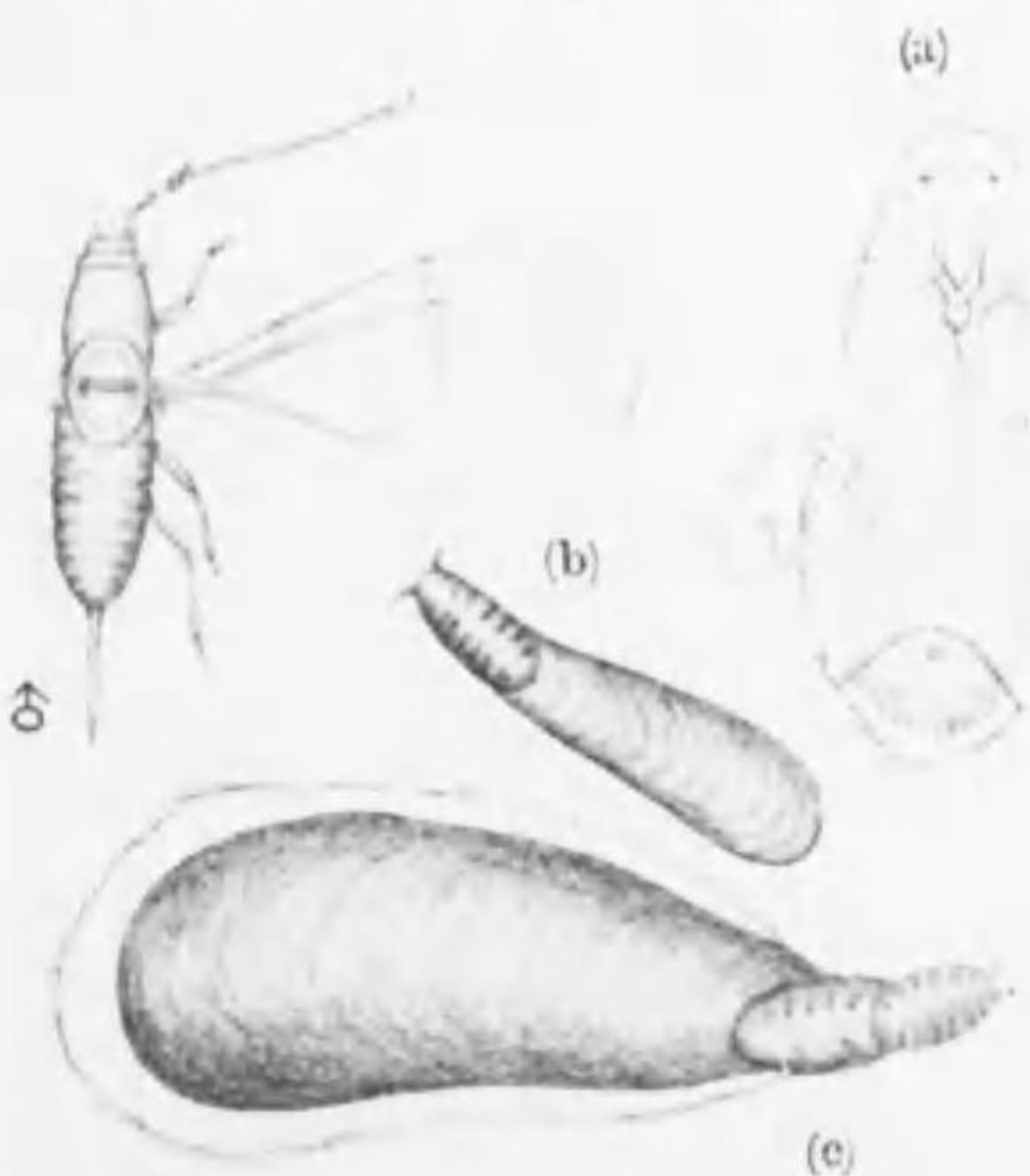
色の綿  
卵袋を  
生ず。  
雄は黄  
色、四  
本の尾  
毛あり  
て、中  
央の二  
本は長

し、體長(雌)二分、(雄)七厘。これはクハ、リ  
ンゴ、カキ、イチジク、エノキ等に寄生す。  
(a) 老熟せる幼蟲×200  
(b) 卵袋を有する雌(自然大)  
分布 北海道、本州、四國、九州。

マツナガカヒガラ……………(五五三)

*Pulvinaria pinis* Mask.

雌の介殻は細長、後端に向ひ廣く、淡茶介狀、



淡褐、  
殼點は  
灰白、  
前部に  
位し、殼縁より突出す、長さ七厘 九厘内外、  
體は淡紫色、腎板鮮黄色。雄の介殻は淡褐、長  
さ三厘、體は淡紫色、觸角は十節より成る、翅  
は透明、體長一厘半、開張三厘。これは松に寄  
生す。

マツナガカヒガラの雄×100  
(a) 雌×100 (b) 雄の介殻×100  
(c) 雌の介殻×100 (d) 松葉の介殻(自然大)

分布 本州、四國、九州。

ヤノネナガカヒ  
ガラ……………(五五四)

*Prionoxystus ya-*  
*nonensis* Kuw.

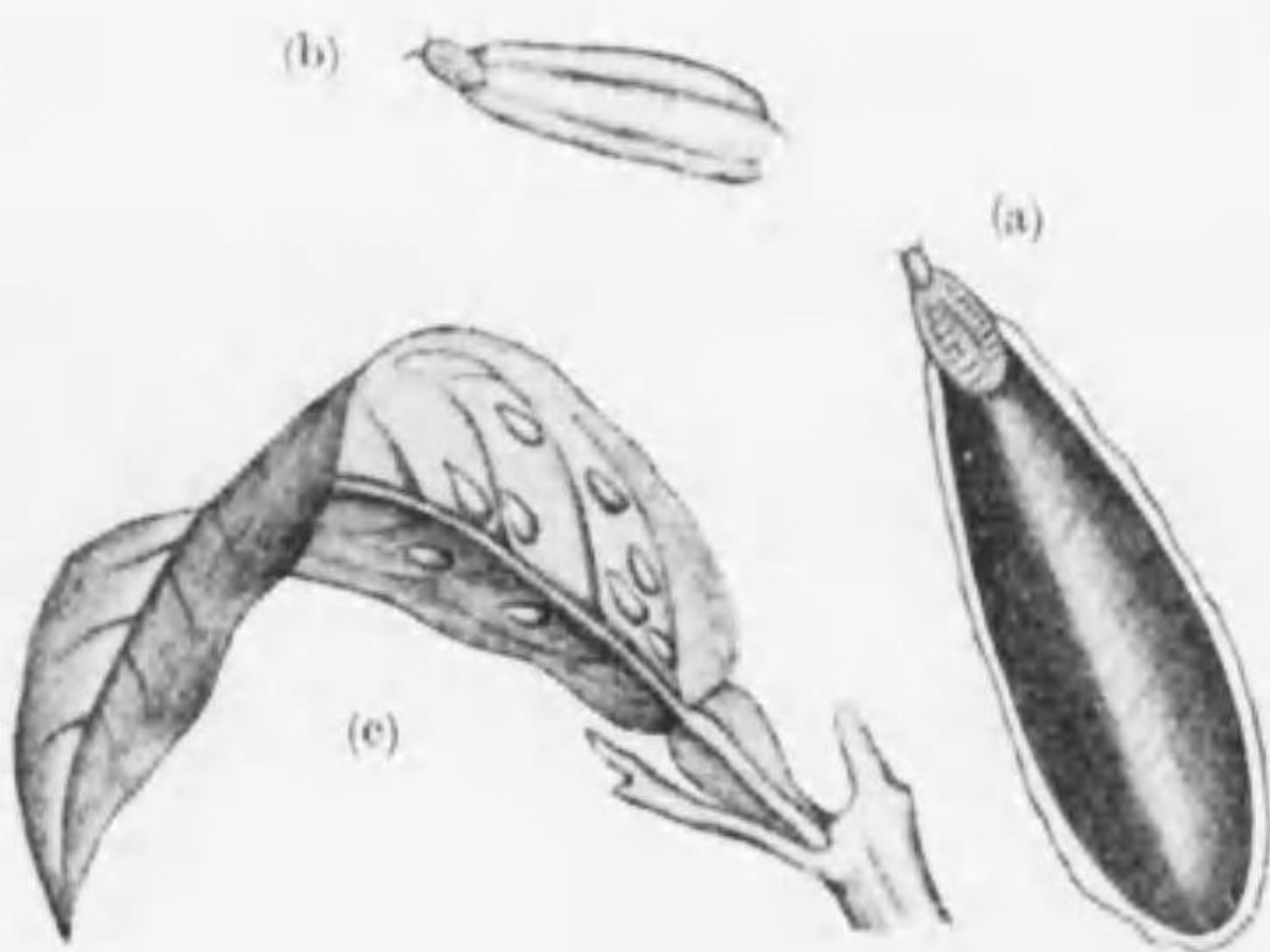


雌の介殻は長形、暗  
色、中央に一縦隆を  
具へ、形矢の根に似  
たり、殼點は黄褐。  
雄にては細長、白色、  
綿質にして、背上に

第一〇 有 吻 目

縦走せる三隆條あり、長さ約三厘、體は淡黄、  
體長一分二三厘。雄は橙黄色、翅は半透明、體  
長三厘内外。これはカンキツに寄生す。

分布 本州、四國、九州、支那、印度、濠洲、  
北米。



(a) 雌の介殻×100 (b) 雄の介殻×100  
(c) 柑橘葉上の介殻(自然大)

ミカンコナカヒガラ……………(五五五)

*Pseudococcus citri* Riss.

雌は白色若くは黄色、少しく褐色を帯ぶること  
あり、側縁突起十七双ありて、短かし。觸角は  
八節、第八節最長。

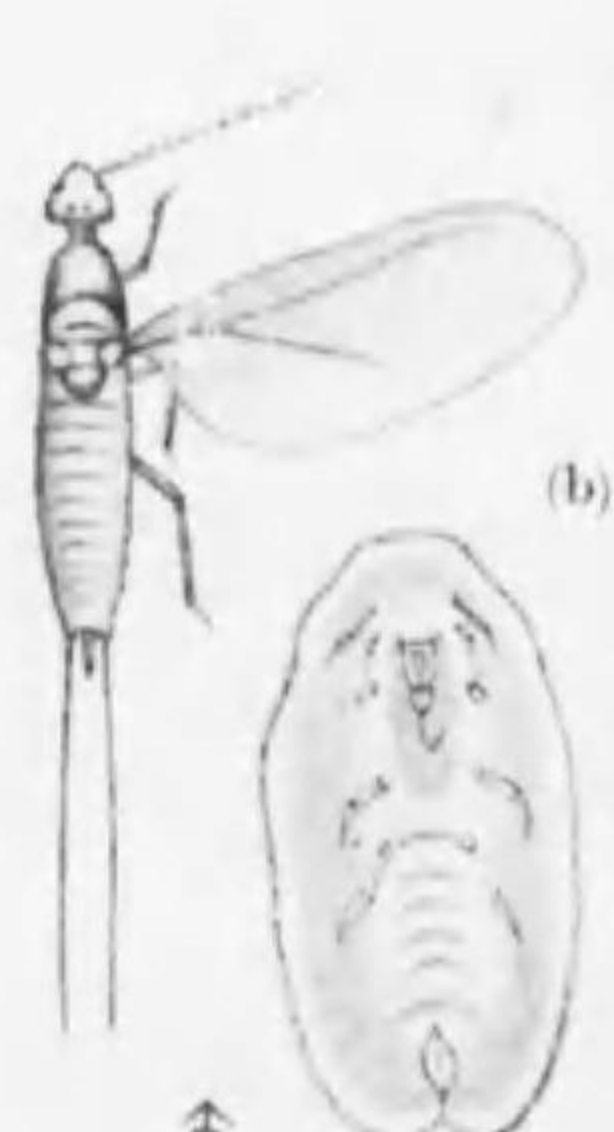
卵袋綿様物より成り  
卵子の増加に伴ひ肥  
大す。體長一分一  
分五厘。これは柑橘、  
棉等に寄生す。

分布 世界共有。

ミカンワタカヒガラ……………(五五六)

*Pulvinaria auranti* OHL.

雌は扁平、楕圓形、淡褐、龜甲様の紋刻あり、  
卵袋は長形、三條の太き縦條あり、一分六厘内



一三〇九





外。雄は淡黄、翅は白色の長毛を装ふ、體長四五厘、開張一分内外。これはカニキツ類に寄生す

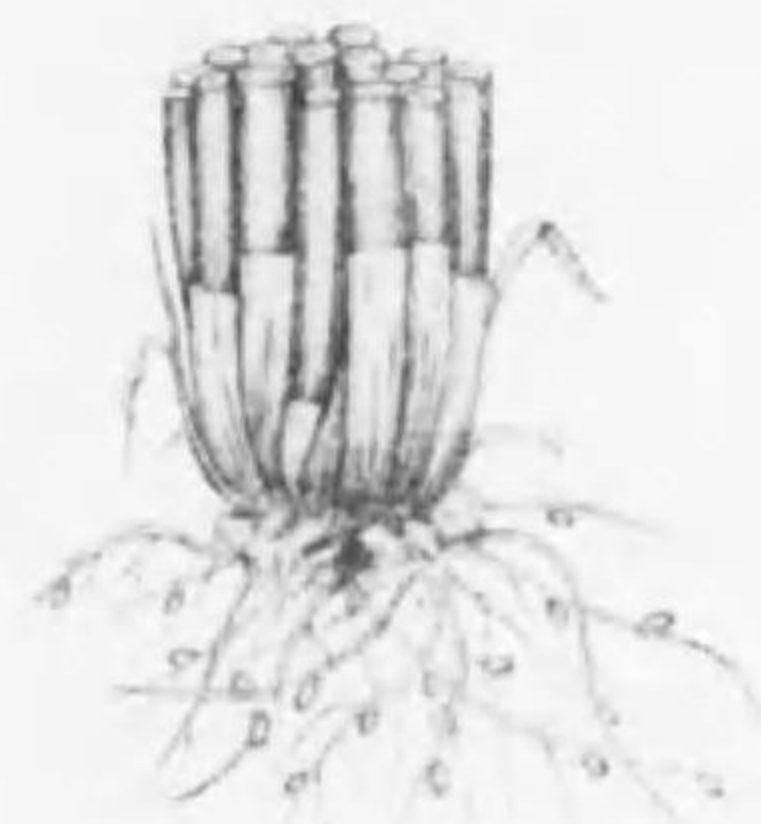
分布 本州、四國、九州。

ミカンワタカヒガラの雄×10

(a) 柑橘に附着する介殼蟲(自然大)

(b) 雌×5

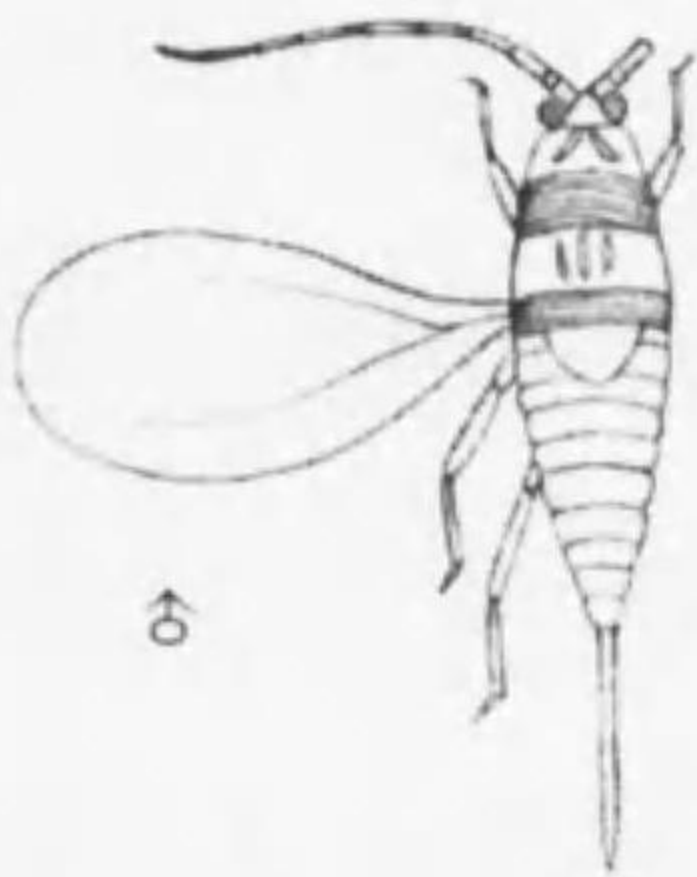
イネコナカヒガラ(モドキ)……………(五五七)



雌の體は卵形。淡黄色、全體は白粉を以て蔽はれ、環節は判然

クハカヒガラ……………(五五八)

*Zizukiuspis pentagona* Targ.



介殼は圓形若くは楕圓形灰色。殼點は黄色、徑(雌)六厘、(雄)二厘。體



せず觸角は甚だ短かく尾端に深

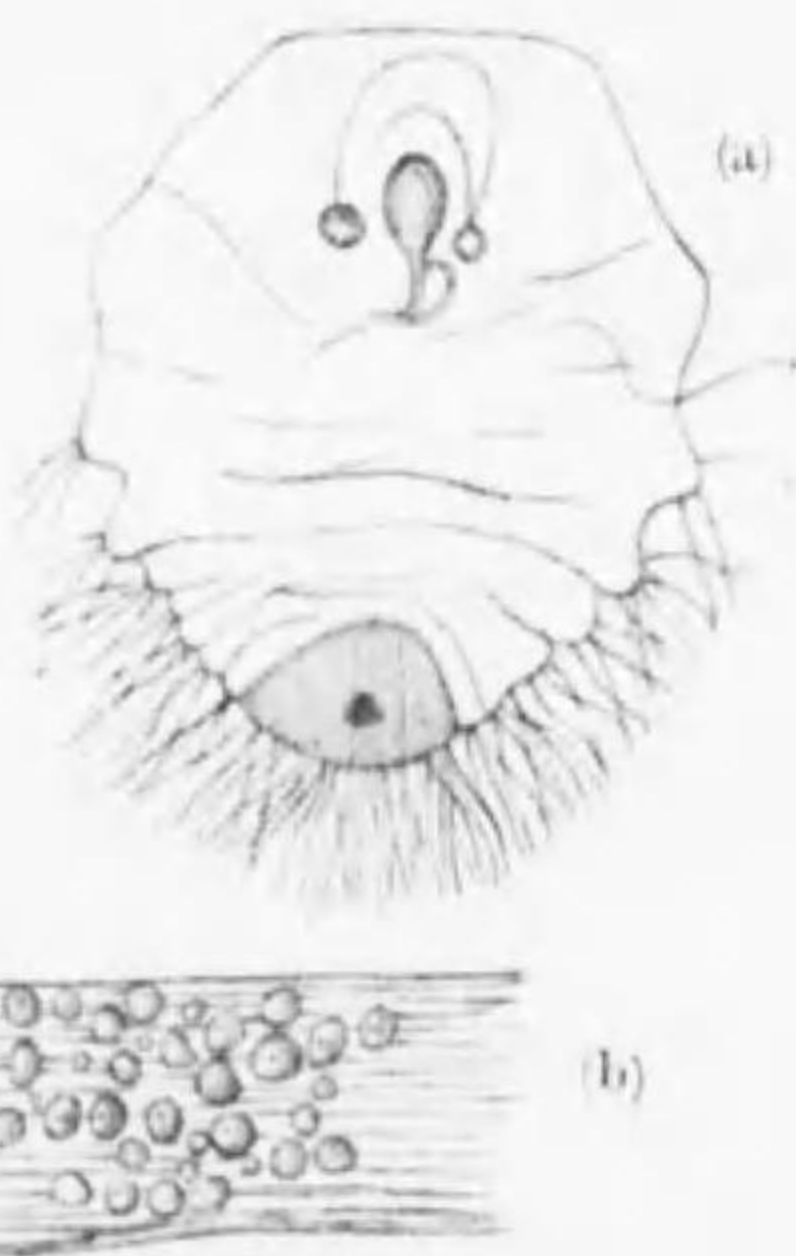
き凹陥あり。體長七厘。これは陸稻その他の禾本科植物に寄生す。

イネコナカヒガラモドキ

稻根に附着せる狀況(縮小)

(a) 雌蟲の少しく膨大せるもの

分布 本州、四國、九州。



は雌にては短楕圓、黄色、尾節橙黄色、三角形の硬板を装ひ、これに棘狀の突起あり。雄にては赤黄。體長(雌)四厘、(雄)一厘半。

クハカヒガラの雄×10

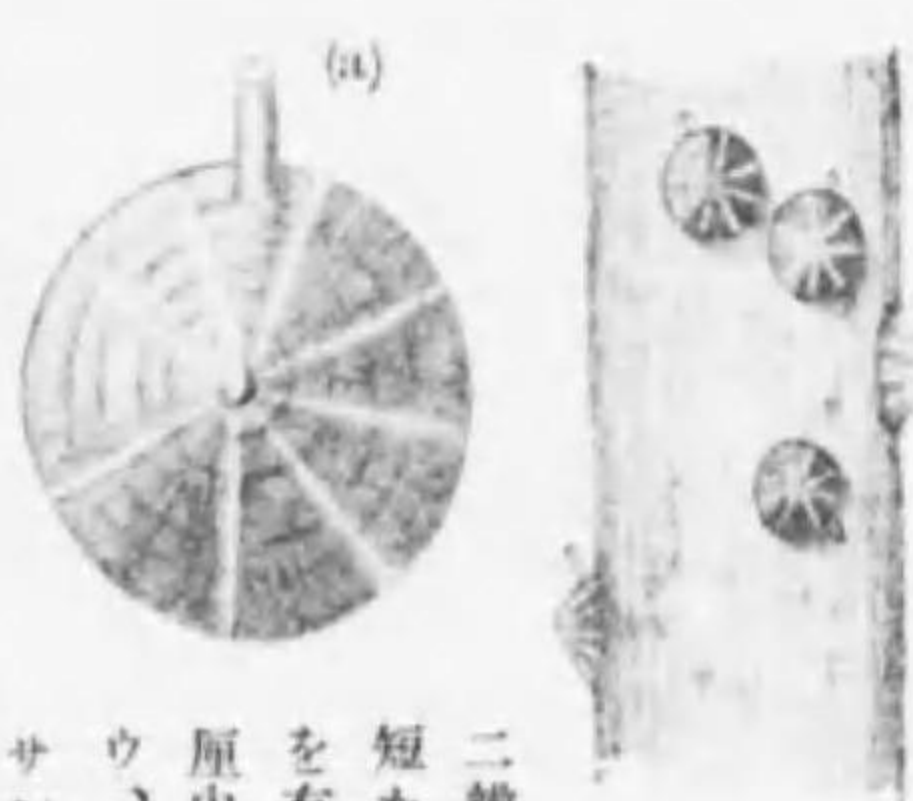
(a) 雌體×24 (b) 枝上の同介殼蟲(自然大)

分布 日本全土、朝鮮、臺灣、支那、印度。

フチツボカヒガラ……………(五五九)

*Xenococcus muriae* Kuw.

雌の體軀を包める介殼は圓形、中央突起し、藤壺狀をなし、半透明、頂點には褐色の脫殼を見る、一個の銳頭長管狀の附屬物を装ふ。長さ一分



七厘。體軀は環節を缺き、尾端に向つて漸次幅狭く、腹端は分れて二辨となり、多數の短かき刺毛と一長毛を有す。體長一分二厘内外。これはブドウ、ナシ、カナメ、サンゴウジュ、キン

ロウバイ等に寄生す。

フチツボカヒガラの雌介殼(自然大)

(a) 同×1

分布 本州、四國、九州。



紐狀にして、縮狀の環を構成す、腹裂は淺く、腎板小、體長二分七厘内外。雄

は細長、黄色、胸部は黄褐、翅は交接器より長し、體長四厘、開張一分内外。これはクハ、ハギ、ネムノキ、ヤナギ、ケヤキ、エノキ等に寄生す。

ヒモワタカヒガラの雄×10

(a) 同雌の卵袋を有せるもの(自然大)

分布 本州、四國、九州。

ヒモワタカヒガラ……………(五六〇)

*Takahashia japonica* Oht.



雌は卵形、尾端に淺き隆れあり、灰黄、暗褐紋を散在し、中央に赤色の一縱線を装ふ、卵袋は甚だ長く、

第一〇 有 吻 目



第一 目 SIPHUNCULATA



第一 蠅 目

*Siphunculata (Anoplura)*

頭は自在に動き、水平に前方を向き、口吻は吸収に適す。複眼は不完全、時にこれを缺くものあり。單眼を缺く。大腮は退化す。口部は小腮と下唇より成り、小腮は長く、鋸齒狀の刺毛となり、下唇は兩側に糸狀片を有する長板狀となり、この兩者は細長の刺舌と相合して刺盤口を形成す。兩鬚は退化す。胸關節は判然せず。脚は鉤狀を呈し、跗節は一乃至二節より成り、末端に大爪を有す。腹部は九節より成るも、關節の判然せざるもの多し。胸部に一乃至二個、腹部に六乃至七氣門を有す。現今學名を有するもの數十種ありて、何れも哺乳動物の外部に寄生す。

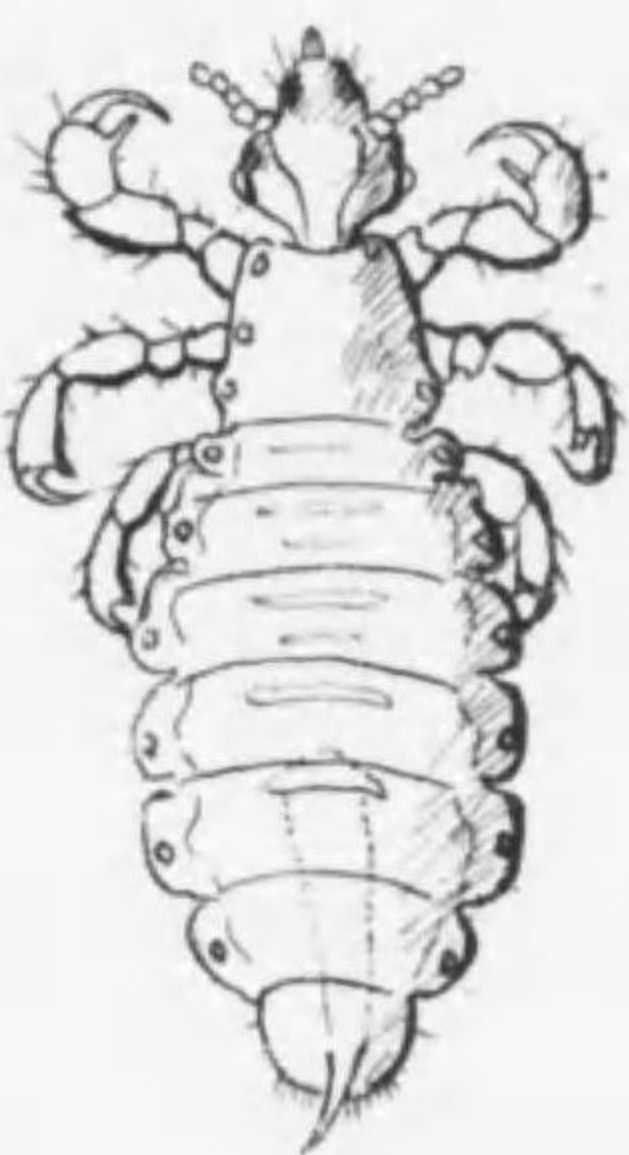
一 蠅科 *Pediculus*

體は長し。頭は前胸内に退縮せず、後頭は頸狀を呈し、前頭は口吻狀に延長せず。觸角は三節より成る。複眼を有す。胸部は後縁にて廣く、腹部と同幅となる。腹部に七節を具へ、第二節に一氣門を裝ひ、雌の尾節は二分す。脚は太く、爪は鉤狀を呈し、脛節の末端には拇指狀の附屬物を具へ、跗節には二節あり。今日學名を有するもの二種あり。

アタマジラミ(頭蠅).....(一)

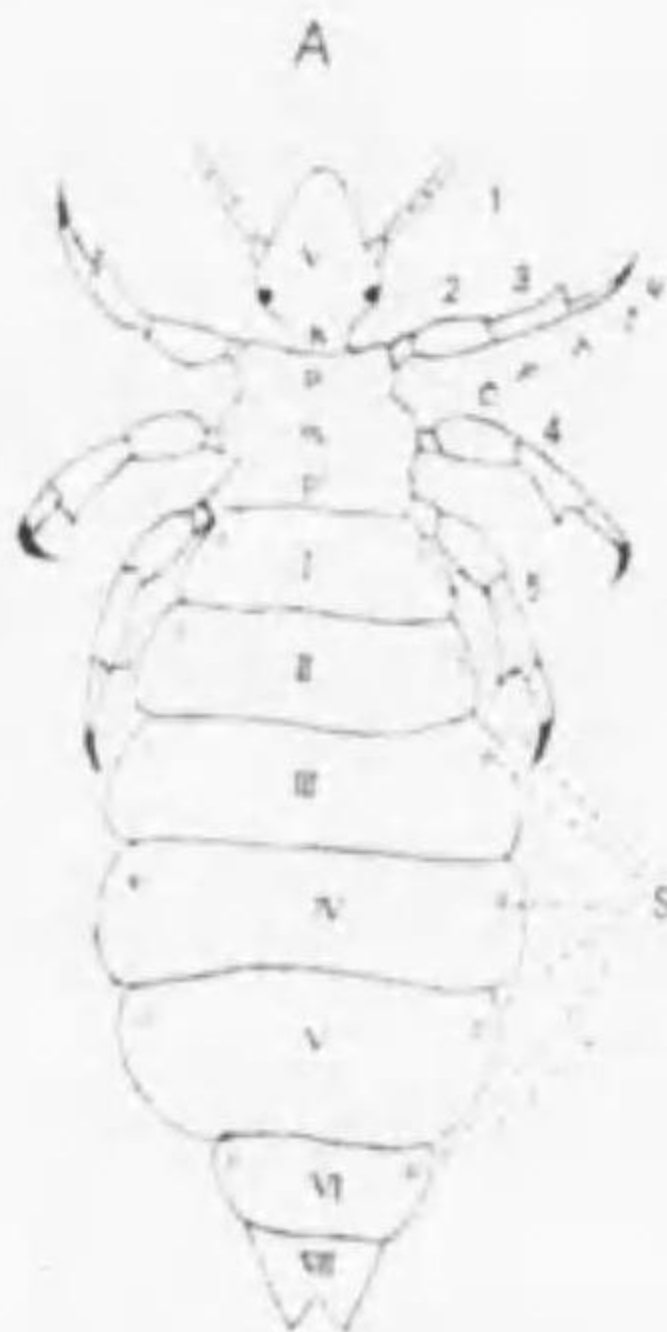
*Pediculus capitis* Dege.

體は灰白。頭部略卵形、頭は短かく且つ廣し。各觸角節は稍々同長。腹部の周縁は褐色、各環



第一 蠅 目

A ヒトジラミ ♀ *Pediculus humanus* L.



B メクラジラミ (*Haematopinus*)

の口部(模型圖)



mx<sub>1</sub> 小腮  
hp 刺舌  
mx<sub>2</sub> 下唇(第二小腮)

- |     |       |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (S) | I     | (P)    | (K) | (V) | (5) | (4) | (u) | (t) | (T) | (F) | (C) | (3) | (2) | (1) |
| 氣門  | ..... | 前胸(m)  | 頸   | 頭   | 後   | 中   | 爪   | 跗節  | 脛節  | 腿節  | 基節  | 前肢  | 複眼  | 觸角  |
|     |       | 中胸(P') |     |     | 頂   | 肢   |     |     |     |     |     |     |     |     |
|     |       | 後胸     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|     |       | VII 腹節 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

節の切り込みは深し。脚は大、爪はコロモジラミに比して長大なり。體長九厘内外。人間の頭髮に寄生し、其血液を吸収す。

頭部には寄生せず。  
分布—世界共有。

分布—世界共有。

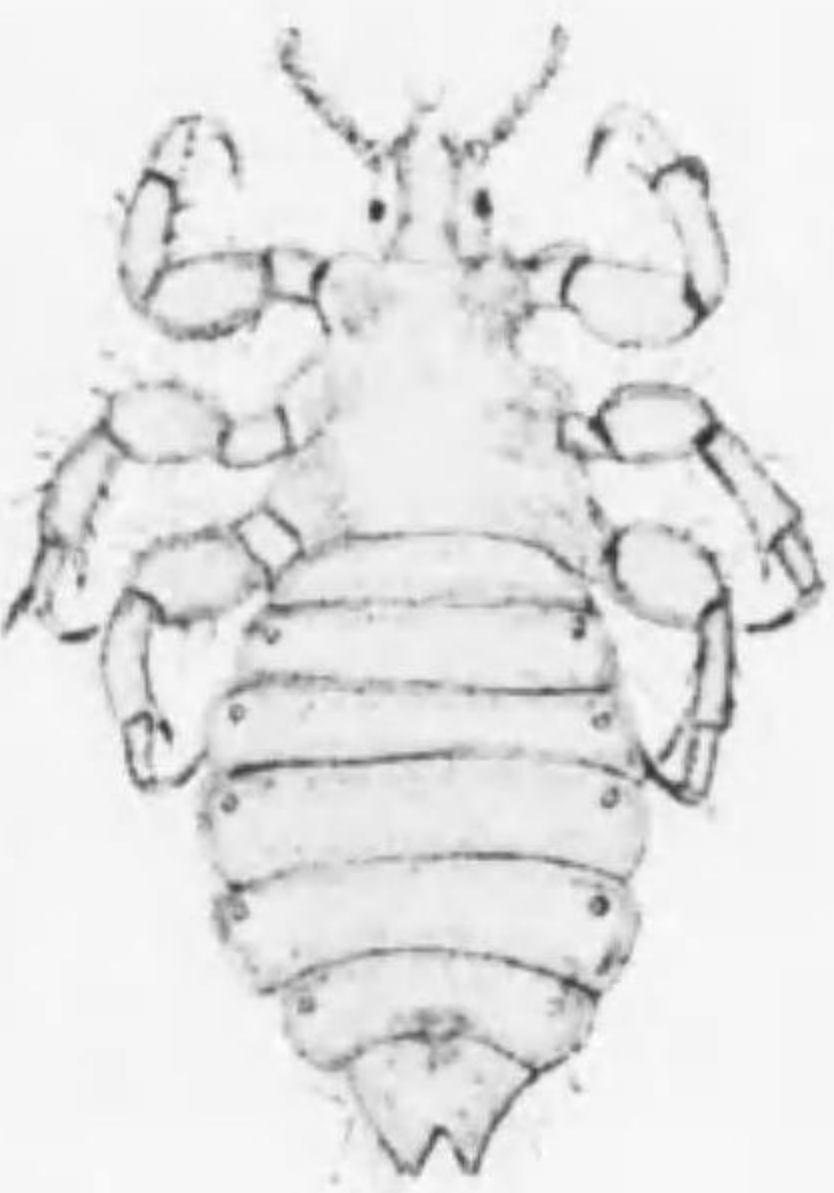
附言—これをコロモジラミの一變形として取り扱ふ學者あるも、著者は別種とせり。

コロモジラミ(衣蠅).....(二)

*Pediculus humanus* L.

アタマジラミと異なる所は、形大、觸角は細く、第二節長く、後頭は尖小、脚は細く、腹環

♀



節の切り込みは淺く、體側の淡色なるにあり。體長八厘一分六厘。これは人體に寄生するも、



## 二 猿蝨科 *Pedicinidae*

蝨科と異なる所は、頭は卵形にして細く、觸角は三節より成り、胸部は卵形にして細く、三本の脚は稍々同大、腹部は楕圓形、判然せる九節より成り、雌の尾節の二分せざるにあり。本邦に産するもの一種あり。

### サルジラミ *Pedicinus euryaster* Gev. (三)

體は灰白。頭は細く、胸部より少しく長し、口吻の兩側に二長毛あり。觸角は頭長より短、第一節短大、第三節最長、これに三節あるが如き

♀



觀あり。胸部は頭部より少しく廣く、放線狀の

溝あり、腹部の兩側には切り込みなし、第四節及び第五節の氣門は突出し、この部分最も幅廣し、第五節の兩側に一、二の長毛を裝ひ、雌にてはその數多し。體長五厘。これは動物園にありては色々の猿猴類に寄生す。

分布 世界共有。

附言 人蝨屬と異なる所は、觸角は三節、腹節は九節より成り、脚の同大なるにあり。

## 三 毛蝨科 *Phthiridae*

蝨科と異なる所は體は圓形、胸部は腹部と同幅若くはより廣く、其限界判然せず、第二腹節に三個の氣門を具へ、跗節は一節、動き得べき爪を有す、前肢は中後の兩肢よりも遙に細し。人類に寄生す。學名を有するもの一種あり。

### ケジラミ *Phthirus pubis* L. (四)

♀



分布 世界共有。

## 四 盲蝨科 *Haematopitidae*

蝨科と異なる所は複眼を缺き(時にその痕跡を有するものあり)、後頭は頸狀に細小せず、前胸内に退縮す、後胸縁は大なる腹部の幅よりも廣く、腹部は八節乃至九節より成るにあり。本邦學名を有するもの二十數種あり。何れも世界共有の種類なり。

### ネズミジラミ *Haematopinus aeanthopus* Denny (五)

體は淡黄、頭、胸、腹側等は多少淡褐を帶ぶ。頭は楕圓形、觸角の後方肥大す。第二觸角節最

♀



長。胸部は短。腹節及び後腿節には齒狀突起あり。爪は暗色を帶ぶ。體長四厘内外。これは鼠に寄生す。

### シカジラミ *Haematopinus crassicornis* Denny (六)

體は黄白。頭は長卵形、前方は圓く、後方は稍々楔狀を呈す。觸角は太し。胸部短、横溝を裝

♀



ふ。前肢は小なるも、後肢はその二倍大あり。腹部は長卵形、環節は餘り判然せず、長毛を裝ふ。體長二厘五毛。これは鹿に寄生す。

分布 世界共有。

### ヒメウシジラミ *Haematopinus eurydermus* Nitzsch (七)

體は淡褐。頭は短、前方は圓く、後方は楔狀を呈す。觸角は頭と同長、第四節は小、第五節は



第四節の二倍長ありて、中央には一長剛毛を装

♀



ふ。複眼は判然せず。胸部は幅廣く、横溝を装ふ。前肢は小なるも、後肢は大。腹部卵形、環節は判然し、氣門部は隆起す。體長六厘内外。これは牛に寄生す。

分布 世界共有。

ウサギジラミ

*Haematopinus lyriocephalus* Denry

♂



*Haematopinus stenopus* Denry  
體は灰黄、長形。頭は細長、前方は圓く、後方は楔狀を呈す。眼は小。觸角は頭より短、胸部は短廣。脚は短、後肢は大。腹部長卵形、環節は判然し、長毛を装ふ。體長一分内外。これは山羊に寄生す。

♂



分布 世界共有。

ブタジラミ

*Haematopinus suis* L.

(一三)

體は褐色、時に淡黄、暗色なるもの等あり。頭部は略卵形、前頭縁及びその後方の帶並に後頭は暗褐。各觸角節の中央には暗色輪あり。腹部は灰白乃至褐色。長楕圓形。氣門の周圍は暗色。各腿節及び脛節の末端に褐色の輪環あり、爪は黒褐。體長八厘一分。豚に寄生す。

第一一 目

體は黄白、腹部白色、頭は西洋琴形を呈す。胸部短。脚は弱く、跗節端に爪の内側に當りて瘤

狀の二突起を装ふ。腹部は頗る大、環節は餘り判然せず、各節に黄毛ありて輪狀に排列す、尾前節の下面に一黄帶あり。體長六厘内外。これはウサギに寄生す。

分布 世界共有。

ウマジラミ

*Haematopinus macrocephalus* Nitzsch

(九)

體は黄色乃至淡赤、胸部は黄褐。頭は長く、觸角の後方は彎れ、後頭は圓し、觸角の前方に暗色の二紋あり。眼は小なり。觸角は絲狀、胸部は頭部より短かく且つ廣し。各肢は稍々同長、爪は暗色。腹部短

♀



かく、稍々卵形、各節縁は刻られ、環節は判然す、氣門は赤味を帶ぶ、雄にては尾端圓く、雌にては二葉に分かれ、尾節には暗色紋あり。體長八厘一分四厘。これは馬、驢馬等に寄生す。

分布 世界共有。

♀



分布 世界共有。

ウシジラミ

*Haematopinus vituli* L.

(一三)

體は暗色。長形、頭は長く、前方は尖小なり。第二觸角節は第三節より長し。胸部は稍々四角

♂



形、横溝を具へ、頭部より幅廣く、且つ短。後肢は大。腹部は細長。體長八厘一分。これは牛に寄生す。

分布 世界共有。

リスジラミ

*Haematopinus sphaeroccephalus* Nitzsch

(一〇)

體は黄白、頭は稍々圓く、前縁は截斷狀に近く、眼の後方少しく溢る。觸角の基節は太し、

♂



胸部は稍々圓形。初めの五腹節の兩側に疣狀の突起あるも、残三節にはこれを缺く、第二乃至第七腹節の中央には黄色の各一帯あり。後肢は發達し、爪及び脛節端は黄褐。體長二厘半内外。これはリスに寄生す。

分布 世界共有。

ヤギジラミ

(一一)



五 象蝨科 ザウジラミ *Haematomyzidae*

體は廣し。口吻は延長して頭よりも遙に長く、その末端に口部あり。眼は發達す。觸角は五節より成り、第一節は最長にして細し。胸部は短廣、環節判然せず。脚は細長、爪は端直にして、鉤狀を呈せず。世界に知れあるもの二種ありて、何れも象に寄生す。

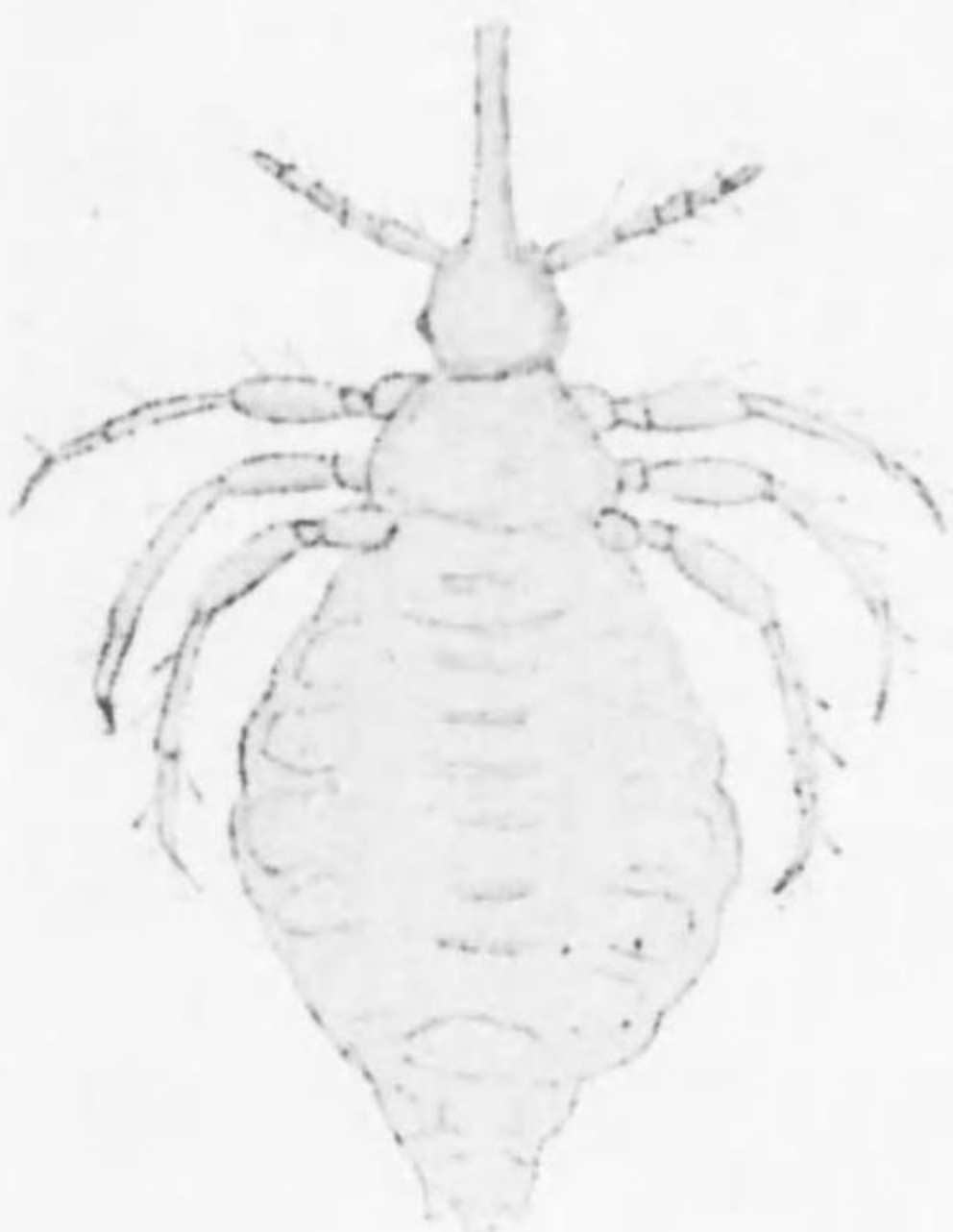
は稍々四角形。胸部は梯子形。腹部の中央は廣く、關節は餘り判然せず。體長一分内外。これは動物園の象に寄生するものなるが、多く耳の後方に發見せらる。  
**分布** 世界共有。

ザウジラミ……………(二四)

*Haematomyzus elephantis* Pugg.

體は赤褐。口吻は頭の約二倍長、稍々同幅。頭

♀



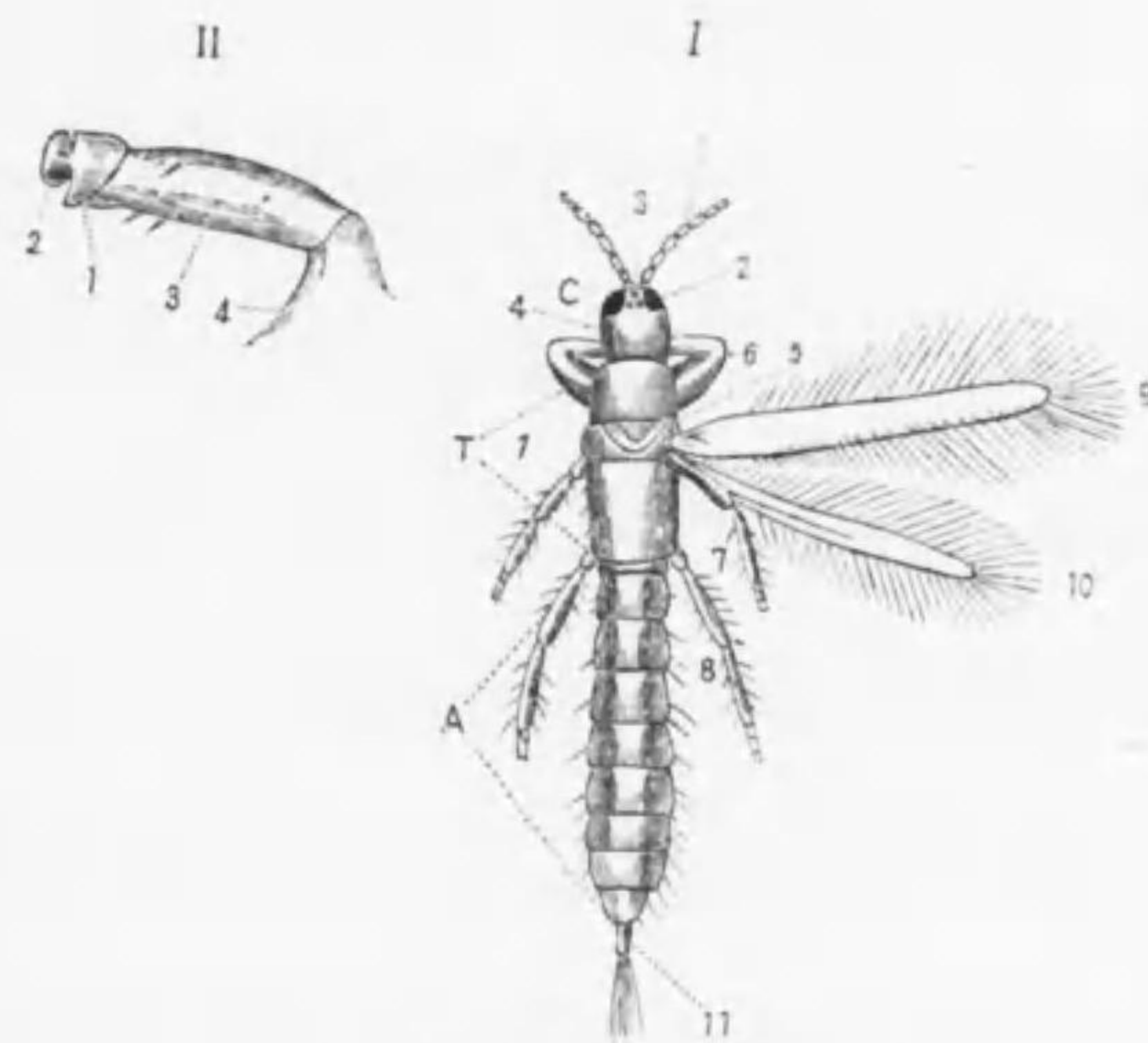


第二二 總翅目

Thysanoptera

口は圓錐形を呈し、吸收及び咀嚼に適し、大腮は延長して刺毛狀に變ず。眼は集眼にして、三個の單眼を裝ふ。小腮鬚に一節乃至三節あり。觸角は六節乃至十節より成る。前胸背は大にして、自在に動き、中後の兩胸環は癒着す。前後翅は略同色にして、細長く、長縁毛を裝ひ、翅脈少し。脚は長く、前肢は普通肥大す、跗節は一節乃至二節、二爪ありて、その間には肥大せる袋狀の附屬物を有す、故に一名胞脚目(Physopoda)と云ふ。腹節は十節より成り、尾節は圓柱形をなして延長す。本邦に産するもの三科あり。

イネクダアサミウマ



Haplothrips oryzae Mats.

[I] 背面

(C) 頭部 (1) 觸角 (2) 集眼 (3) 單眼 (4) 頭頂 (5) 枝狀部 (6) 前肢 (7) 中肢 (8) 後肢 (9) 翅 (10) 翅後部 (11) 腹節 (A) 胸部 (T) 管部

[II] 前肢

(1) 第一跗節 (2) 第二跗節 (3) 脛節 (4) 腿節

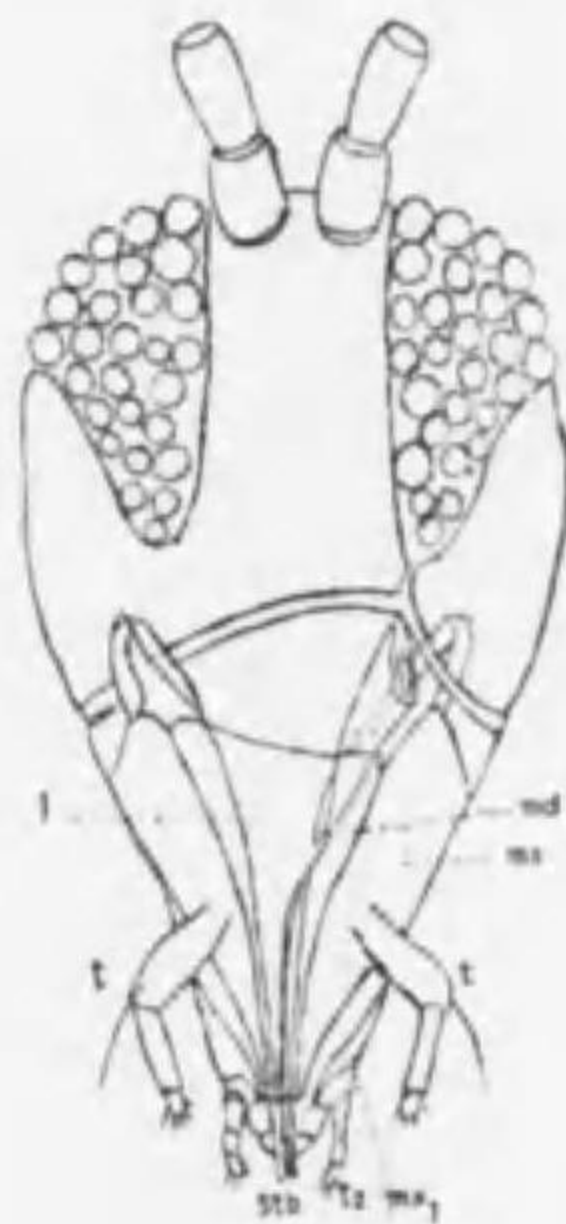
一 菅藪馬科

Phloeothripidae

翅の周縁に長總毛を裝ひ、翅脈は一本にして、退化し、その翅端に達するものなし、横脈及び細毛を缺く。小腮鬚及び下唇鬚二節。觸角八節稀に七節。中基節は前後の基節と同様に相分離す。尾節は管狀となる、これを管節と云ふ。本邦學名を有するもの數種あり。

シマアサミウマの頭部

(Aelothrips fasciatus L.)

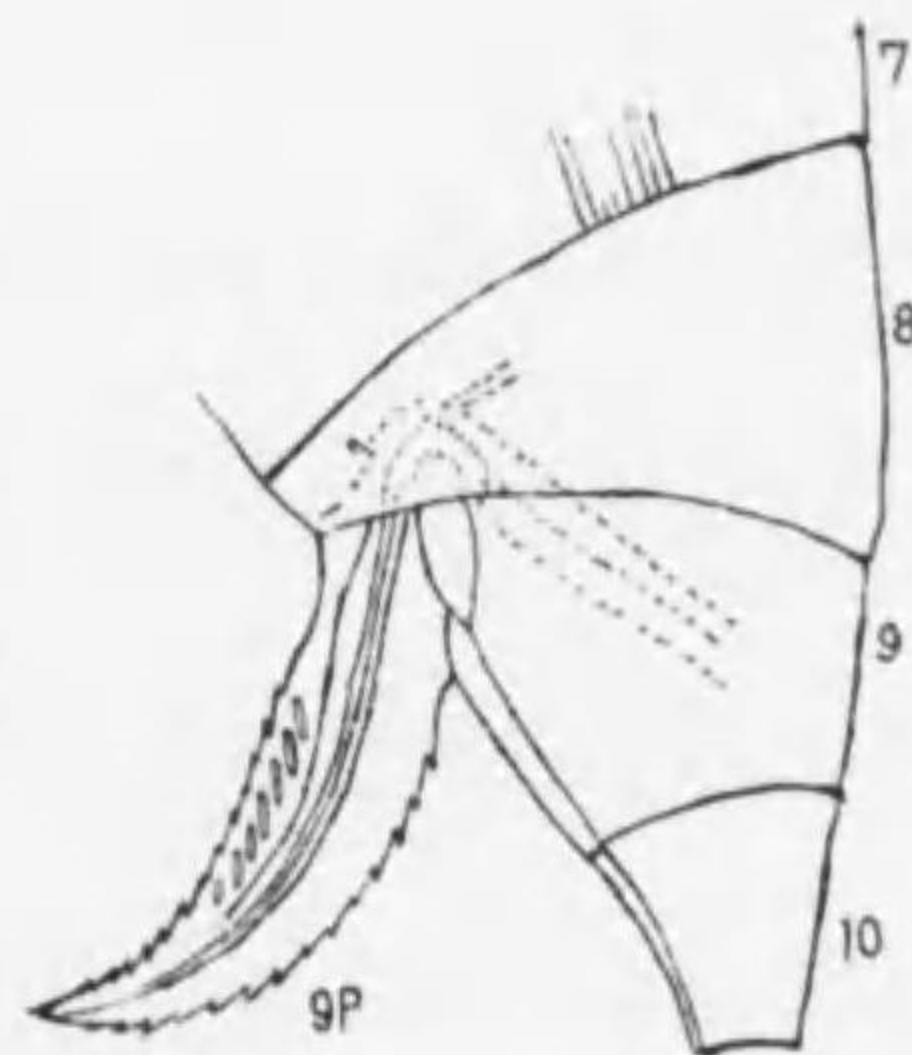


(mx<sub>1</sub>) (t) (mx) (nd) 大腮 小腮 小腮 下唇 小腮 上唇 鬚毛 (小腮の内葉)

第二二 總翅目

アサミウマ一種の産卵管

(Thysopoda sp.)



(ハンドリルシユ氏原圖)

(7) 第七—第十腹節 (9) 産卵管(下方に曲れるものを示す)

イネクダアサミウマ

Haplothrips oryzae Mats.

サトウアサミウマに酷似するも、觸角は頭、前胸を合したるものよりも長く、第三及び第四節は同長、第一、二、七、八節の四節は褐色を帯ぶ、脚は前跗節及び脛節を除き暗褐、腹節は長く、

サトウアサミウマ

Haplothrips pallicornis Mats.

體は光澤ある黒色。觸角黄色、八節より成り、第一并に第七、八節は黒色を帯び、第四節は太くして、長し。頭部は幅少しく廣く、前胸は梯形、中胸は前胸よりも少しく幅廣し。翅は腹部より短かし、白色、縁毛は長く、暗色。腹部は頭部を合したるものより長く、管節は頭部より少しく短かし、六本の剛毛あり。肢は黒色、跗節並に前脛節は黄色。體長(雌)四厘二毛内外。これ

管節は頭部より少しく短かく、其末端に八本の粗毛あり、體長(雌)四厘二毛。これは稻葉を捲き、大害を加ふることあり。東北地方に多きも、北海道には産せず。

分布—九州、本州。





♀



は臺灣にては甘蔗の害蟲なり。

分布—臺灣。

ナガクダアサミウマ……………(三)

*Neohesperia macaranga* Moulton

體は黒褐、觸角第三節以上、各肢の跗節及び翅は淡黄。觸角は八節。頭細長、複眼下に一刺毛あり。前胸の後縁は圓く、稍々梯形、兩側の前方に一個、後縁角に二個の刺毛ありて、後者は太く且つ長し。中胸は前胸より少しく幅廣し。翅は扇狀をなして縁毛を密生す。後翅は透明。腹部は圓錐形、細長、各節に下向せる一本の刺毛あり、第八節には六本の長毛と、四本の細

♂



毛とあり、管節は頭部より短かく、末端に九本の刺毛あり。體長(雌)七厘九毛。臺北に多し。

分布—臺灣(臺北)

エリクロアサミウマ……………(四)

*Eiochrips vaneekei* Friese

體は暗褐、觸角の第三、四、五節、前跗節及び各跗節は黄色。頭部は幅より少しく長く、複眼下に一刺毛あり。前胸は梯形、後端に二本の長刺毛あり、中胸は前胸より少しく廣し。前翅は灰黄、周縁に一の縁毛を有す。後翅は透明、前翅同様長縁毛あり。各肢部の兩側に二本の刺毛を有す、管節は頭部と略同長、九本の剛毛

♀



あり。觸角八節。體長(雌)七厘内外。これは百合の球根を加害す。何れの地方にも普通なり。

分布—世界共有。

二 薊馬科

*Aeolothripidae*

翅は廣く、末端にて圓し、前翅に横脈を具へ、唯だ後翅に於てのみ縁毛を列ぬ。觸角は九節より成る。雌は鋸狀の産卵管を有し、上方に曲る尾節は圓錐形を呈す。本邦學名を有するもの一種あり。

シマアサミウマ……………(五)

*Aeolothrips fasciata* L.



三 薊馬科

*Thripidae*

前翅は細く、末端突起す、前縁に縁毛を具へ、二縦脈を装ふ、横脈を有せず。觸角は六節乃至八節、普通末端に一節若くは二節ある角片を有す、第三節及び第四節は圓錐形を呈せず。小脛は二節若くは三節、下唇鬚は二節。前第二跗節の基部に爪狀の附屬物を缺く。雌の尾節は圓錐形を呈し、産卵管は鋸狀。本邦學名を有するもの十數種あり。何れも微小種なり。

アメイロアサミウマ……………(六)

*Frankliniella formosae* Moulton

頭短小、前胸は頭部より少しく廣く、兩者淡褐





觸角は八節、末端の二節は同長、短小、第三、四、五節は淡黄、他は暗褐。中胸は前胸より廣く、淡き褐橙色を帯ぶ。前翅は淡黄、褐色の太き三刺毛列を装ふ。後翅は透明、兩者共無脈。腹部は暗褐。胸部並に腹端には黒褐の剛毛を具へ特に八、九腹節のもの顯著なり。肢は黄褐色、後脛節の内側に五六本の小刺毛を装ふ。體長(雌)四厘六毛内外。これは何れの地方にも少なからず。

分布—北海道、本州、臺灣。

ホソアザミウマ……………(七)

*Teniothrips gracilis* Moulton

體は暗褐。觸角は八節、第四節最も長く、第八節



節の二倍長あり。前脛節は灰褐、他は基部を除く外、體色と同色、脛節は灰褐。複眼は突出す。中胸は前胸よりも幅廣し。これも稀ならず。

分布—本州、臺灣。

ウスグロイネアザミウマ……………(八)

*Thrips oryzae* Williams

微小種にして、體は淡黄褐。第三、四觸角節、脚及び後翅は淡色。觸角は七節にして、末節は頗る短小。頭と前胸とは縦横略同長、中胸は前胸より少しく幅廣し。第九腹節の兩側には各二本の長刺を具へ、尾端にも二双の小刺毛を装ふ。前翅には淡黄褐の三刺毛列あり。體長(雌)

♀



三厘八毛。これは臺灣に少なからず。稻の害蟲なり。

分布—臺灣、印度。

ネギアザミウマ……………(九)

*Thrips tabaci* Lind.

♀



體は黄色乃至暗黄褐、斑紋なし。觸角は七節第三節最も長し。

雄は雌よりも淡色觸角は灰色、基部の二節は白色。體長(雌)三厘内外。これは葱、煙草、蕪菁、瓜等に大害を加ふる普通種なり。

分布—世界共有。

ホソナガアザミウマ……………(十)

*Stenothrips minutus* Karny

淡褐色。翅は黄褐。肢は黄淡褐。觸角七節、第

♀



一、二、六、七の四節は褐色を帯ぶ全體細長にして、第九、十

腹節には太き剛毛を装ふ。體長(雌)四厘三毛内外。これは甘蔗その他禾本科植物に有害なり。

分布—臺灣、瓜哇。



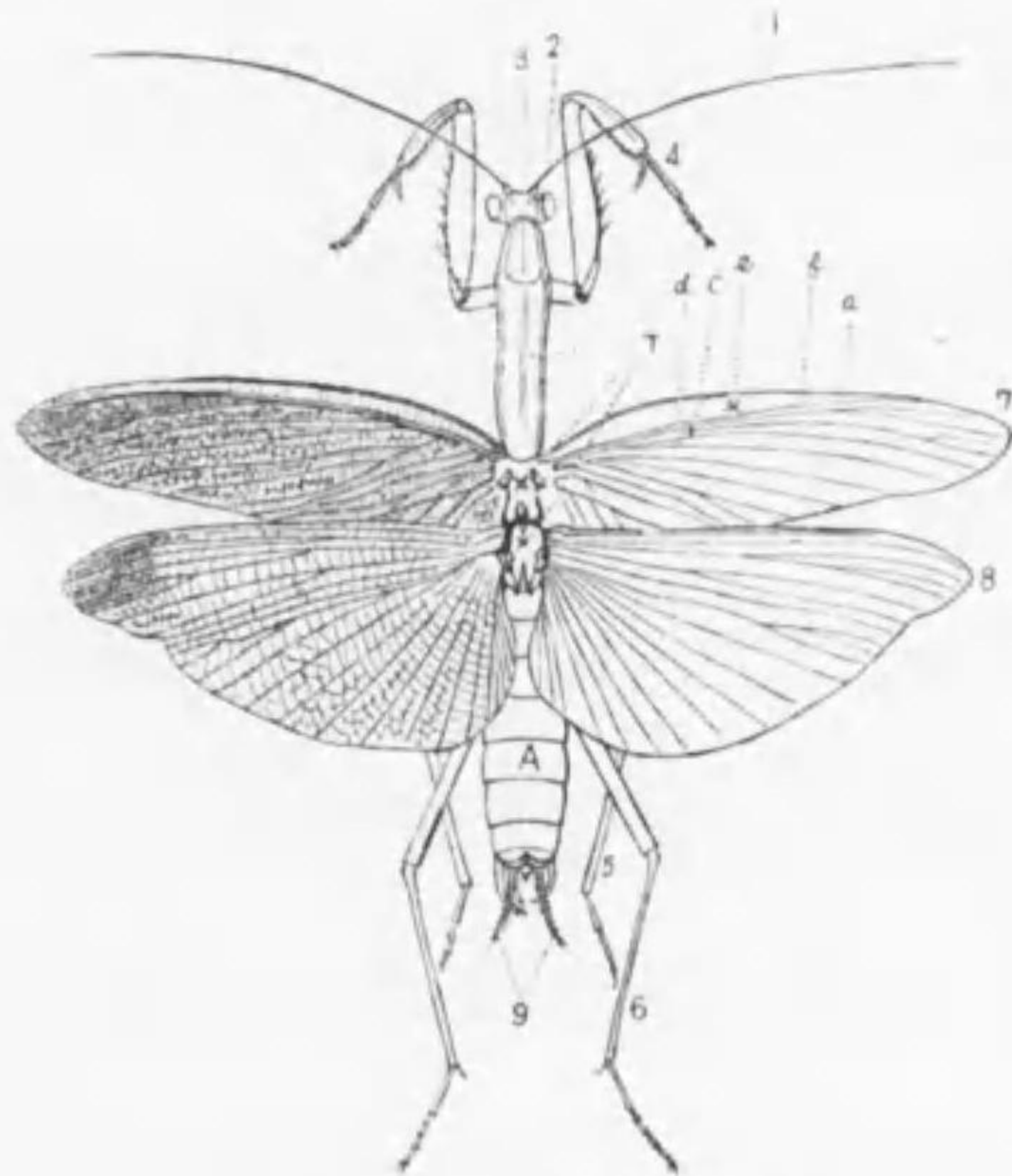
第一三 直翅目 ORTHOPTERA



第三 直翅目

Orthoptera

口は咀嚼に適す。前翅は多少硬化し、普通判然せる網脈を有し、静止の時は屋斜状に置く。後翅は大にして膜質、静止の時は前翅下に疊重す。稀に翅を缺くものあり。變態は不完全。食肉性のものと、食草性のものとあり。本邦に産するもの十二科あり。



Paratenodera sinensis Stoll

ナミカマキリ

- |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |     |    |     |        |     |         |     |    |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |
|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|--------|-----|---------|-----|----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 觸角 | (2) | 複眼 | (3) | 單眼 | (4) | 前肢 | (5) | 中肢 | (6) | 後肢 | (7) | 前翅 | (8) | 後翅 | (9) | 尾端の附屬物 | (T) | 前、中、後胸背 | (A) | 腹部 | (a) | 前縁脈 | (b) | 副前縁脈 | (c) | 前縁脈 | (d) | 後縁脈 | (e) | 前縁室 |
|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|--------|-----|---------|-----|----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

一 螻蛄科 Gryllotalpidae

複眼は小。單眼二個あり。前肢は肥大して開掘に適す。前胸は發達して卵形を呈す。前翅は短かし。後翅は長く、縦に重疊し得べし。尾端は二尾狀突起を裝ふ。雌は産卵管を缺く。本邦に産するもの二種あり。

ケラ(螻蛄).....(一)

Gryllotalpa africana Pal.



體は黄褐乃至暗褐、土色を呈するもの多く、短かき軟毛を密生す。觸角は短かし。前胸背は大、稍々卵形、前縁は少しく内方に凹陥し、後縁は圓く突出す。前翅は短かく、尾端に達せず。後翅は大、これを疊む時は尾様の二突起となりて尾端を越へ、下方に彎曲す。前肢は變形して地を開掘するに適す。食肉性なれども、時に植物根を食することあり。體長八分—一寸内外。何れの地方にも普通なり。夏泥溝の近邊にありてビーの音の發す、俗にこれを蚯蚓の音と思へる

第一三 直翅目

二 蚤蝗科 Tridactylidae

口部は發達す。觸角絲狀、短かく、多くも十二節を越えず。複眼は發達し、單眼は三個あり。前胸背は大、自在に動く。前翅は退化して短、革質、脈は餘り判然せず、發音器を缺く。後翅は大にして、扇狀に開閉し得べし。前肢は小、開掘に適す。脛節に聽器を缺く、後脛節は肥大して大なり。尾狀突起は小、二節より成る。産卵管は小形若くはこれを缺く。本邦學名を有するもの三種あり。

ヤマトノミバツタ(ノミバツタ).....(三)

Tridactylus japonicus D. H.



體は黒色、少しく緑色を帯ぶ。頭小、下方を向く。觸角短。前胸背は穹狀に膨起し、側縁は黄色。前翅は退化して短かく、第三腹節に達し、二縱脈を有す。後翅は長く、灰色。腹面は暗黄、尾端に四本の突起あり。前肢は短かく、脛節は赤褐、中肢長し。體長一分五厘—二分。これは花園の濕氣ある道路に普通なり。食草性なるが、時に食肉性なるが如し。

一三三一



分布—日本全土。

三 蟋蟀科 Gryllidae

蟋蟀科に酷似すれども、尾節に長き尾状の二附屬物を具へ、これに關節を有す。跗節は三節より成り、爪間に吸盤を有せず。産卵管は錐状にして、細長し、末端にて肥大す。本邦學名を有するもの七十餘種あり。食草性なるものと、食肉性なるものとあり。

クロコホロギ ..... (四)

*Achetia bimaculata* Dyar

體は黒色。複眼間のY字形紋は細く、溝状を呈し、額には一凹陥あり。觸角は長く、腹端に達す。上唇は少しく褐色を帯び、龜甲状に隆起す。



す。前胸背の前後縁は稍々弓状、中央は平坦。前翅は半透明、節色。前翅は灰黄。後翅は暗色、翅を疊む時は長き燕尾状をなして、腹端を越

一三三二

ゆ。産卵管は後翅の末端に達す。體長八分五厘内外。これは臺灣にては甘蔗に大害を加ふるこ

とあり。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

キンヒバリ ..... (五)

*Anaxiphus pallidulus* Mats.

體は雌にては灰黄。觸角は體の數倍長あり。觸角間にある二弓状線、前頭の一横紋、翅の一角間にある二弓状線、前胸背の前縁、その兩



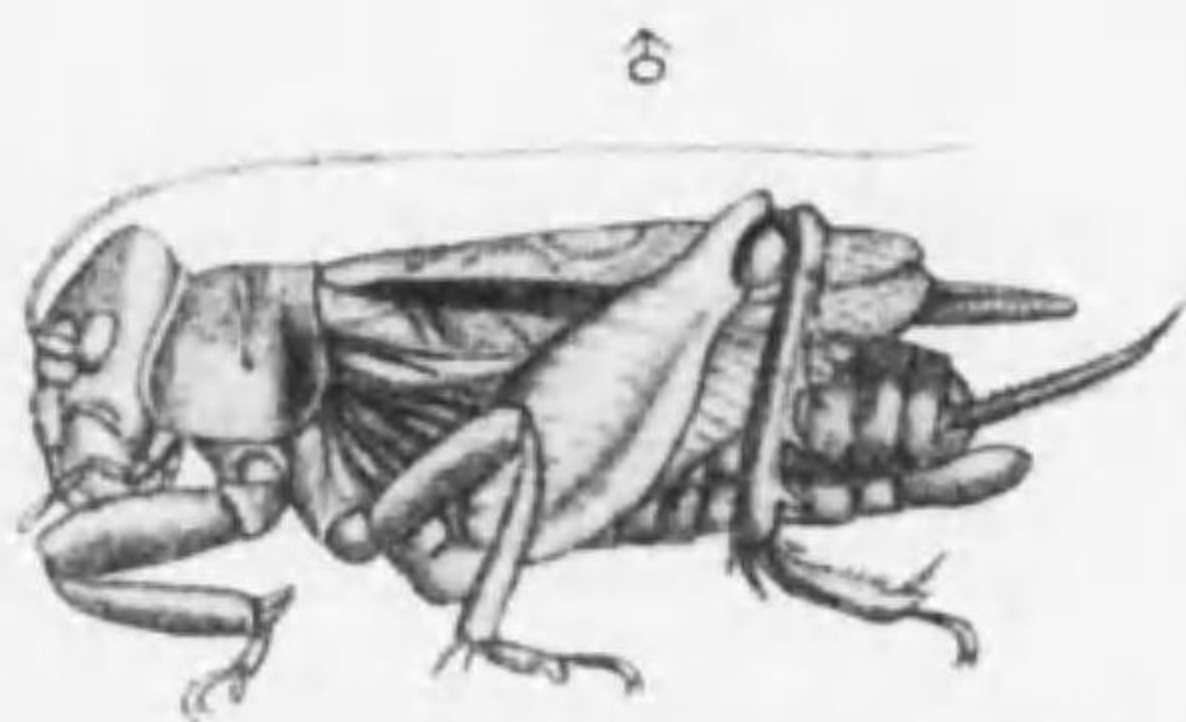
側に散在せる小紋、前翅底紋及び前翅は暗色。額片の上方にある一横線及び額片の兩側にある一縦線は赤色。小腮の末端は膨大し、その外側に暗色紋あり。前胸背の前縁及び後縁に近く桃色の斑紋あれども判然せず。前翅短、漸く腹端に達す。産卵管は腹部と約同長。腿節に暗色の縦線を具へ、末端に近く暗色紋を裝ふ。體長二分—二分五厘。これは中國地方に稀ならず。美麗を發するを以て坊間に販賣す。

分布—本州、四國、九州。

タイワンオホコホロギ ..... (六)

*Brachytripes jentilei* Jacht.

體は暗褐。頭は前胸より廣く、後頭は膨大し、複眼間にY字形紋を有す。觸角は後



脛節に達す。前胸背の前方は廣く、前縁は弓状に刻られ、中央に細き一縦溝を具へ、その兩側に各一個の楔状紋を裝ふ。後肢の腿節は廣く、脛節は短、棘刺多し。産卵管は短小。體長一寸—一寸四分。これは臺灣に

ては甘蔗及び陸稻に大害を加ふ。常に深き孔を穿ち、その内に住し、夜間出でて食害す。

分布—臺灣、支那、比叻、馬來、印度。

マダラコホロギ ..... (七)

*Cardiophylus novae-guiniae* Dyar

體は灰黄、灰色の短毛多し。觸角は體の約三倍

に黒褐の大紋ありて、中脈は赤黄、その下方の黒紋は鋸齒状を呈す。體長一寸内外(翅端迄)。これは沖縄に産すれども多からず。

分布—沖縄、臺灣。

コバネササキリモドキ ..... (八)

*Euscelus japonicus* Shir.

體暗黄。頭大、頭頂に黒褐の四條を縱走し、兩側に黒條を裝ふ。觸角は體の約三倍長あり。前胸背の中央は黒褐、兩側にも黒縱條あり。前翅は短、第二腹節に達し、前縁脈は黒色、その上方に暗黄の縱條あり。腹背に黒紋を縱列す。體長三分内外。これは草間に普通なれども、北國には産せず。



ヤマトコホロギ ..... (九)

*Gryllodes lathellus* Stans.

雄、體は暗色。單眼の部分、その直下の一字形





紋、頭、兩側、觸角の附着部及び後頭の四縱紋は白色乃至黄白。前胸背に黄白紋を散在し、短毛及び剛毛多し。前翅は腹部より少しく短、斜脈は二個、鏡胞は稍々四角形、人字形の横脈あり。體下及び脚は黄白。後腹節の上面は暗色。雌にては前胸背の兩側黄白、翅は腹部より短、後翅は退化す。體長五分一五分五厘。これは何れの地方にも普通なる種類にして、コロコロと鳴唧す。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

クマコホロギ *Grillus minor Shir.* (10)

體小形、黒褐。頭は稍々球形、平滑、光澤を帶び、額の三點及び鬚は黄白。觸角は體長と同じ、基部少しく太く、暗褐。前胸背に光澤なく、暗褐色を粗生し、中央に一縱溝を裝ふ。前翅は光澤ある黒褐。腹部は翅端より現はれ、尾毛は腹部と同長。脚は黄褐。體長三分内外。これは稀なるが如し。



分布 本州、九州。

エンマコホロギ *Grillus muratus Burm.* (11)

體は黒褐。頭の大部は黄色。觸角は暗褐、體より遙に長し。前翅は少しく尾端より長く、前縁室は三角形にして、廣く、透明、少しく黄色を帯ぶ。雌の後腹節は黄褐。産卵管は體より少しく短かく、黄褐。體長八分内外、産卵管七分。これは時に大小豆に大害を加ふることあり。コロコロと鳴唧す。坊間に販賣す。時には食肉性なり。



分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那。

ウスイロコハネコホロギ *Laudrevus clausi Wk.* (12)

體汚黄色、不規則なる黒褐紋を粗布す。頭は短く、後頭は著しく高まり、頭頂は斜に下方に扁平となる。觸角は體の二倍半以上の長さあり。前胸背中央に黒褐の一帯を具へ、後縁も亦黒



分布 臺灣、セイロン。

スズムシ(金鐘兒) *.....* (13)

分布 本州、四國、九州

ヲガサハラカナタタキ *Lipholophus longipennis Shir.* (15)

體淡黄、光澤なし、頭及び前胸背は滑澤。觸角は體よりも遙に長く、黄色。前胸背は黄褐にして、長し。雄にては翅は前胸よりも長し。脚は淡黄色。尾毛及び産卵管は腹部よりも長し。體長二分四分。これは小笠原島には少なからず。



分布 小笠原島。

オカメコホロギ *Toxoblemmus arictus Sauss.* (16)

體は灰黄。頭黒色、頭頂に黄色の弓狀線ありて、後縁には六個の黄線を縱走す。額は平坦、單眼の部分に黄白の大紋あり。觸角の



Homocoryphus japonicus D. H.

體は黒色。雌雄大にその形を異にし、雄は廣き



♀



前翅を裝ふ。頭頂に黄褐の四紋を横列す。觸角は體の三倍長ありて、基部にて黒色、次で黄褐、中央は白色、末端は黒褐。前胸背の中央に



基部は黄色、末端は暗褐。前胸背に黒紋を散在し、その兩側に黒條あり。翅を疊む時は兩側に黒條を現はす。脚に黒褐紋あり。體長四分五分。これは中國地方に稀ならず。

分布 本州、四國、九州。

ミツカドコホロギ

*Isokohlemmus doenitzii* Zein

體は黒褐、黄色紋を装ふ。頭頂の前縁は黄色、後縁には不定の黄色紋あり。顔は平たく、菱状。

♂



を呈し、その中央に橙黄色の小紋ありて、その中に單眼あり。前胸背に黄色の不定紋を具へ、その側縁も亦黄色。前翅は暗色、半透明、腹端

に達せず、前縁は灰白、透明。脚は淡褐、褐色紋を装ふ。體長六分五厘内外。これは餘り多からず。

分布 本州、四國、九州。

アヲマツムシ

*Macasmus hithonis* Mats.

これはマツムシに酷似すれども、全體綠色にして、前胸の兩側に縱隆起あるを以て容易に區別し得べし。その音は恰も銀鈴を鳴らすが如く、その鳴聲は一町内外に聞ゆ。目下東京諸谷地方に多く、主として、櫻、桃、柿等の葉を食ひ、大害を加ふ。夜間燈火を慕ひ室内に飛來す。これは瓜哇地方より植物に附着して輸入せられたるが如し。

♂



分布 本州(東京)。附言 著者は昨年瓜哇にて道路並木にこの音を聞きたり、果して同島に産するや否やは不明。

マツムシ(金琵琶)

*Macasmus maturoctum* D. H.

體は黄褐。雌雄大にその形を異にす。雄は頭の兩側に褐色紋を散在す。觸角は長く、體の約三倍長あり。前翅は稍々透明、數個の黒紋を散在し、兩側に黒條を縱走す。後翅は廣く、翅を疊む時は尾狀の二突起となる。雌にては觸角は短前翅に粗なる網狀脈を有す。體長六分一六分五厘。これは草間にありてチンチロチンと鳴啣す。普通坊間に販賣す。

♀



分布 本州、四國、九州。

附言 中國地方にありて、スズムシとマツムシの名を轉倒して用ふ。

クサヒバリ

*Metocbe insularis* Xanuss.

體黄褐。頭及び前胸背には黒色の剛毛を粗生し、前胸側片は黒色。翅は腹部と同長。脚は太く、剛毛を粗生し

(二〇)



黒褐の小斑點を散布す。體

長一寸五厘内外。これは北海道を除く何れの地方にも普通なり。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

附言 臺灣産のものは *riisemae* Kurny と同定せられ居るも、同一種なり。

アリツカコホロギ

*Myrmecophilus japonicus* Mats.

體は黄褐、稍々卵形、金黄色の短毛を密生す。觸角は太く、黄色。尾棘突起及び産卵管は黄色、後者の末端は二分し、その中間に二鋭齒を

(二一)

マダラスズ  
*Nemobius nigrofasciatus* Mats.

體は暗褐。頭頂に黄色の四條を縱走す。觸角は

♂



裝ふ。體長八厘内外。これは札幌地方の蟻巢中に普通なれども、小形なるが爲め發見すること困難なり。これは單性生殖をなすが如し。

分布 北海道、本州。

カンタン(邯鄲)

*Oecanthus longicauda* Mats.

體は黄白、少しく綠色を帶ぶ。頭頂は黒褐、その内に黄色の三縱條を装ふ。觸角は體の三倍長ありて、雌にては淡黄褐、雄にては暗褐。前胸

♂



背の中央及び兩側は少しく暗色を帶ぶ。前翅は半透明、黄白、脈は雌にては黄色、雄にては黄白。脚は暗黄、後腿節の後方に黒褐紋を並列



す。産卵管は後腿節より長し。體長四分一四分五厘。産卵管四分二厘。これは札幌地方の大豆畑に普通にして、八月中旬より一ヶ月の音を聞かす。これも坊間に販賣する普通種なり。

〔分布〕 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲。

オホコハネコホロギ

*Parahemitevus concoloratus* West.

(二四)

體暗褐色。脚は黄褐色乃至褐色、細様の微毛を密生す。頭圓く、顔は黒色、上唇の基部黄色、小腮鬚は黄色。觸角は長大、體長の四倍以上あり。



♂

前胸背は長さよりも廣し。前翅は短く、幅廣し、表面は淡黄、基部に一黒紋を具ふ。發音鏡は大。雌にては前翅甚だ小、栗色なり。腹部は大、背面扁平。産卵管は長し。脚は太く、後腿節は著しく膨大す。體長七分内外。産卵管五分内外。これは臺灣の山地に稀ならず。

色。前胸は黄色、一對の三ヶ月形紋、中央の梨形紋及び其の兩側にある小圓紋は栗色、側面は黒褐、上縁淡黄、前角に近く、赤褐の一紋を装ふ。前翅は細長、黄褐、四本の縦脈相平行せり、側面は褐色乃至暗褐。後翅は前翅より長く、淡黄褐色なれども、露出部は暗色。腹背面は赤褐、腹面は黄色、産卵管細長。脚は長く、黄色、腿節の末端に暗褐紋あり、後腿節の外側は褐色。體長五分内外。これは臺灣の高山地に捕



♀

ハネナガコホロギ

*Parapentacentrus formosus* Zhir.

(三五)

體細長、黄褐、少しく扁平。頭黒褐、背面に三對の淡黄縦線を具ふ。觸角は太く、暗褐色なれども、基部の二節は黄色、體より長し、小腮鬚褐色。

獲せらるゝも稀なり。

〔分布〕 臺灣。

ヒメコホロギ

*Eupsiopodus manipularis* Sauss.

(三六)



♀

體は黒色。後頭の六縱條、觸角の上方にある一紋及び觸角間にある一紋は黄色。前胸背に黒毛を装ひ、黄色の不定紋を散在す。前胸は暗

色、兩側の隅角に黒縦條あり。脚に黒紋を散在し、後腿節の外側に黒斜條を並列す。體長四分五厘。産卵管三分三厘内外。これは東京地方に稀ならず。

〔分布〕 本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

クマスズ

*Stenoplerus coruscus* D. H.

(三七)

體小形、黒色、尾附觸鬚は淡色。頭部に點刻を密布す、單眼は小にして黄色。觸角は短太、中央に黄色輪環を有す。小腮鬚は黒褐。前胸背は後方にて太し。前翅は多く尾端に達す。發音部は大、褐色、五本の斜脈はS字形に彎曲して相



♂



♀

平行せり、發音鏡は大。雌にては革質にして、黒褐、橢圓形、後肢太く、肛上板は三角形、産卵管は細長、黄褐、脚は短太、淡褐、腿節は黄色を帯ぶ。體長三分内外。臺灣にては普通なり。

〔分布〕 本州、四國、九州、臺灣、瓜哇。

ヒメキアシクサヒバリ

(三八)

第一三直翅目

*Trigonidium chinensis* Kaulb.

♂



あり。前胸背は黒色、時に黒褐なることあり。翅に數條の縦脈ありて、この間は小なる横脈にて相連絡す。腹端は少しく露出。脚太く、淡黄。體長一分五厘内外。これは臺灣に普通なり。

〔分布〕 本州、臺灣、歐洲、阿弗利加、印度、支那。

キアシクサヒバリ

*Trigonidium laurii* Sauss.

(三九)



♀

體は黒色。頭は割合に大きく、顔に數個の剛毛を装ひ、複眼間の周圍に黄色の一輪を繞らす。觸角は黄

色、基部は黒色。前胸背に灰色の短毛を粗生し、これに褐色紋を装ふ。前翅は半透明、縦脈は判然。脚及び腹部の末端にある尾狀突起は黄色。雌は褐色、劍狀の産卵管は上向き、その基部は淡色。體長一分五厘二分。これは沖縄地方に普通なり。

〔分布〕 九州、沖縄、臺灣。

ヲガサハラクサヒバリ

*Trigonidium ogasawarense* Zhir.

(四〇)

體黒褐。頭は光澤なき暗褐。複眼は大。觸角は細長、體長の約六倍にして、暗黄褐。前胸背の中央に一縦溝を有す。翅は腹部の末端に達し、著しき縦脈を装ふ。兩翼の末端節は大なる斧

♂



狀を呈す。尾毛は前胸背と同長にして、長き軟毛を生ず。脚は暗褐なれども、基部は黄白なり。體長一分五厘内外。これは小笠原島に稀れならざる如し。

〔分布〕 小笠原島。